

第23回 県民意識調査報告書

調査テーマ

「2030年の兵庫の姿」

平成29年度

兵 庫 県

目次

I	調査の概要	
1	調査目的	1
2	調査概要	1
3	回収結果	1
4	標本抽出および集計方法	2
5	回答者のプロフィール	3
6	標本誤差	5
II	調査の結果	
1	「暮らしの状況・満足度」に関することについて	
問1	居住地域の生活環境の満足度	6
問2	居住地域での項目別満足度	10
問3	物の豊かさと心の豊かさ	33
2	「各分野に関する価値観」に関することについて	
	(ひと・暮らし)	
問4	充実感を感じる時	37
問5	仕事と家庭のバランス	41
問6	三世代の暮らし方	45
問7	自分に望む介護の形	49
問8	これからの兵庫を担う人づくり	53
	(まち・地域)	
問9	地域への定住やUターン	58
問10	地域のつながりの必要性	62
問11	地域のつながりの必要な分野	66
問12	まちの集約化の必要性	70
	(産業・しごと)	
問13	理想の仕事	74
問14	理想のキャリア	78
	(安全・安心)	
問15	環境の保全と生活の便利さの優先度	82
3	「目指すべき兵庫の将来像」に関することについて	
問16	現在のイメージのキーワード	86
問17	将来のイメージのキーワード	90
問18	期待する兵庫の将来像	94
4	毎年調査項目	
問19	今の生活全般での満足度	98
問20	今の生活の個別側面での満足度	102
問21	去年と比べた生活の向上感	129
問22	大地震発生の可能性	133
問23	地域活動への参加状況	137
問24	県政への関心	140
問25	県政への評価	144
問26	県民局・県民センターの認知度	177

Ⅲ 調査票

第23回 県民意識調査「2030年の兵庫の姿」調査票	181
----------------------------	-----

調査結果を読む際の注意

結果数値（％）は0.1%未満を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。

グラフ中のカテゴリーの順番が、調査票と異なることがある。

グラフ・表中での選択肢表記は、語句を短縮・簡略化していることがある。

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は県民の価値観や行動志向、行政への評価・要望など、県民生活の基本的な意識の経年変化を大きな潮流として捉えることにより、政策形成、施策運営の基礎資料を得ることを目的としている。

今回は、年次テーマを「2030年の兵庫の姿」とし、これからの兵庫づくりに向けた県政の新たなステージ展望のため、県民が望む兵庫の将来像や、実現に向けた課題などについて意識調査を行い、「兵庫2030年の展望（仮称）」の策定に活用する。

2 調査概要

- (1) 調査地域 県下全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 調査方法 郵送法（ハガキによる督促1回）
- (5) 調査時期 平成29年9月4日（月）～9月25日（月）
- (6) 県民意識調査有識者会議
設問作成にあたり、県民意識調査有識者会議を開催して、下記の学識経験者から指導・助言を得た。

草郷 孝好 （関西大学教授）

立木 茂雄 （同志社大学教授）

鳥越 皓之 （大手前大学学長）

吉田 三千代 （(株)サンケイリビング新聞社 シティ事業部長）

[五十音順]

3 回収結果

回収数 2,957件(回収率59.1%)

地域	標本数	回収数	回収率	無効票	有効回答
神戸	500	294	58.8%	0	294
阪神南	500	280	56.0%	0	280
阪神北	500	283	56.6%	3	280
東播磨	500	287	57.4%	1	286
北播磨	500	306	61.2%	0	306
中播磨	500	286	57.2%	0	286
西播磨	500	318	63.6%	0	318
但馬	500	302	60.4%	1	301
丹波	500	303	60.6%	5	298
淡路	500	298	59.6%	1	297
全県	5,000	2,957	59.1%	11	2,946

※無効票は属性不明等

4 標本抽出および集計方法

- (1) 母集団 住民基本台帳（H29. 3. 31）に記載された県民数
- (2) 標本配分 10の地域毎に500の標本数を市町別・男女別・年齢10歳階級別の母集団構成比に応じて配分（合計5,000人）
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出法
：住民基本台帳から各地点における各層ごとの対象者を等間隔抽出法(※)により抽出
※全体の人数を抽出数で割って間隔を計算し、等間隔に標本を抽出する方法
- (4) 集計方法 地域ごとの回収数について、重み付け集計により、全県内の母集団構成比を復元

地域区分



県民局・ 県民センター	該当市町
神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、 三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、 稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、 加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、 福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、 宍粟市、太子町、上郡町、 佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、 香美町、新温泉町
丹波	篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市

5 回答者のプロフィール

○ 性別 (%)

	男性	女性	不明
全県	40.6	58.4	1.0
神戸	41.2	57.8	1.0
阪神南	36.8	62.5	0.7
阪神北	43.2	55.4	1.4
東播磨	37.8	61.9	0.3
北播磨	40.8	57.8	1.3
中播磨	43.7	55.6	0.7
西播磨	41.5	56.9	1.6
但馬	43.5	54.5	2.0
丹波	42.6	56.0	1.3
淡路	42.4	56.2	1.3

○ 年齢 (%)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明
全県	6.8	10.7	16.2	16.4	22.4	17.5	9.1	1.0
神戸	7.8	11.6	14.6	15.6	22.4	18.4	8.5	1.0
阪神南	6.8	11.4	20.4	14.6	20.7	16.4	8.9	0.7
阪神北	7.5	9.6	16.4	19.3	21.1	16.4	8.2	1.4
東播磨	5.9	10.1	18.2	17.1	22.7	17.1	8.0	0.7
北播磨	5.9	8.8	15.4	17.6	23.5	18.3	9.2	1.3
中播磨	5.6	11.5	15.7	18.2	23.4	16.8	8.0	0.7
西播磨	7.2	9.7	11.9	14.8	27.4	16.4	11.0	1.6
但馬	4.7	8.3	11.3	14.6	22.9	21.6	15.0	1.7
丹波	5.0	7.0	10.7	16.8	23.8	20.5	15.1	1.0
淡路	4.7	10.4	11.8	16.2	21.9	17.5	16.5	1.0

○ 職業 (%)

	職業別								
	自営業	正規社員 (職員)	会社等の 役員	契約・ 派遣社員	パート・ アルバイト	主婦 (主夫)	学生	その他 無職	不明
全県	9.0	24.8	2.1	5.8	15.6	15.9	1.4	23.6	1.9
神戸	8.2	26.9	1.7	5.1	14.6	15.3	2.0	24.5	1.7
阪神南	7.9	23.6	1.4	6.1	15.4	16.1	1.4	26.8	1.4
阪神北	8.2	21.8	2.9	6.8	16.8	18.6	2.1	20.7	2.1
東播磨	7.0	26.2	1.7	6.3	17.8	16.1	0.7	22.4	1.7
北播磨	10.5	23.5	2.9	6.5	16.7	18.3	1.3	17.6	2.6
中播磨	9.8	27.6	3.1	5.2	17.1	14.7	0.0	20.6	1.7
西播磨	10.1	23.3	2.5	3.5	16.0	14.5	0.3	27.0	2.8
但馬	14.6	20.6	2.7	7.3	8.6	15.3	0.3	27.2	3.3
丹波	13.8	22.1	1.7	6.7	14.4	15.1	0.3	22.1	3.7
淡路	22.6	20.5	1.3	4.7	12.1	10.1	2.0	24.2	2.4

世帯構成 (%)

	1人世帯	夫婦だけ (1世代)	親と子ども (2世代)	親と子と孫 (3世代)	その他	不明
全県	9.7	25.8	50.2	10.4	2.6	1.3
神戸	11.9	26.5	49.7	7.8	2.7	1.4
阪神南	16.4	22.9	50.4	6.4	2.9	1.1
阪神北	5.4	31.1	51.4	8.2	2.5	1.4
東播磨	8.0	27.3	57.0	5.6	1.7	0.3
北播磨	2.9	24.2	49.7	20.9	1.0	1.3
中播磨	5.2	21.3	50.0	18.5	3.1	1.7
西播磨	4.1	28.6	45.0	17.9	2.2	2.2
但馬	10.0	24.3	42.5	17.6	3.7	2.0
丹波	8.7	22.8	42.6	22.1	2.3	1.3
淡路	10.1	25.3	41.8	18.2	3.4	1.3

在住年数 (%)

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	不明
全県	1.7	4.3	5.2	9.1	10.8	10.1	57.9	0.9
神戸	0.7	4.8	7.5	9.2	11.9	11.6	53.4	1.0
阪神南	3.2	3.9	6.1	12.9	15.4	10.7	47.1	0.7
阪神北	2.5	3.6	5.7	12.5	11.4	11.4	51.8	1.1
東播磨	0.7	5.2	3.5	7.0	8.7	11.9	62.6	0.3
北播磨	1.3	3.3	2.9	5.2	6.9	6.2	73.5	0.7
中播磨	2.4	3.8	4.2	7.0	10.5	7.3	64.0	0.7
西播磨	1.3	4.7	1.9	5.0	6.0	6.0	73.6	1.6
但馬	2.7	4.0	1.3	4.3	3.3	6.3	75.7	2.3
丹波	1.3	3.0	1.0	6.0	3.0	7.4	77.5	0.7
淡路	1.0	3.7	2.4	5.4	6.4	8.4	71.7	1.0

インターネット利用環境 (%)

	パソコン	スマートフォン	持っていない	不明
全県	29.2	41.9	27.4	1.5
神戸	33.0	41.2	24.5	1.4
阪神南	26.4	44.6	27.9	1.1
阪神北	32.5	43.9	21.8	1.8
東播磨	27.3	43.7	28.3	0.7
北播磨	29.4	39.9	29.1	1.6
中播磨	28.3	42.0	28.0	1.7
西播磨	24.5	39.3	34.0	2.2
但馬	24.3	32.9	40.2	2.7
丹波	24.2	37.2	34.6	4.0
淡路	22.2	35.4	40.4	2.0

6 標本誤差

世論調査で無作為抽出法をとった場合は、数学的に標本誤差を計算することが可能であり、誤差の幅はサンプル数と得られた結果の比率などによって異なる。

今回の調査のサンプル数についての標本誤差の幅は、以下のとおりである。

誤差の算出 (層化抽出、信頼度95%の場合)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N : 母集団 n : 回答者 P : 回答比率(%)

〈例：サンプル数2,957の場合〉

回答比率	10%	20%	30%	40%	50%
(%)	(または90%)	(または80%)	(または70%)	(または60%)	
誤差(%)	±1.11	±1.47	±1.69	±1.80	±1.84

Ⅱ 調査の結果

1 「暮らしの状況・満足度」に関することについて

問1 居住地の生活環境の満足度

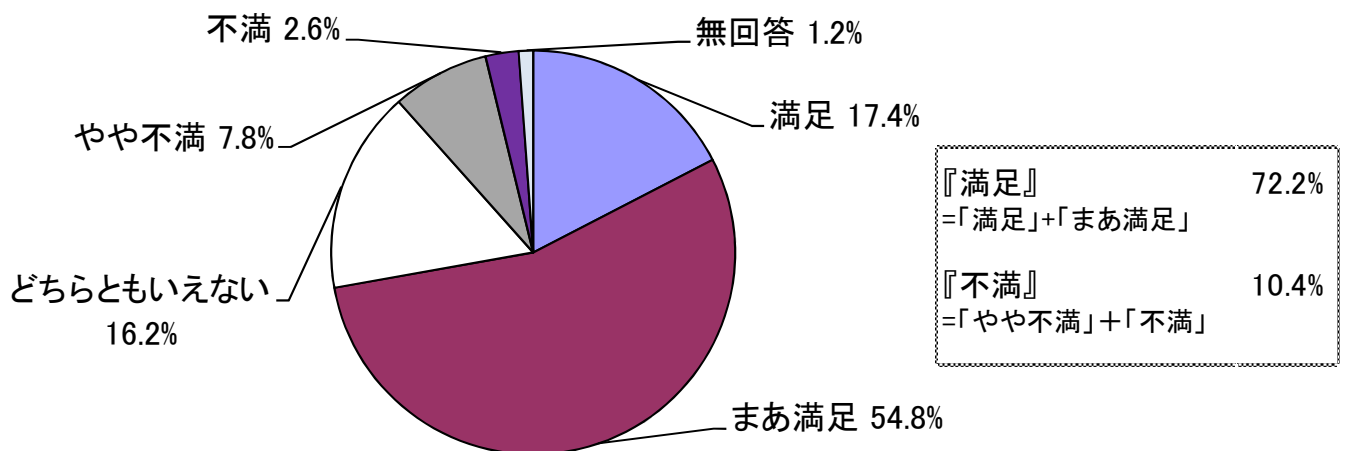
問1

あなたは、お住まいの地域の生活環境についてどう感じていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 満足
- 2 まあ満足
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 不満

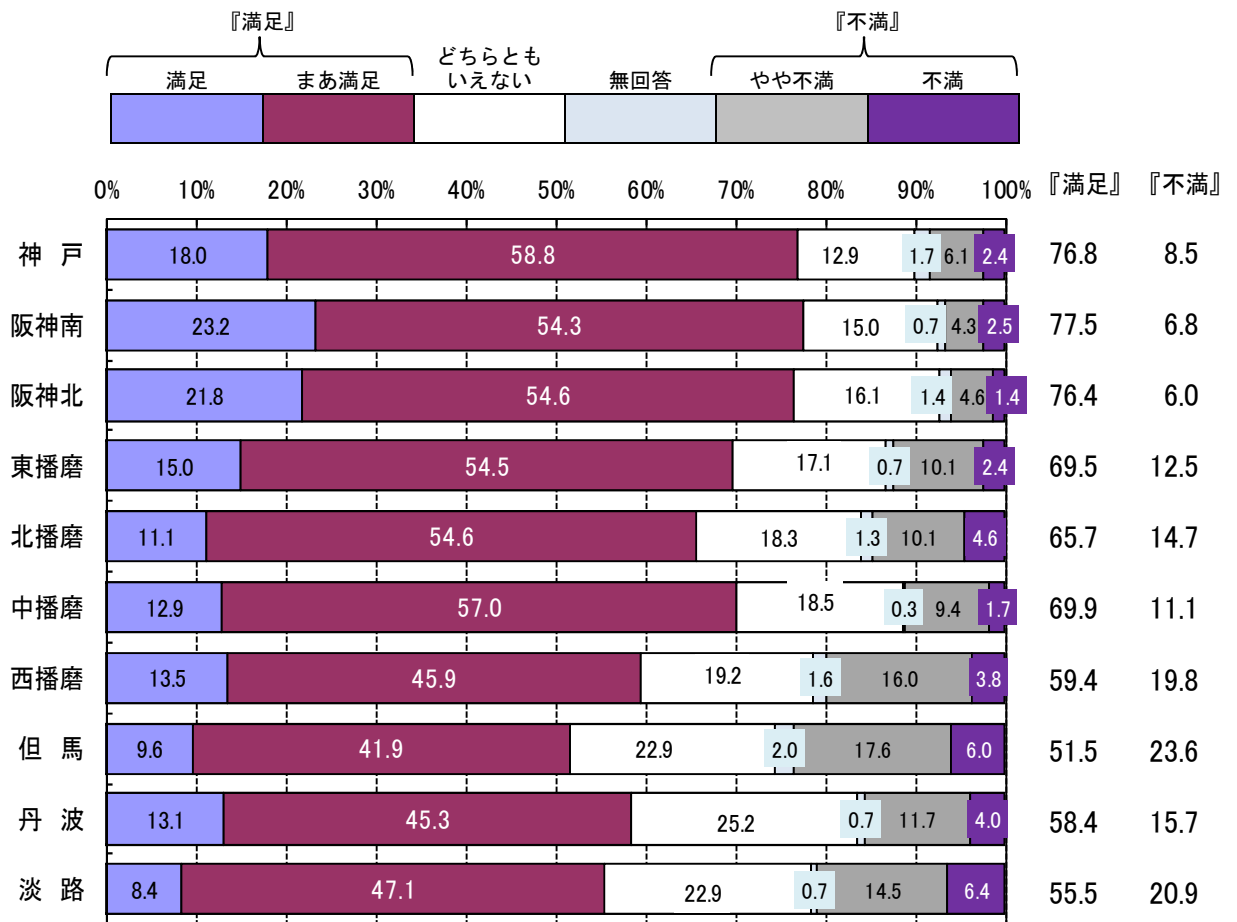
【全県】

「満足 (17.4%)」と「まあ満足 (54.8%)」とを合わせた『満足』が72.2%となった。



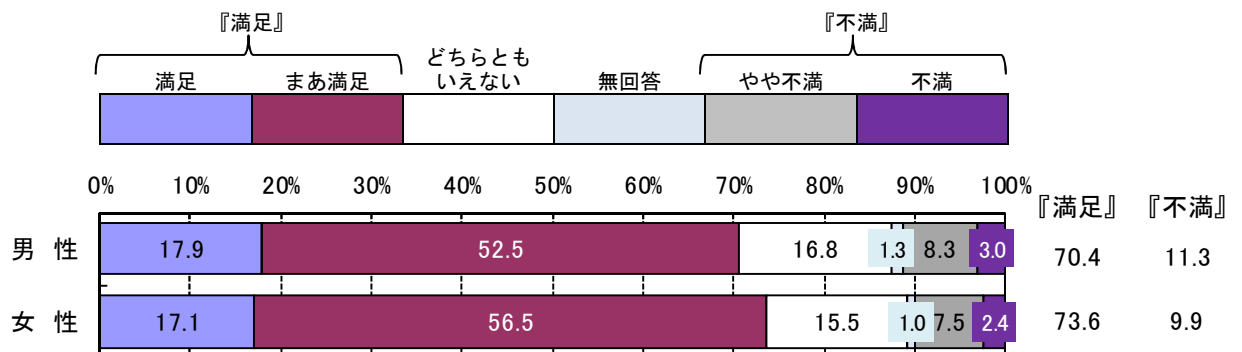
【地域別】

『満足』は阪神南が最も高く(77.5%)、次いで神戸(76.8%)、阪神北(76.4%)が高い。



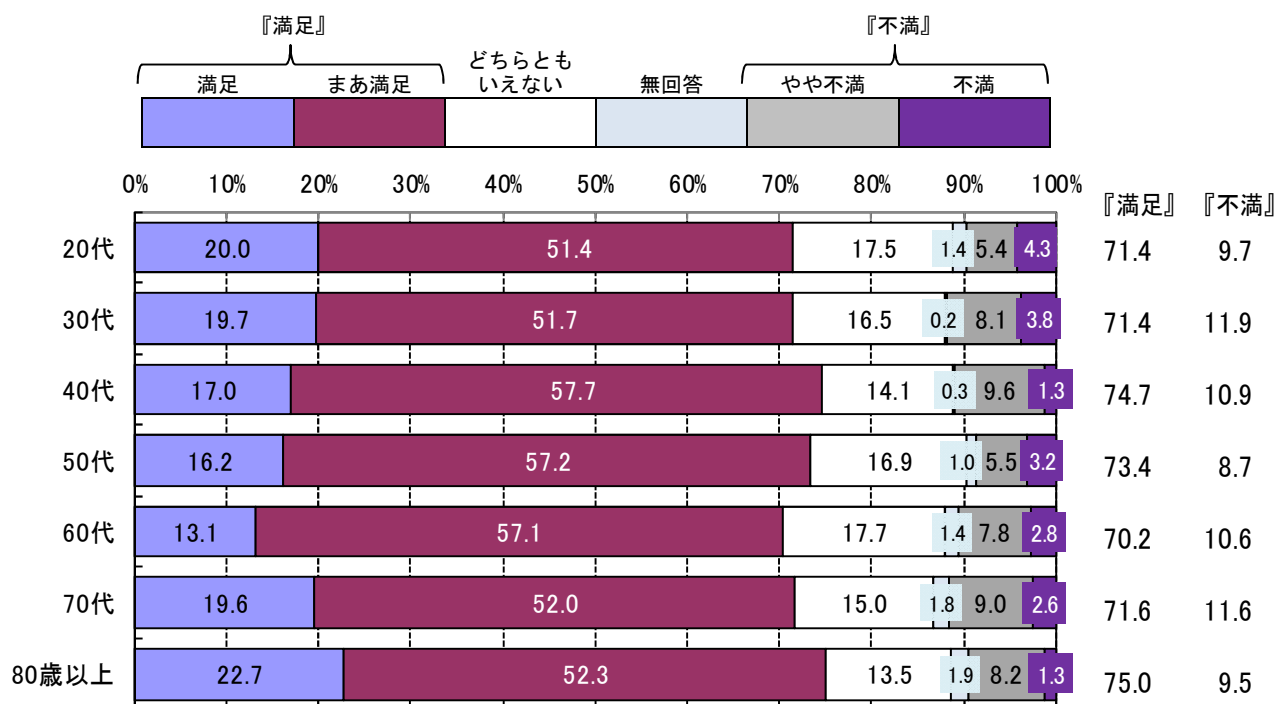
【性別】

『満足』は女性の方が男性より3.2ポイント高い。



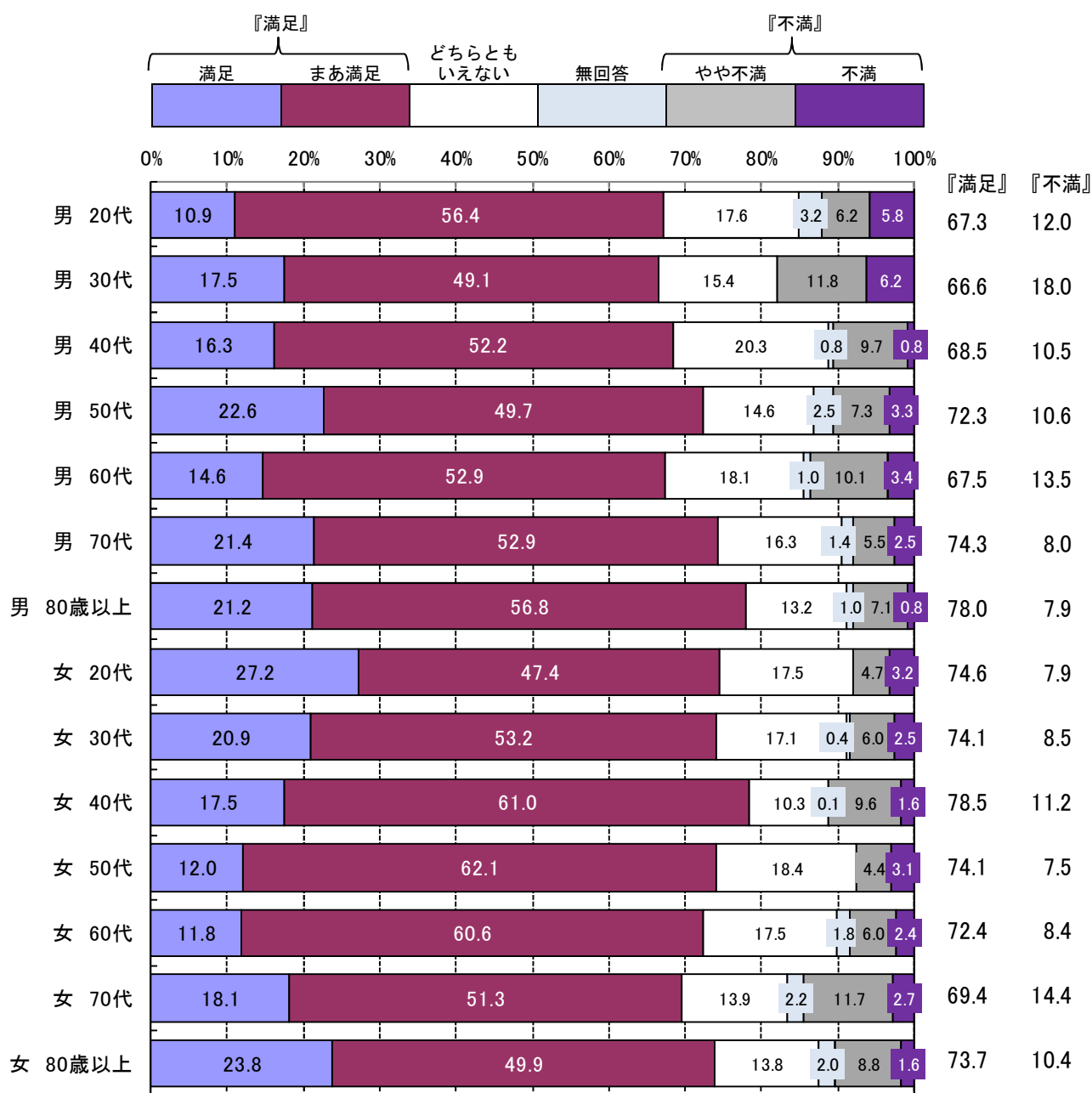
【年代別】

『満足』は、80歳以上が最も高く（75.0%）、次いで40代が高い（74.7%）。



【性・年代別】

『満足』は、男性は80歳以上で最も高く(78.0%)、女性は40代が最も高い(78.5%)。



問2 居住地域での項目別満足度

問2

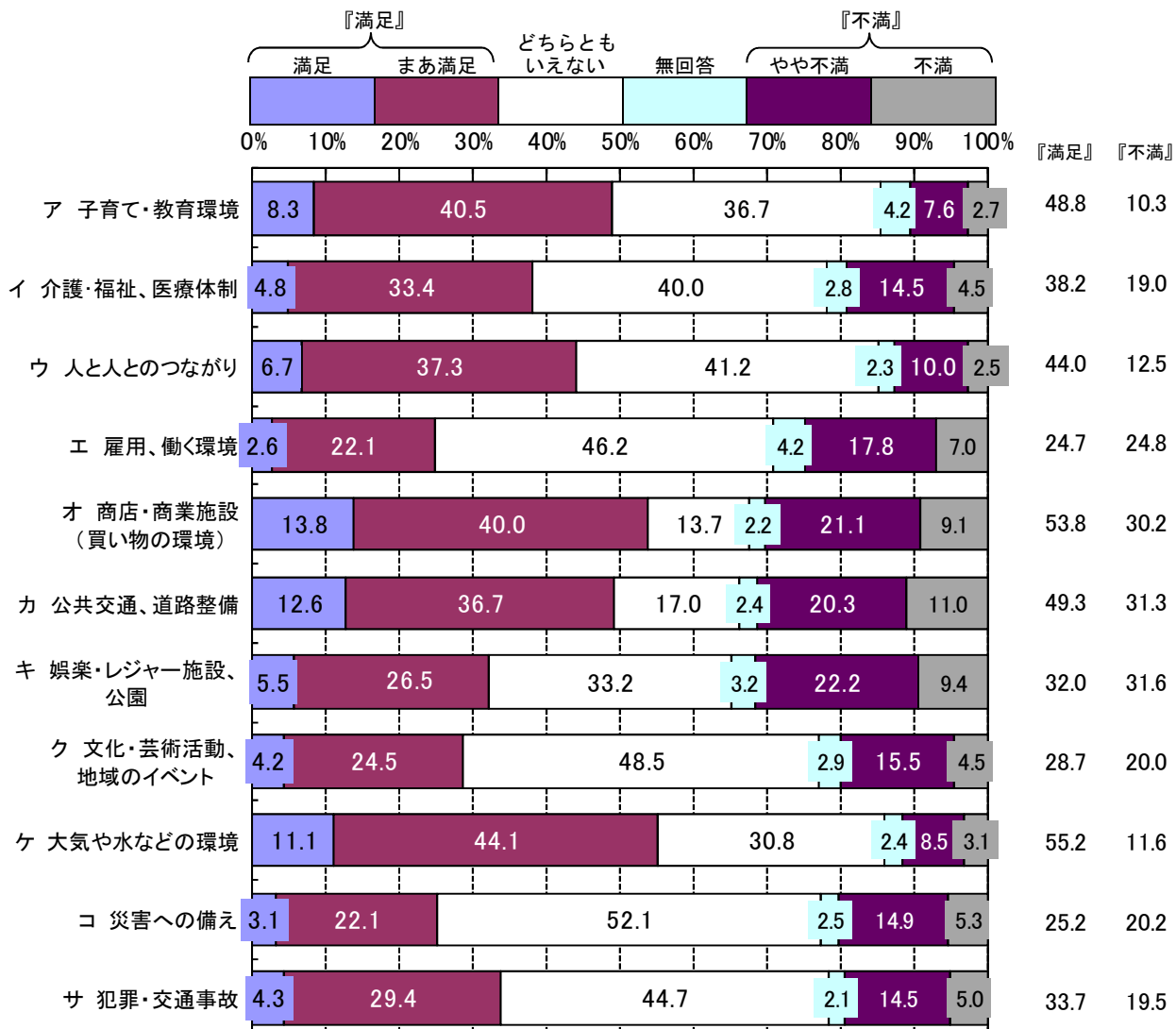
あなたは、お住まいの地域における次の面について、どう感じていますか。次のア～サのそれぞれの項目について、1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ア 子育て・教育環境 | キ 娯楽・レジャー施設、公園 |
| イ 介護・福祉、医療体制 | ク 文化・芸術活動、地域のイベント |
| ウ 人と人とのつながり | ケ 大気や水などの環境 |
| エ 雇用、働く環境 | コ 災害への備え |
| オ 商店・商業施設（買い物の環境） | サ 犯罪・交通事故 |
| カ 公共交通、道路整備 | |

1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

【全県】

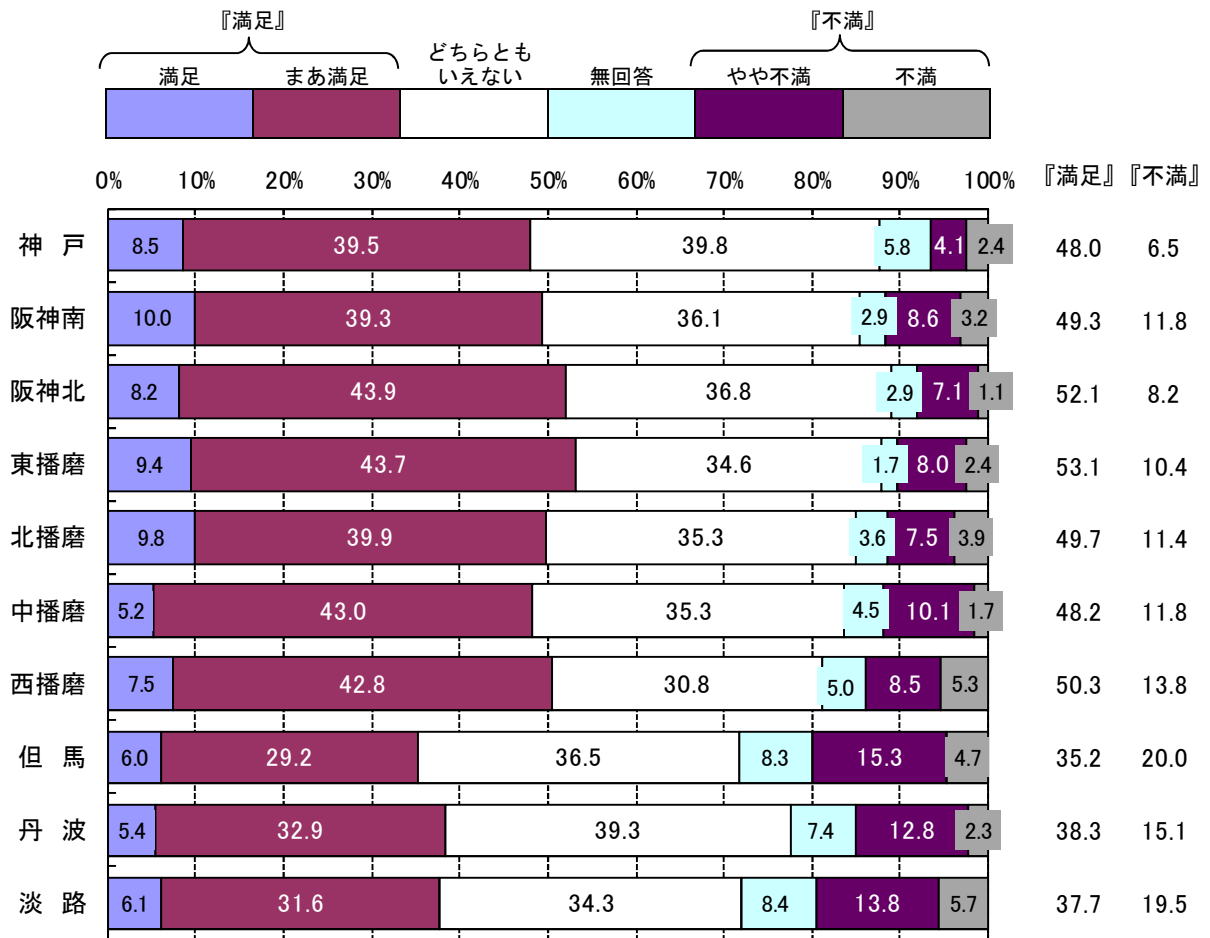
「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は、「ケ 大気や水などの環境(55.2%)」が最も高く、「オ 商店・商業施設(買い物の環境)(53.8%)」、「カ 公共交通、道路整備(49.3%)」、「ア 子育て・教育環境(48.8%)」の順で続いている。



〔ア 子育て・教育環境〕

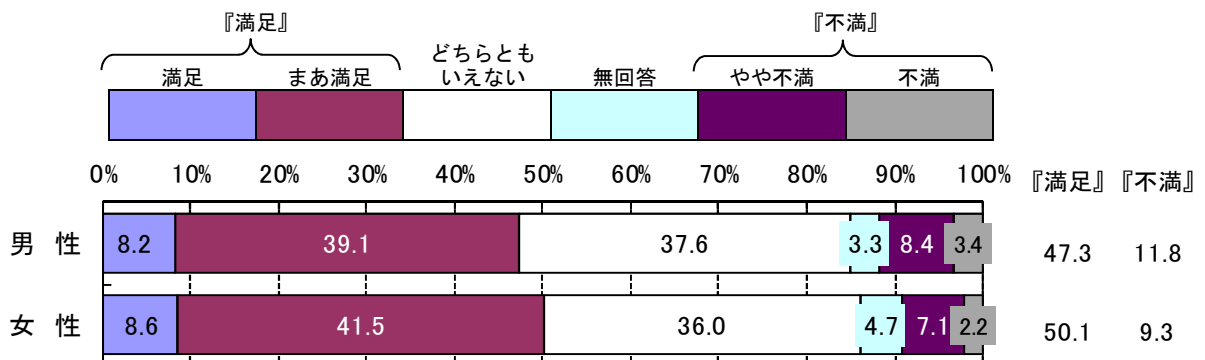
【地域別】

『満足』は東播磨が最も高く(53.1%)、次いで阪神北(52.1%)、西播磨(50.3%)が高い。



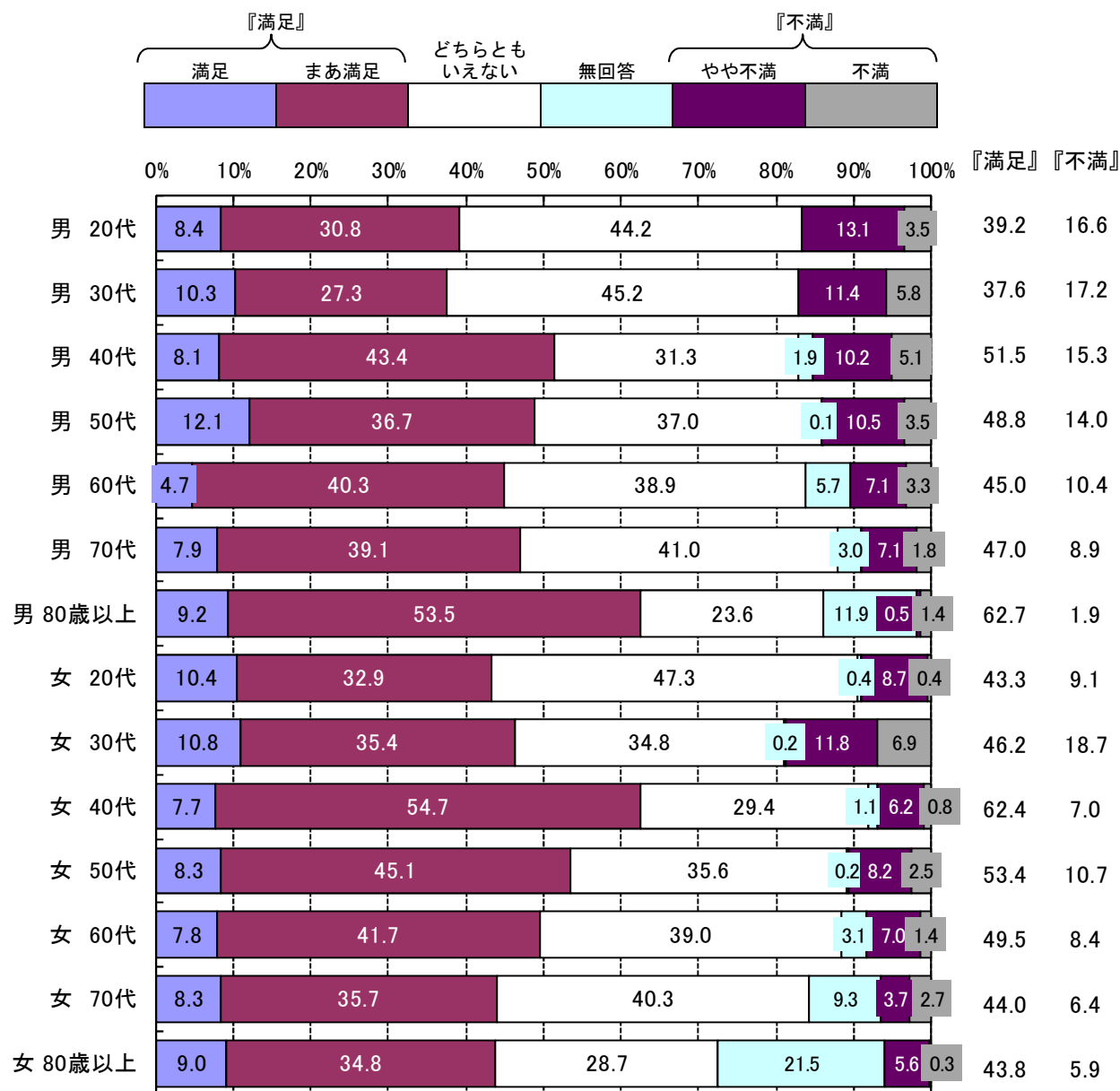
【性別】

『満足』は女性の方が男性より2.8ポイント高い。



【性・年代別】

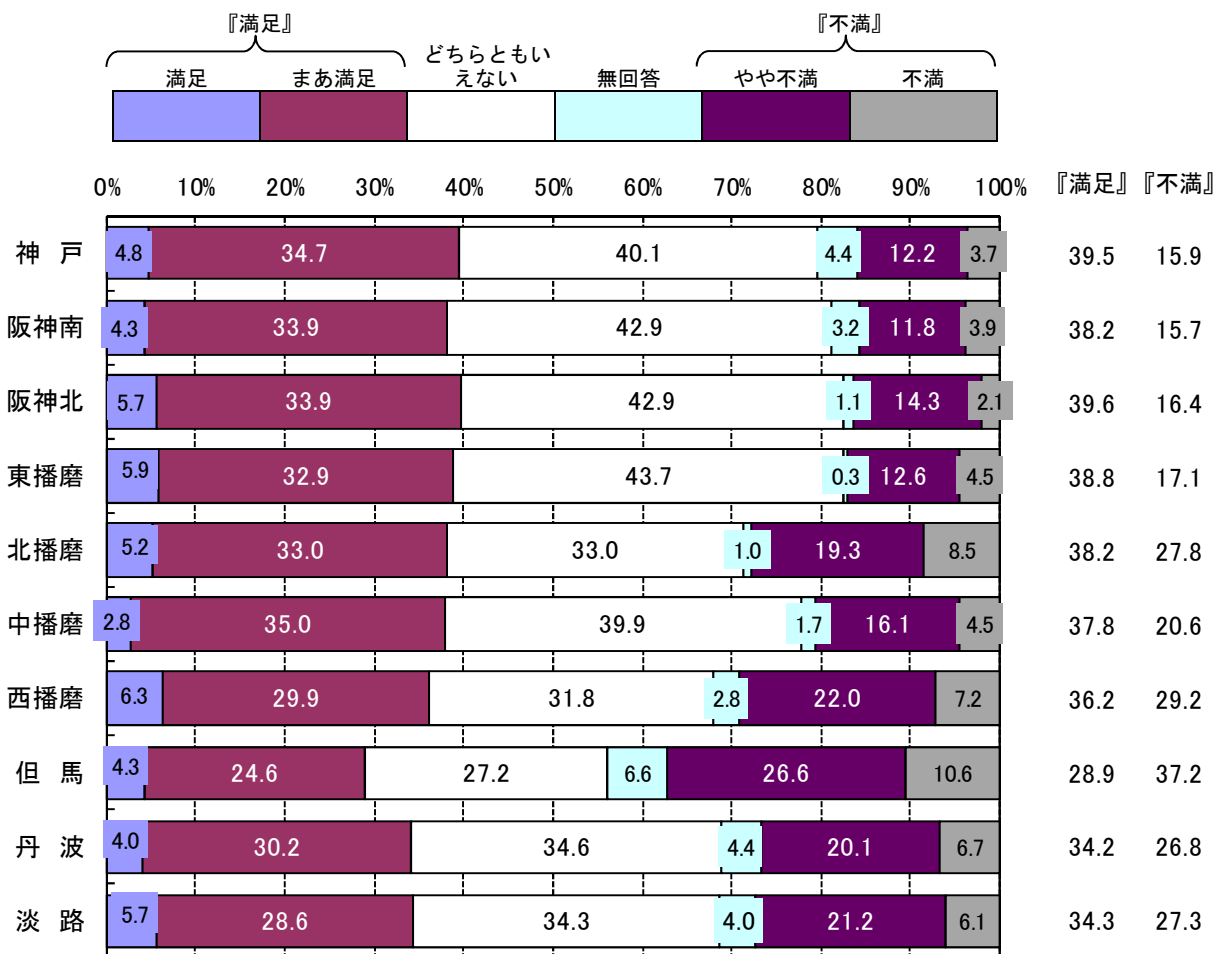
『満足』は、男性は80歳以上が最も高く(62.7%)、女性は40代が最も高い(62.4%)。



〔イ 介護・福祉、医療体制〕

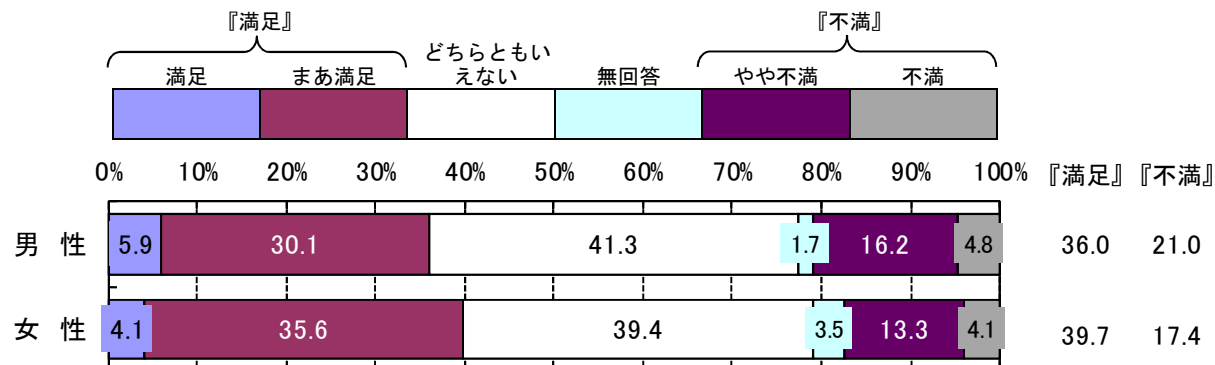
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高く(39.6%)、次いで神戸(39.5%)、東播磨(38.8%)が高い。



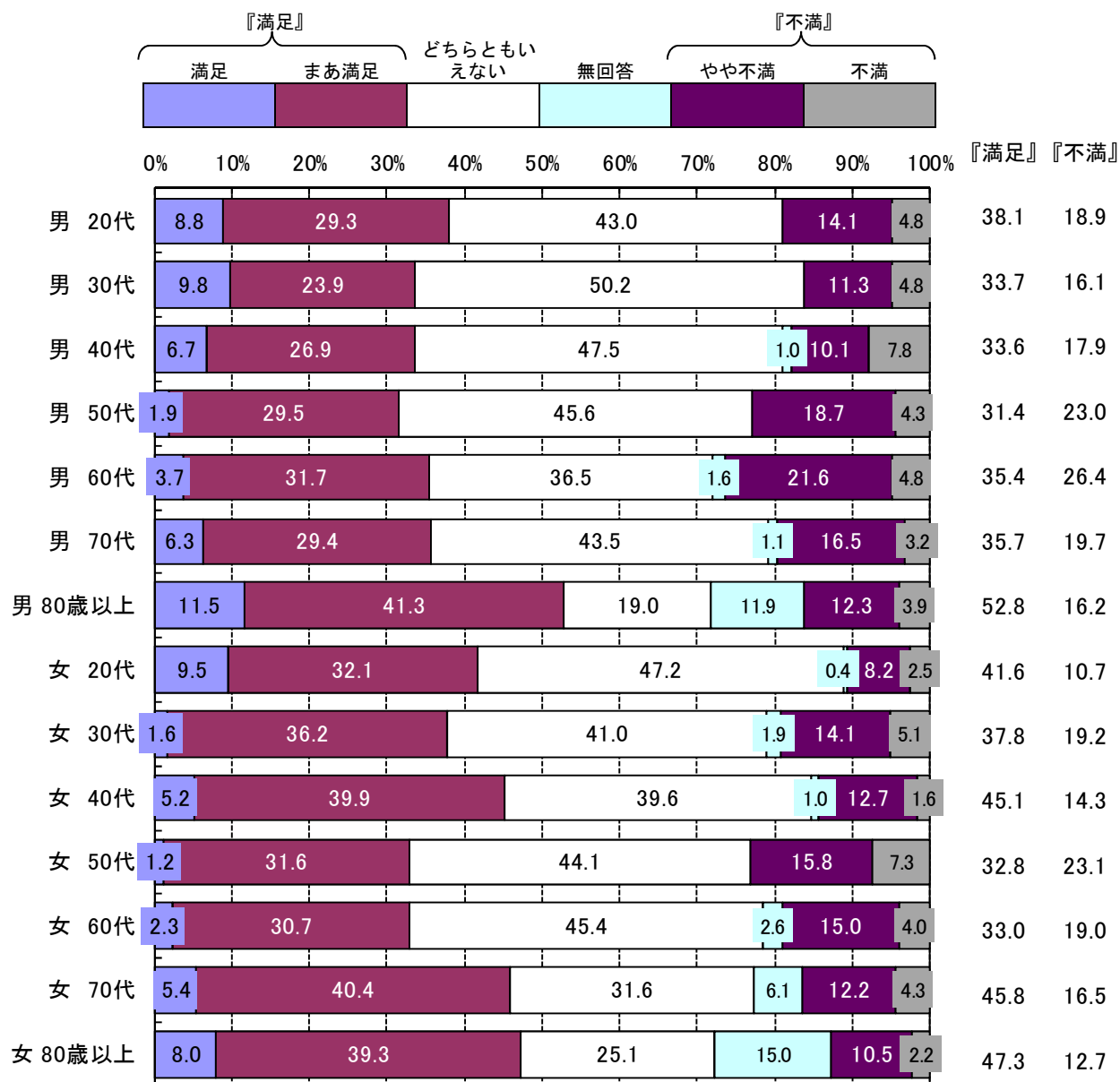
【性別】

『満足』は女性の方が男性より3.7ポイント高い。



【性・年代別】

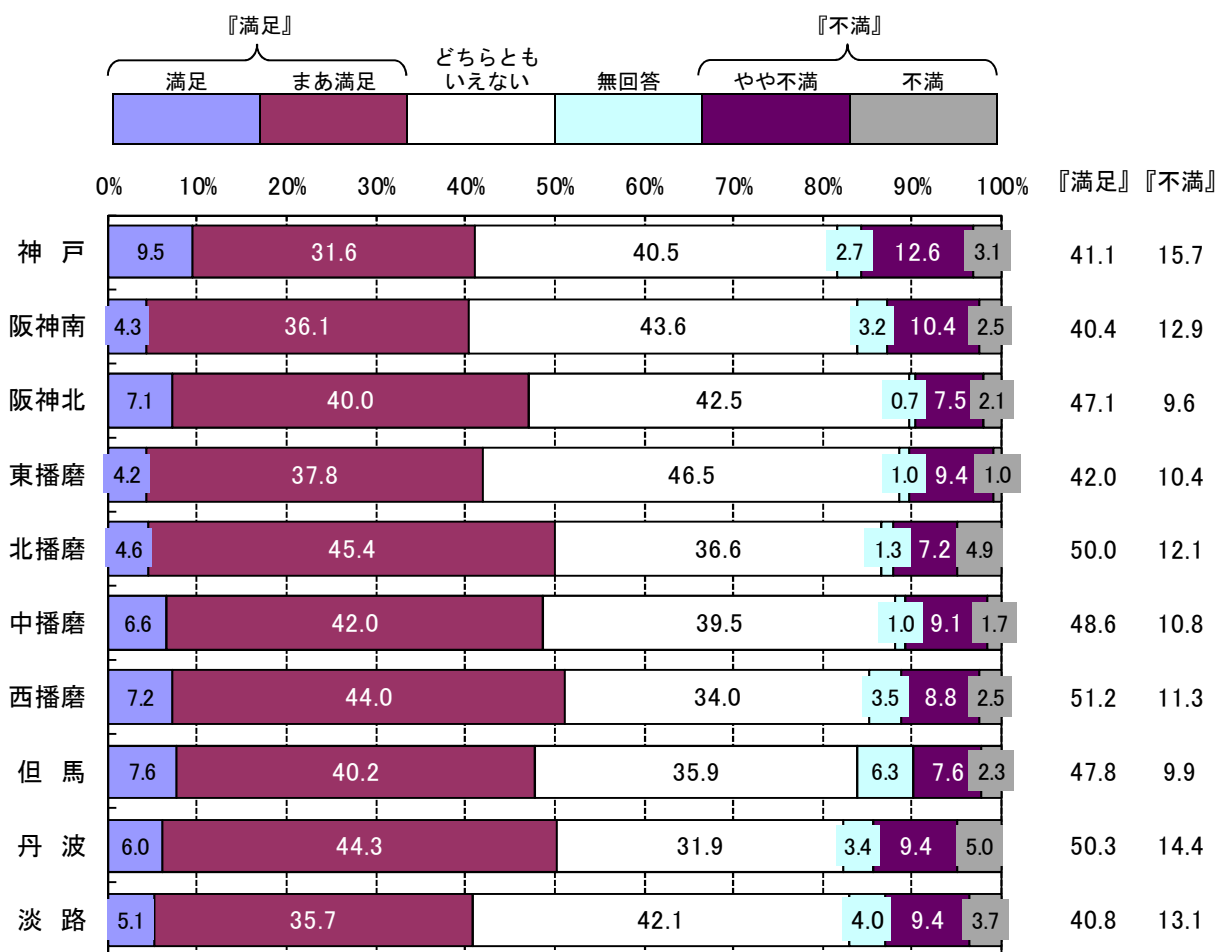
『満足』は、男性は80歳以上が最も高く(52.8%)、女性も80歳以上が最も高い(47.3%)。



〔ウ 人と人とのつながり〕

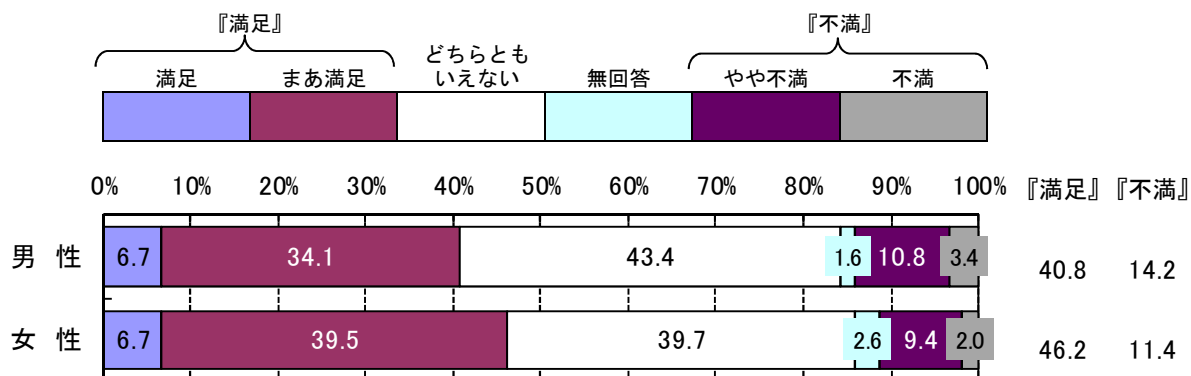
【地域別】

『満足』は西播磨が最も高く(51.2%)、次いで丹波(50.3%)、北播磨(50.0%)が高い。



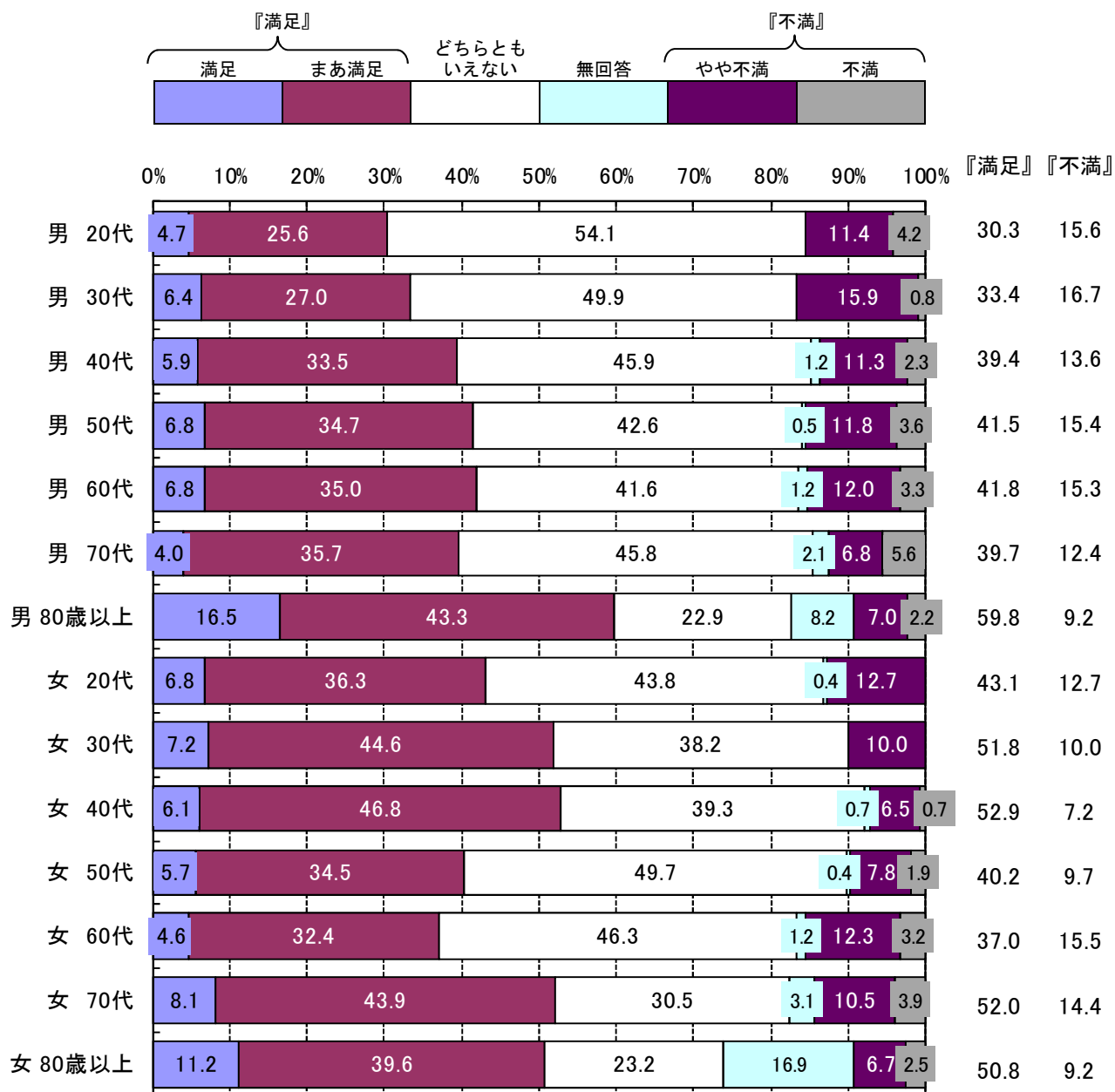
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より5.4ポイント高い。



【性・年代別】

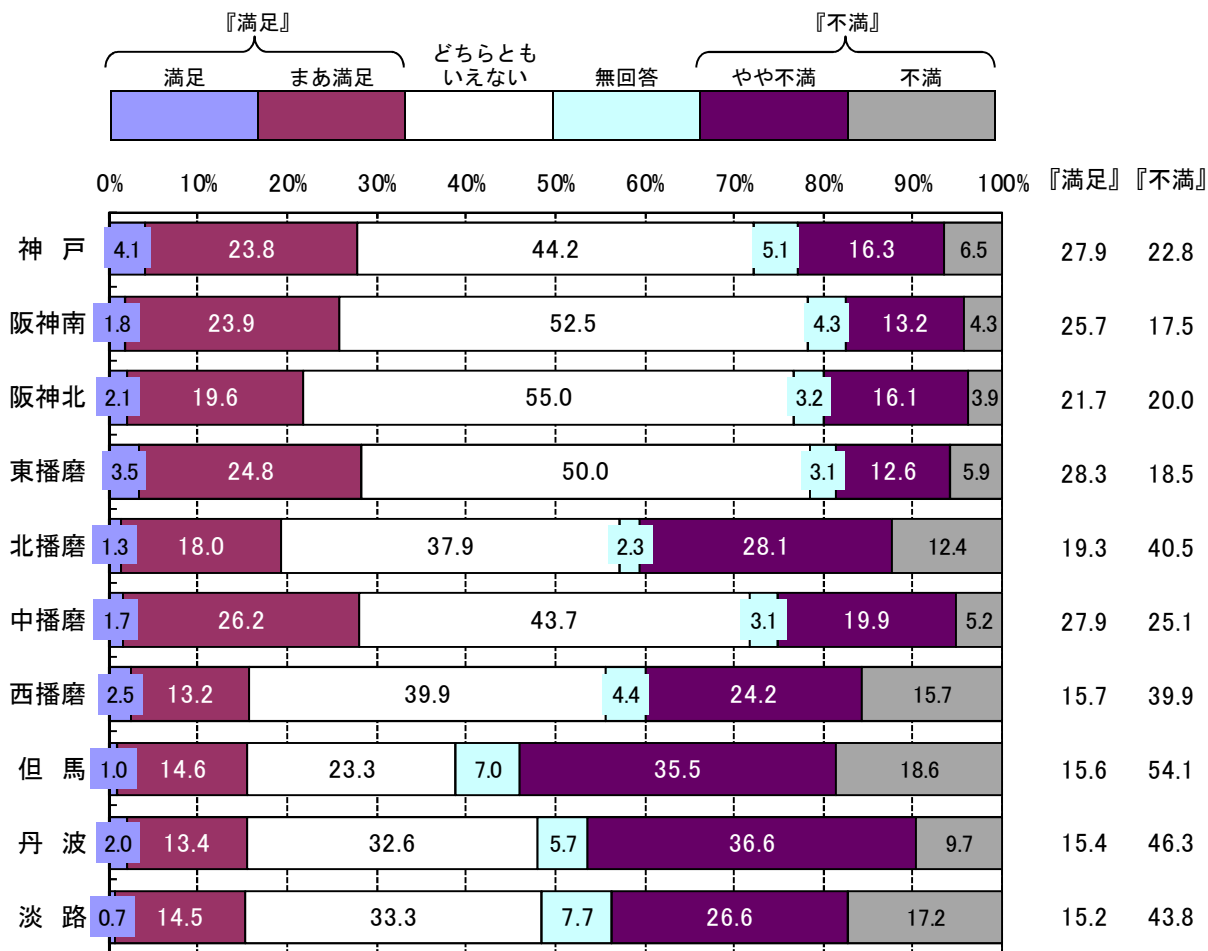
『満足』は、男性は80歳以上で最も高く(59.8%)、女性は40代が最も高い(52.9%)。



〔工 雇用、働く環境〕

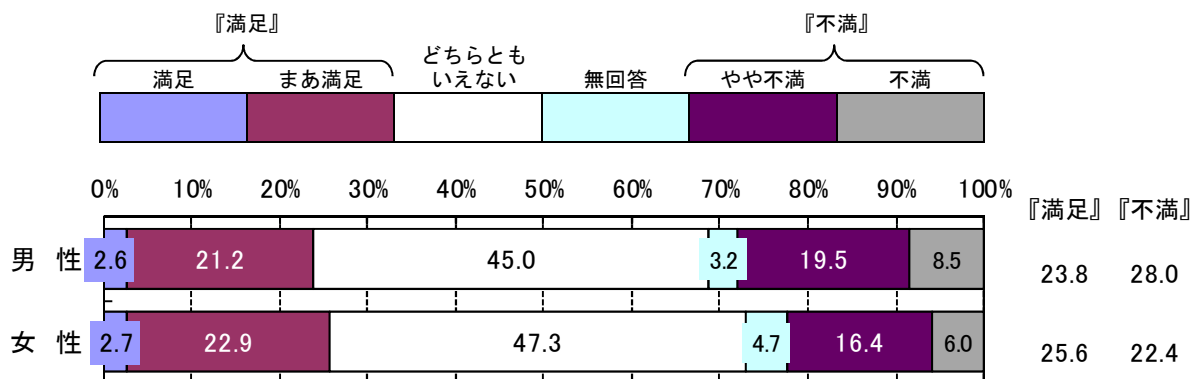
【地域別】

『満足』は東播磨が最も高く(28.3%)、次いで神戸と中播磨(27.9%)が高い。



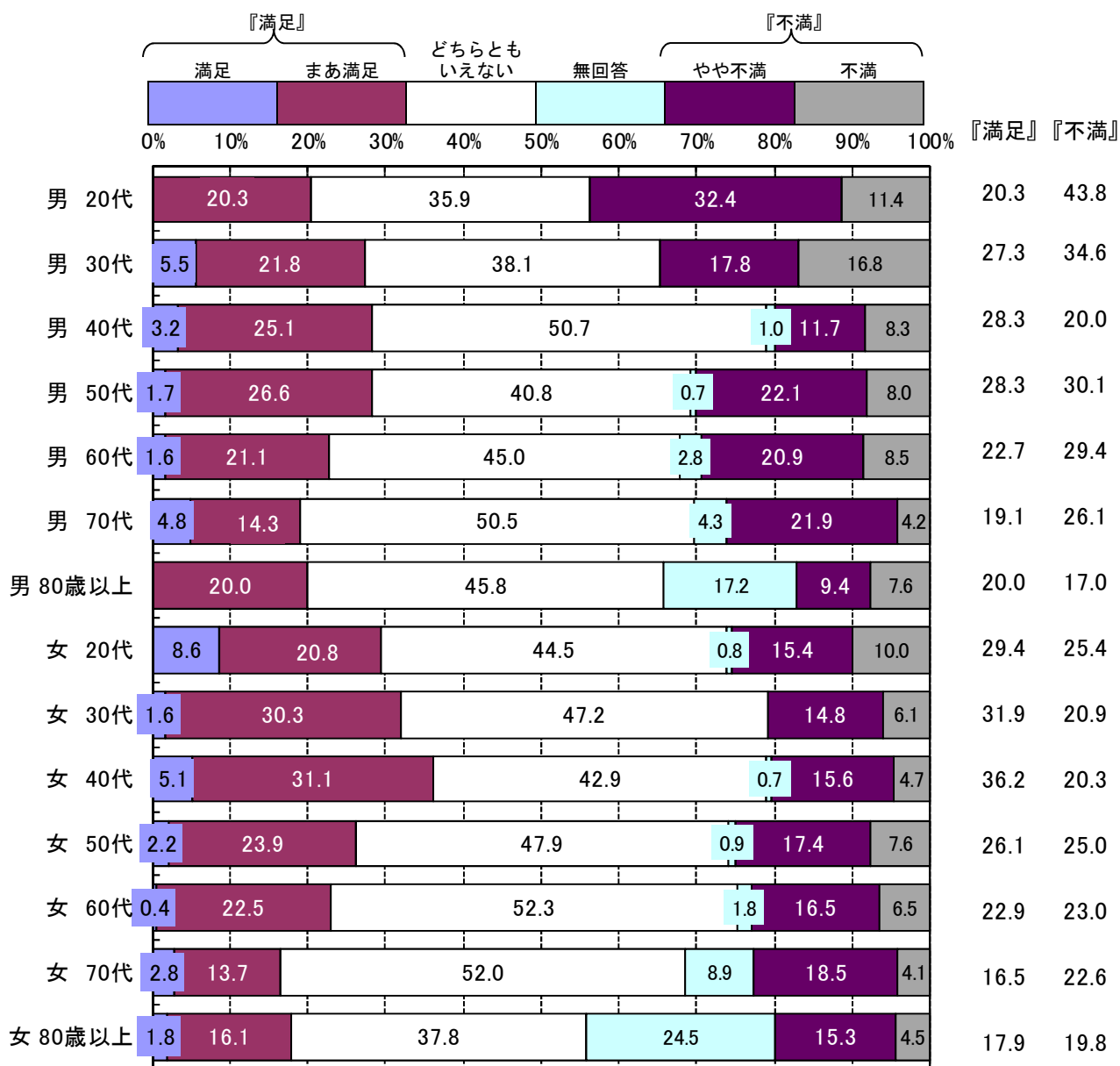
【性別】

『不満』は、男性の方が女性より5.6ポイント高い。



【性・年代別】

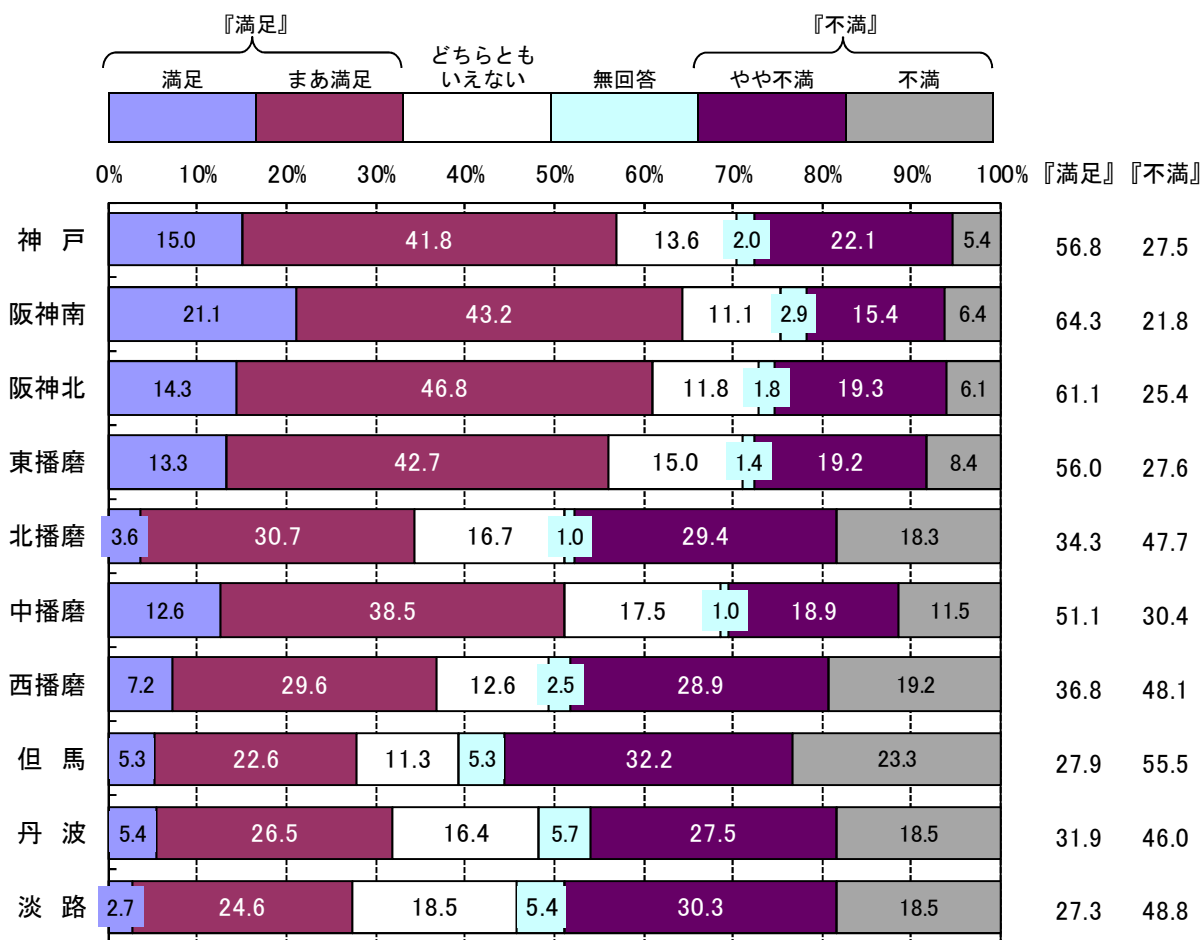
『満足』は、男性は40代と50代が最も高く(28.3%)、女性は40代が最も高い(36.2%)。



〔オ 商店・商業施設（買い物の環境）〕

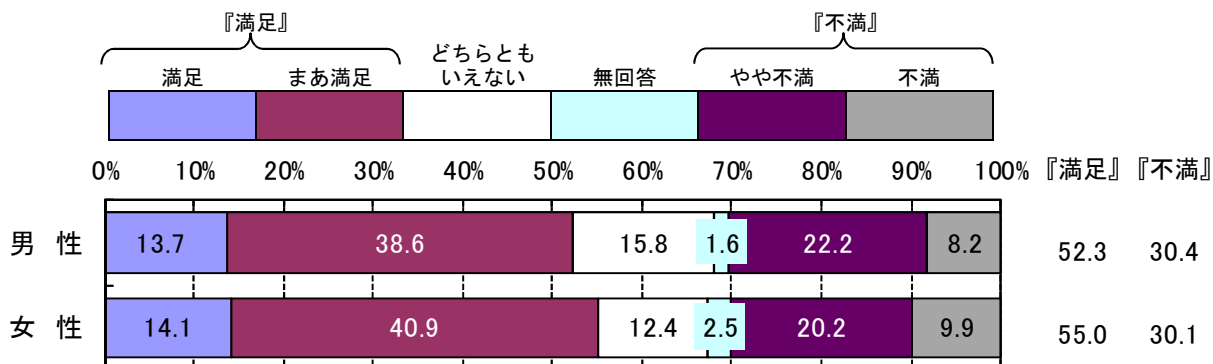
【地域別】

『満足』は阪神南が最も高く（64.3%）、次いで阪神北（61.1%）、神戸（56.8%）が高い。



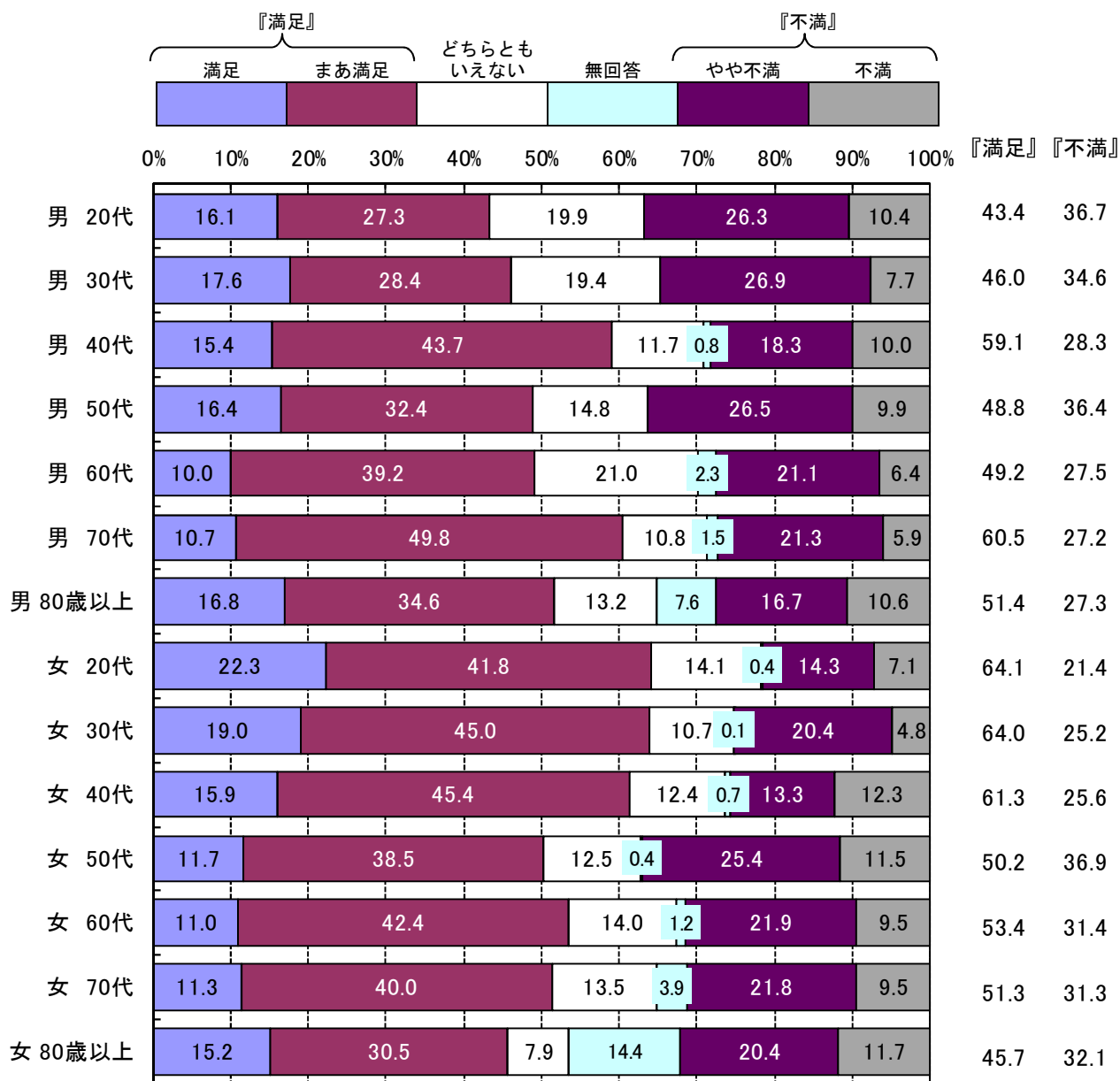
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より2.7ポイント高い。



【性・年代別】

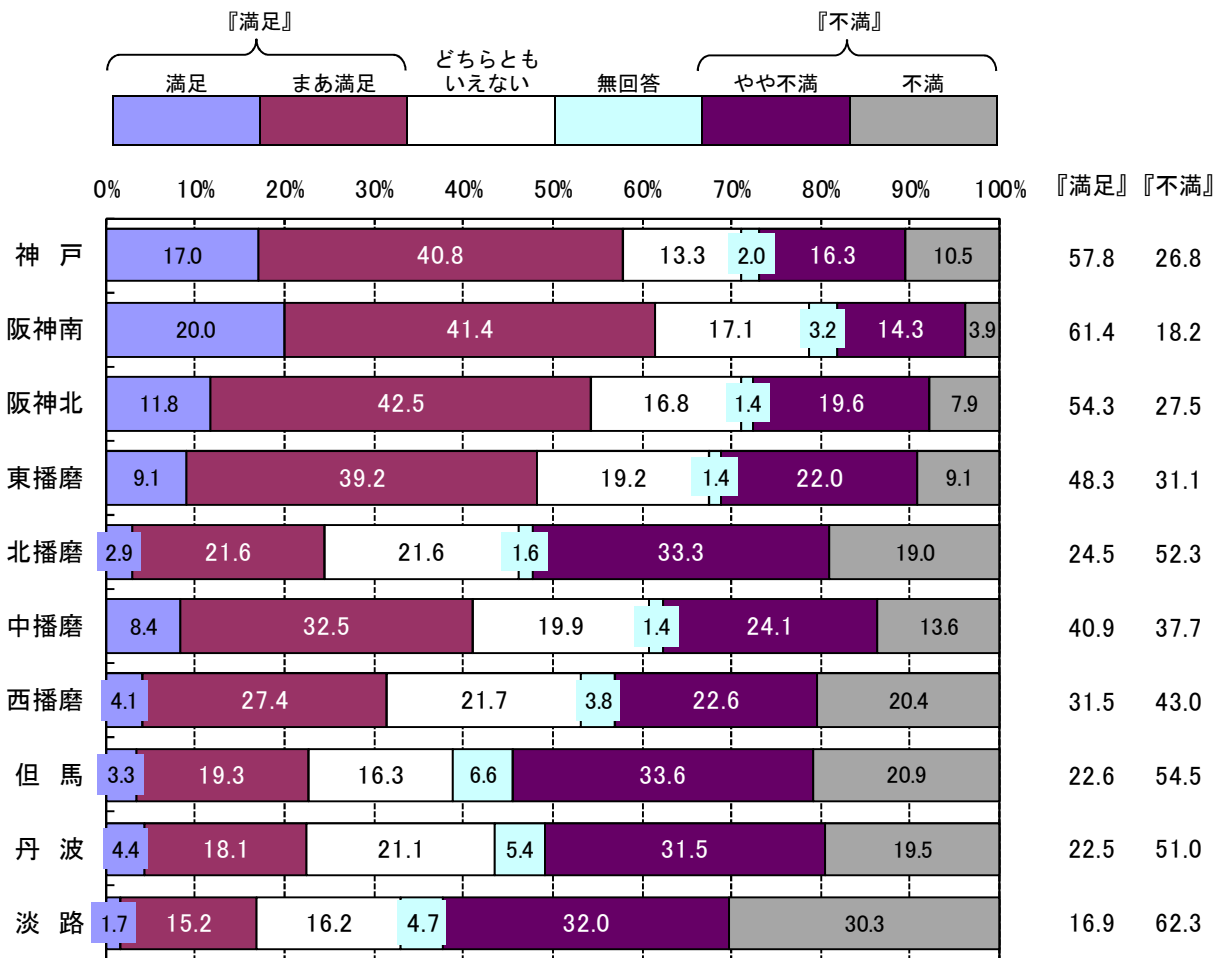
『満足』は、男性は70代が最も高く(60.5%)、女性は20代が最も高い(64.1%)。



〔カ 公共交通、道路整備〕

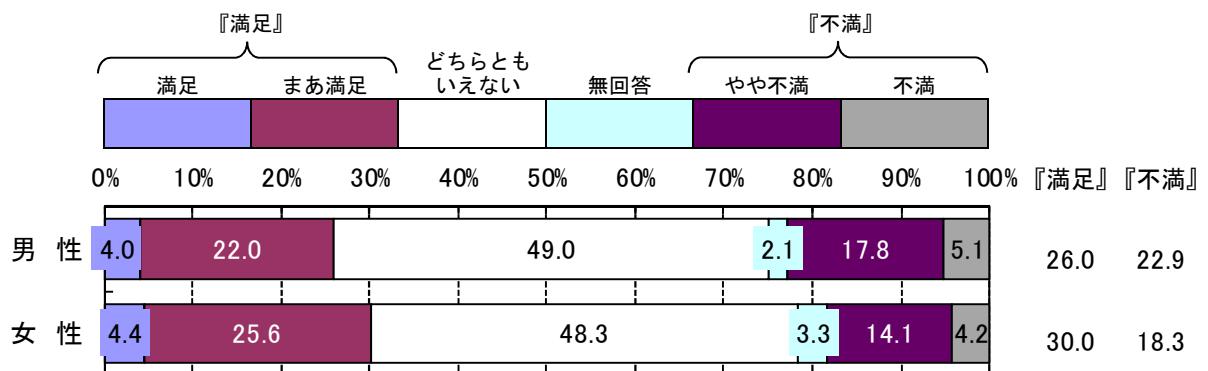
【地域別】

『満足』は、阪神南で最も高く(61.4%)、次いで神戸(57.8%)、阪神北(54.3%)が高い。



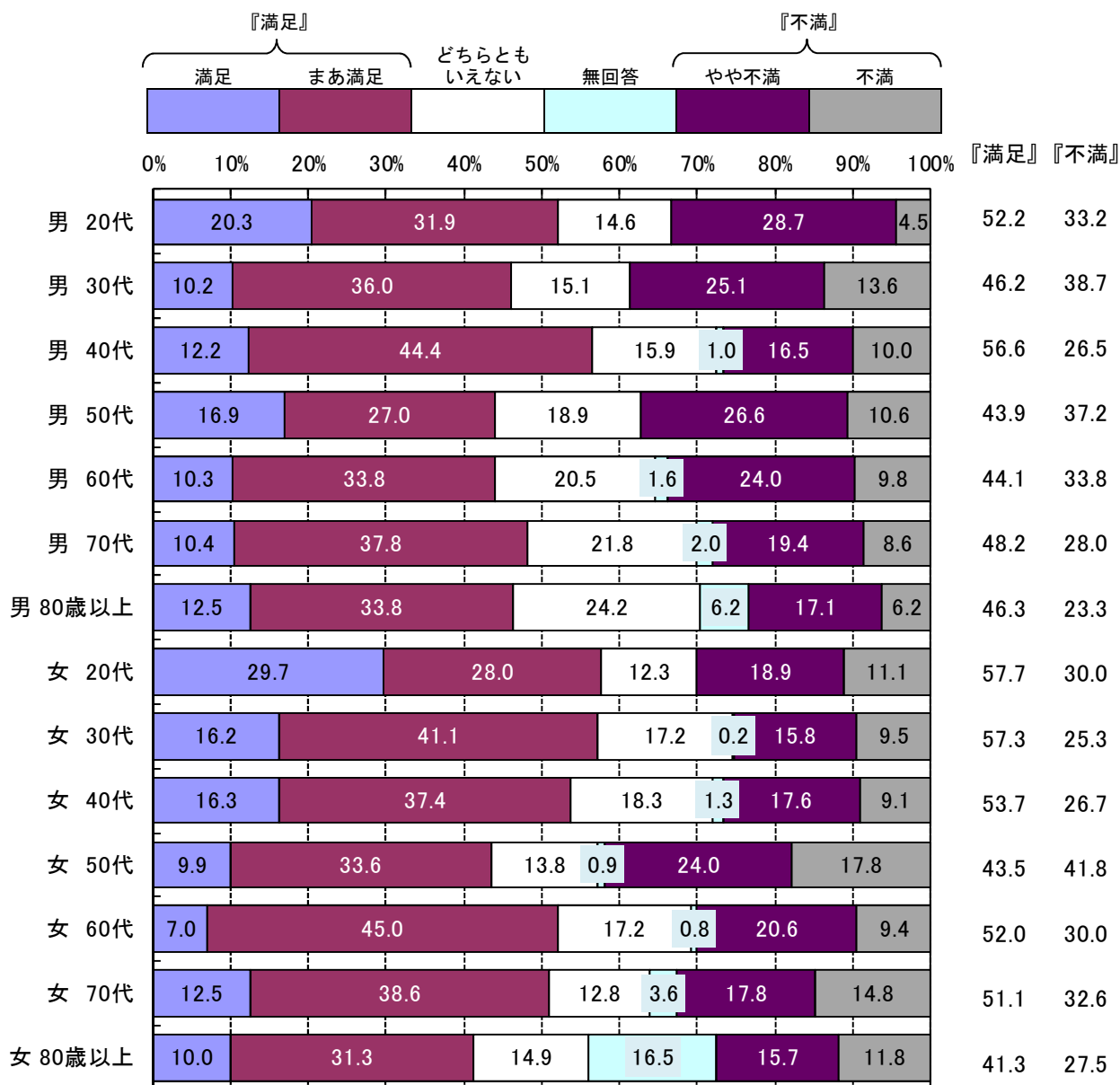
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より2.8ポイント高い。



【性・年代別】

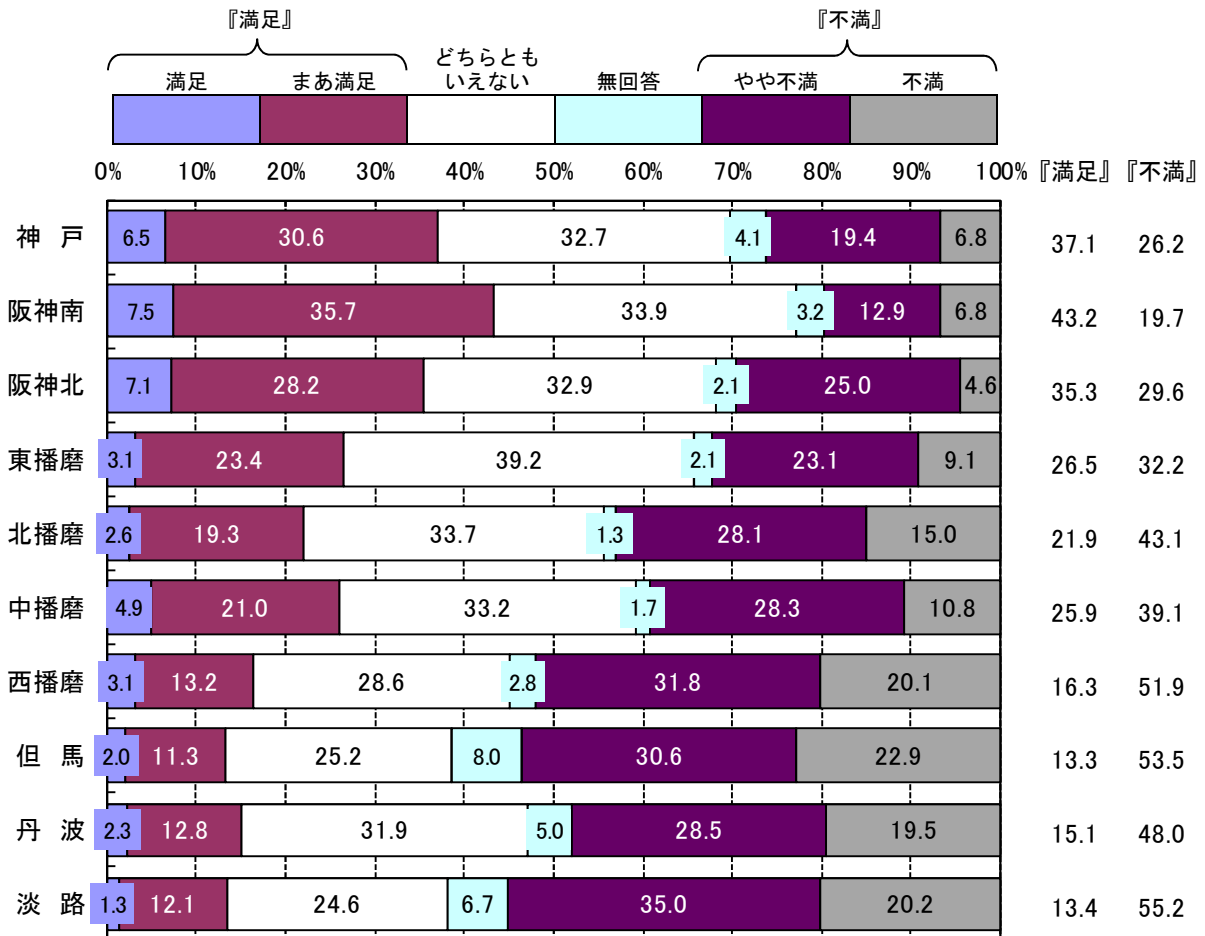
『満足』は、男性は40代が最も高く(56.6%)、女性は20代が最も高い(57.7%)。



〔キ 娯楽・レジャー施設、公園〕

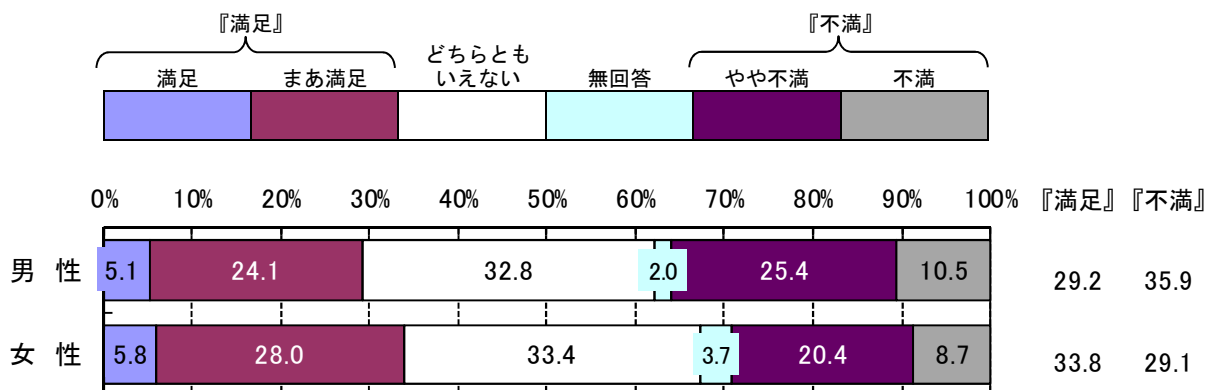
【地域別】

『満足』は阪神南で最も高く(43.2%)、次いで神戸(37.1%)、阪神北(35.3%)が高い。



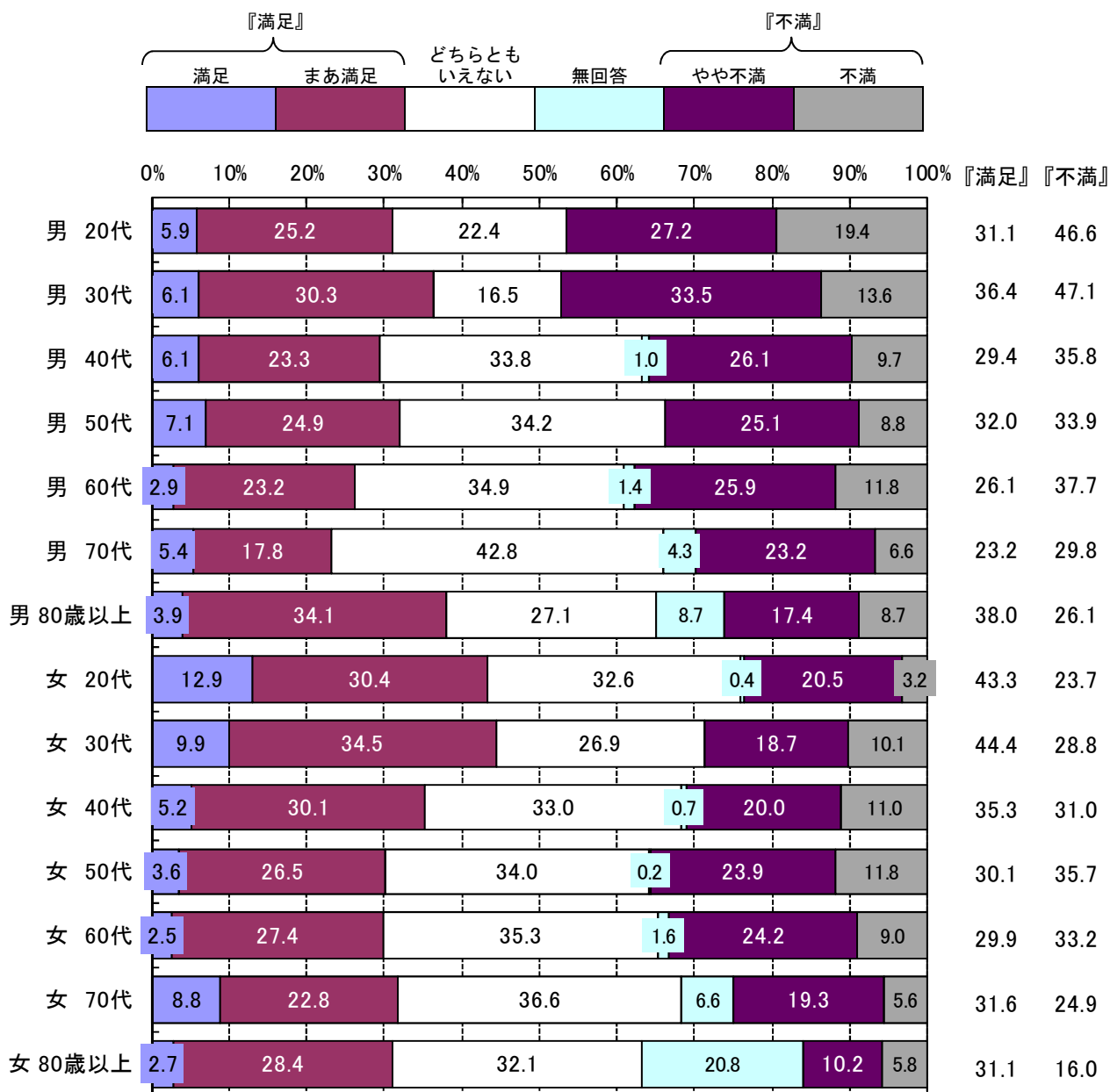
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より4.6ポイント高い。



【性・年代別】

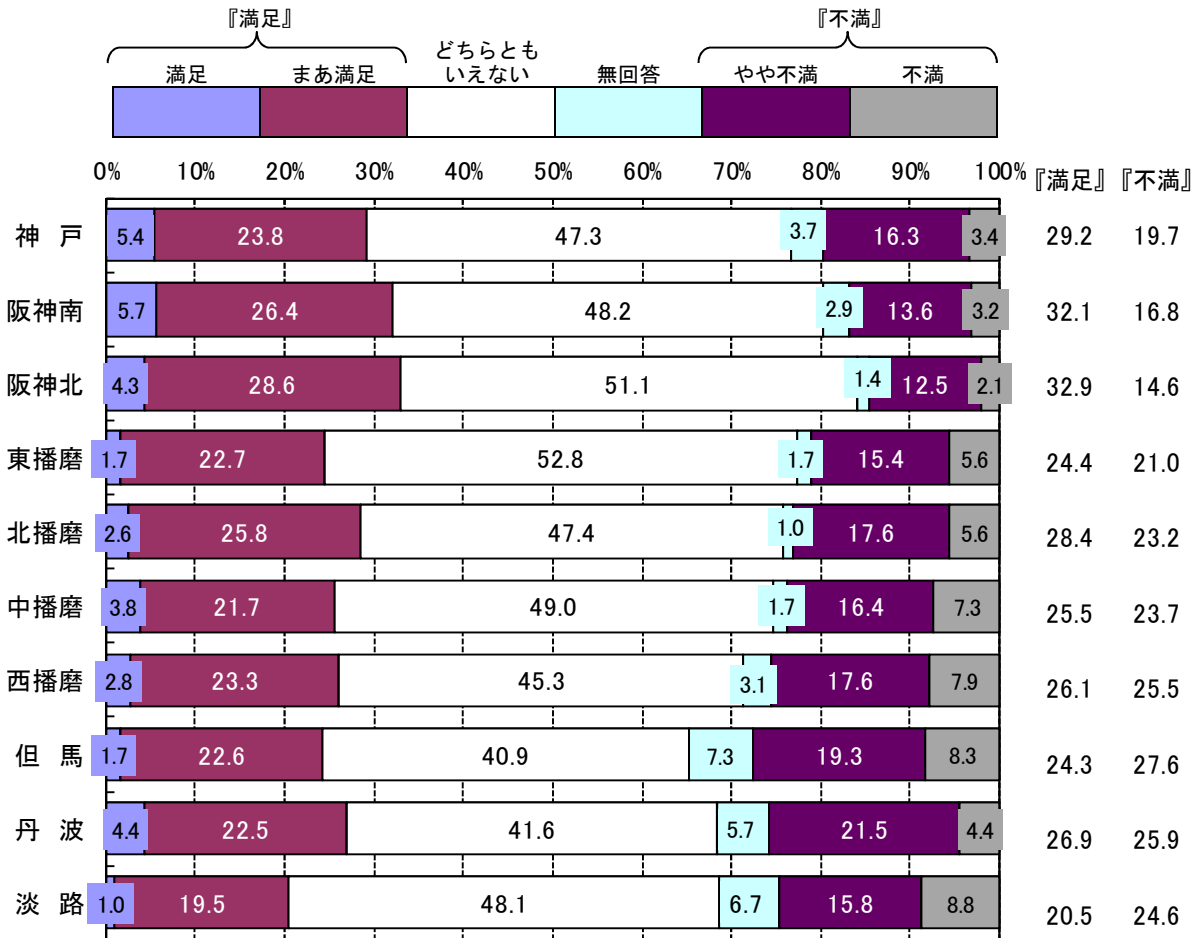
『満足』は、男性は80歳以上が最も高く(38.0%)、女性は30代が最も高い(44.4%)。



〔ク 文化・芸術活動、地域のイベント〕

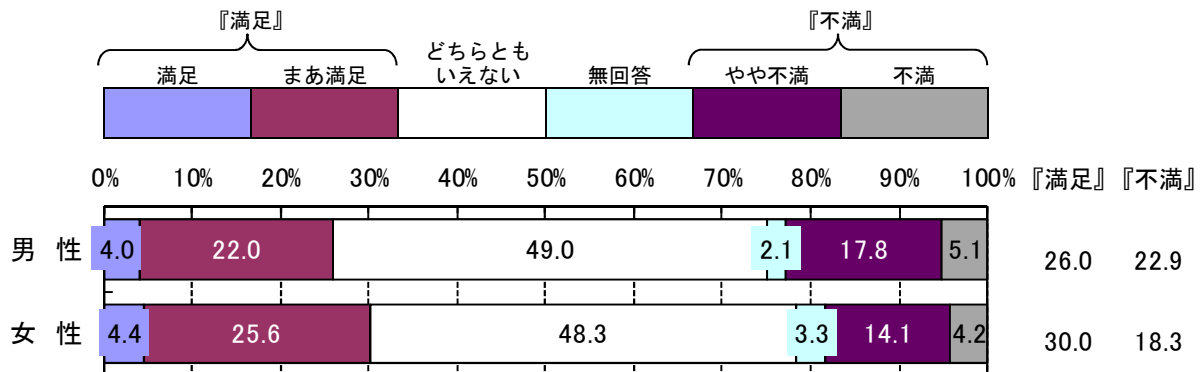
【地域別】

『満足』は、阪神北が最も高く(32.9%)、次いで阪神南(32.1%)、神戸(29.2%)が高い。



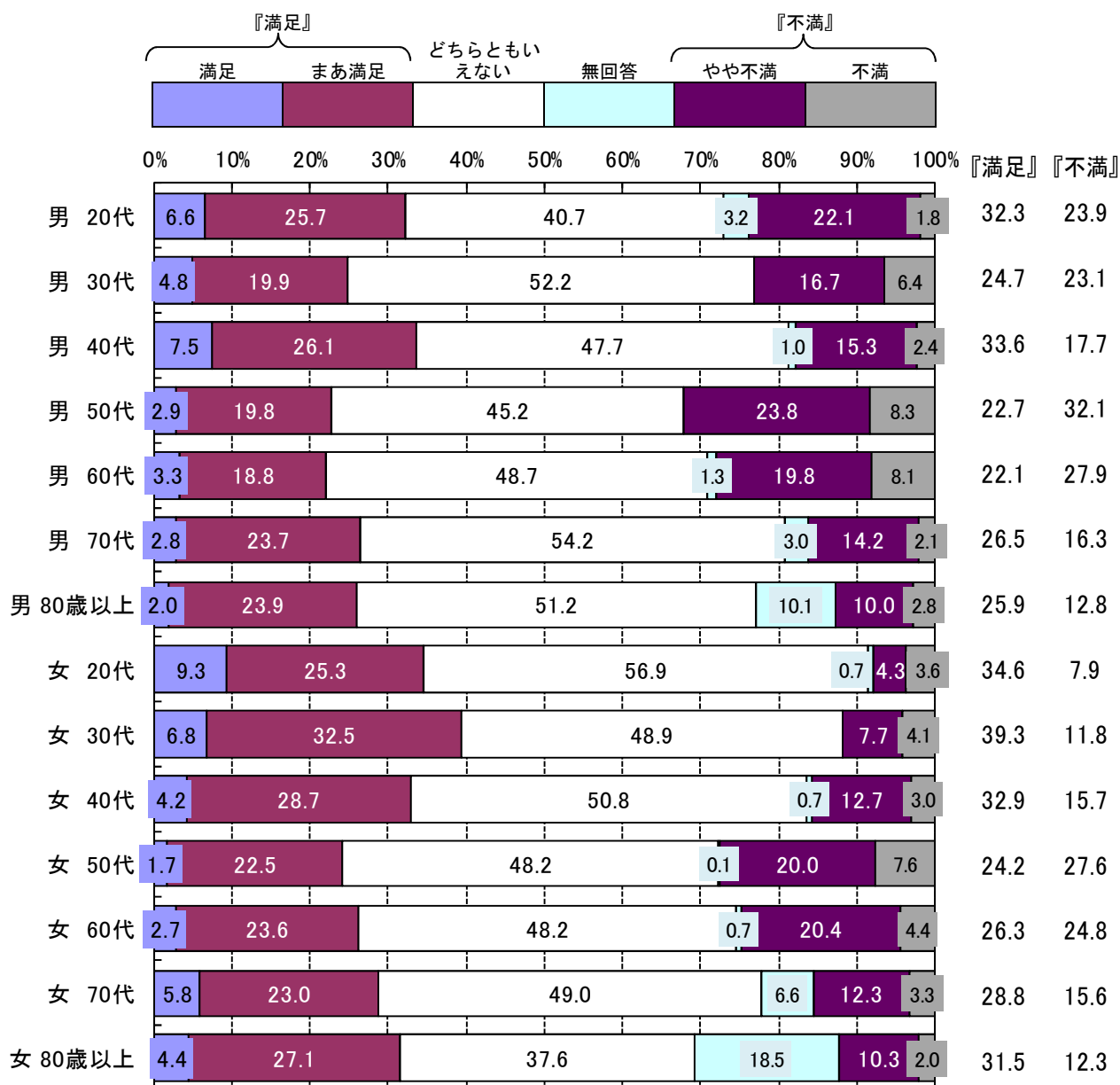
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より4.0ポイント高い。



【性・年代別】

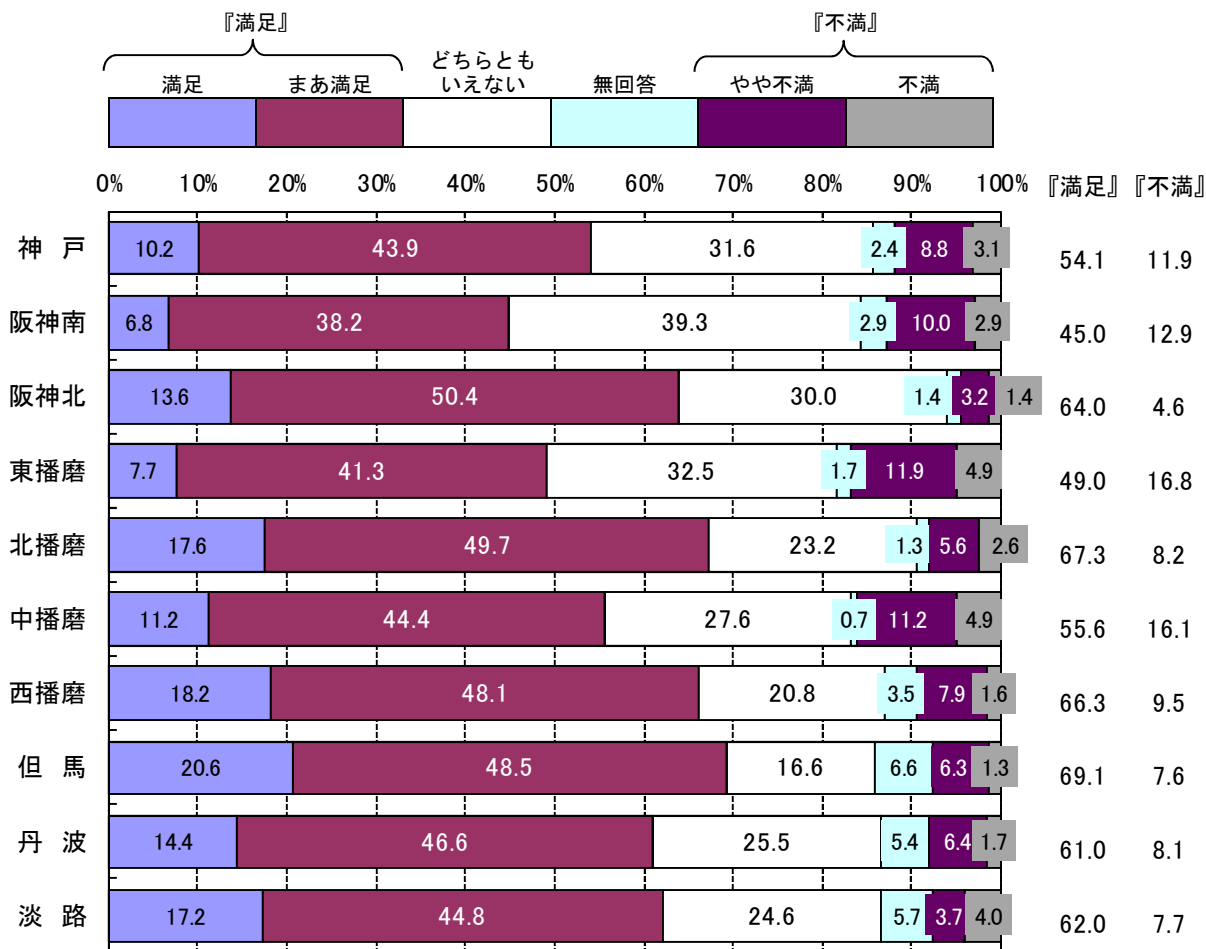
『満足』は、男性は40代で最も高く(33.6%)、女性は30代が最も高い(39.3%)。



〔ケ 大気や水などの環境〕

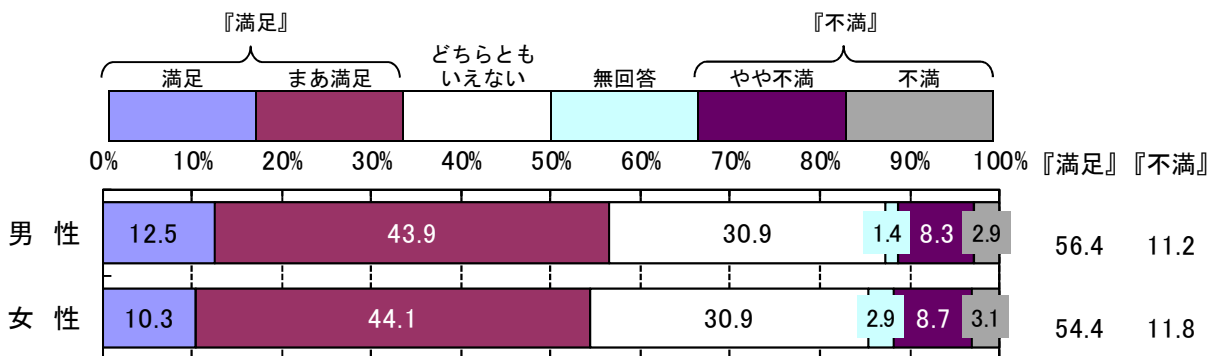
【地域別】

『満足』は但馬で最も高く(69.1%)、次いで北播磨(67.3%)、西播磨(66.3%)が高い。



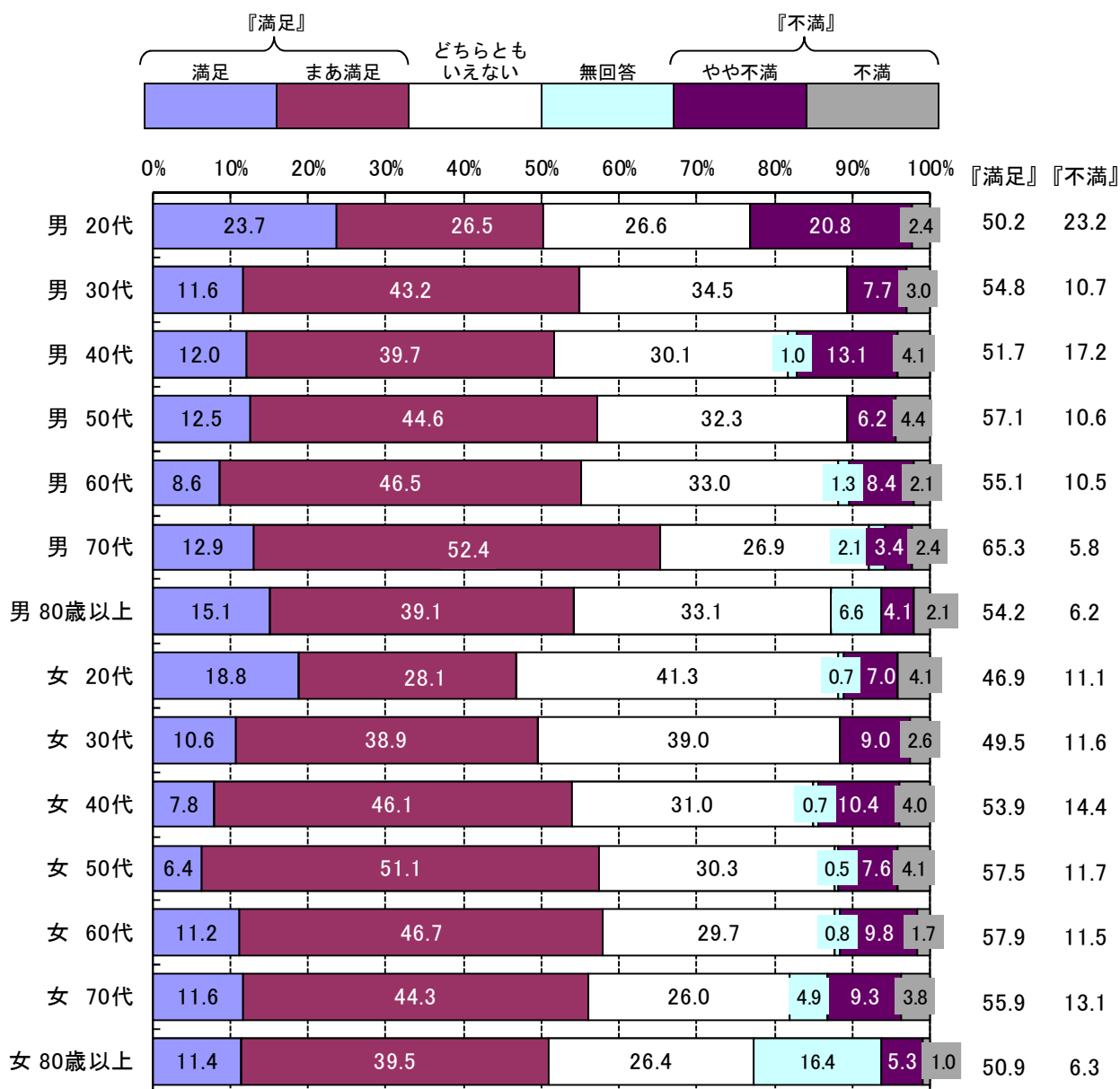
【性別】

『満足』は、男性の方が女性より2.0ポイント高い。



【性・年代別】

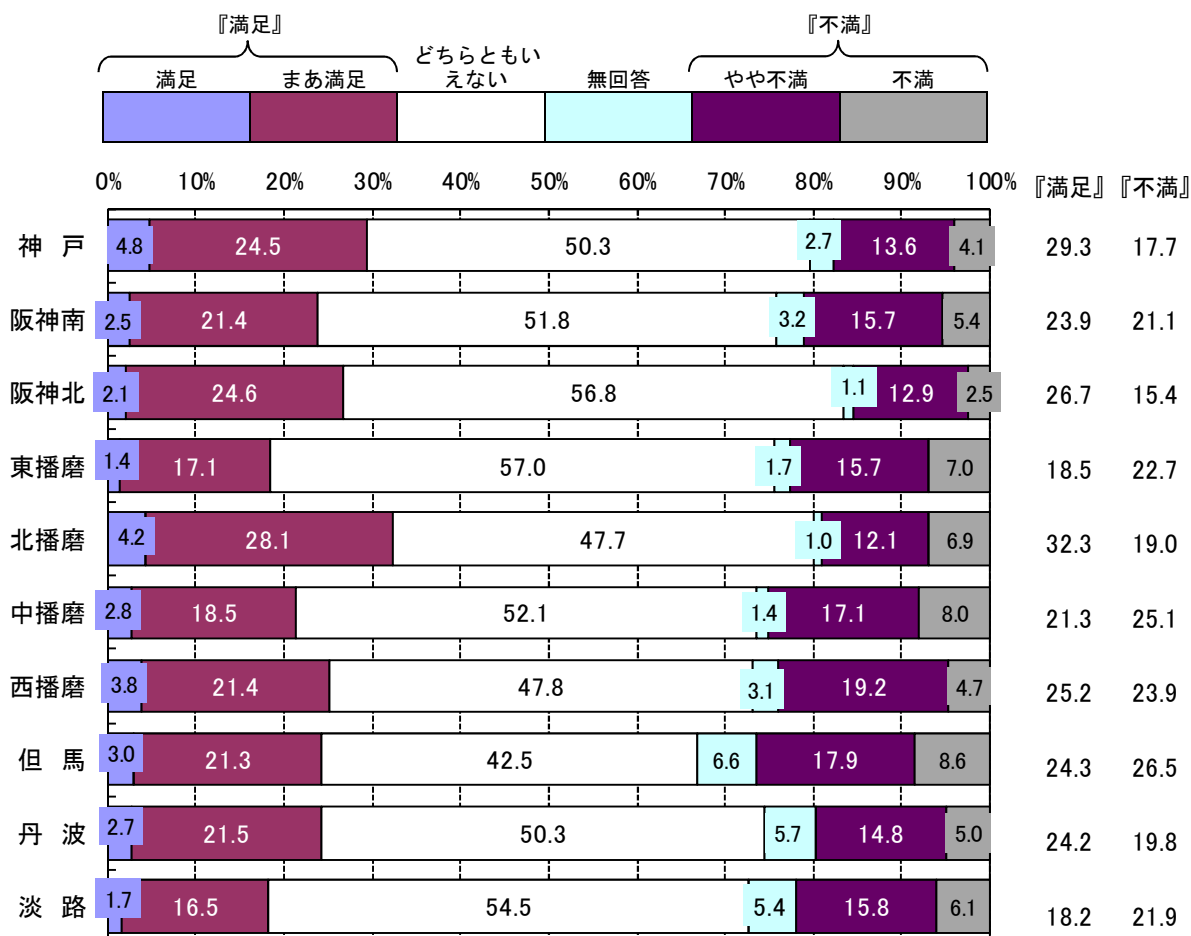
『満足』は、男性は70代が最も高く(65.3%)、女性は60代が最も高い(57.9%)。



〔コ 災害への備え〕

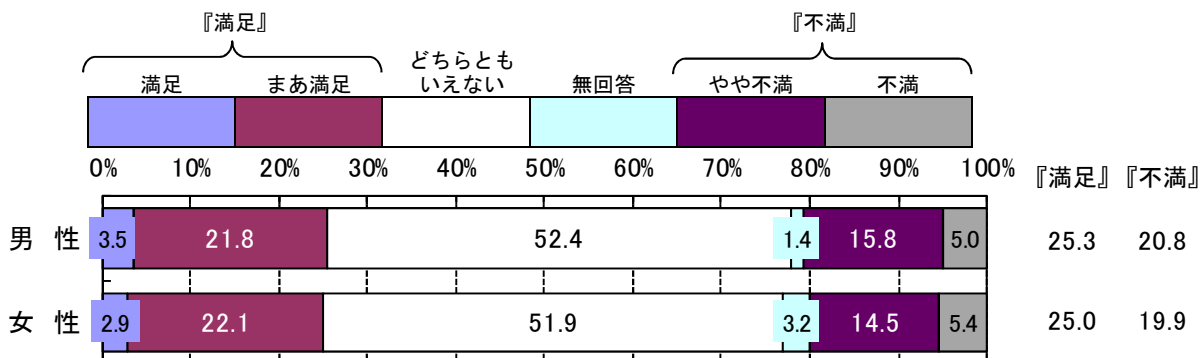
【地域別】

『満足』は北播磨が最も高く(32.3%)、次いで神戸(29.3%)、阪神北(26.7%)が高い。



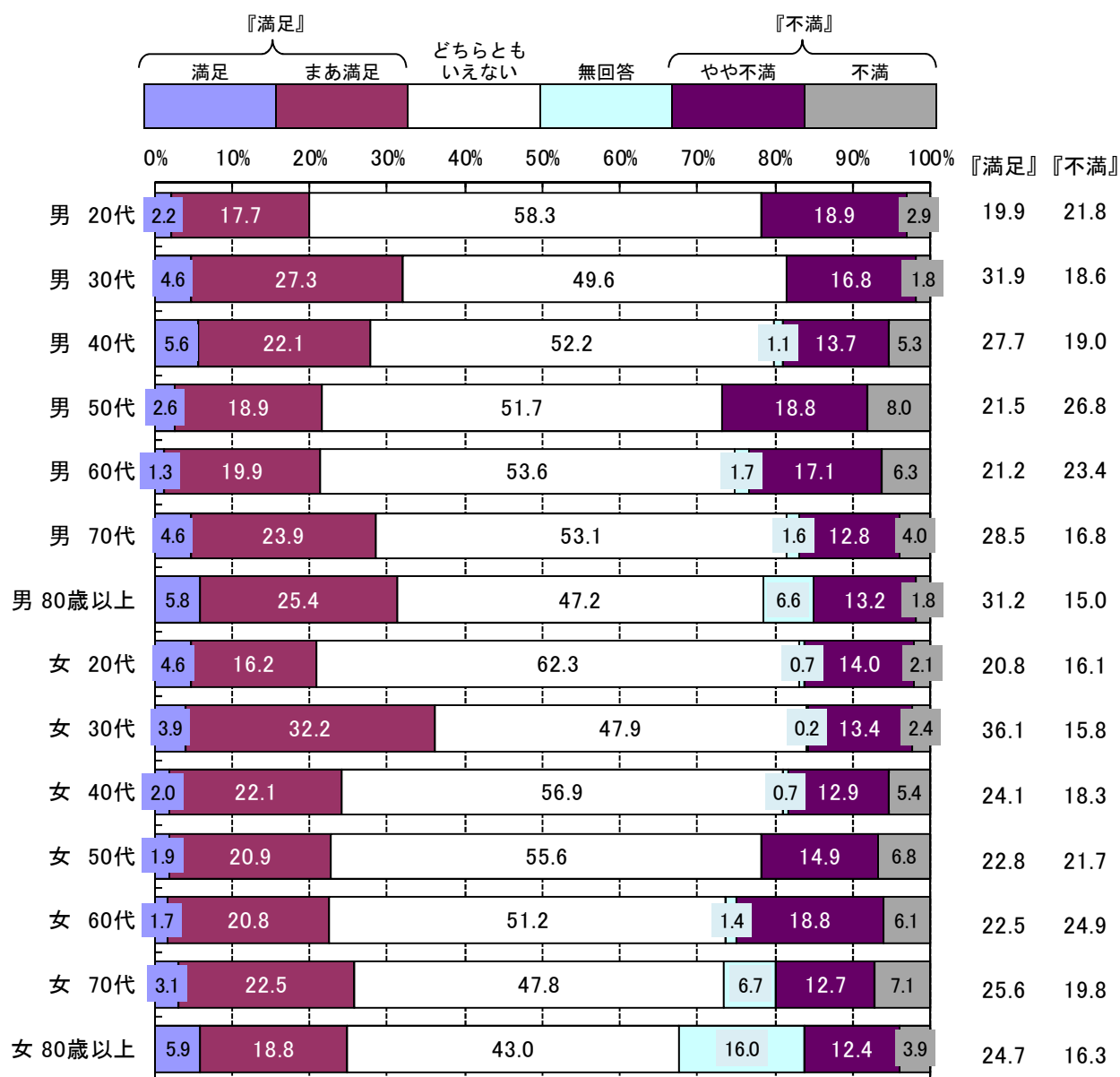
【性別】

『満足』、『不満』ともに男女間の差はない。



【性・年代別】

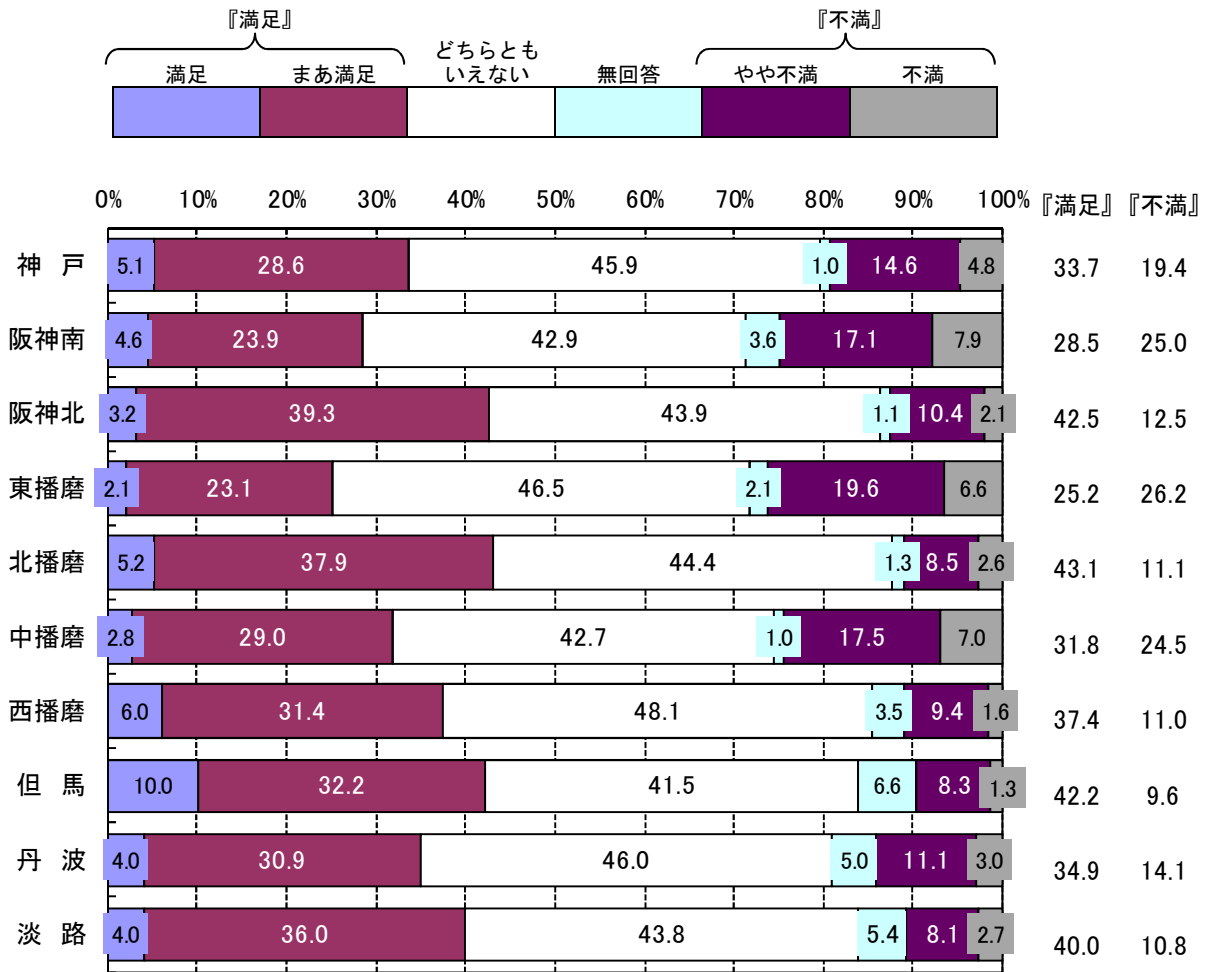
『満足』は、男性は30代で最も高く(31.9%)、女性は30代で最も高い(36.1%)。



〔サ 犯罪・交通事故〕

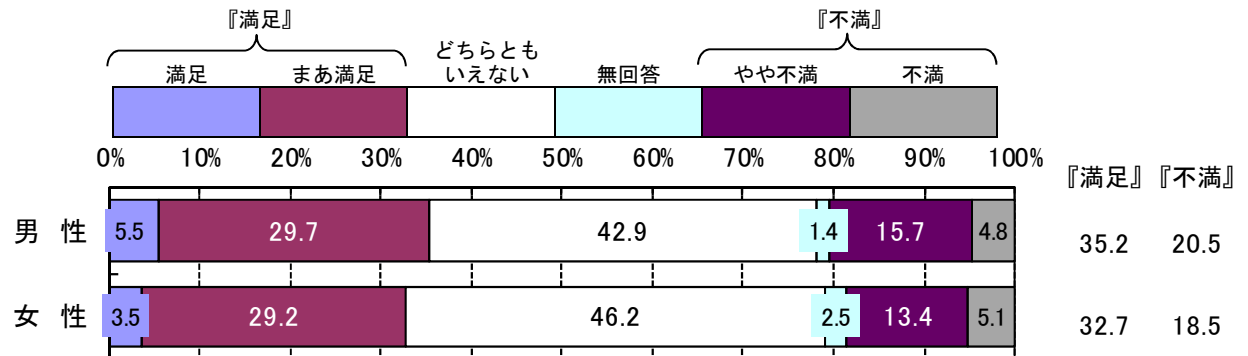
【地域別】

『満足』は、北播磨が最も高く(43.1%)、次いで阪神北(42.5%)、但馬(42.2%)が高い。



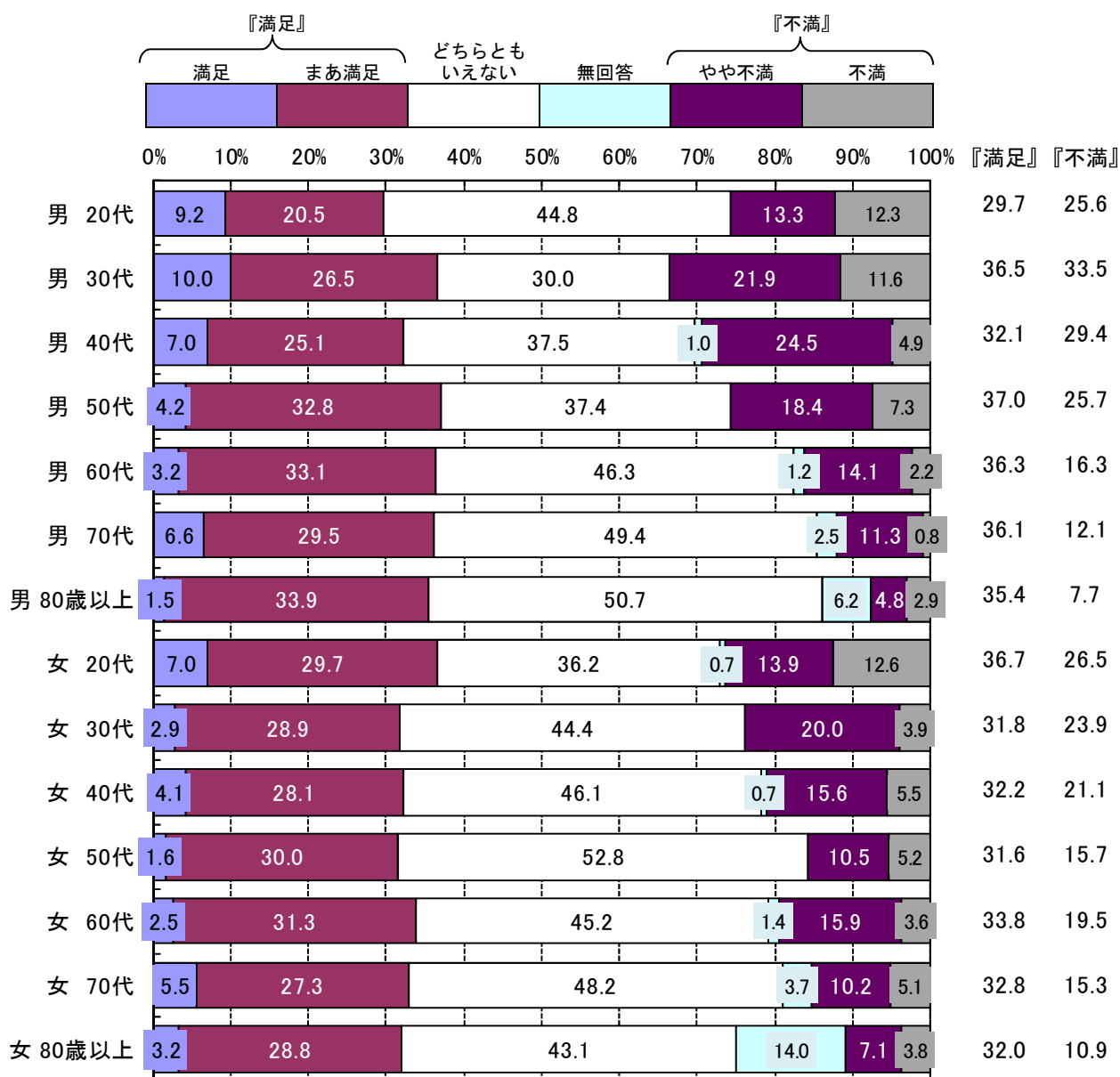
【性別】

『満足』は、男性の方が女性より2.5ポイント高い。



【性・年代別】

『満足』は、男性は50代が最も高く(37.0%)、女性は20代が最も高い(36.7%)。



問3 物の豊かさと心の豊かさ

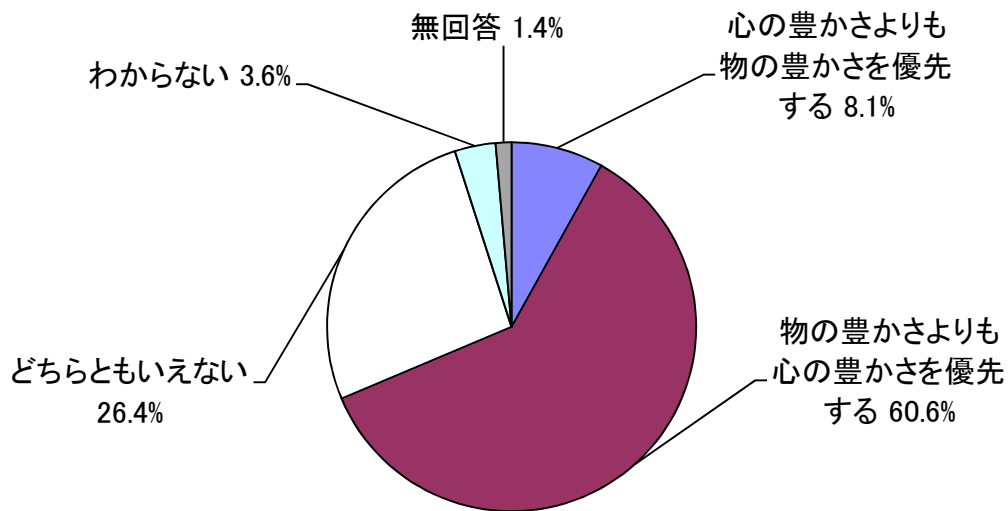
問3

今後の生活において、物の豊かさ心の豊かさに関して、次のような2つの考え方のうち、あなたの考え方に近いものはどちらですか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 1 心の豊かさよりも物の豊かさを優先する
- 2 物の豊かさよりも心の豊かさを優先する
- 3 どちらともいえない
- 4 わからない

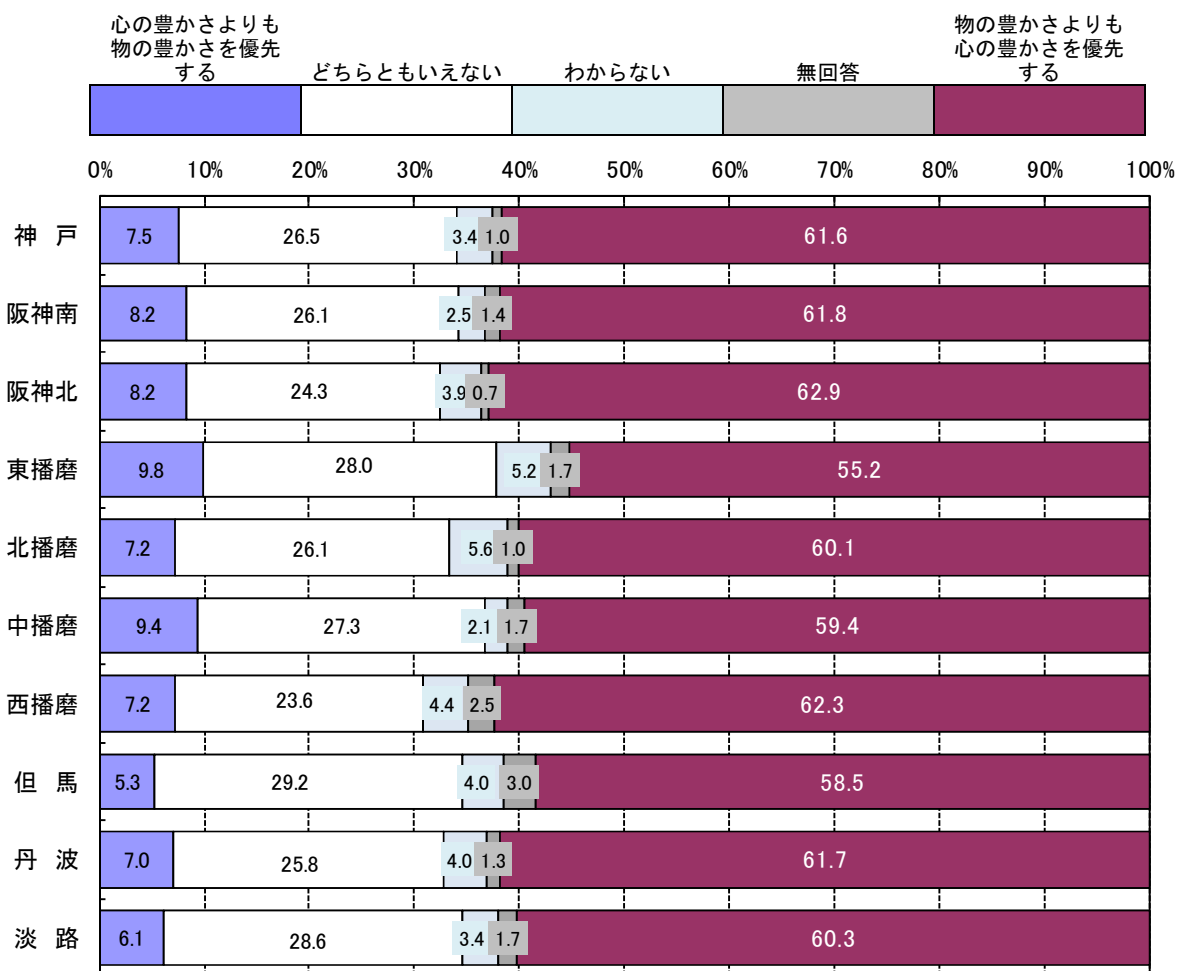
【全県】

「物の豊かさよりも心の豊かさを優先する」は 60.6%、「心の豊かさよりも物の豊かさを優先する」は 8.1%となった。



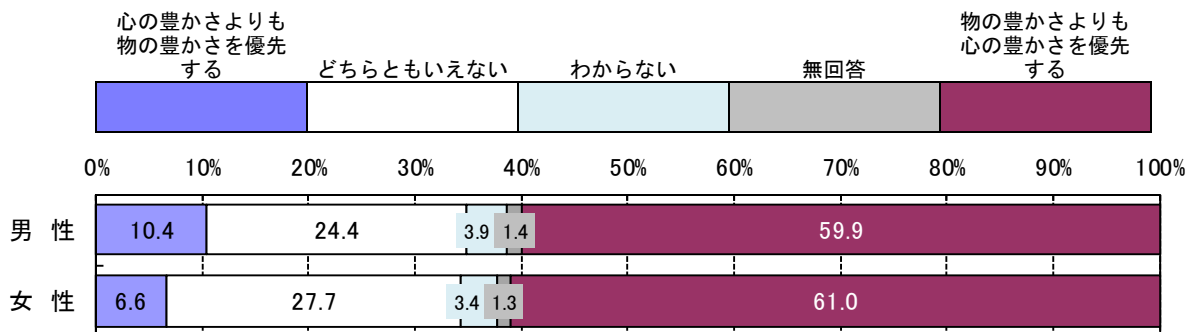
【地域別】

「物の豊かさよりも心の豊かさを優先する」は、阪神北(62.9%)が最も高く、次いで西播磨(62.3%)が高い。



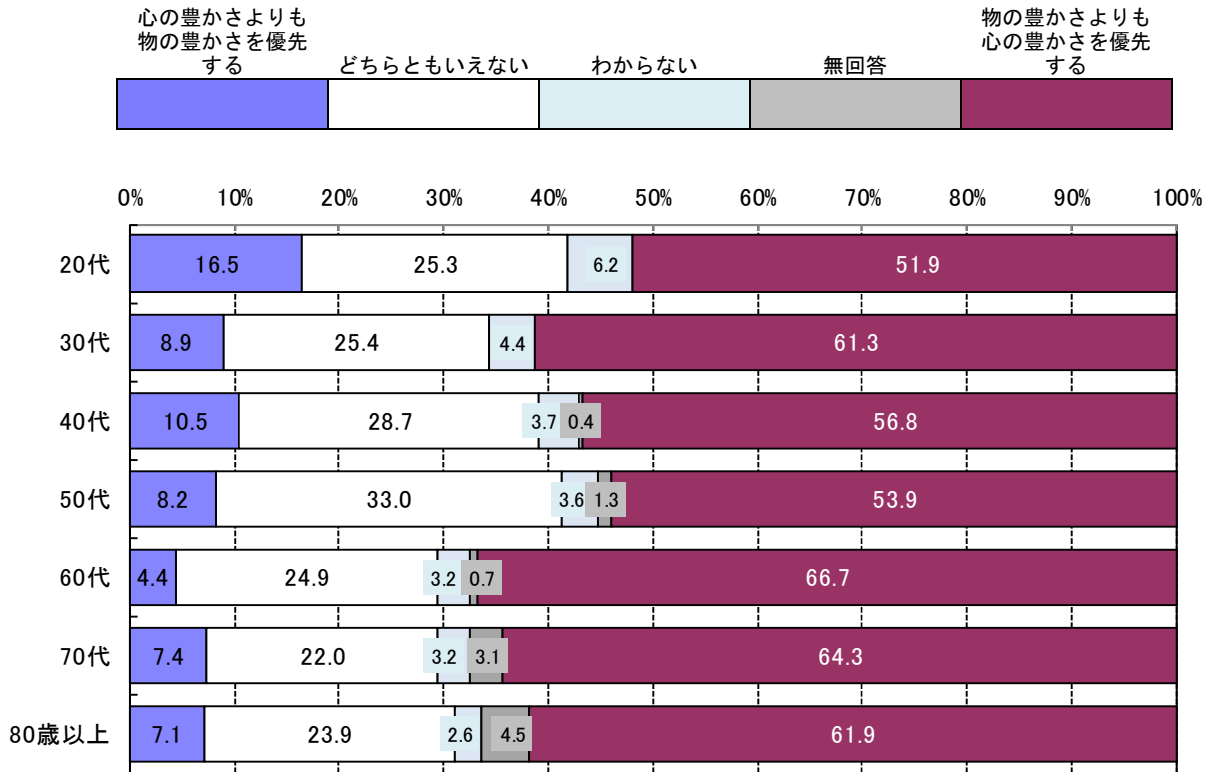
【性別】

「物の豊かさよりも心の豊かさを優先する」は男女間で大きな差はみられないが、「心の豊かさよりも物の豊かさを優先する」は男性の方が女性より3.8ポイント高い。



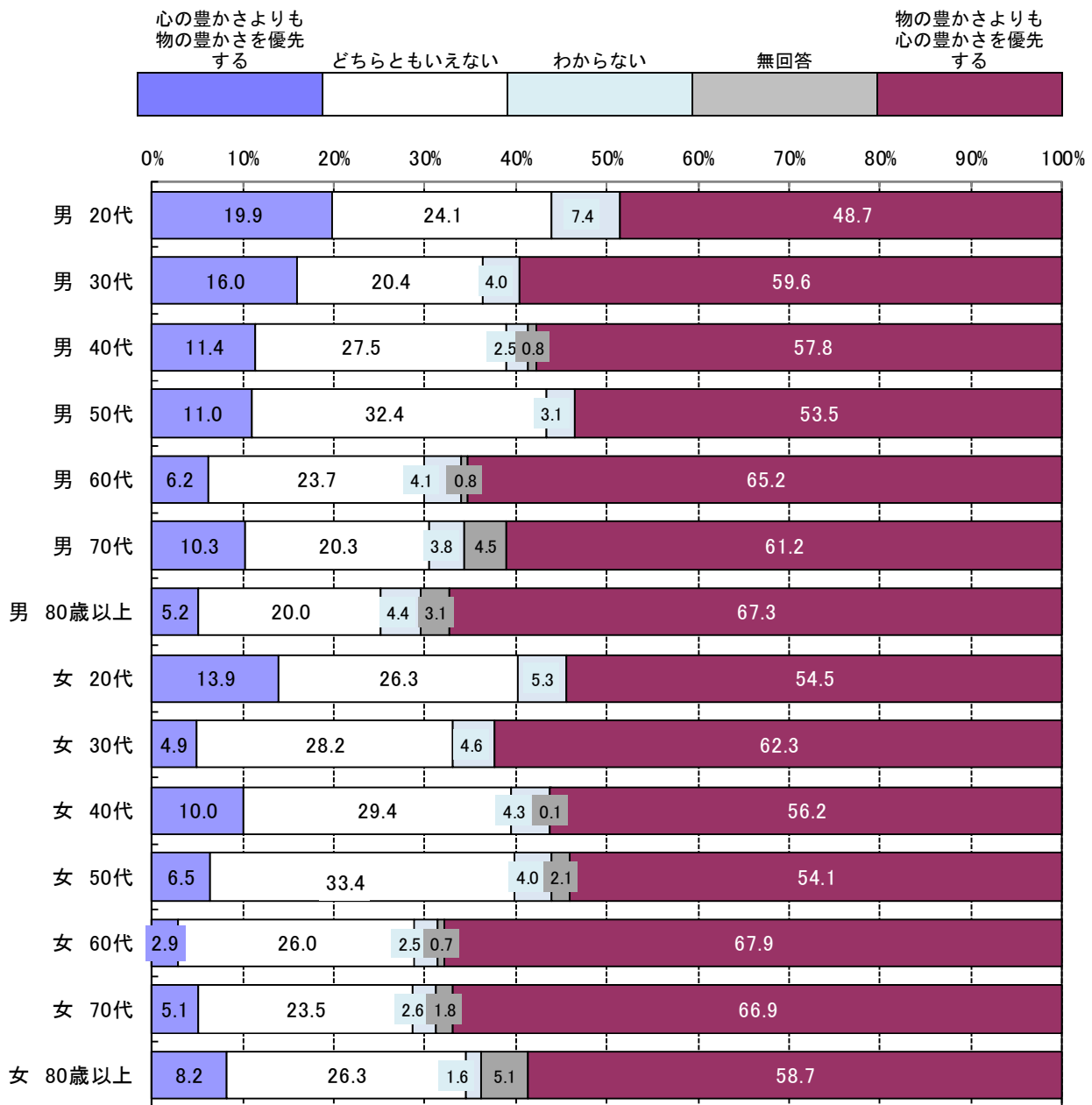
【年代別】

「物の豊かさよりも心の豊かさを優先する」は60代（66.7%）が最も高く、「心の豊かさよりも物の豊かさを優先する」は20代（16.5%）が最も高い。



【性・年代別】

「物の豊かさよりも心の豊かさを優先する」は女性 60 代（67.9%）が最も高く、「心の豊かさよりも物の豊かさを優先する」は男性 20 代（19.9%）が最も高い。



2 「各分野に関する価値観」に関することについて

(ひと・暮らし)

問4 充実感を感じる時

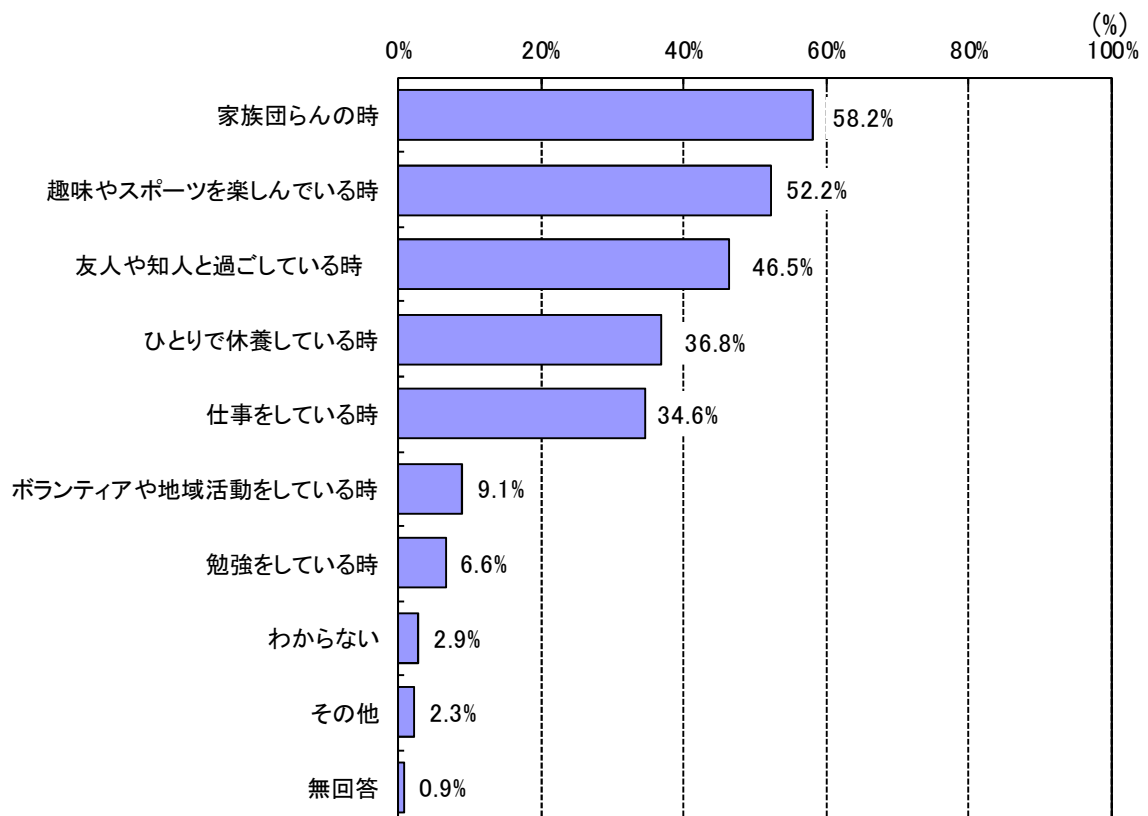
問4

あなたが、日常生活において充実感を感じるのは、主にどのような時ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 仕事をしている時
- 2 勉強をしている時
- 3 趣味やスポーツを楽しんでいる時
- 4 ひとりで休養している時
- 5 家族団らんの時
- 6 友人や知人と過ごしている時
- 7 ボランティアや地域活動をしている時
- 8 その他
- 9 わからない

【全県】

「家族団らんの時(58.2%)」が最も多く、次いで「趣味やスポーツを楽しんでいる時(52.2%)」、「友人や知人と過ごしている時(46.5%)」が多い。



【地域別】

全県で最も多い「家族団らんの時(58.2%)」は北播磨(63.1%)で最も多く、次いで中播磨(61.9%)、東播磨(61.5%)が多い。

区分	家族団らんの時	趣味やスポーツを楽しんでいる時	友人や知人と過ごしている時	ひとりで休養している時	仕事をしている時	最大値		最小値		無回答	
						ボランティアや地域活動をしている時	勉強をしている時	わからない	その他		
全 県	58.2	52.2	46.5	36.8	34.6	9.1	6.6	2.9	2.3	0.9	
地域別	神 戸	57.5	51.7	44.9	39.8	36.1	8.5	8.5	2.7	2.4	0.7
	阪神南	56.1	56.1	48.2	36.1	33.6	7.1	8.2	2.1	3.6	0.4
	阪神北	56.8	52.9	46.4	35.7	31.4	10.4	3.9	3.2	2.5	1.4
	東播磨	61.5	53.1	46.5	36.7	32.5	7.7	6.6	3.8	1.4	1.0
	北播磨	63.1	54.2	43.8	33.0	38.9	11.8	6.2	3.6	1.0	0.7
	中播磨	61.9	51.0	47.6	37.1	33.9	8.0	4.5	3.5	1.7	0.7
	西播磨	59.1	47.2	49.4	38.1	33.3	14.2	5.7	1.9	0.9	1.6
	但 馬	55.1	45.5	47.8	31.9	44.2	15.0	4.7	2.0	3.0	2.0
	丹 波	52.7	46.6	47.7	29.9	38.9	12.8	2.7	2.3	2.0	2.0
	淡 路	53.5	43.1	43.4	30.6	34.0	8.4	4.4	4.0	3.0	1.0
地域間の差	10.4	13.0	6.0	9.9	12.8	7.9	5.8	2.1	2.7	1.6	

【性別】

男性は、「家族団らんの時」と「趣味やスポーツを楽しんでいる時」が 58.9%で最も多い。女性は「家族団らんの時 (58.0%)」が最も多く、次いで「友人や知人と過ごしている時 (52.0%)」が多い。

男女間の差は、「友人や知人と過ごしている時 (男性 38.7%、女性 52.0%)」(13.3 ポイント差) が最も大きい。

区分		家族団らんの時	趣味やスポーツを楽しんでいる時	友人や知人と過ごしている時	ひとりで休養している時	仕事をしている時	ボランティアや地域活動をしている時	勉強をしている時	わからない	その他	無回答
全 県		58.2	52.2	46.5	36.8	34.6	9.1	6.6	2.9	2.3	0.9
性別	男 性	58.9	58.9	38.7	32.5	34.8	8.6	7.0	3.8	1.4	1.0
	女 性	58.0	47.8	52.0	39.7	34.8	9.4	6.4	2.4	3.0	0.8
性別間の差		0.9	11.1	13.3	7.2	0.0	0.8	0.6	1.4	1.6	0.2

【年代別】

30 代以上は、全県と同様に「家族団らんの時」が最も多く、20 代は「趣味やスポーツを楽しんでいる時(69.5%)」が最も多い。

区分		家族団らんの時	趣味やスポーツを楽しんでいる時	友人や知人と過ごしている時	ひとりで休養している時	仕事をしている時	ボランティアや地域活動をしている時	勉強をしている時	わからない	その他	無回答
全 県		58.2	52.2	46.5	36.8	34.6	9.1	6.6	2.9	2.3	0.9
年代別	20代	46.1	69.5	68.2	48.4	33.4	4.1	13.8	3.3	1.8	0.0
	30代	70.3	60.7	48.7	44.1	37.5	2.8	7.2	1.1	1.5	0.0
	40代	67.8	48.3	47.9	41.6	40.9	7.0	5.2	3.5	1.8	0.3
	50代	59.4	53.1	43.2	36.7	42.0	8.7	7.7	2.5	2.7	0.1
	60代	58.6	54.2	44.2	33.8	33.8	11.6	5.7	2.7	2.9	0.7
	70代	53.0	51.0	44.5	29.2	29.8	13.0	5.0	3.6	1.7	1.7
	80歳以上	44.9	33.5	41.5	32.7	21.0	10.5	6.9	4.2	4.0	3.5
年代間の差		25.4	36.0	26.7	19.2	21.0	10.2	8.8	3.1	2.5	3.5

【性・年代別】

男性の20代、50代は「趣味やスポーツを楽しんでいる時」が最も多く(20代72.0%、50代68.3%)、女性20代は「友人や知人と過ごしている時」が最も多い(75.2%)。その他は全県と同様に「家族団らんの時」が最も多い。

区分		最大値										最小値										(%)
		家族団らんの時	趣味やスポーツを楽しんでいる時	友人や知人と過ごしている時	ひとりで休養している時	仕事をしている時	ボランティアや地域活動をしている時	勉強をしている時	わからない	その他	無回答	家族団らんの時	趣味やスポーツを楽しんでいる時	友人や知人と過ごしている時	ひとりで休養している時	仕事をしている時	ボランティアや地域活動をしている時	勉強をしている時	わからない	その他	無回答	
全 県		58.2	52.2	46.5	36.8	34.6	9.1	6.6	2.9	2.3	0.9	58.2	52.2	46.5	36.8	34.6	9.1	6.6	2.9	2.3	0.9	
男性・年代別	20代	41.7	72.0	59.3	43.1	27.6	2.9	10.0	6.2	1.7	0.0	41.7	72.0	59.3	43.1	27.6	2.9	10.0	6.2	1.7	0.0	
	30代	70.4	68.8	36.1	40.6	36.7	3.3	8.5	0.3	0.2	0.0	70.4	68.8	36.1	40.6	36.7	3.3	8.5	0.3	0.2	0.0	
	40代	65.8	54.7	44.1	35.7	40.6	10.5	7.4	4.4	1.7	0.9	65.8	54.7	44.1	35.7	40.6	10.5	7.4	4.4	1.7	0.9	
	50代	59.6	68.3	31.9	32.2	38.2	7.8	5.5	1.6	1.8	0.0	59.6	68.3	31.9	32.2	38.2	7.8	5.5	1.6	1.8	0.0	
	60代	60.9	56.8	35.4	29.5	35.7	9.3	6.5	3.9	0.9	1.1	60.9	56.8	35.4	29.5	35.7	9.3	6.5	3.9	0.9	1.1	
	70代	56.9	54.7	35.4	26.7	32.7	10.0	4.7	4.9	1.5	1.3	56.9	54.7	35.4	26.7	32.7	10.0	4.7	4.9	1.5	1.3	
	80歳以上	45.7	40.5	44.3	31.2	24.0	12.8	11.9	5.5	2.2	4.0	45.7	40.5	44.3	31.2	24.0	12.8	11.9	5.5	2.2	4.0	
男性・年代間の差		28.7	31.5	27.4	16.4	16.6	9.9	7.2	5.9	2.0	4.0	28.7	31.5	27.4	16.4	16.6	9.9	7.2	5.9	2.0	4.0	
女性・年代別	20代	49.5	67.5	75.2	52.6	38.1	5.1	16.9	1.0	1.8	0.0	49.5	67.5	75.2	52.6	38.1	5.1	16.9	1.0	1.8	0.0	
	30代	70.2	56.2	55.7	46.1	37.9	2.6	6.5	1.5	2.2	0.0	70.2	56.2	55.7	46.1	37.9	2.6	6.5	1.5	2.2	0.0	
	40代	69.1	44.4	50.2	45.1	41.0	4.9	3.9	2.9	1.9	0.0	69.1	44.4	50.2	45.1	41.0	4.9	3.9	2.9	1.9	0.0	
	50代	59.3	43.4	50.5	39.6	44.4	9.4	9.2	3.0	3.3	0.1	59.3	43.4	50.5	39.6	44.4	9.4	9.2	3.0	3.3	0.1	
	60代	56.7	52.0	51.5	37.4	32.2	13.6	5.1	1.7	4.6	0.3	56.7	52.0	51.5	37.4	32.2	13.6	5.1	1.7	4.6	0.3	
	70代	49.9	48.1	51.8	31.3	27.4	15.5	5.2	2.5	1.8	1.9	49.9	48.1	51.8	31.3	27.4	15.5	5.2	2.5	1.8	1.9	
	80歳以上	44.4	29.7	40.1	33.8	19.4	9.3	4.2	3.4	5.0	3.1	44.4	29.7	40.1	33.8	19.4	9.3	4.2	3.4	5.0	3.1	
女性・年代間の差		25.8	37.8	35.1	21.3	25.0	12.9	13.0	2.4	3.2	3.1	25.8	37.8	35.1	21.3	25.0	12.9	13.0	2.4	3.2	3.1	

問5 仕事と家庭のバランス

問5

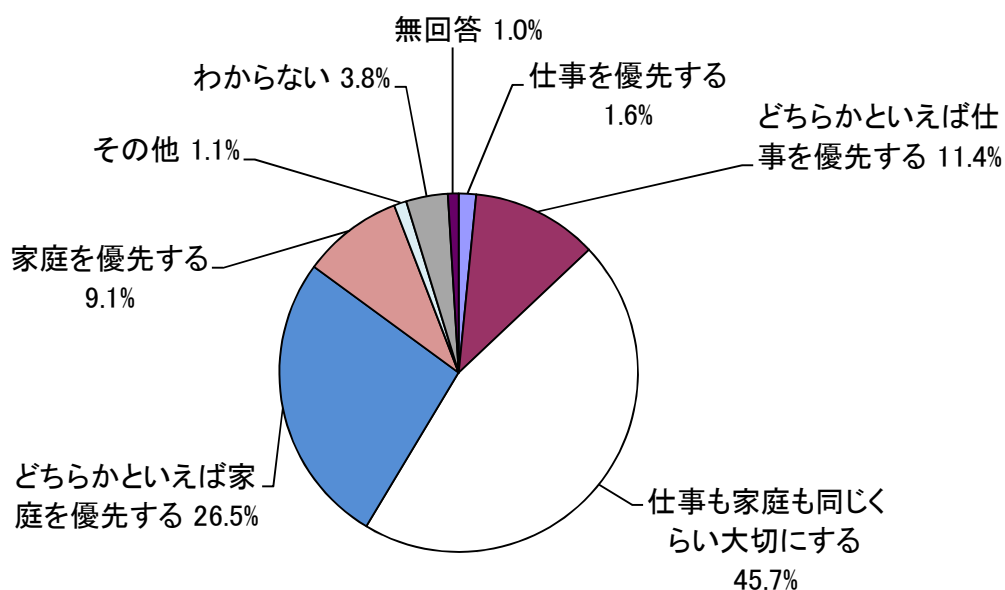
理想的な仕事と家庭（家事・育児・介護など）のバランスはどのようなものだと思いますか。あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 仕事を優先する
- 2 どちらかといえば仕事を優先する
- 3 仕事も家庭も同じくらい大切にする
- 4 どちらかといえば家庭を優先する
- 5 家庭を優先する
- 6 その他
- 7 わからない

【全県】

「仕事も家庭も同じくらい大切にする（45.7%）」が最も多い。

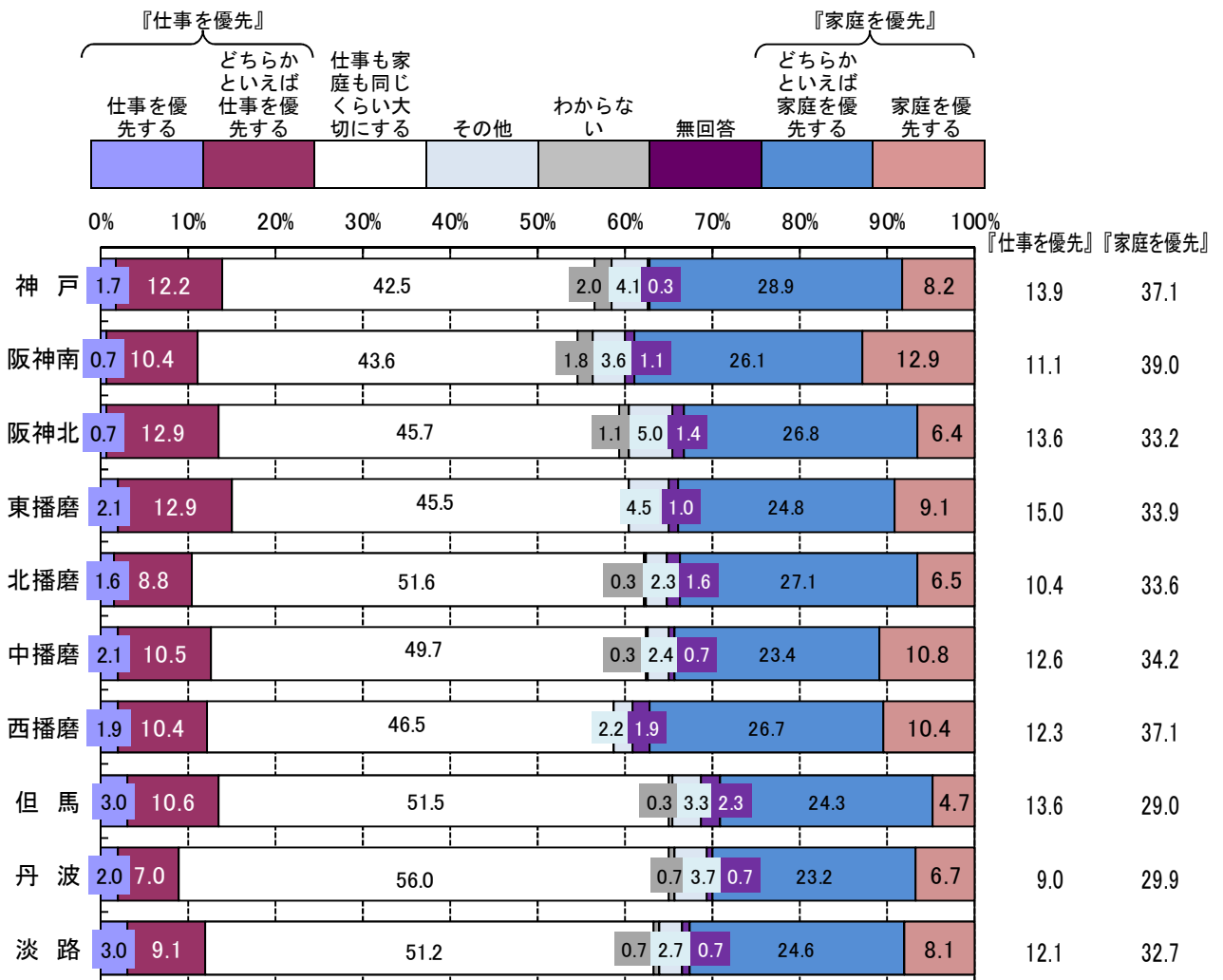
「家庭を優先する（9.1%）」と、「どちらかといえば家庭を優先する（26.5%）」を合わせた『家庭を優先（35.6%）』が、「仕事を優先する（1.6%）」と、「どちらかといえば仕事を優先する（11.4%）」を合わせた『仕事を優先（13.0%）』を22.6ポイント上回った。



『仕事を優先』	13.0%
=「仕事を優先する」	
+「どちらかといえば仕事を優先する」	
『家庭を優先』	35.6%
=「家庭を優先する」	
+「どちらかといえば家庭を優先する」	

【地域別】

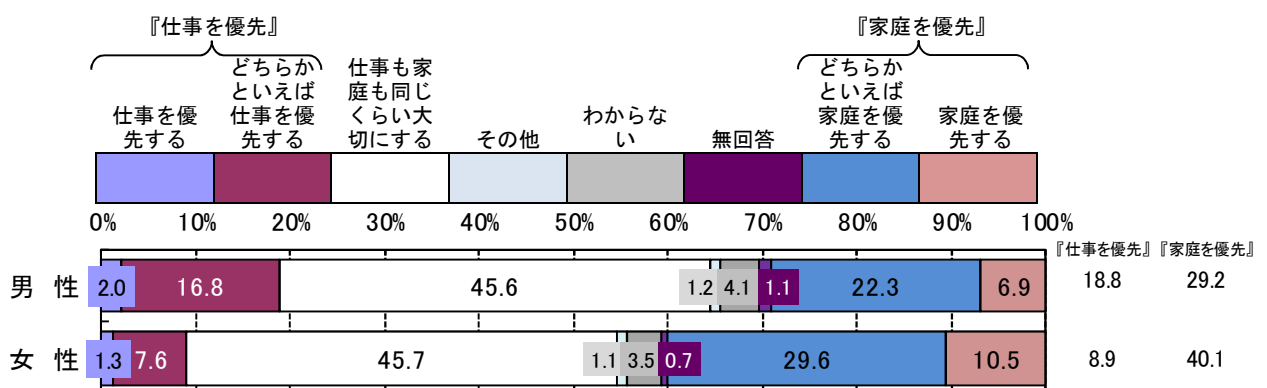
全県で最も高い「仕事も家庭も同じくらい大切にする（45.7%）」は丹波で最も高く（56.0%）、次いで北播磨（51.6%）、但馬（51.5%）が高い。



【性別】

男性、女性とも「仕事も家庭も同じくらい大切にする」が最も高い(男性 45.6%、女性 45.7%)。

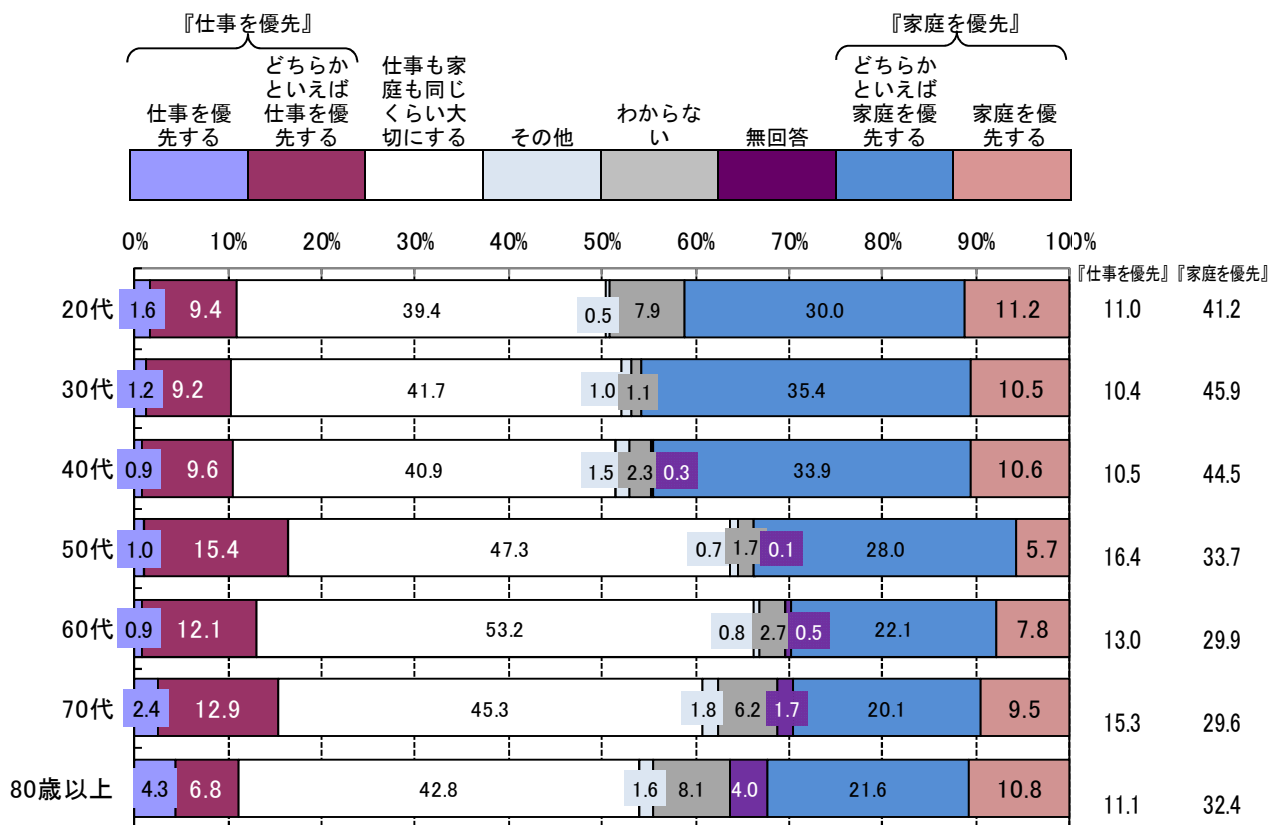
『仕事を優先』は、男性の方が女性より 9.9 ポイント高く、『家庭を優先』は、女性の方が男性より 10.9 ポイント高い。



【年代別】

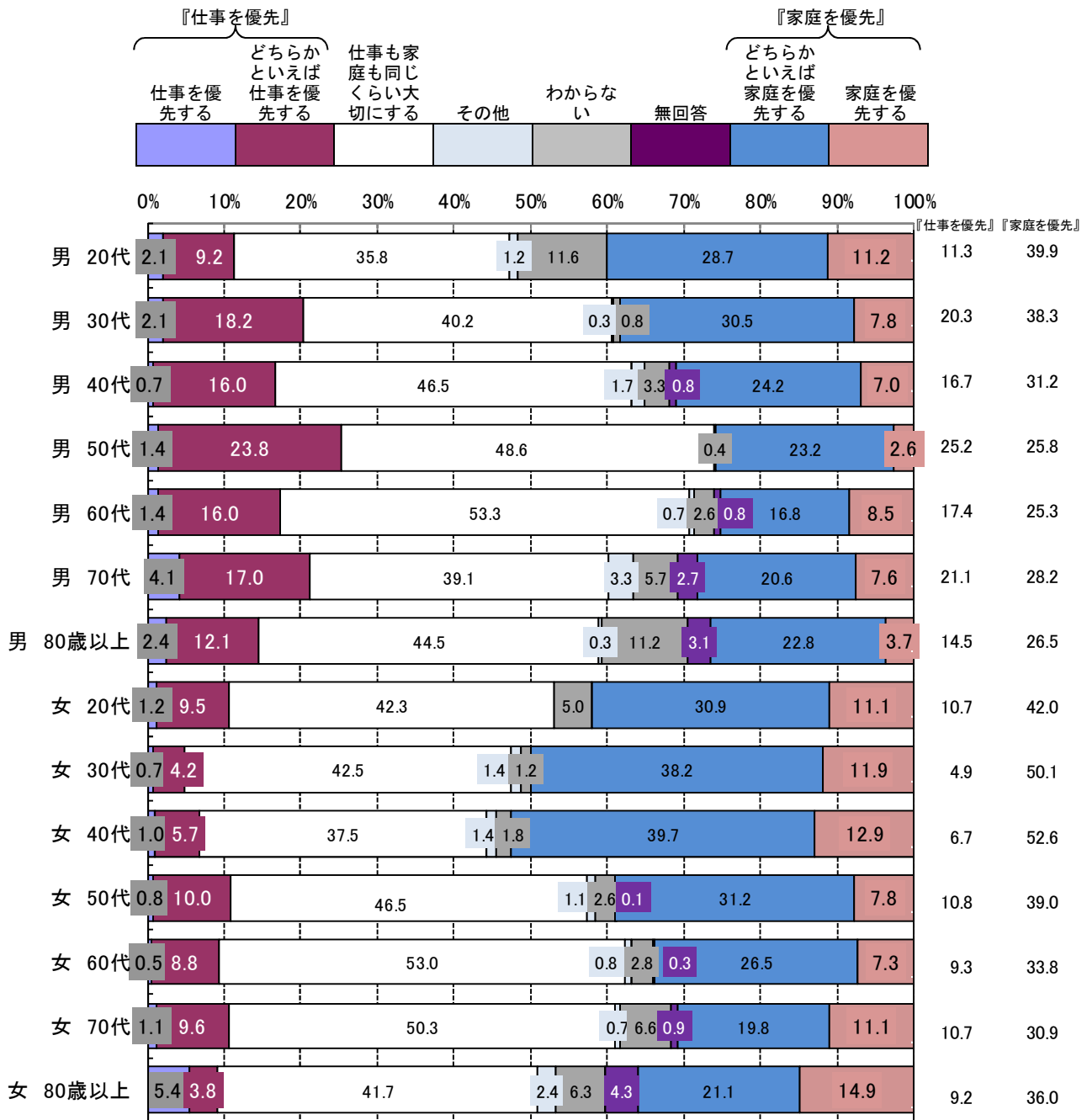
「仕事も家庭も同じくらい大切にする」は60代(53.2%)が最も高い。

『家庭を優先』は、30代(45.9%)が最も高く、次いで40代(44.5%)、20代(41.2%)が高い。



【性・年代別】

『仕事を優先』は男性50代で最も高く(25.2%)、『家庭を優先』は40代女性で最も高い(52.6%)。



問6 三世代の暮らし方

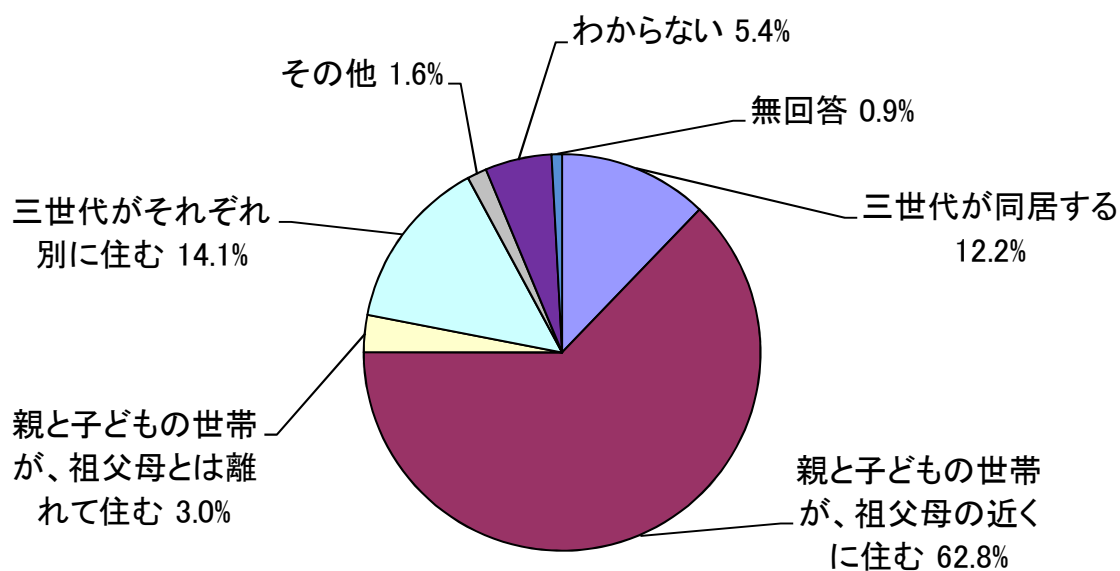
問6

あなたは、一般的に、三世代（祖父母、親、子ども）がどのように暮らすのがよいと思いますか。あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 三世代が同居する
- 2 親と子どもの世帯が、祖父母の近くに住む
- 3 親と子どもの世帯が、祖父母とは離れて住む
- 4 三世代がそれぞれ別に住む
- 5 その他
- 6 わからない

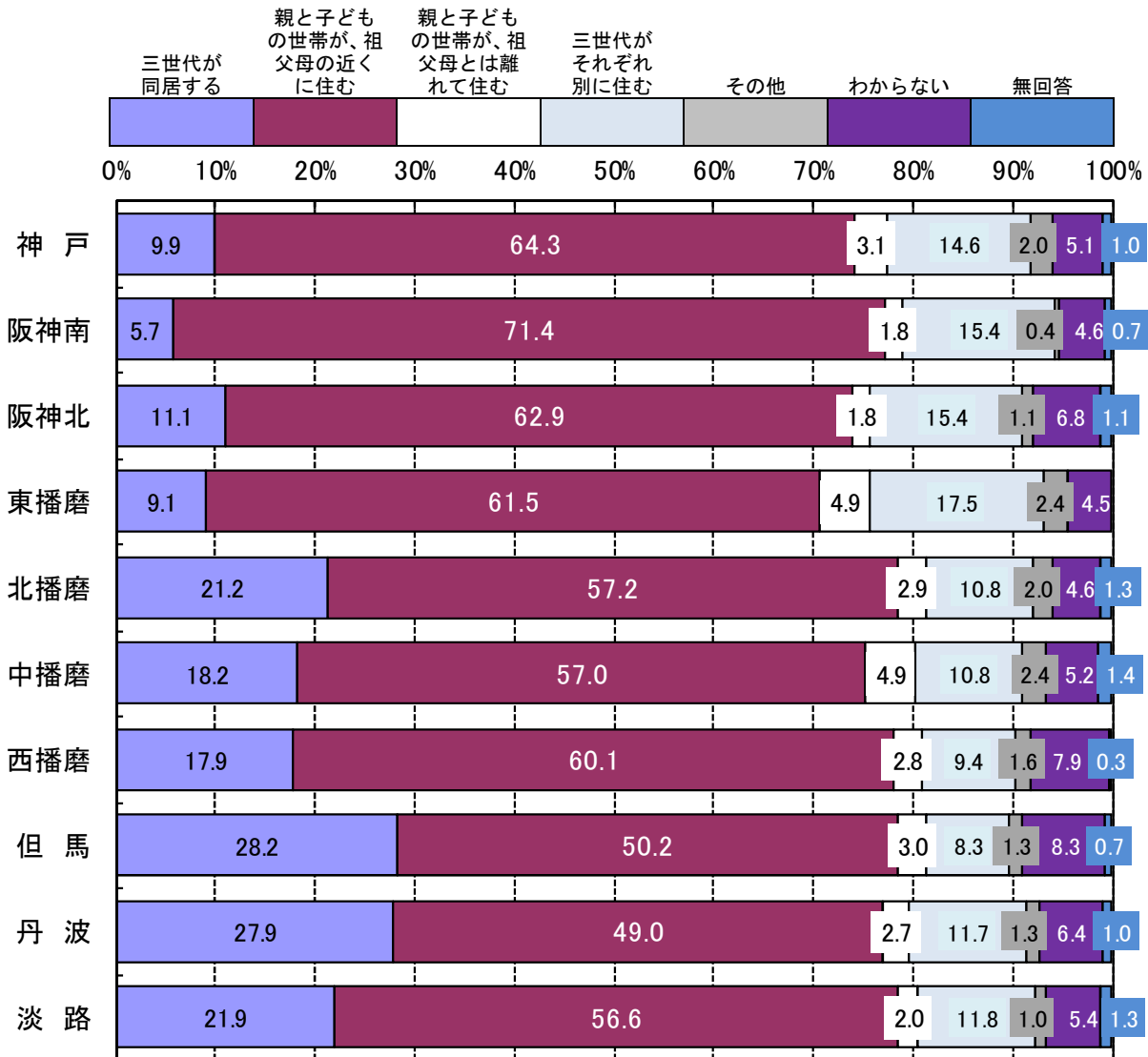
【全県】

「親と子どもの世帯が、祖父母の近くに住む（62.8%）」が最も高い。



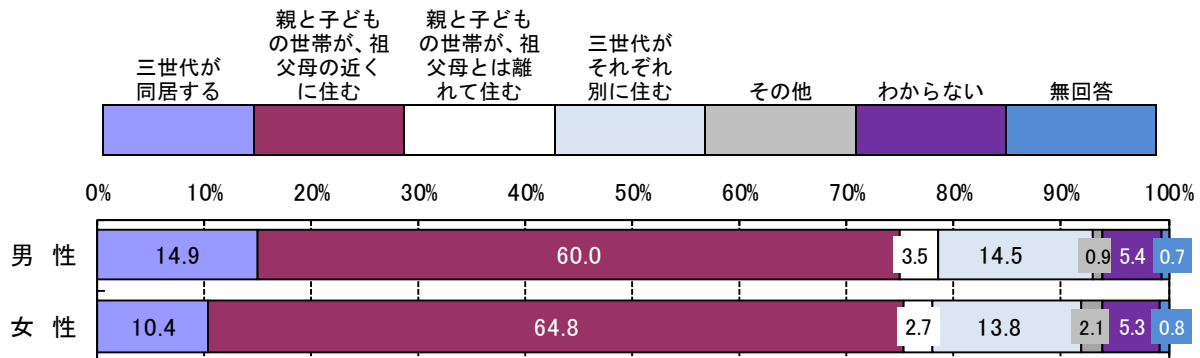
【地域別】

全県で最も高い「親と子どもの世帯が、祖父母の近くに住む (62.8%)」は、阪神南で最も高く (71.4%)、次いで神戸 (64.3%)、阪神北 (62.9%) が高い。



【性別】

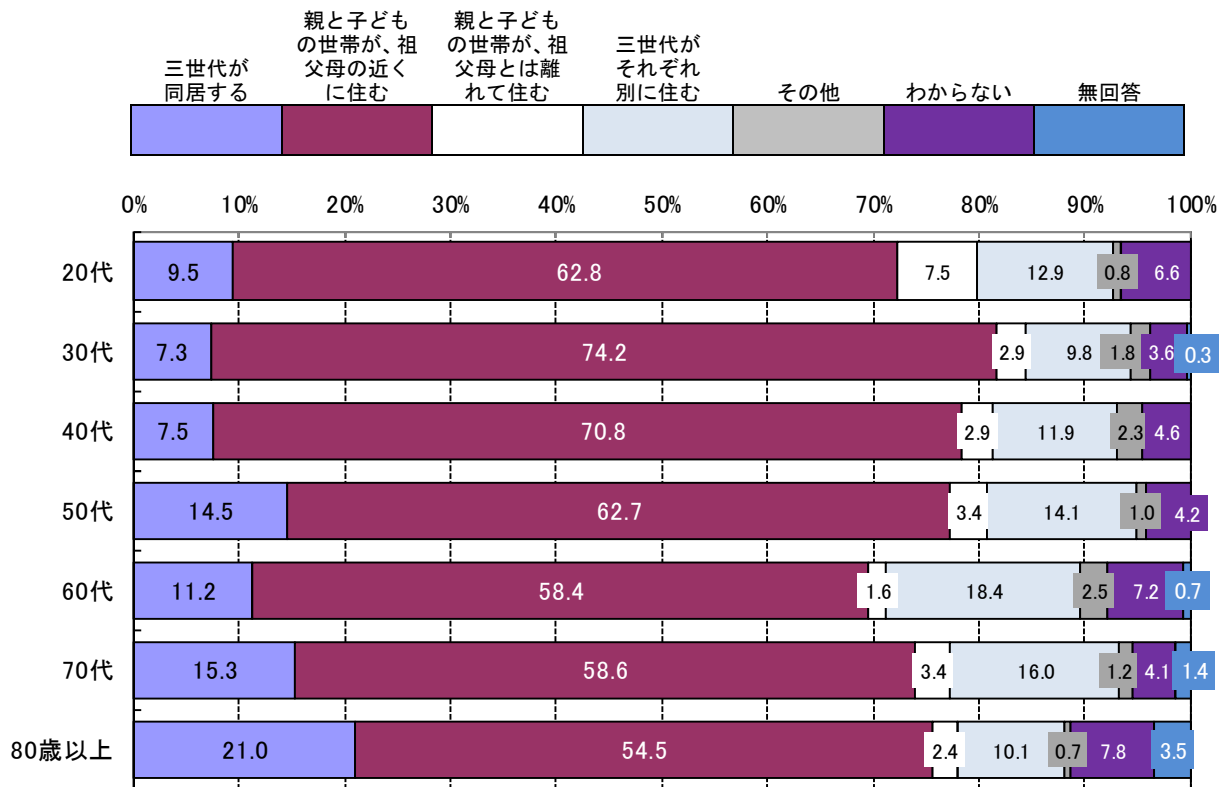
男性、女性とも全県と同じ傾向にあり、男女間の差はない。



【年代別】

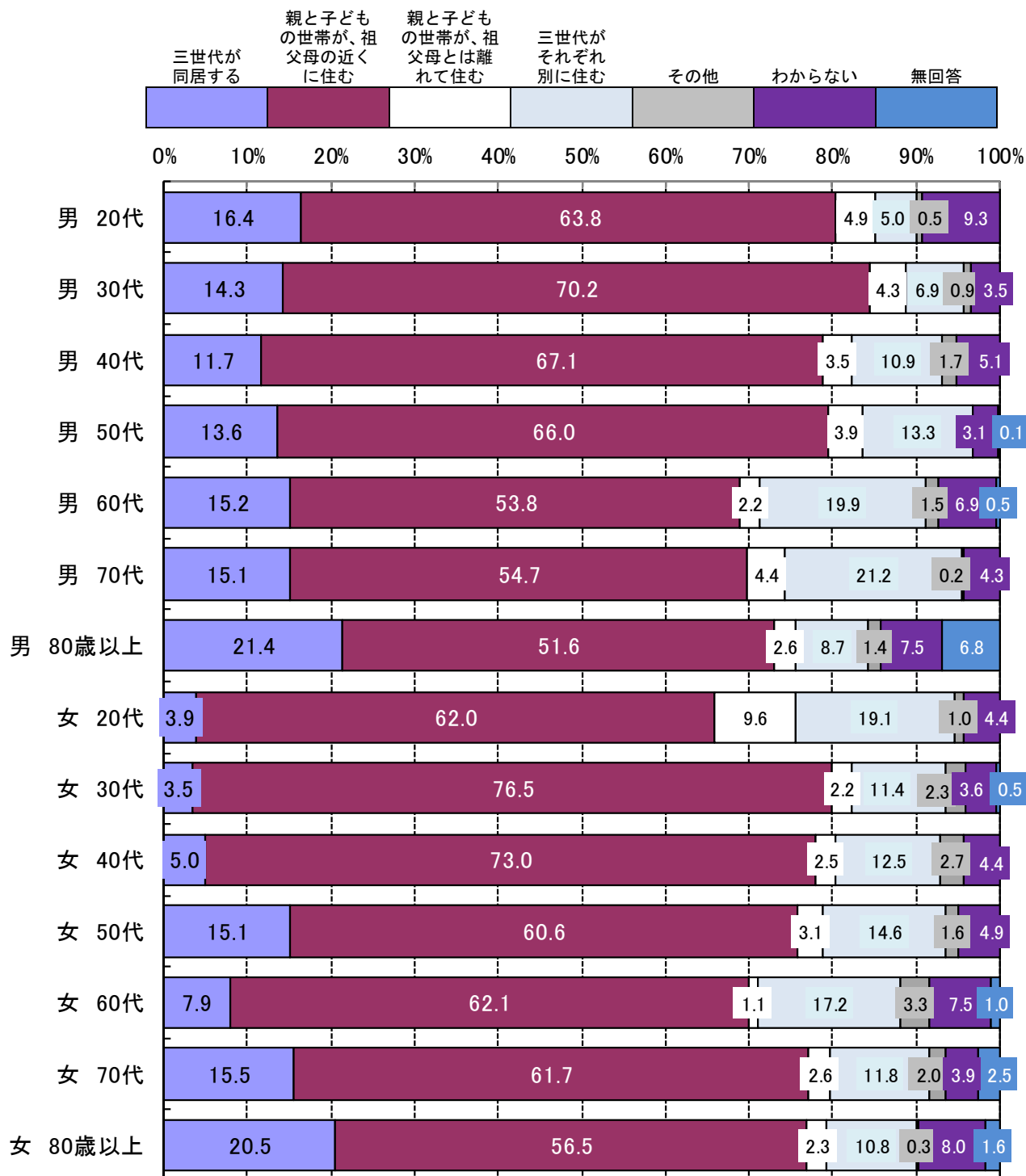
「三世代が同居する」と答えた世代は 80歳以上が最も多い (21.0%)。

「親と子どもの世帯が、祖父母の近くに住む」は、30代 (74.2%) が最も高く、次いで40代 (70.8%) が高い。



【性・年代別】

「三世代が同居する」は男性 80 歳以上が最も高く（21.4%）、「親と子どもの世帯が、祖父母の近くに住む」は、女性 30 代（76.5%）が最も高い。



問7 自分に望む介護の形

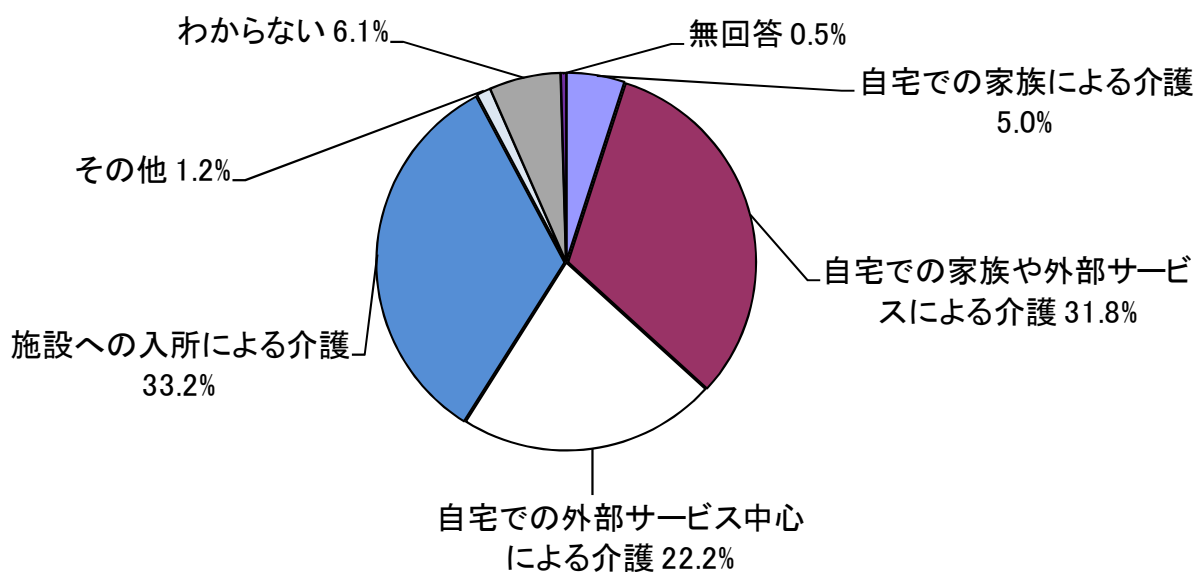
問7

あなたご自身が、介護が必要となった場合、どのような介護を望みますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 自宅での家族による介護
- 2 自宅での家族や外部サービスによる介護
- 3 自宅での外部サービス中心による介護
- 4 施設への入所による介護
- 5 その他
- 6 わからない

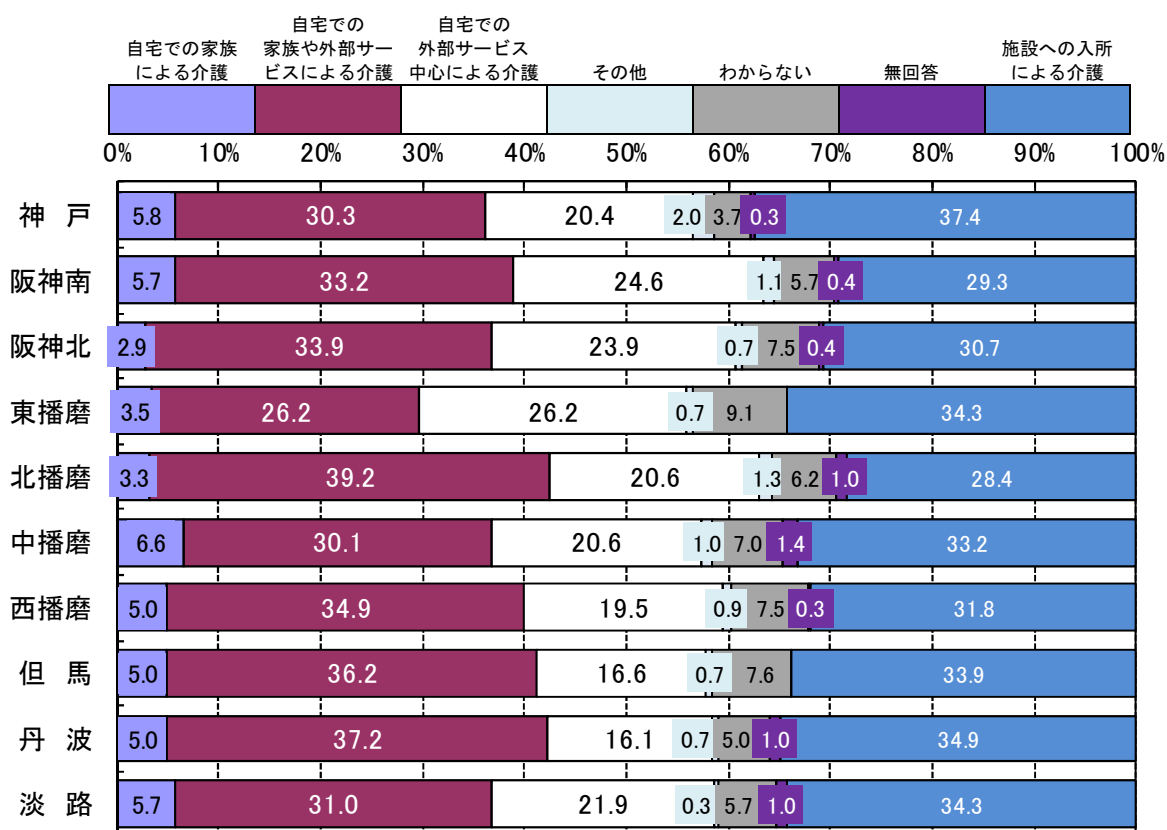
【全県】

「施設への入所による介護(33.2%)」が最も高く、「自宅での家族や外部サービスによる介護(31.8%)」、「自宅での外部サービス中心による介護(22.2%)」が続いた。



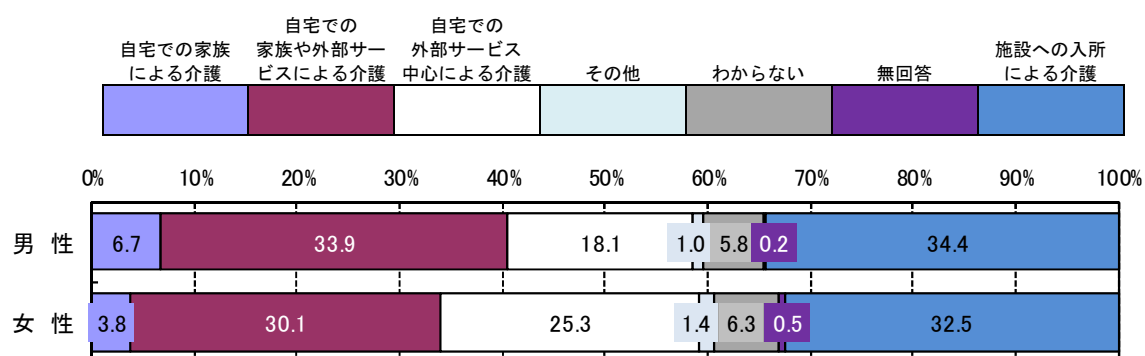
【地域別】

全県で最も高い「施設への入所による介護（33.2%）」は、神戸で最も高く（37.4%）、次いで丹波（34.9%）、東播磨（34.3%）、淡路（34.3%）が高い。



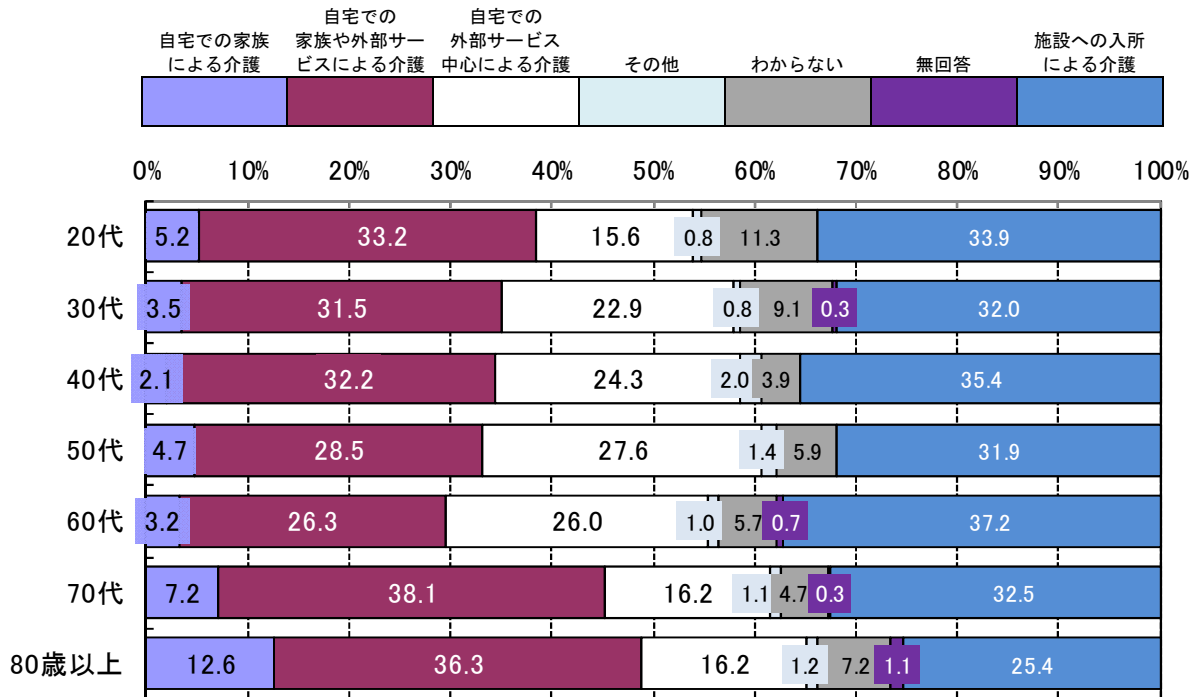
【性別】

「自宅での外部サービス中心による介護」は、女性の方が男性より7.2ポイント高い。



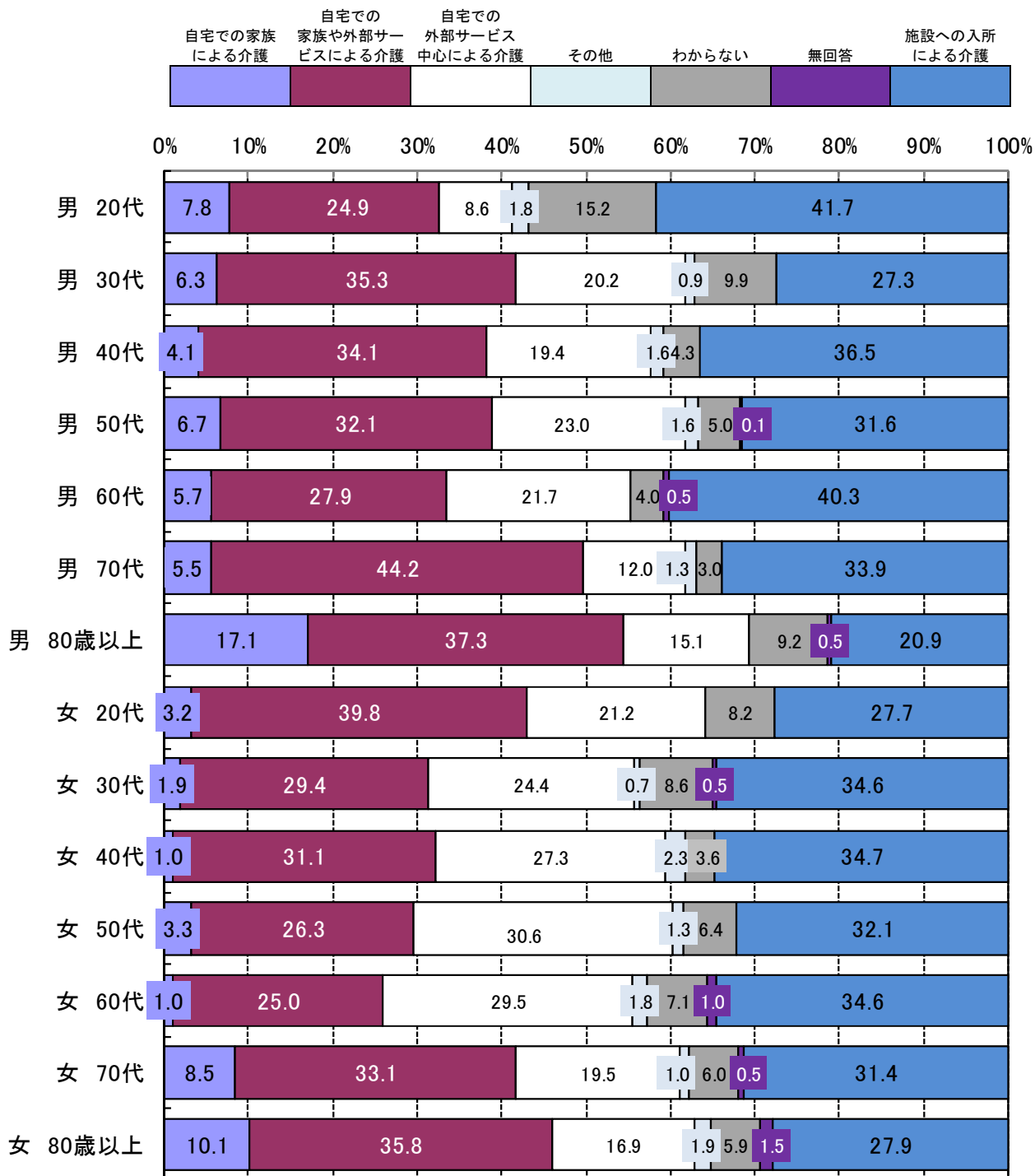
【年代別】

「自宅での家族による介護」は、80代以上(12.6%)で最も高い。



【性・年代別】

「施設への入所による介護」は男性 20 代で最も高く (41.7%)、「自宅での家族や外部サービスによる介護」は男性 70 代 (44.2%)、「自宅での外部サービス中心による介護」は女性 50 代 (30.6%) が高い。



問8 これからの兵庫を担う人づくり

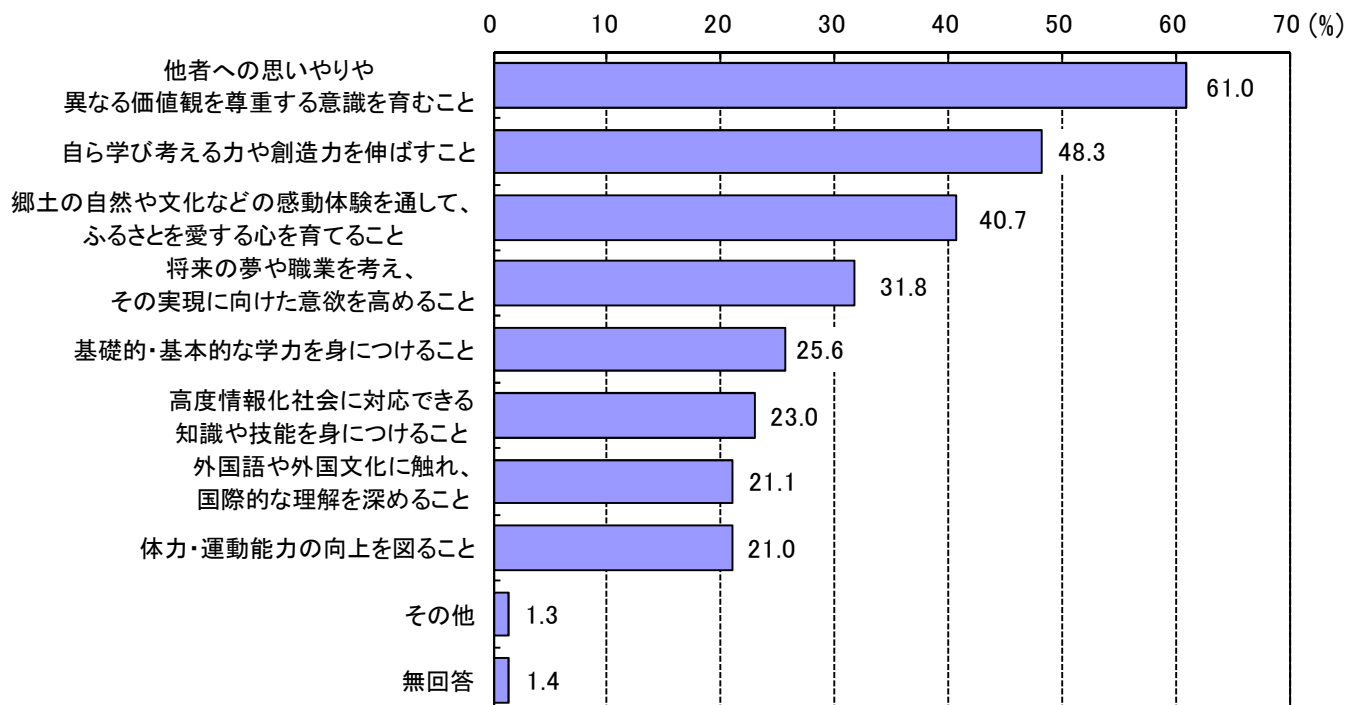
問8

これからの兵庫を担う人づくりのために大切なことは、どのようなことだと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 郷土の自然や文化などの感動体験を通して、ふるさとを愛する心を育てること
- 2 他者への思いやりや異なる価値観を尊重する意識を育むこと
- 3 将来の夢や職業を考え、その実現に向けた意欲を高めること
- 4 基礎的・基本的な学力を身につけること
- 5 自ら学び考える力や創造力を伸ばすこと
- 6 外国語や外国文化に触れ、国際的な理解を深めること
- 7 高度情報化社会に対応できる知識や技能を身につけること
- 8 体力・運動能力の向上を図ること
- 9 その他

【全県】

「他者への思いやりや異なる価値観を尊重する意識を育むこと（61.0%）」が最も多く、「自ら学び考える力や創造力を伸ばすこと（48.3%）」、「郷土の自然や文化などの感動体験を通して、ふるさとを愛する心を育てること（40.7%）」が続いた。



【地域別】

全県で最も多い「他者への思いやりや異なる価値観を尊重する意識を育むこと」は、但馬以外の地域で最も多い。但馬では、「郷土の自然や文化などの感動体験を通して、ふるさとを愛する心を育てること」が最も多い。

区分		最大値						最小値		(%)	
		他者への思いやりや異なる価値観を尊重する意識を育むこと	自ら学び考える力や創造力を伸ばすこと	ふるさとを愛する心を育てること	郷土の自然や文化などの感動体験を通して、ふるさとを愛する心を育てること	将来の夢や職業を考え、その実現に向けた意欲を高めること	基礎的・基本的な学力を身につけること	高度情報化社会に対応できる知識や技能を身につけること	外国語や外国文化に触れ、国際的な理解を深めること	体力・運動能力の向上を図ること	その他
全 県		61.0	48.3	40.7	31.8	25.6	23.0	21.1	21.0	1.3	1.4
地域別	神 戸	61.6	52.4	41.8	30.6	23.5	22.1	25.5	21.4	1.0	1.4
	阪神南	61.4	45.4	35.4	30.0	32.9	21.8	21.1	20.4	2.1	1.4
	阪神北	65.0	55.4	36.8	31.4	23.9	19.6	20.4	21.8	1.4	0.7
	東播磨	64.3	49.0	34.6	30.8	22.7	25.9	20.6	21.3	0.3	1.0
	北播磨	57.5	46.4	44.8	31.7	24.8	27.5	18.3	20.3	1.3	2.0
	中播磨	58.0	37.4	47.6	35.7	27.3	23.8	18.5	22.4	1.4	1.4
	西播磨	57.5	49.4	45.3	33.3	26.1	21.7	14.5	19.2	0.3	1.9
	但 馬	52.8	42.2	59.1	39.2	18.9	25.9	15.3	16.3	1.7	1.3
	丹 波	54.7	43.3	49.3	39.9	21.5	23.8	17.4	21.5	1.3	2.3
淡 路	53.5	43.8	46.1	32.7	23.6	31.0	18.5	18.5	1.3	2.4	
地域間の差		12.2	18.0	24.5	9.9	14.0	11.4	11.0	6.1	1.8	1.7

【性別】

男性、女性とも全県と同じ傾向にあり、男女間の差はない。

(%)

区分		他者への思いやりや 異なる価値観を尊重する意識を育むこと	自ら学び考える力や創造力を伸ばすこと	郷土の自然や文化などの感動体験を通して、 ふるさとを愛する心を育てること	将来の夢や職業を考え、 その実現に向けた意欲を高めること	基礎的・基本的な学力を身につけること	高度情報化社会に対応できる 知識や技能を身につけること	外国語や外国文化に触れ、 国際的な理解を深めること	体力・運動能力の向上を図ること	その他	無回答
全 県		61.0	48.3	40.7	31.8	25.6	23.0	21.1	21.0	1.3	1.4
性別	男 性	59.2	47.4	41.5	32.7	25.0	24.4	21.8	22.4	1.3	0.8
	女 性	62.3	49.0	39.9	31.5	26.2	22.0	20.9	19.9	1.2	1.5
性別間の差		3.1	1.6	1.6	1.2	1.2	2.4	0.9	2.5	0.1	0.7

【年代別】

年代間の差は、「自ら学び考える力や創造力を伸ばすこと(40代 55.4%、80歳以上 31.0%)」(24.4ポイント差)が最も大きく、次いで「将来の夢や職業を考え、その実現に向けた意欲を高めること(30代 40.5%、80歳以上 18.7%)」(21.8ポイント差)が大きい。

区分		最大値										最小値										(%)
		異なる価値観を尊重する意識を育むこと	他者への思いやりや	自ら学び考える力や創造力を伸ばすこと	郷土の自然や文化などの感動体験を通して、ふるさとを愛する心を育てること	将来の夢や職業を考え、その実現に向けた意欲を高めること	基礎的・基本的な学力を身につけること	高度情報化社会に対応できる知識や技能を身につけること	国際的な理解を深めること	外国語や外国文化に触れ、	体力・運動能力の向上を図ること	その他	無回答									
全 県		61.0	48.3	40.7	31.8	25.6	23.0	21.1	21.0	1.3	1.4											
年代別	20代	56.7	48.0	33.1	38.1	26.8	24.3	29.2	18.8	0.7	0.0											
	30代	61.0	52.9	35.3	40.5	26.8	19.2	25.1	14.0	3.4	1.0											
	40代	60.8	55.4	35.3	38.7	24.5	19.9	21.0	19.7	1.5	1.4											
	50代	66.1	50.1	40.8	35.4	26.0	23.0	21.5	16.7	1.1	0.2											
	60代	65.4	50.4	40.4	28.6	24.7	24.0	21.8	21.8	1.3	0.8											
	70代	58.3	44.0	47.4	26.2	26.4	25.2	16.6	27.4	0.5	1.7											
	80歳以上	50.3	31.0	48.2	18.7	26.6	25.5	18.9	25.9	0.5	4.2											
年代間の差		15.8	24.4	15.1	21.8	2.3	6.3	12.6	13.4	2.9	4.2											

【性・年代別】

全県で最も多い「他者への思いやりや異なる価値観を尊重する意識を育むこと」は、男性は50代(66.5%)、女性は20代(68.1%)が最も多い。続く「自ら学び考える力や創造力を伸ばすこと」は、男性は40代(60.7%)、女性は30代と60代(55.4%)が最も多い。

区分		他者への思いやりや異なる価値観を尊重する意識を育むこと	自ら学び考える力や創造力を伸ばすこと	郷土の自然や文化などの感動体験を通して、ふるさとを愛する心を育てること	将来の夢や職業を考え、その実現に向けた意欲を高めること	基礎的・基本的な学力を身につけること	高度情報化社会に対応できる知識や技能を身につけること	外国語や外国文化に触れ、国際的な理解を深めること	体力・運動能力の向上を図ること	その他	無回答
		最大値	最小値	(%)							
全 県		61.0	48.3	40.7	31.8	25.6	23.0	21.1	21.0	1.3	1.4
男性・年代別	20代	42.3	50.1	23.6	45.6	25.8	26.0	32.6	24.1	0.0	0.0
	30代	50.9	48.4	36.7	47.6	34.3	19.1	25.7	17.9	1.7	0.0
	40代	64.3	60.7	35.5	35.9	21.1	21.8	16.5	25.2	2.1	0.2
	50代	66.5	46.9	46.7	40.7	25.6	18.7	20.0	14.9	1.0	0.1
	60代	63.7	44.4	43.8	26.7	24.5	26.5	27.7	20.4	2.3	0.5
	70代	57.9	44.3	49.0	26.9	20.9	27.9	17.1	29.6	0.5	1.3
	80歳以上	49.4	36.2	39.2	14.8	30.9	29.9	14.1	25.2	0.5	4.7
男性・年代間の差		24.2	24.5	25.4	32.8	13.4	11.2	18.5	14.7	2.3	4.7
女性・年代別	20代	68.1	46.4	40.6	32.1	27.5	22.9	26.5	14.6	1.2	0.0
	30代	66.6	55.4	34.6	36.6	22.6	19.3	24.7	11.8	4.3	1.5
	40代	58.7	52.2	35.2	40.4	26.5	18.7	23.7	16.4	1.2	2.2
	50代	65.8	52.1	37.0	32.0	26.2	25.7	22.4	17.8	1.2	0.2
	60代	66.9	55.4	37.6	30.2	24.9	22.0	16.9	23.0	0.4	1.1
	70代	58.7	43.7	46.1	25.6	30.8	23.0	16.2	25.5	0.5	2.1
	80歳以上	51.1	27.9	53.2	21.0	24.3	22.9	21.7	26.4	0.4	3.8
女性・年代間の差		17.0	27.5	18.6	19.4	8.2	7.0	10.3	14.6	3.9	3.8

(まち・地域)

問9 地域への定住やUターン

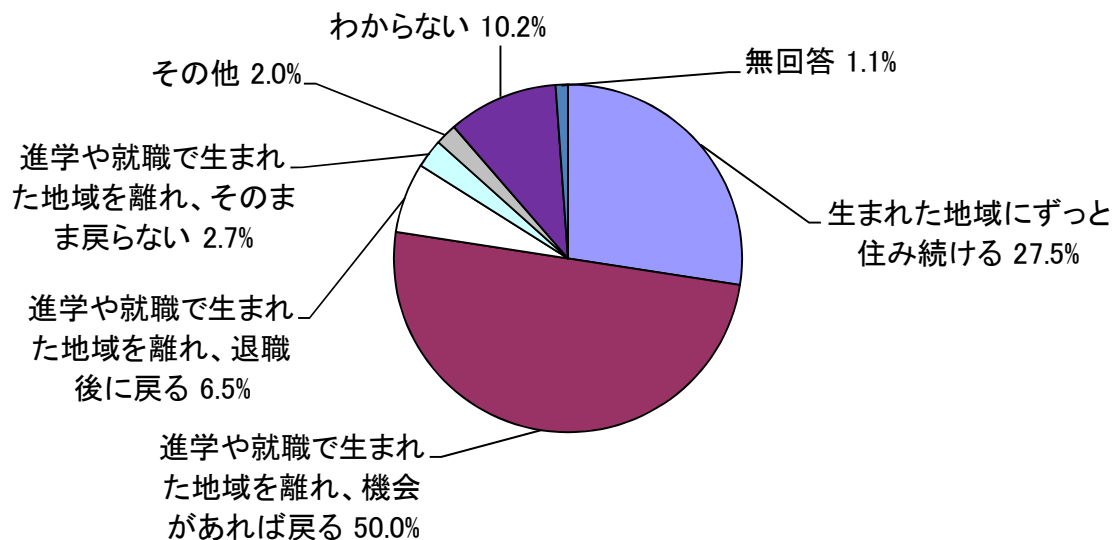
問9

地域への定住やUターンについて、次のうちどれが理想的だと思いますか。あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 生まれた地域にずっと住み続ける
- 2 進学や就職で生まれた地域を離れ、機会があれば戻る
- 3 進学や就職で生まれた地域を離れ、退職後に戻る
- 4 進学や就職で生まれた地域を離れ、そのまま戻らない
- 5 その他
- 6 わからない

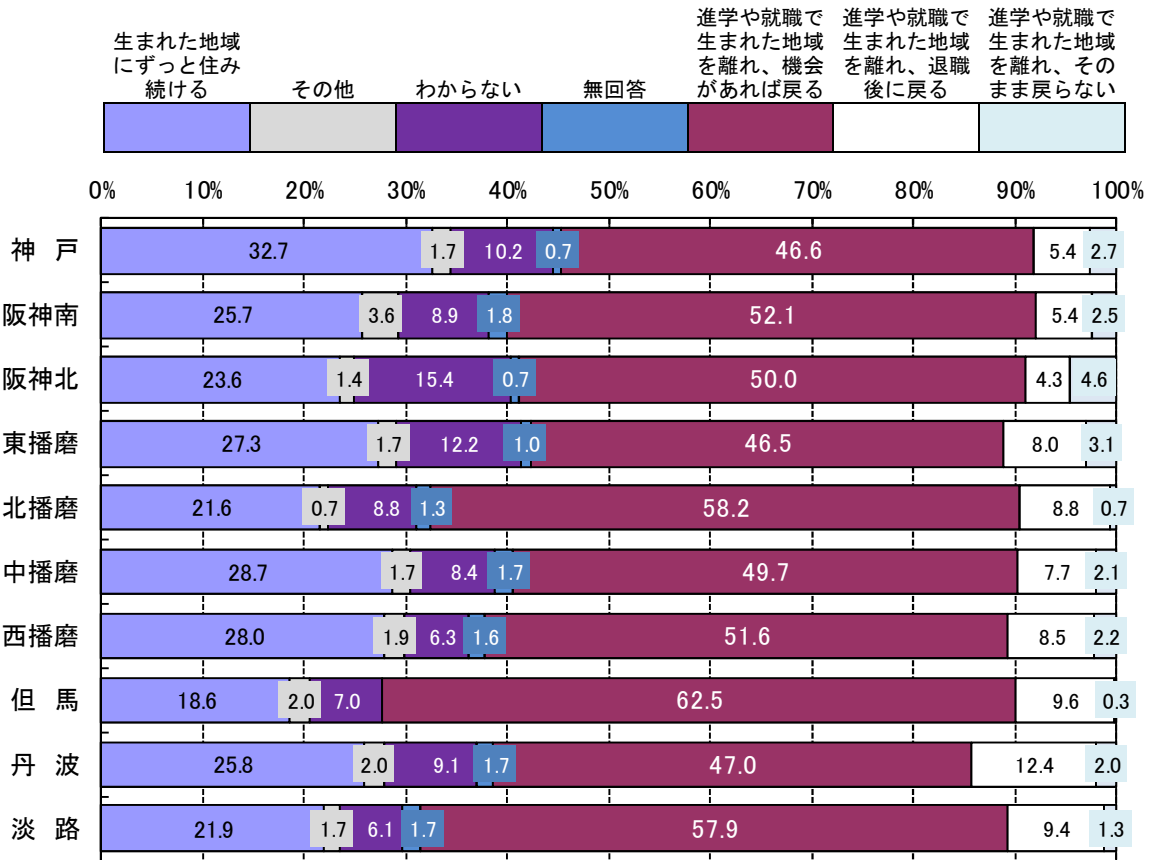
【全県】

「進学や就職で生まれた地域を離れ、機会があれば戻る (50.0%)」が最も高い。



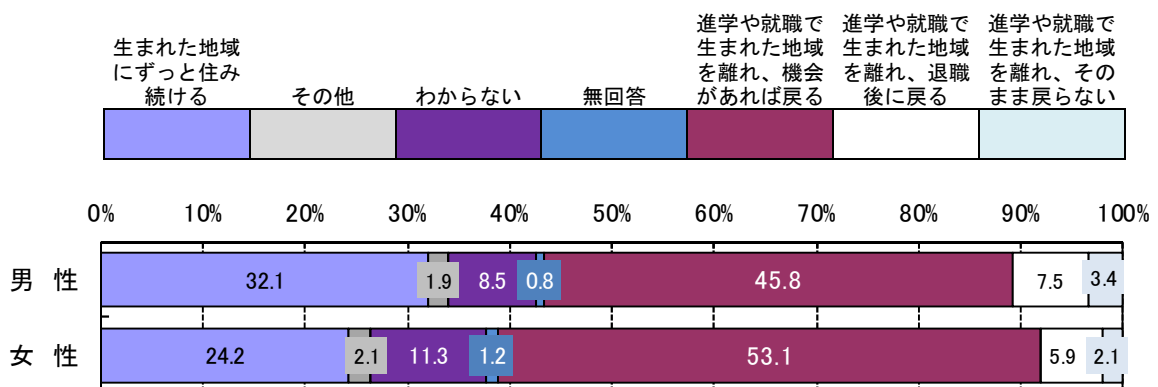
【地域別】

全県で最も高い「進学や就職で生まれた地域を離れ、機会があれば戻る（50.0%）」は、但馬で最も多く（62.5%）、次いで北播磨（58.2%）、淡路（57.9%）が高い。



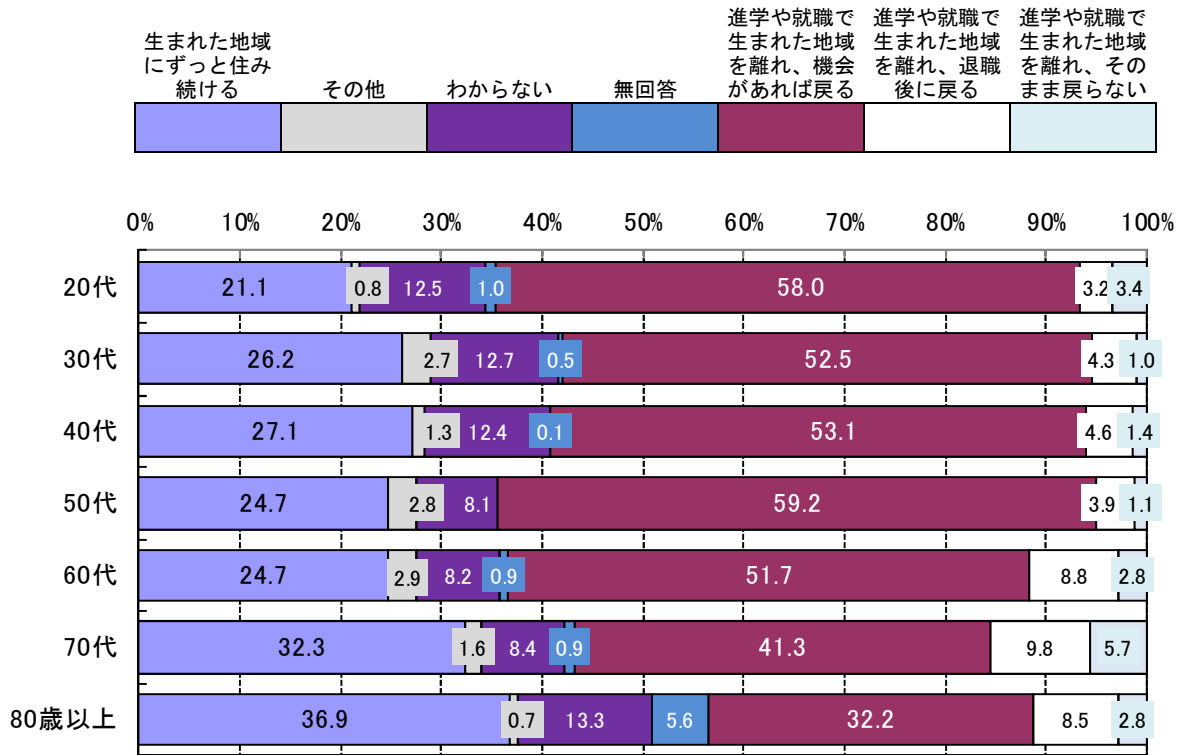
【性別】

男女間の差は、「生まれた地域にずっと住み続ける（男性 32.1%、女性 24.2%）」（7.9ポイント差）が最も大きく、次いで「進学や就職で生まれた地域を離れ、機会があれば戻る（男性 45.8%、女性 53.1%）」（7.3ポイント差）が大きい。



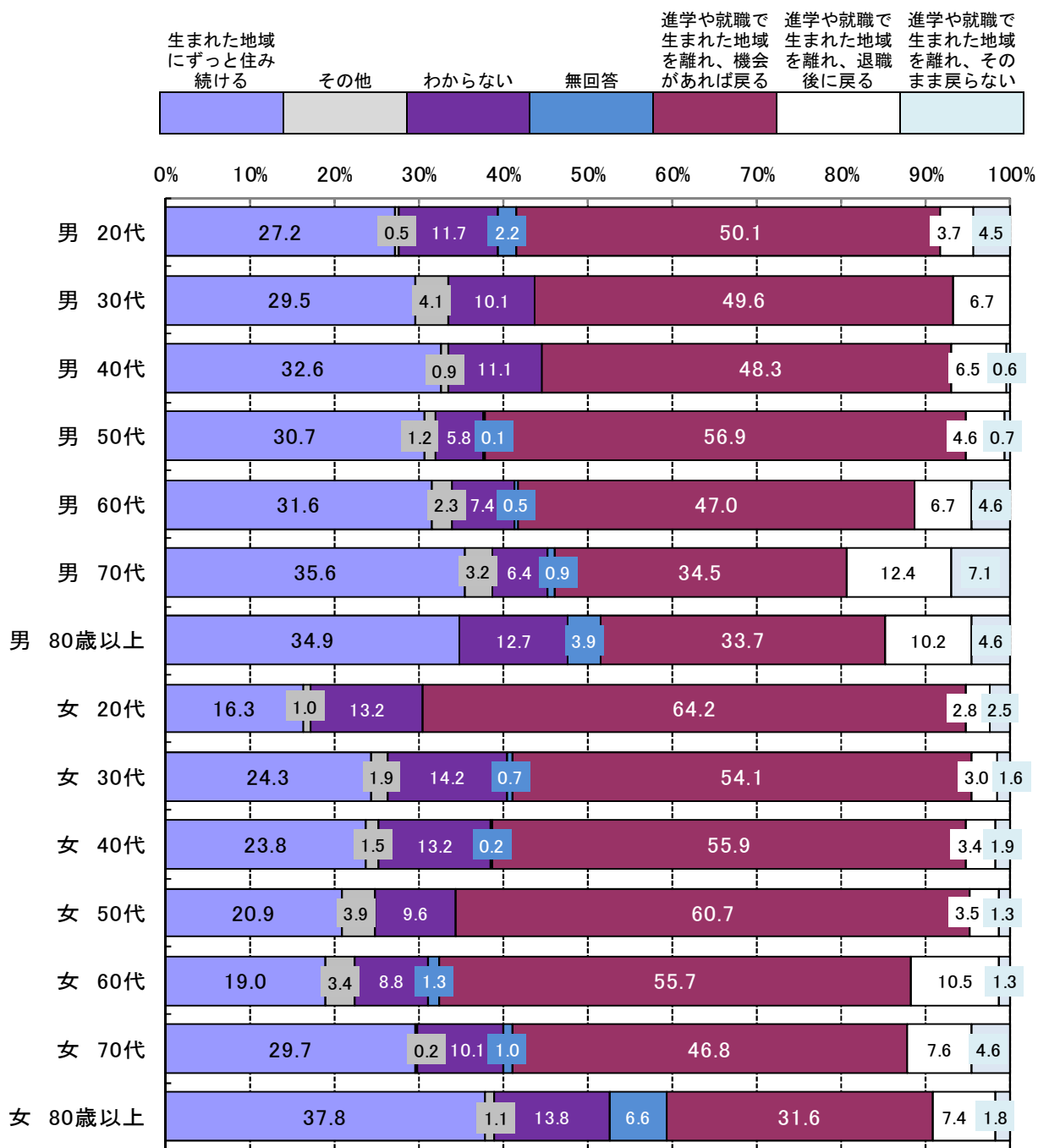
【年代別】

「生まれた地域にずっと住み続ける」は80歳以上(36.9%)が最も高く、「進学や就職で生まれた地域を離れ、機会があれば戻る」は50代(59.2%)が最も高い。



【性・年代別】

「生まれた地域にずっと住み続ける」は女性 80 歳以上(37.8%)が最も高く、「進学や就職で生まれた地域を離れ、機会があれば戻る」は女性 20 代(64.2%)が最も高い。



問10 地域のつながりの必要性

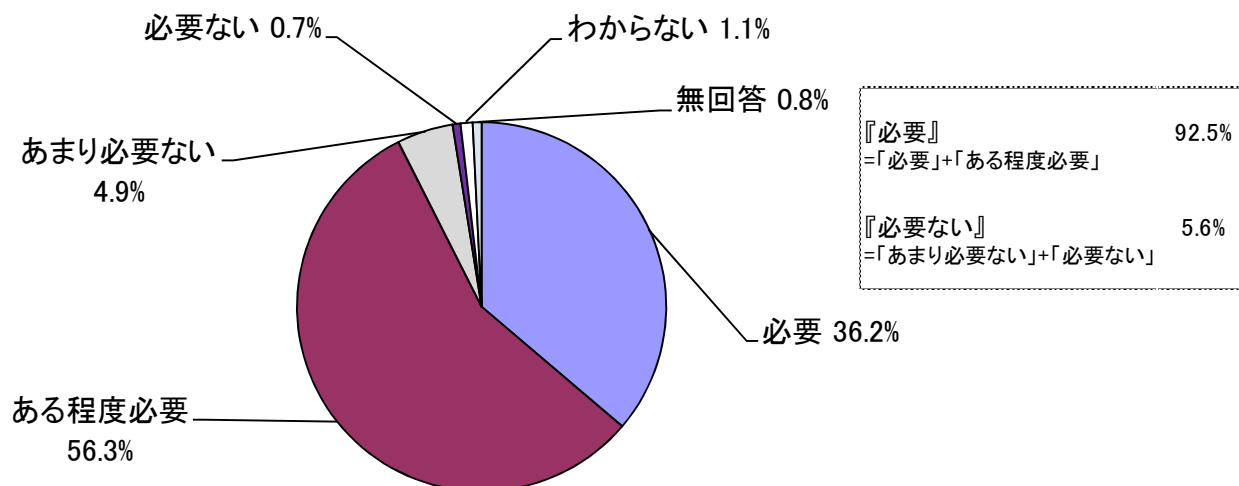
問10

あなたは、日常生活において、地域のつながり（近所づきあいや住民同士の助けあいなど）は必要だと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 必要
- 2 ある程度必要
- 3 あまり必要ない
- 4 必要ない
- 5 わからない

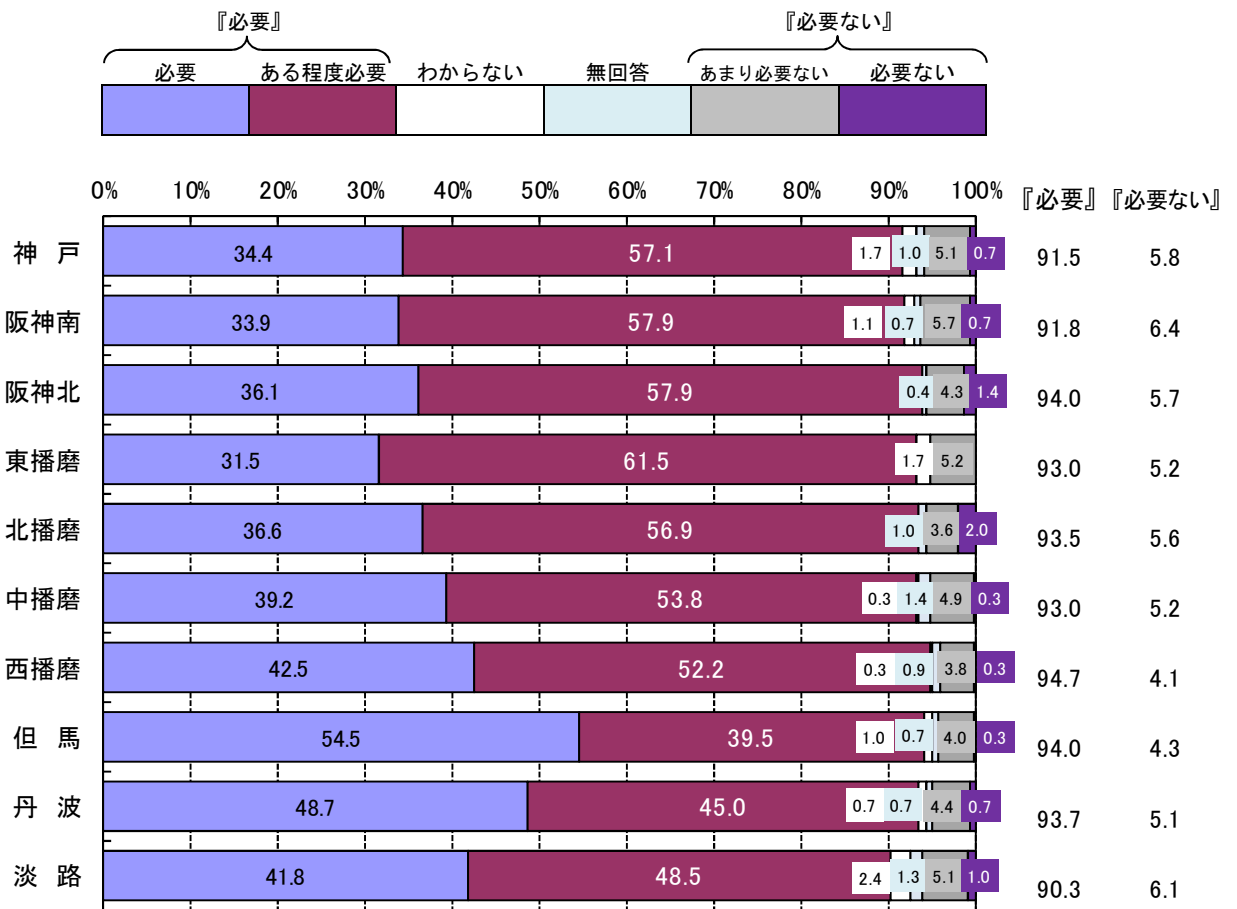
【全県】

「必要（36.2%）」と「ある程度必要（56.3%）」を合わせた『必要』が92.5%となった。



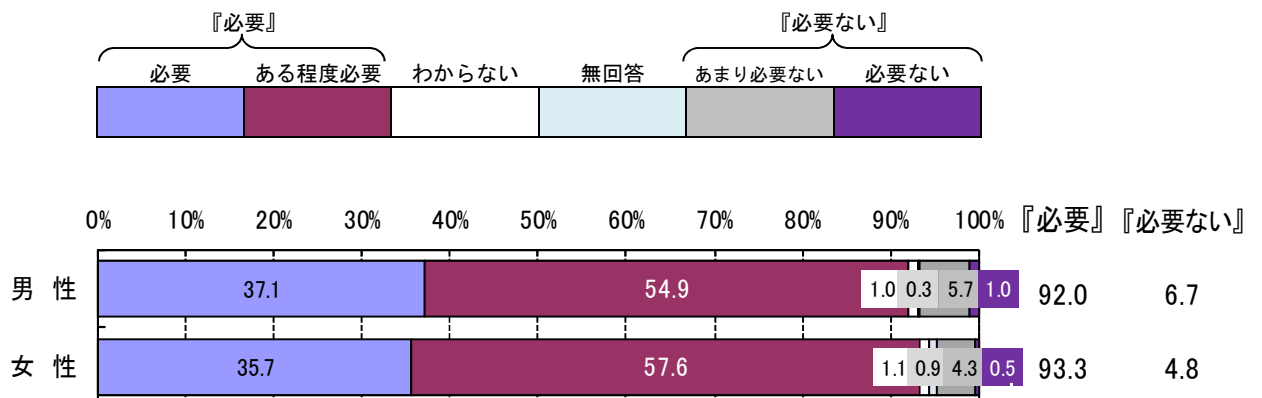
【地域別】

『必要』は西播磨が最も高く(94.7%)、次いで阪神北(94.0%)と但馬(94.0%)が高い。



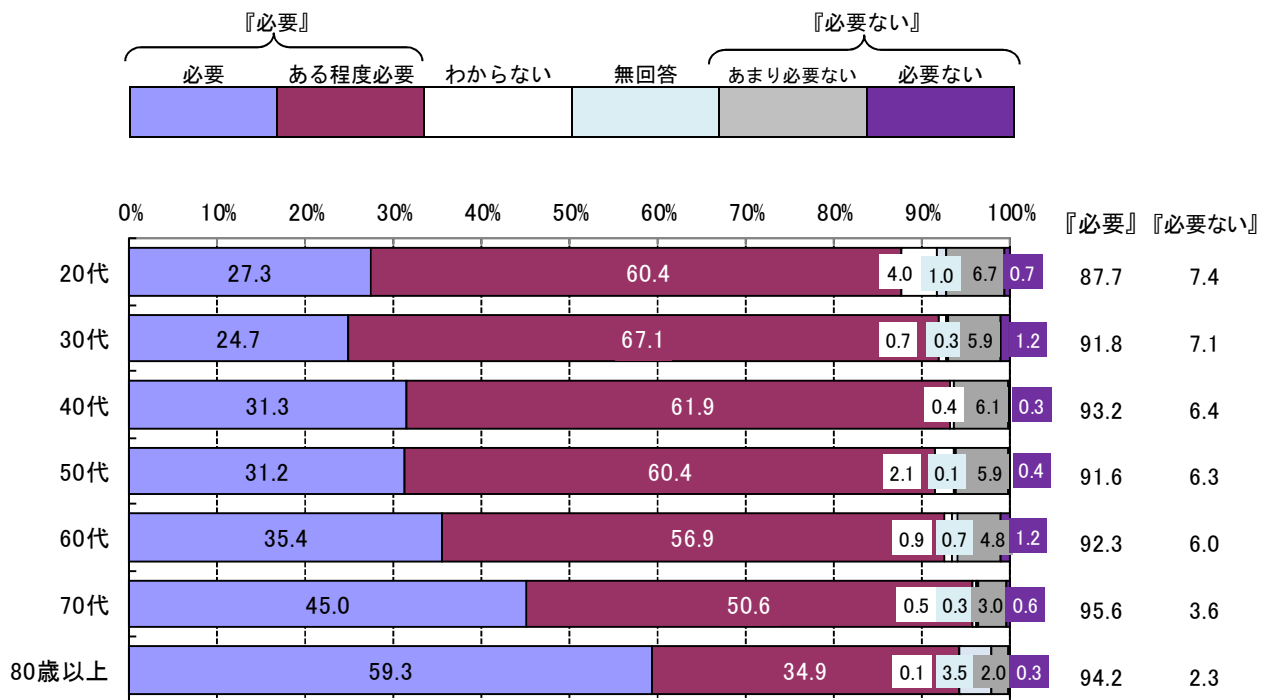
【性別】

男性、女性とも全県と同じ傾向にあり、男女間の差はない。



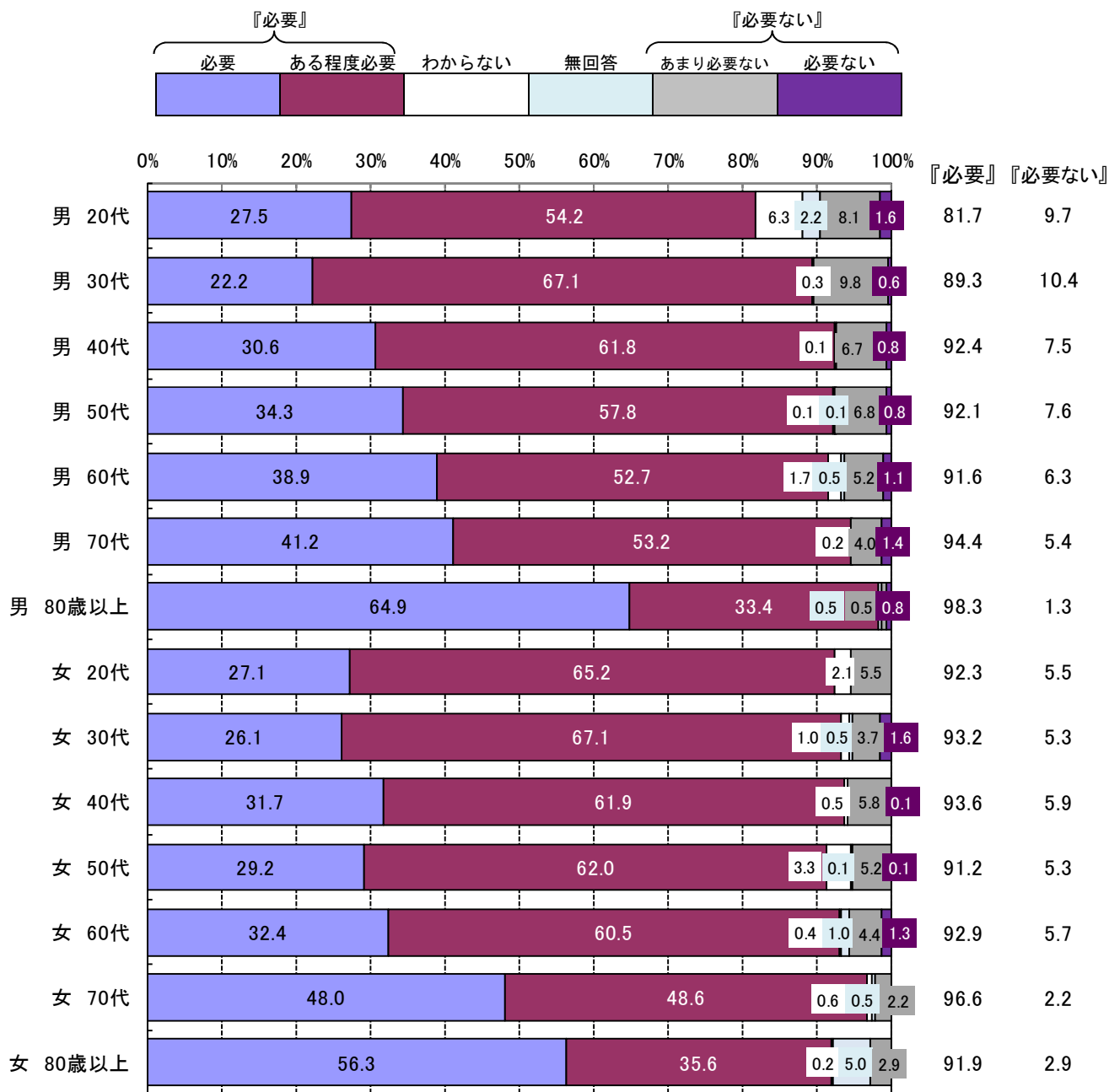
【年代別】

「必要」は80歳以上が最も高く（59.3%）、「ある程度必要」は30代が最も高い（67.1%）。



【性・年代別】

『必要』は、男性は80歳以上が最も高く(98.3%)、女性は70代が最も高い(96.6%)。



問 1 1 地域のつながりの必要な分野

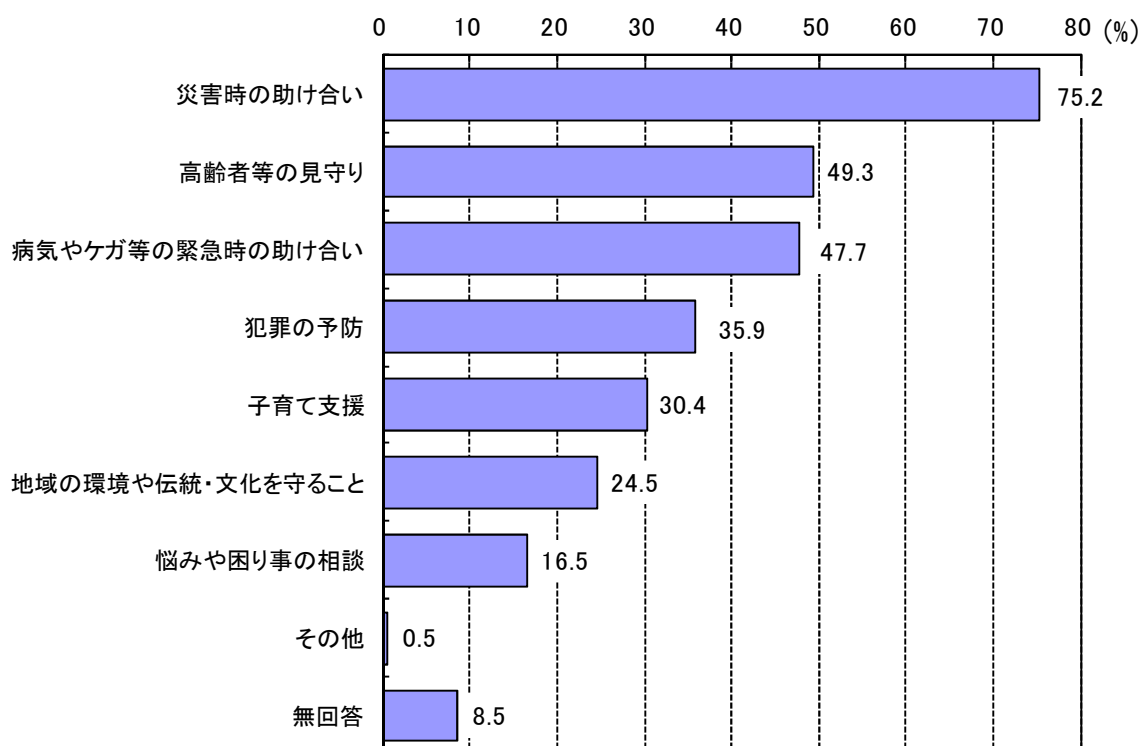
問 1 1 (問 1 0 で 1 または 2 に ○ をつけた方に伺います。)

日常生活において、どのようなことについて地域のつながりが必要だと思えますか。あてはまるものを 3 つまで選んで番号に ○ をつけてください。

- 1 悩みや困り事の相談
- 2 地域の環境や伝統・文化を守ること
- 3 子育て支援
- 4 高齢者等の見守り
- 5 病気やケガ等の緊急時の助け合い
- 6 災害時の助け合い
- 7 犯罪の予防
- 8 その他

【全県】

「災害時の助け合い (75.2%)」が最も多く、「高齢者等の見守り (49.3%)」、「病気やケガ等の緊急時の助け合い (47.7%)」が続いた。



【地域別】

全県で最も多い「災害時の助け合い(75.2%)」は、阪神北(77.9%)が多い。続いて「高齢者の見守り(49.3%)」は、東播磨(54.1%)が多く、「病気やケガ等の緊急時の助け合い(47.7%)」は東播磨(54.1%)が多い。

区分		最大値										最小値										(%)
		災害時の助け合い	高齢者等の見守り	病気やケガ等の緊急時の助け合い	犯罪の予防	子育て支援	地域の環境や伝統・文化を守ること	悩みや困り事の相談	その他	無回答												
全 県		75.2	49.3	47.7	35.9	30.4	24.5	16.5	0.5	8.5												
地域別	神 戸	75.1	53.5	45.7	37.9	34.6	23.8	13.8	0.4	9.7												
	阪神南	76.3	45.9	44.7	40.1	29.6	19.5	17.9	0.8	9.3												
	阪神北	77.9	44.5	48.7	43.7	29.3	19.8	18.6	0.0	6.8												
	東播磨	72.6	54.1	54.1	34.6	27.4	21.8	14.3	1.1	7.5												
	北播磨	74.1	45.8	50.0	26.6	29.7	30.1	21.0	0.3	8.4												
	中播磨	74.1	46.6	46.2	34.2	31.6	29.7	14.3	0.4	7.9												
	西播磨	73.8	50.8	47.2	28.2	28.2	31.6	21.9	0.7	5.3												
	但 馬	77.0	50.2	50.2	17.3	23.0	38.5	22.3	0.7	7.1												
	丹 波	73.5	49.8	50.2	21.9	25.8	35.8	19.0	1.4	9.7												
	淡 路	76.5	43.7	51.1	23.9	23.9	33.6	17.5	0.4	13.4												
地域間の差		5.3	10.4	9.4	26.4	11.6	19.0	8.5	1.4	8.1												

【性別】

男性、女性とも全県と同様「災害時の助け合い」が最も多い。

男女間の差は、「地域の環境や伝統・文化を守ること（男性 31.5%、女性 19.7%）」（11.8 ポイント差）が最も大きい。

区分		災害時の助け合い	高齢者等の見守り	病気やケガ等の緊急時の助け合い	犯罪の予防	子育て支援	地域の環境や伝統・文化を守ること	悩みや困り事の相談	その他	無回答
全 県		75.2	49.3	47.7	35.9	30.4	24.5	16.5	0.5	8.5
性別	男 性	74.5	46.5	48.0	35.7	28.2	31.5	15.4	0.5	9.0
	女 性	75.5	51.7	47.2	35.8	32.1	19.7	17.2	0.5	7.9
性別間の差		1.0	5.2	0.8	0.1	3.9	11.8	1.8	0.0	1.1

【年代別】

全県で最も多い「災害時の助け合い」は、30代(81.5%)が最も多い。

年代間の差は「子育て支援(30代 57.3%、80歳以上 12.2%)」（45.1 ポイント差）が最も大きい。

区分		災害時の助け合い	高齢者等の見守り	病気やケガ等の緊急時の助け合い	犯罪の予防	子育て支援	地域の環境や伝統・文化を守ること	悩みや困り事の相談	その他	無回答
全 県		75.2	49.3	47.7	35.9	30.4	24.5	16.5	0.5	8.5
年代別	20代	65.7	38.8	42.7	51.1	47.9	23.0	17.7	0.6	14.2
	30代	81.5	30.1	36.5	52.7	57.3	17.7	12.8	0.0	9.6
	40代	74.1	34.7	44.0	45.4	40.0	22.1	17.4	0.7	7.6
	50代	79.8	48.6	47.8	35.8	34.1	25.3	12.5	0.5	9.2
	60代	78.1	54.7	46.0	33.7	23.9	31.3	14.0	0.4	8.8
	70代	71.5	65.9	54.4	23.2	14.7	26.8	17.5	0.5	5.1
	80歳以上	68.1	63.0	59.6	18.7	12.2	15.4	28.6	1.4	7.8
年代間の差		15.8	35.8	23.1	34.0	45.1	15.9	16.1	1.4	9.1

【性・年代別】

全県で最も多い「災害時の助け合い(75.2%)」は、男性は30代が最も多く(85.1%)、女性は50代が最も多い(80.5%)。

区分		最大値										最小値										(%)
		災害時の助け合い	高齢者等の見守り	病気やケガ等の緊急時の助け合い	犯罪の予防	子育て支援	地域の環境や伝統・文化を守ること	悩みや困り事の相談	その他	無回答	災害時の助け合い	高齢者等の見守り	病気やケガ等の緊急時の助け合い	犯罪の予防	子育て支援	地域の環境や伝統・文化を守ること	悩みや困り事の相談	その他	無回答			
全 県		75.2	49.3	47.7	35.9	30.4	24.5	16.5	0.5	8.5	75.2	49.3	47.7	35.9	30.4	24.5	16.5	0.5	8.5			
男性・年代別	20代	64.7	21.4	47.3	55.1	40.8	23.0	23.7	1.5	22.7	64.7	21.4	47.3	55.1	40.8	23.0	23.7	1.5	22.7			
	30代	85.1	17.8	38.9	51.4	51.0	25.7	11.3	0.0	14.7	85.1	17.8	38.9	51.4	51.0	25.7	11.3	0.0	14.7			
	40代	71.9	27.1	45.1	40.3	46.1	34.0	19.0	0.0	8.4	71.9	27.1	45.1	40.3	46.1	34.0	19.0	0.0	8.4			
	50代	78.7	40.4	51.2	38.3	29.8	32.9	12.8	0.4	7.4	78.7	40.4	51.2	38.3	29.8	32.9	12.8	0.4	7.4			
	60代	76.4	54.2	45.6	32.0	24.7	38.5	12.7	0.7	9.0	76.4	54.2	45.6	32.0	24.7	38.5	12.7	0.7	9.0			
	70代	72.7	71.1	52.4	30.3	11.7	30.4	11.0	1.0	5.1	72.7	71.1	52.4	30.3	11.7	30.4	11.0	1.0	5.1			
	80歳以上	66.5	62.9	54.9	14.9	8.7	19.3	29.7	0.0	4.9	66.5	62.9	54.9	14.9	8.7	19.3	29.7	0.0	4.9			
男性・年代間の差		20.4	53.3	16.0	40.2	42.3	19.2	18.7	1.5	17.8	20.4	53.3	16.0	40.2	42.3	19.2	18.7	1.5	17.8			
女性・年代別	20代	66.4	51.0	39.4	48.2	52.9	23.0	13.5	0.0	8.3	66.4	51.0	39.4	48.2	52.9	23.0	13.5	0.0	8.3			
	30代	79.6	36.6	35.2	53.4	60.7	13.4	13.6	0.0	6.8	79.6	36.6	35.2	53.4	60.7	13.4	13.6	0.0	6.8			
	40代	75.5	39.3	43.4	48.5	36.3	15.0	16.5	1.2	7.0	75.5	39.3	43.4	48.5	36.3	15.0	16.5	1.2	7.0			
	50代	80.5	53.9	45.5	34.2	36.8	20.3	12.3	0.7	10.4	80.5	53.9	45.5	34.2	36.8	20.3	12.3	0.7	10.4			
	60代	79.5	55.1	46.4	35.0	23.3	25.5	15.1	0.1	8.6	79.5	55.1	46.4	35.0	23.3	25.5	15.1	0.1	8.6			
	70代	70.6	61.8	56.0	17.7	17.1	23.9	22.6	0.0	5.1	70.6	61.8	56.0	17.7	17.1	23.9	22.6	0.0	5.1			
	80歳以上	68.8	63.1	62.3	20.9	14.4	12.8	28.0	2.2	9.5	68.8	63.1	62.3	20.9	14.4	12.8	28.0	2.2	9.5			
女性・年代間の差		14.1	26.5	27.1	35.7	46.3	12.7	15.7	2.2	5.3	14.1	26.5	27.1	35.7	46.3	12.7	15.7	2.2	5.3			

問 1 2 まちの集約化の必要性

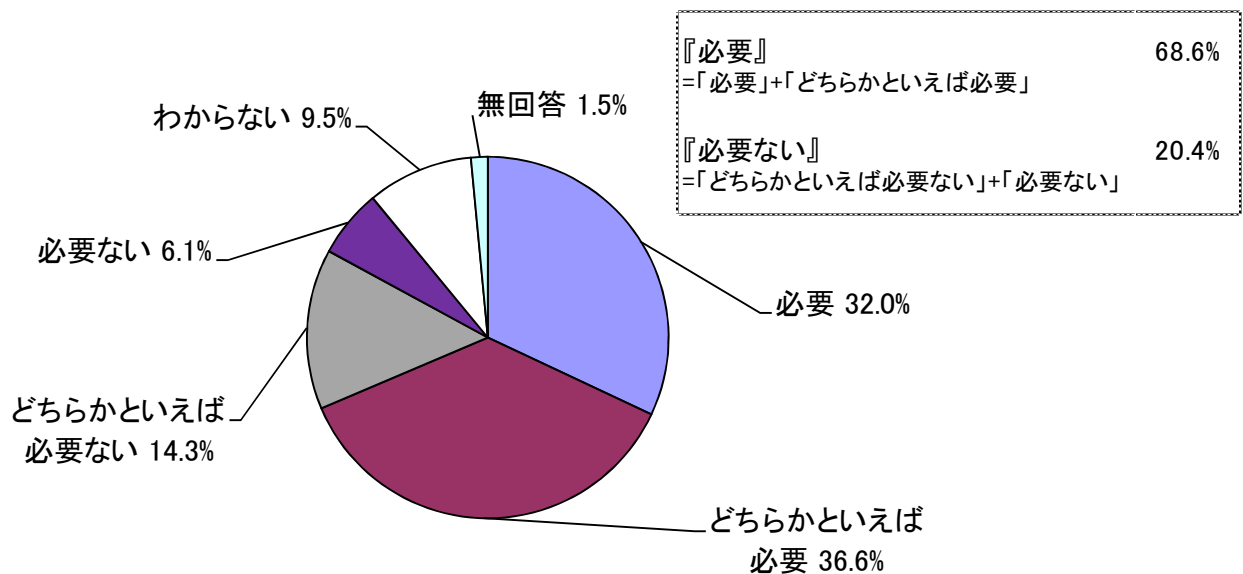
問 1 2

人口減少が進む中で、病院・店舗・役所などの施設を集約し利便性を高めて、まちの中心部を活性化させるという取組があります。あなたの地域にそういった取組は必要だと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 必要
- 2 どちらかといえば必要
- 3 どちらかといえば必要ない
- 4 必要ない
- 5 わからない

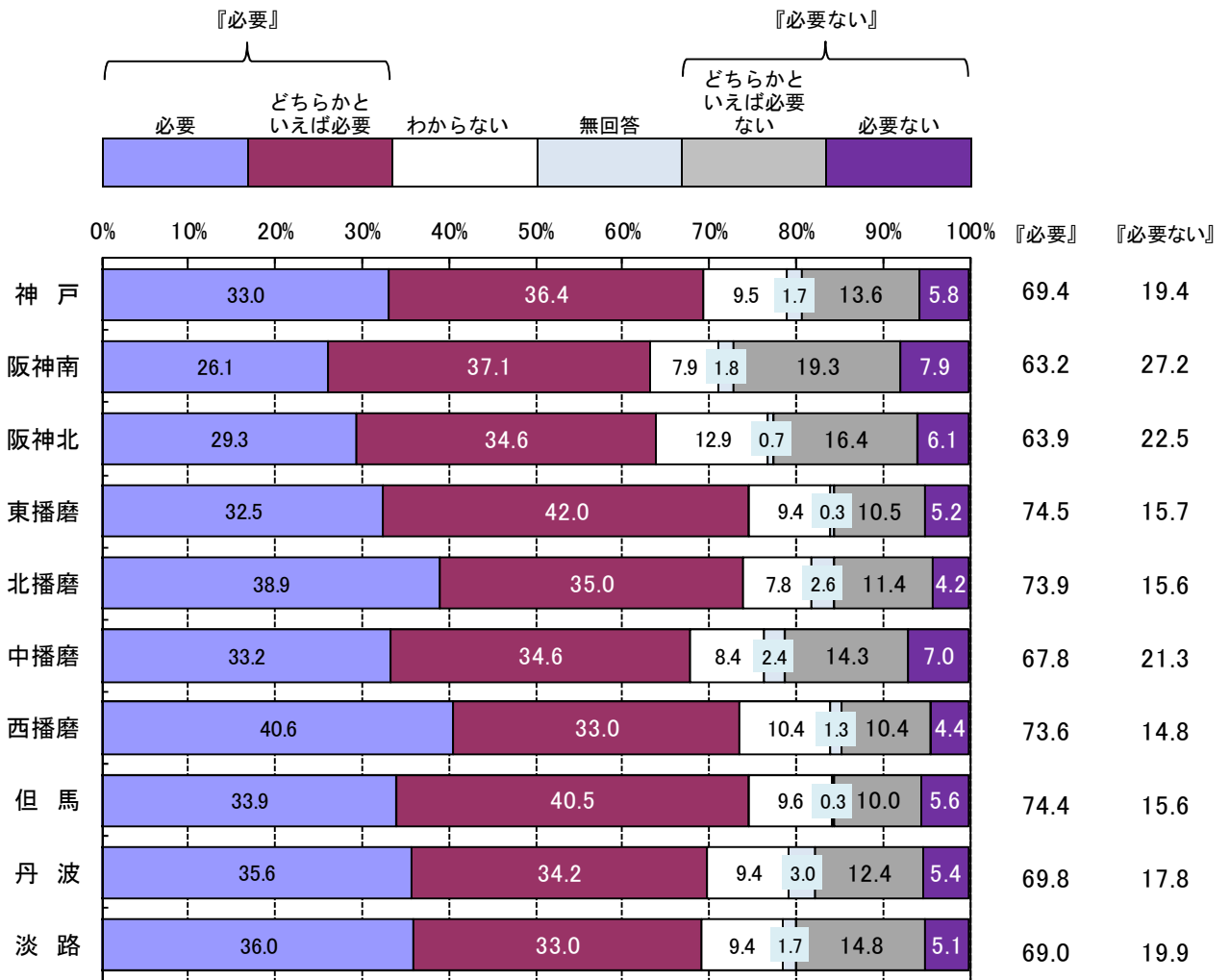
【全県】

「必要(32.0%)」、「どちらかといえば必要 (36.6%)」を合わせた『必要』が68.6%となった。



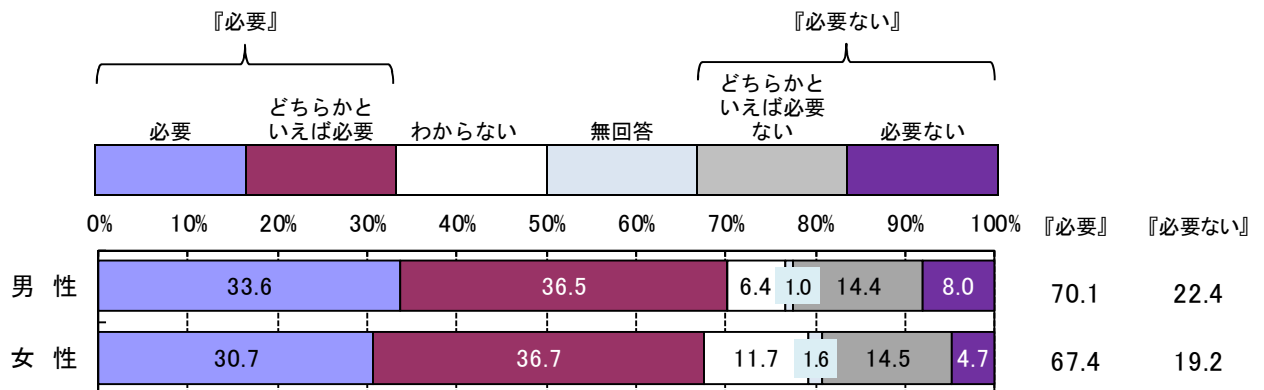
【地域別】

『必要』は東播磨が最も高く(74.5%)、次いで但馬(74.4%)、北播磨(73.9%)が高い。



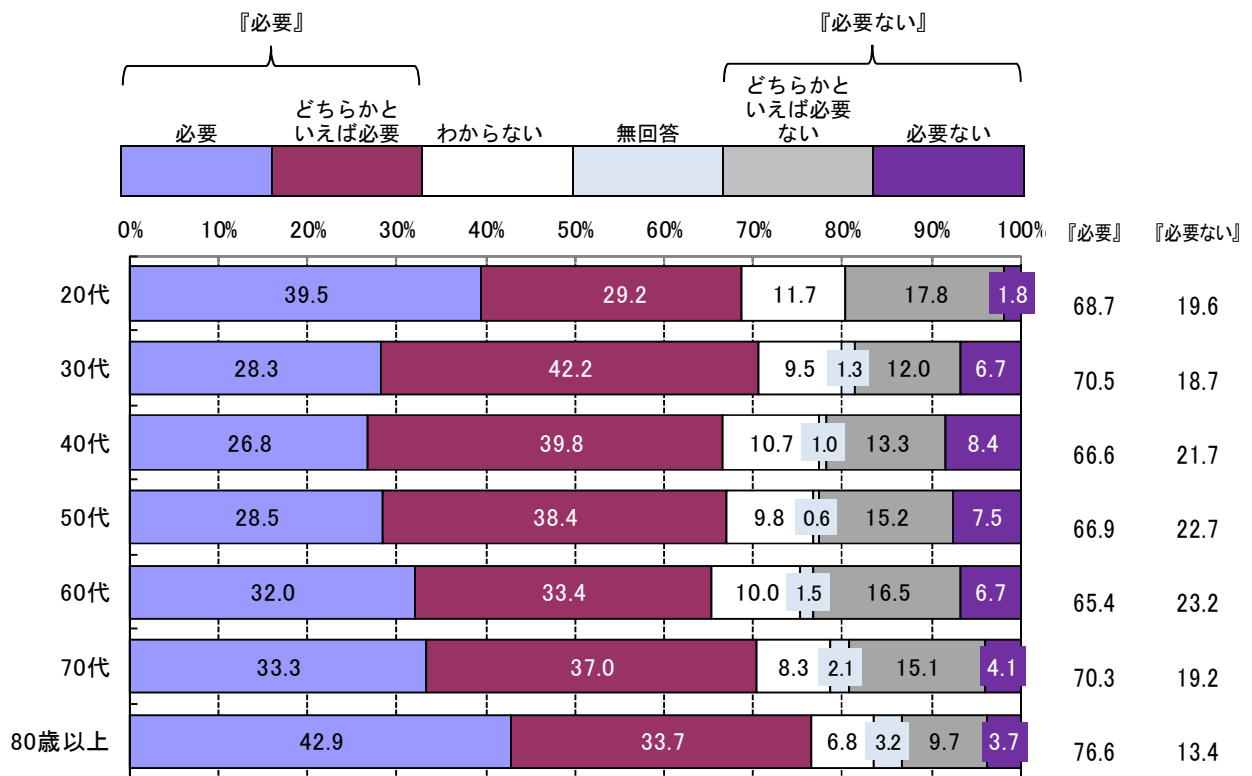
【性別】

男性、女性とも全県と同様の傾向にあり、男女間の差はない。



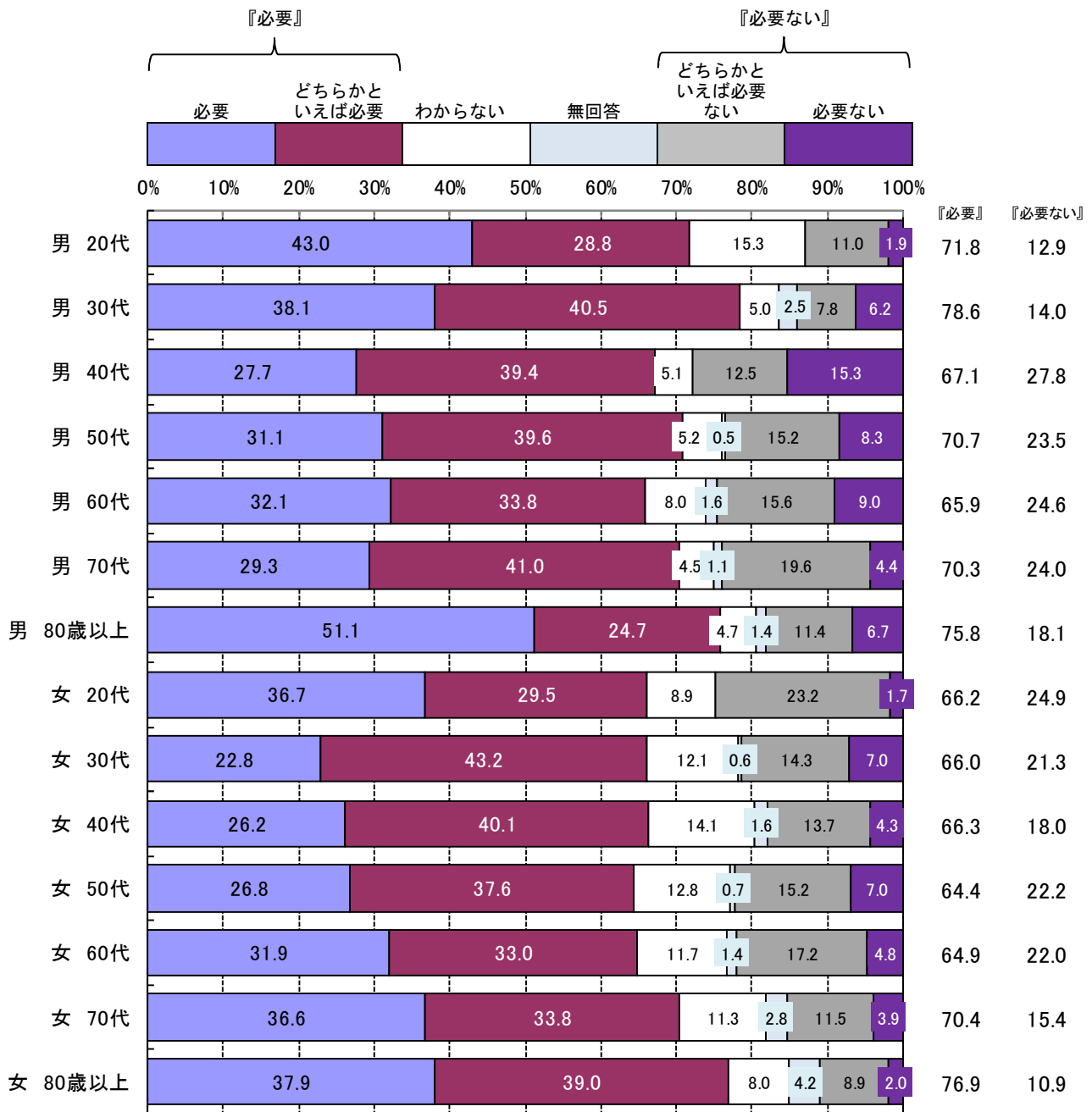
【年代別】

『必要』は80歳以上（76.6%）が最も高く、『必要ない』は60代（23.2%）で最も高い。



【性・年代別】

『必要』は、男性は30代(78.6%)が最も高く、女性は80歳以上(76.9%)が最も高い。



(産業・しごと)

問13 理想の仕事

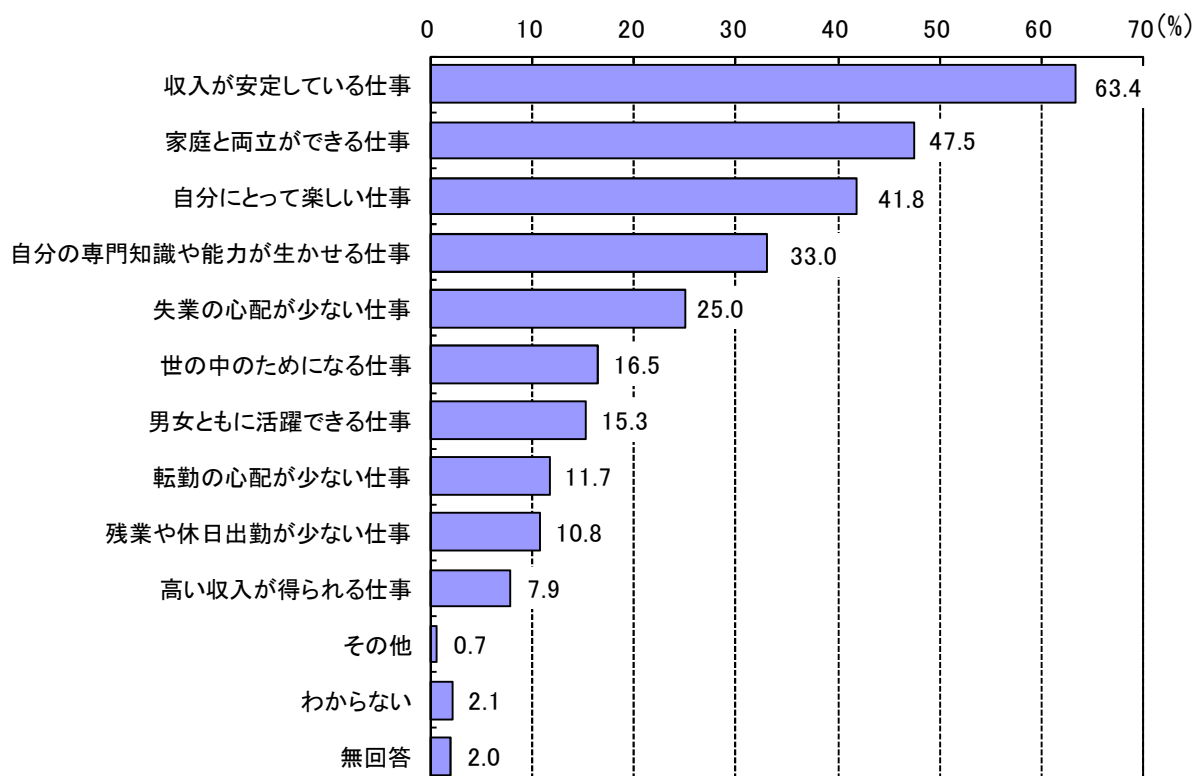
問13

あなたにとってどのような仕事が理想的ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 失業の心配が少ない仕事
- 2 収入が安定している仕事
- 3 高い収入が得られる仕事
- 4 自分の専門知識や能力が活かせる仕事
- 5 自分にとって楽しい仕事
- 6 世の中のためになる仕事
- 7 家庭と両立ができる仕事
- 8 残業や休日出勤が少ない仕事
- 9 転勤の心配が少ない仕事
- 10 男女ともに活躍できる仕事
- 11 その他
- 12 わからない

【全県】

「収入が安定している仕事(63.4%)」が最も多い。次いで「家庭と両立ができる仕事(47.5%)」、「自分にとって楽しい仕事(41.8%)」が多い。



【地域別】

全県で最も多い「収入が安定している仕事(63.4%)」は、中播磨が最も多く(69.9%)、次に但馬(69.4%)が多い。

区分	収入が安定している仕事	家庭と両立ができる仕事	自分にとって楽しい仕事	自分の専門知識や能力が活かせる仕事	失業の心配が少ない仕事	世の中のためになる仕事	男女ともに活躍できる仕事	転勤の心配が少ない仕事	残業や休日出勤が少ない仕事	最大値	最小値	(%)		
										高い収入が得られる仕事	その他			
全 県	63.4	47.5	41.8	33.0	25.0	16.5	15.3	11.7	10.8	7.9	0.7	2.1	2.0	
地域別	神 戸	58.5	45.2	44.2	35.7	22.8	19.0	14.6	12.9	11.6	6.1	0.0	2.4	2.4
	阪神南	60.0	48.9	41.1	33.6	21.8	19.6	14.3	10.0	8.9	10.7	1.4	2.1	2.5
	阪神北	65.7	47.1	41.8	33.2	26.8	14.6	16.1	10.7	12.9	8.2	1.1	1.8	1.8
	東播磨	66.1	48.3	43.0	32.2	30.4	15.0	13.6	14.0	11.2	5.9	0.3	2.4	0.7
	北播磨	67.0	44.8	31.7	32.0	27.8	16.0	20.6	9.5	9.8	8.8	1.6	1.0	2.9
	中播磨	69.9	47.9	44.4	27.3	24.1	14.3	15.4	15.4	9.8	8.4	1.0	1.4	1.4
	西播磨	64.5	50.3	39.3	31.1	27.4	13.2	16.0	8.5	9.4	10.4	0.9	2.2	0.9
	但 馬	69.4	52.5	33.9	35.2	29.6	11.0	17.3	7.6	10.0	8.3	0.3	2.7	1.0
	丹 波	68.1	49.7	38.6	29.9	22.8	10.1	20.1	9.1	13.1	6.4	0.7	2.7	4.7
	淡 路	68.7	49.8	40.4	31.0	25.3	12.1	17.2	5.4	9.8	8.4	0.3	1.7	1.7
地域間の差	11.4	7.7	12.7	8.4	8.6	9.5	7.0	10.0	4.2	4.8	1.6	1.7	4.0	

【性別】

男性、女性とも全県同様「収入が安定している仕事(男性 64.0%、女性 63.1%)」が最も多い。

次に、男性は「自分にとって楽しい仕事(43.2%)」、女性は「家庭と両立ができる仕事(55.3%)」が多い。

区分		収入が安定している仕事	家庭と両立ができる仕事	自分にとって楽しい仕事	自分の専門知識や能力が生かせる仕事	失業の心配が少ない仕事	世の中のためになる仕事	男女ともに活躍できる仕事	転勤の心配が少ない仕事	残業や休日出勤が少ない仕事	高い収入が得られる仕事	その他	わからない	無回答
全 県		63.4	47.5	41.8	33.0	25.0	16.5	15.3	11.7	10.8	7.9	0.7	2.1	2.0
性別	男 性	64.0	36.7	43.2	35.9	27.1	22.3	12.9	13.7	8.7	10.4	0.6	2.0	1.9
	女 性	63.1	55.3	40.8	31.0	23.6	12.6	17.1	10.3	12.0	6.3	0.8	2.2	1.8
性別間の差		0.9	18.6	2.4	4.9	3.5	9.7	4.2	3.4	3.3	4.1	0.2	0.2	0.1

【年代別】

全県では9番目に多い「残業や休日出勤が少ない仕事」は、20代では4番目に多い(30.3%)。

区分		収入が安定している仕事	家庭と両立ができる仕事	自分にとって楽しい仕事	自分の専門知識や能力が生かせる仕事	失業の心配が少ない仕事	世の中のためになる仕事	男女ともに活躍できる仕事	転勤の心配が少ない仕事	残業や休日出勤が少ない仕事	高い収入が得られる仕事	その他	わからない	無回答
全 県		63.4	47.5	41.8	33.0	25.0	16.5	15.3	11.7	10.8	7.9	0.7	2.1	2.0
年代別	20代	67.5	46.8	50.7	17.0	19.8	13.0	10.7	11.0	30.3	12.0	0.8	4.4	0.2
	30代	62.0	60.8	46.1	25.2	21.7	14.7	11.2	13.4	14.3	14.1	1.3	0.2	1.3
	40代	61.3	54.7	43.8	26.2	26.0	19.9	11.0	11.0	15.9	14.1	0.4	0.8	0.6
	50代	64.0	46.9	44.0	36.0	27.9	18.3	13.5	11.7	9.5	12.7	0.6	1.1	0.6
	60代	63.8	47.4	41.6	40.7	24.2	16.5	20.8	10.3	7.6	2.1	0.6	1.4	1.1
	70代	64.0	40.9	37.7	40.0	23.2	14.7	18.3	13.5	4.9	3.1	1.3	3.6	2.9
	80歳以上	63.6	36.0	30.8	27.6	31.5	16.2	15.9	11.1	3.3	2.3	0.2	5.7	7.9
年代間の差		6.2	24.8	19.9	23.7	11.7	6.9	10.1	3.2	27.0	12.0	1.1	5.5	7.7

【性・年代別】

全県で最も多い「収入が安定している仕事(63.4%)」は、男性では80歳以上が最も多く(66.0%)、女性では20代が最も多い(73.4%)。続く「家庭と両立ができる仕事(47.5%)」は、男性、女性ともに30代が最も多い(男性44.6%、女性69.9%)。

区分		最大値											最小値		(%)
		収入が安定している仕事	家庭と両立ができる仕事	自分にとって楽しい仕事	自分の専門知識や能力が生かせる仕事	失業の心配が少ない仕事	世の中のためになる仕事	男女ともに活躍できる仕事	転勤の心配が少ない仕事	残業や休日出勤が少ない仕事	高い収入が得られる仕事	その他	わからない	無回答	
全 県		63.4	47.5	41.8	33.0	25.0	16.5	15.3	11.7	10.8	7.9	0.7	2.1	2.0	
男性・年代別	20代	60.0	35.3	49.0	21.4	32.0	14.0	4.7	12.8	23.4	12.3	1.7	8.5	0.0	
	30代	63.1	44.6	42.4	22.1	31.5	24.0	5.8	17.4	10.1	19.3	0.0	0.4	2.5	
	40代	63.8	39.0	46.0	29.0	26.3	27.5	10.6	15.4	11.8	18.8	0.0	0.8	0.0	
	50代	63.2	31.2	45.3	41.7	30.4	23.6	8.2	16.1	9.8	19.9	0.6	0.0	0.5	
	60代	65.5	41.2	43.9	39.8	24.8	20.8	20.5	11.8	7.6	2.5	0.9	0.9	0.9	
	70代	63.9	33.6	41.1	43.5	23.7	24.0	15.1	15.1	2.5	3.5	1.0	3.2	2.4	
	80歳以上	66.0	29.3	32.1	36.0	27.9	16.0	13.6	5.0	4.3	5.0	0.0	4.6	10.7	
男性・年代間の差		6.0	15.3	16.9	22.1	8.3	13.5	15.8	12.4	20.9	17.4	1.7	8.5	10.7	
女性・年代別	20代	73.4	55.8	52.0	13.5	10.2	12.3	15.5	9.6	35.8	11.7	0.0	1.2	0.3	
	30代	61.4	69.9	48.2	26.9	16.3	9.5	14.2	11.2	16.7	11.2	2.0	0.0	0.6	
	40代	59.8	64.2	42.5	24.5	25.8	15.3	11.3	8.4	18.4	11.2	0.6	0.7	0.9	
	50代	64.5	56.9	43.2	32.4	26.4	14.8	16.8	8.9	9.3	8.1	0.6	1.8	0.7	
	60代	62.4	52.6	39.8	41.5	23.6	12.9	21.1	9.1	7.6	1.7	0.4	1.8	1.3	
	70代	64.0	46.8	35.0	37.2	22.7	7.3	20.9	12.3	6.9	2.9	1.4	3.9	3.4	
	80歳以上	62.1	39.8	30.3	22.7	33.3	16.4	17.4	14.6	2.6	0.7	0.3	6.4	6.4	
女性・年代間の差		13.6	30.1	21.7	28.0	23.1	9.1	9.8	6.2	33.2	11.0	2.0	6.4	6.1	

問14 理想のキャリア

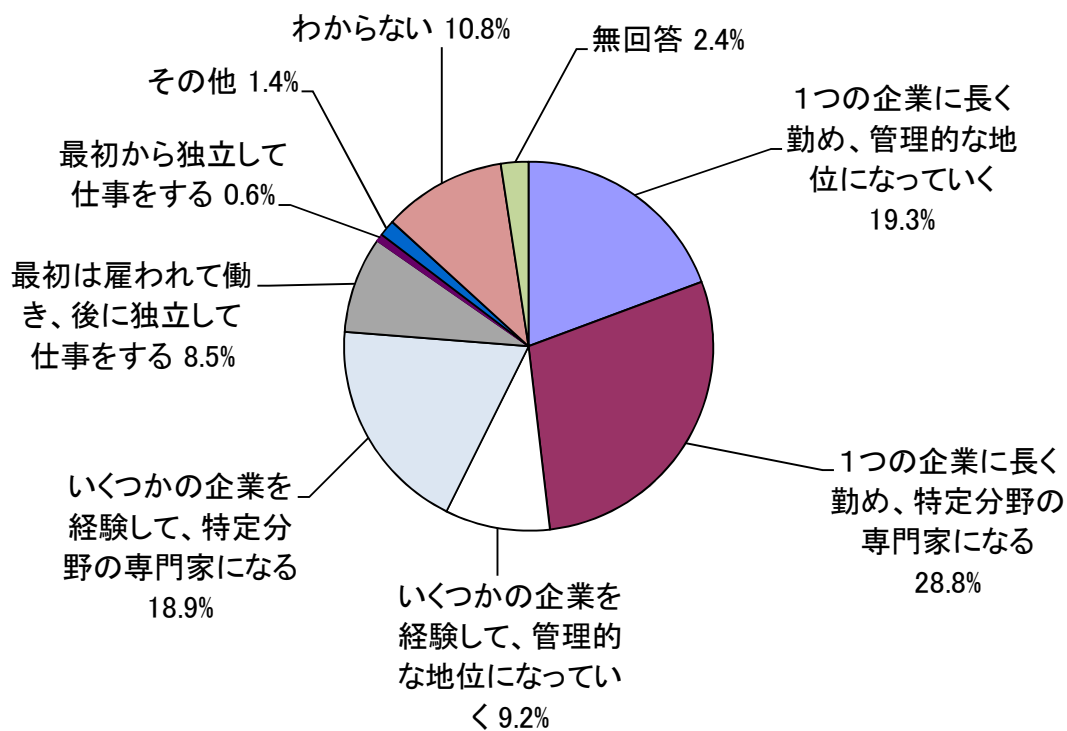
問14

理想的な仕事のキャリアはどのようなものだと思いますか。あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 1つの企業に長く勤め、管理的な地位になっていく
- 2 1つの企業に長く勤め、特定分野の専門家になる
- 3 いくつかの企業を経験して、管理的な地位になっていく
- 4 いくつかの企業を経験して、特定分野の専門家になる
- 5 最初は雇われて働き、後に独立して仕事をする
- 6 最初から独立して仕事をする
- 7 その他
- 8 わからない

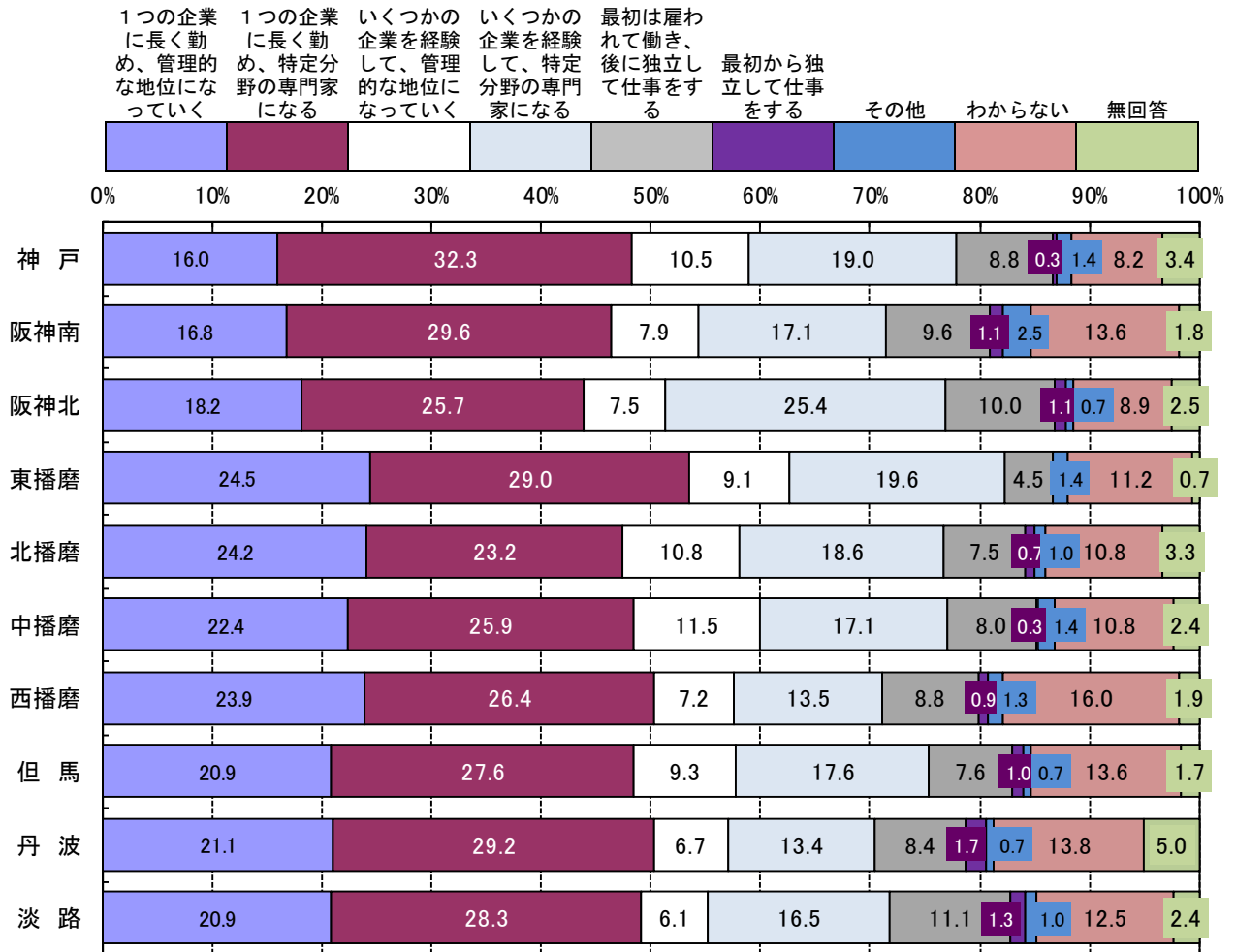
【全県】

「1つの企業に長く勤め、特定分野の専門家になる（28.8%）」が最も高い。



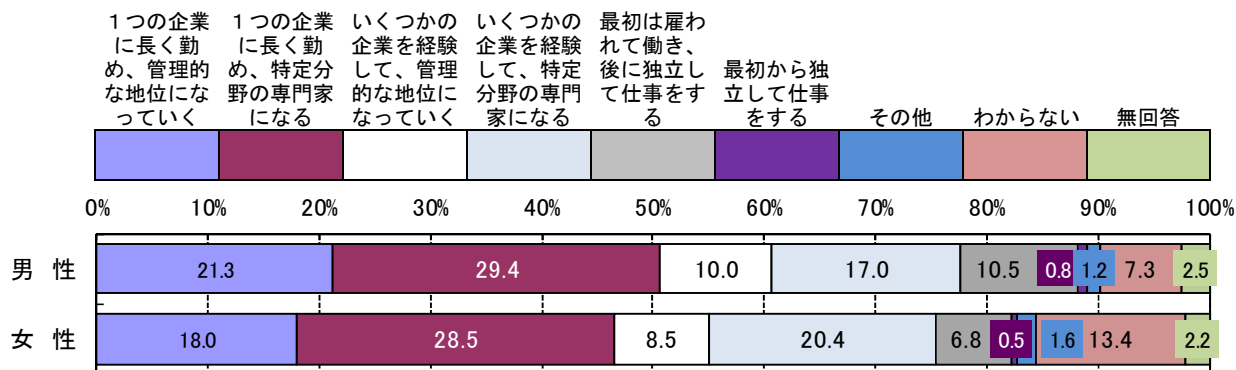
【地域別】

全県で最も多い「1つの企業に長く勤め、特定分野の専門家になる(28.8%)」は、神戸が最も高く(32.3%)、次いで阪神南(29.6%)、丹波(29.2%)が高い。



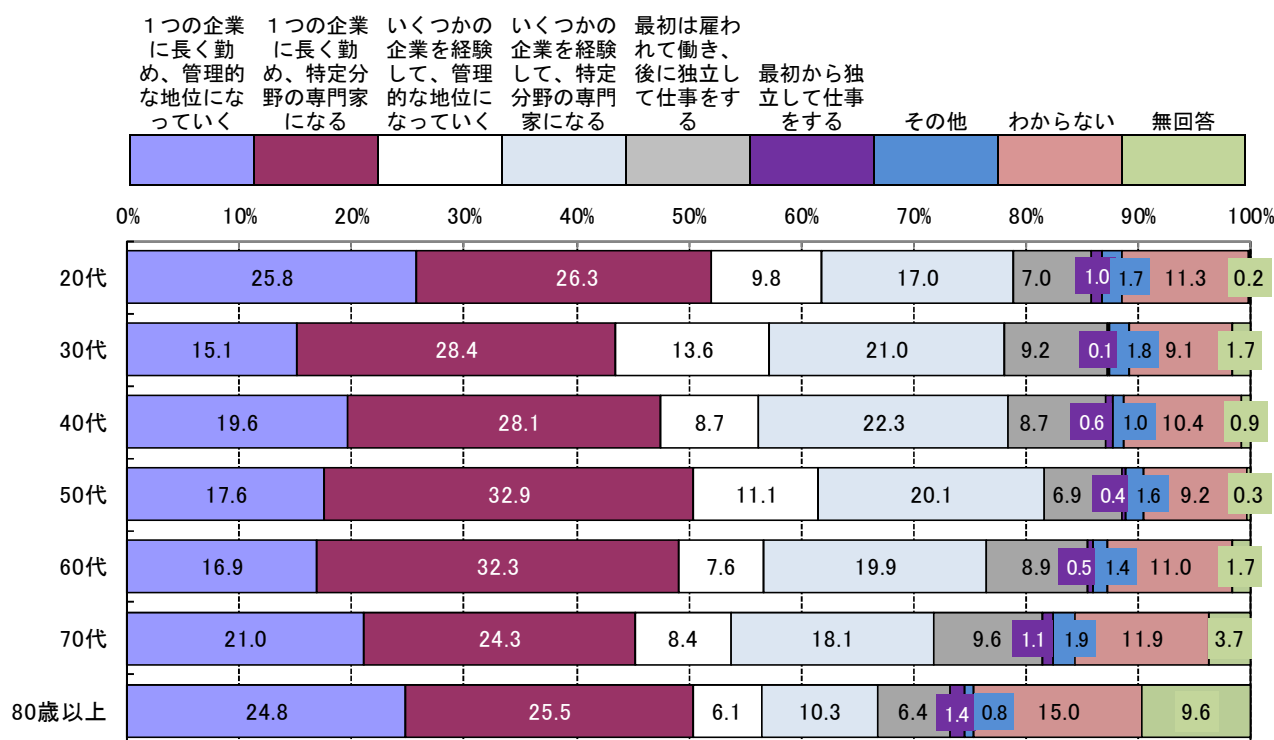
【性別】

男性、女性ともに全県と同様「1つの企業に長く勤め、特定分野の専門家になる(男性 29.4%、女性 28.5%)」が最も高い。次に、男性は「1つの企業に長く勤め、管理的な地位になっていく(21.3%)」、女性は「いくつかの企業を経験して、特定分野の専門家になる(20.4%)」が続いた。



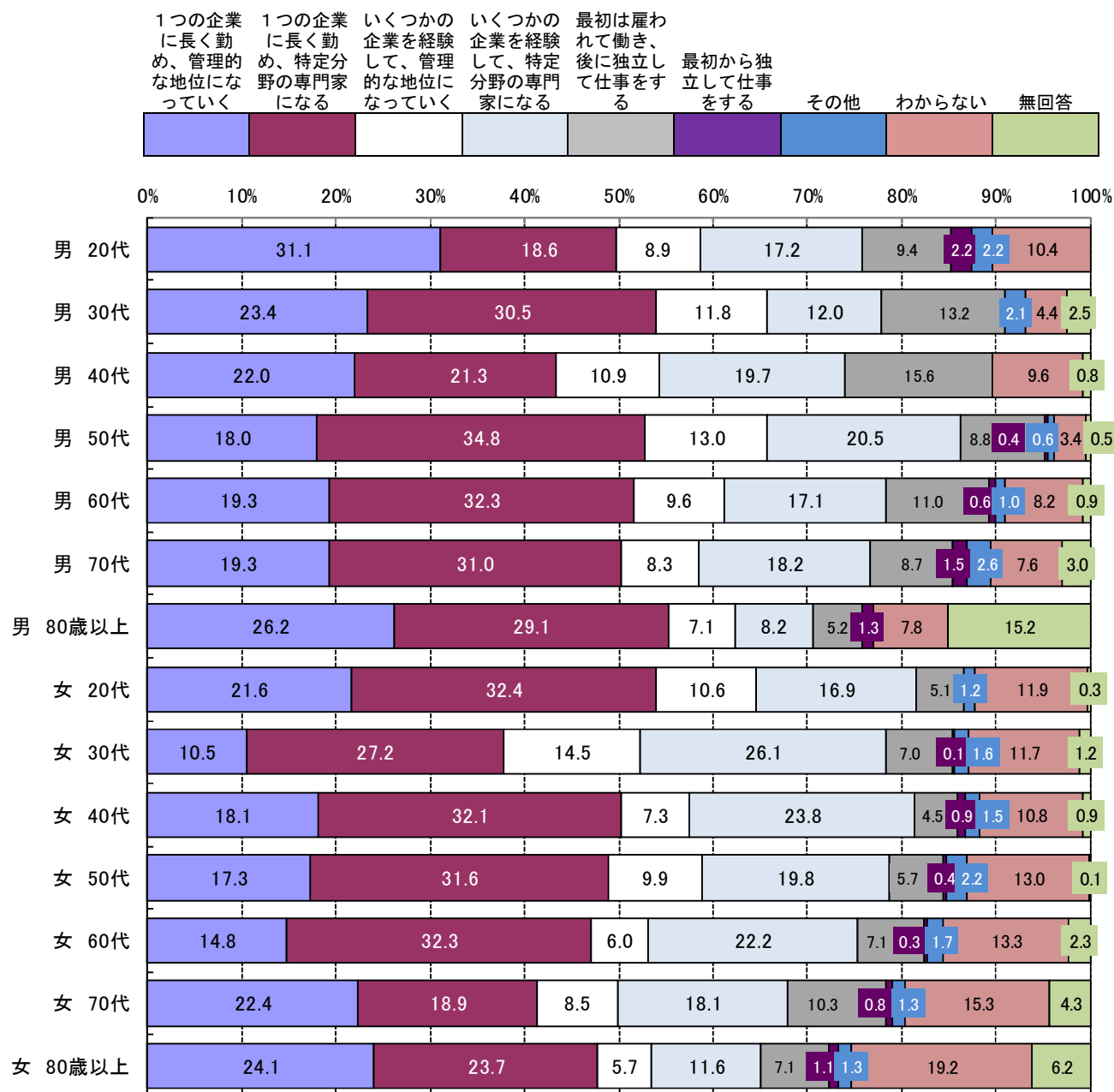
【年代別】

全ての年代で、全県と同様「1つの企業に長く勤め、特定分野の専門家になる」が最も高い。次に、20代と70代以上では「1つの企業に長く勤め、管理的な地位になっていく」、30~60代では「いくつかの企業を経験して、特定分野の専門家になる」が続いた。



【性・年代別】

男性の20代・40代と、女性の70代以上は、「1つの企業に長く勤め、管理的な地位になっていく」が最も高く、それ以外は、「1つの企業に長く勤め、特定分野の専門家になる」が最も高い。



(安全・安心)

問15 環境の保全と生活の便利さの優先度

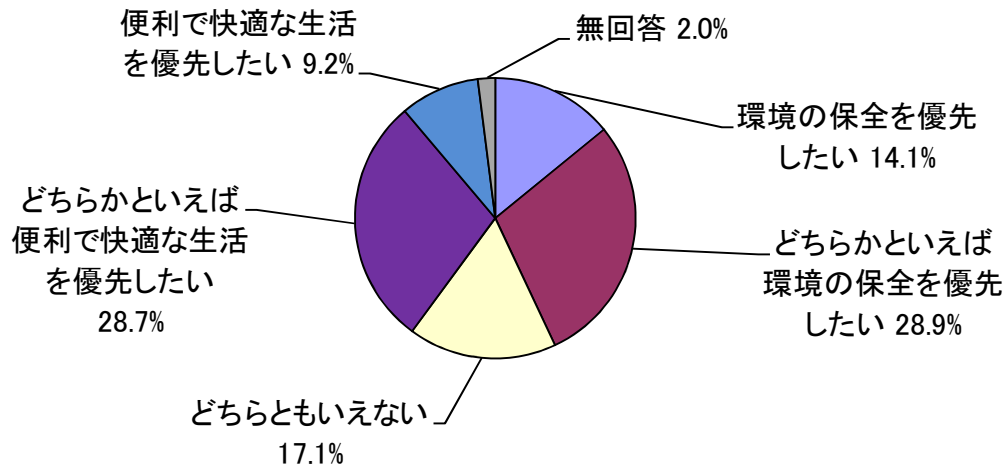
問15

環境の保全と生活の便利さ・快適さのどちらを優先するかについて、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 環境の保全を優先したい
- 2 どちらかといえば環境の保全を優先したい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば便利で快適な生活を優先したい
- 5 便利で快適な生活を優先したい

【全 県】

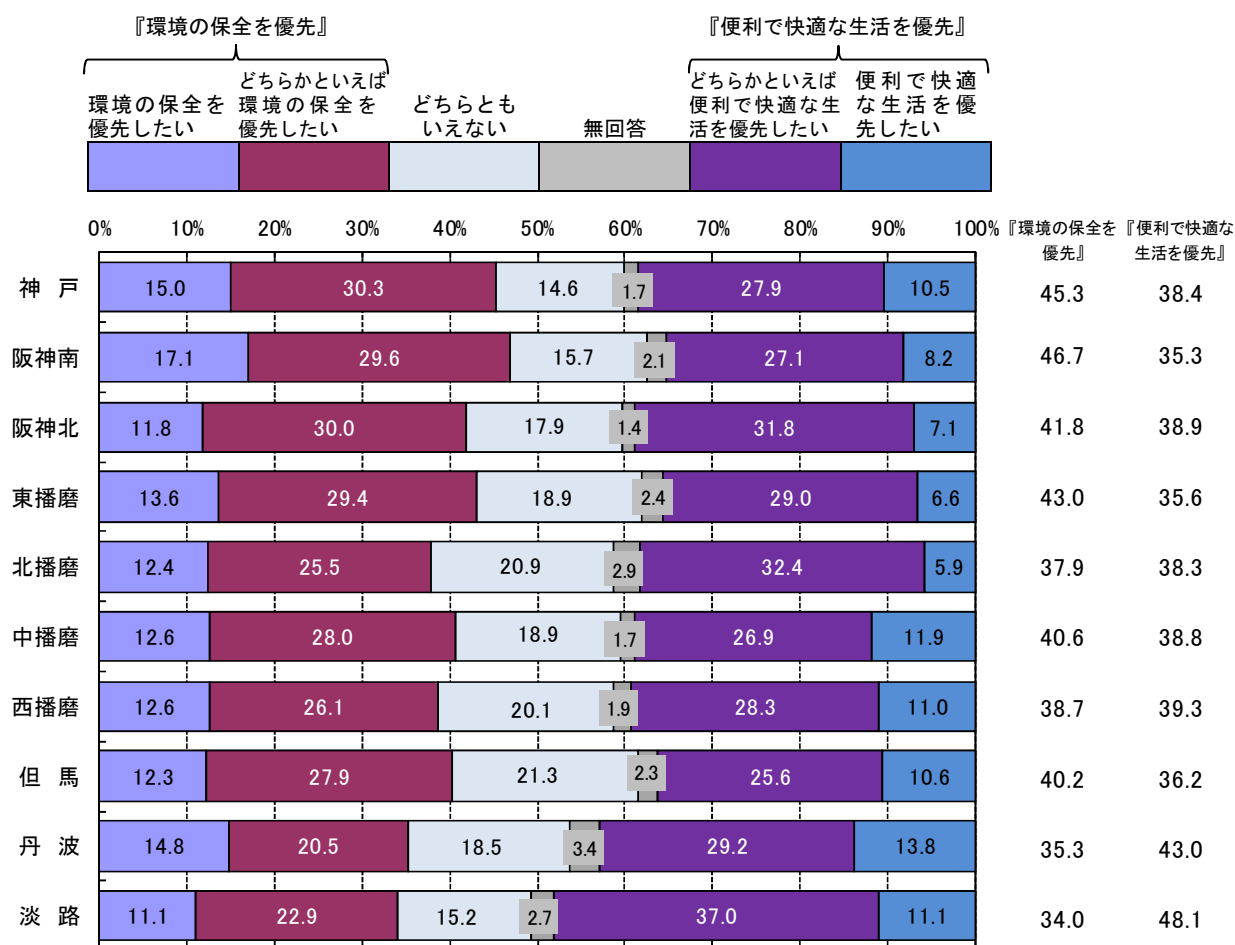
「環境の保全を優先したい(14.1%)」と「どちらかといえば環境の保全を優先したい(28.9%)」を合わせた『環境の保全を優先 (43.0%)』が、「便利で快適な生活を優先したい(9.2%)」と「どちらかといえば便利で快適な生活を優先したい(28.7%)」を合わせた『便利で快適な生活を優先 (37.9%)』を5.1ポイント上回った。



『環境の保全を優先』	43.0%
=「環境の保全を優先したい」	
+「どちらかといえば環境の保全を優先したい」	
『便利で快適な生活を優先』	37.9%
=「便利で快適な生活を優先したい」	
+「どちらかといえば便利で快適な生活を優先したい」	

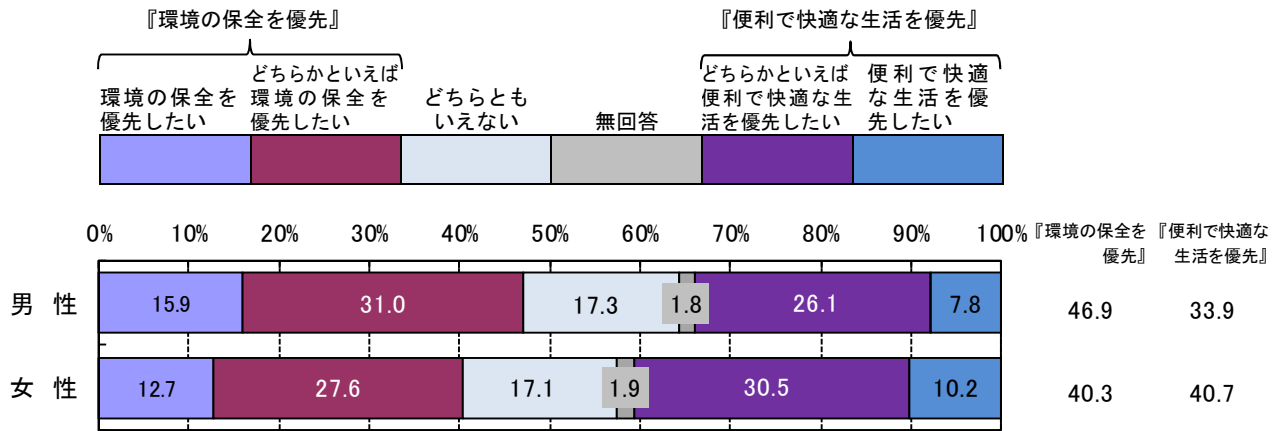
【地域別】

『環境の保全を優先』は阪神南が最も高く(46.7%)、次いで神戸(45.3%)、東播磨(43.0%)が高い。



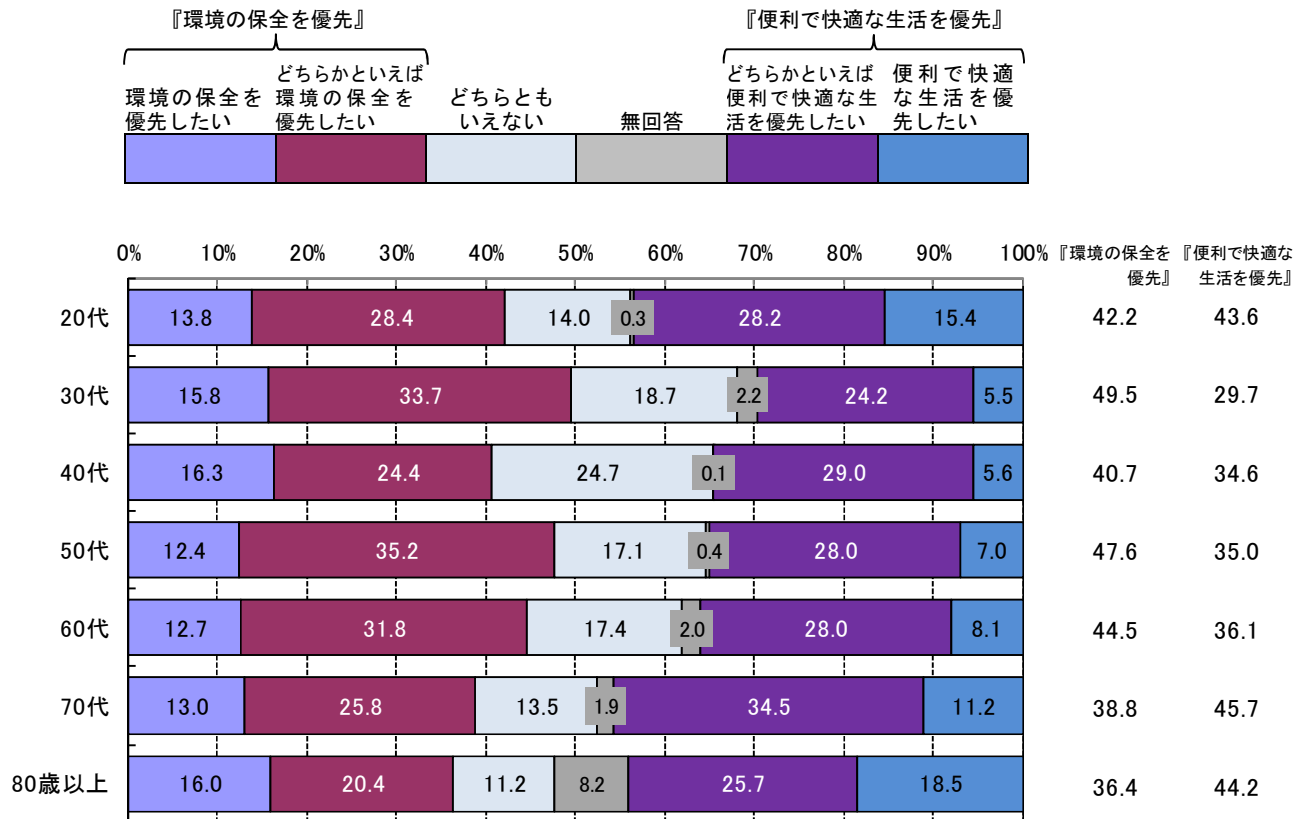
【性別】

『環境の保全を優先』は、男性(46.9%)が女性(40.3%)より6.6ポイント高い。



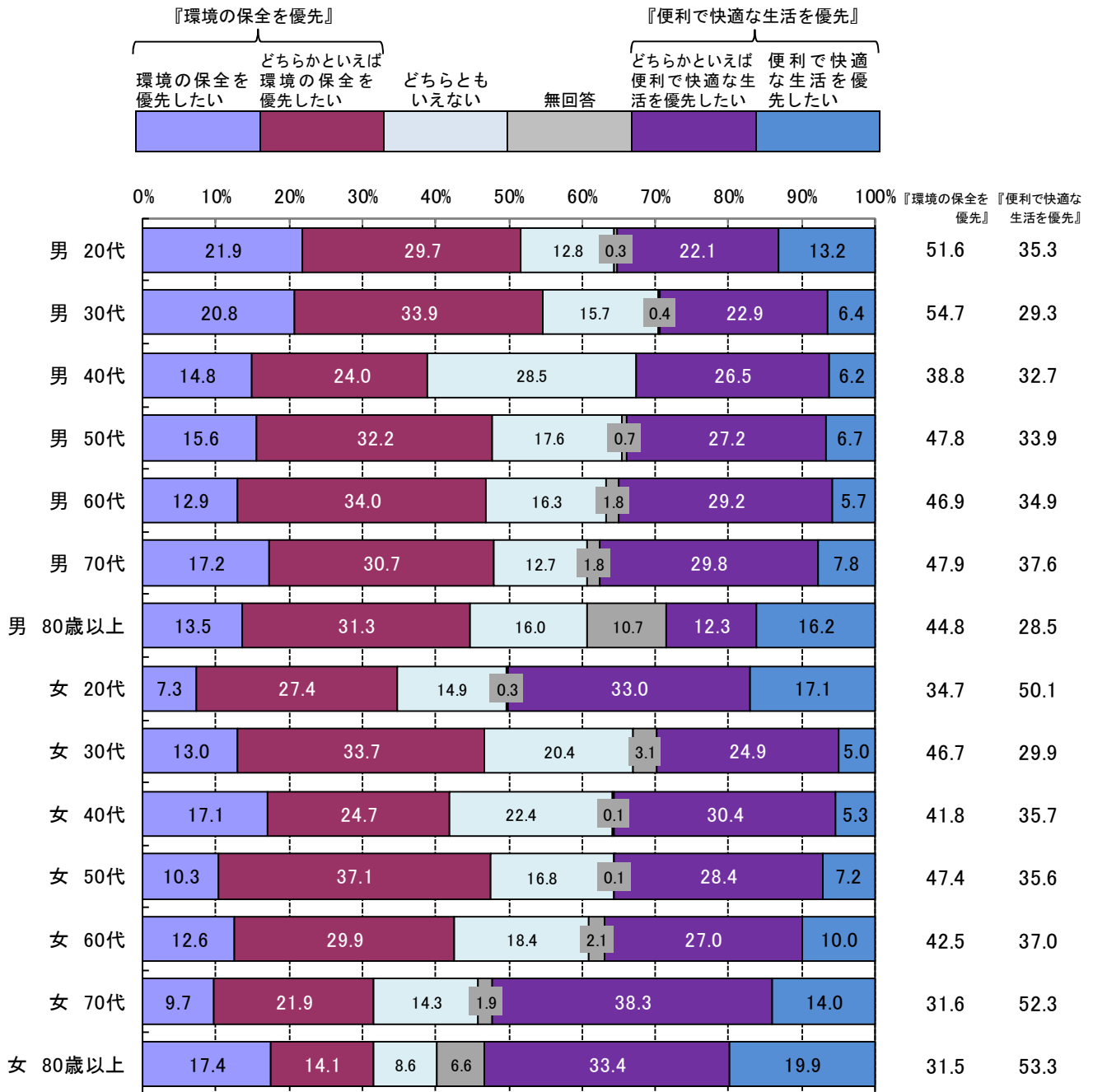
【年代別】

30～60代は『環境の保全を優先』が高く、20代と70代以上は『便利で快適な生活を優先』が高い。



【性・年代別】

『環境の保全を優先』は男性 30 代が最も高く(54.7%)、『便利で快適な生活を優先』は男性 40 代が最も高い(55.0%)。



3 「目指すべき兵庫の将来像」に関することについて

問16 現在のイメージのキーワード

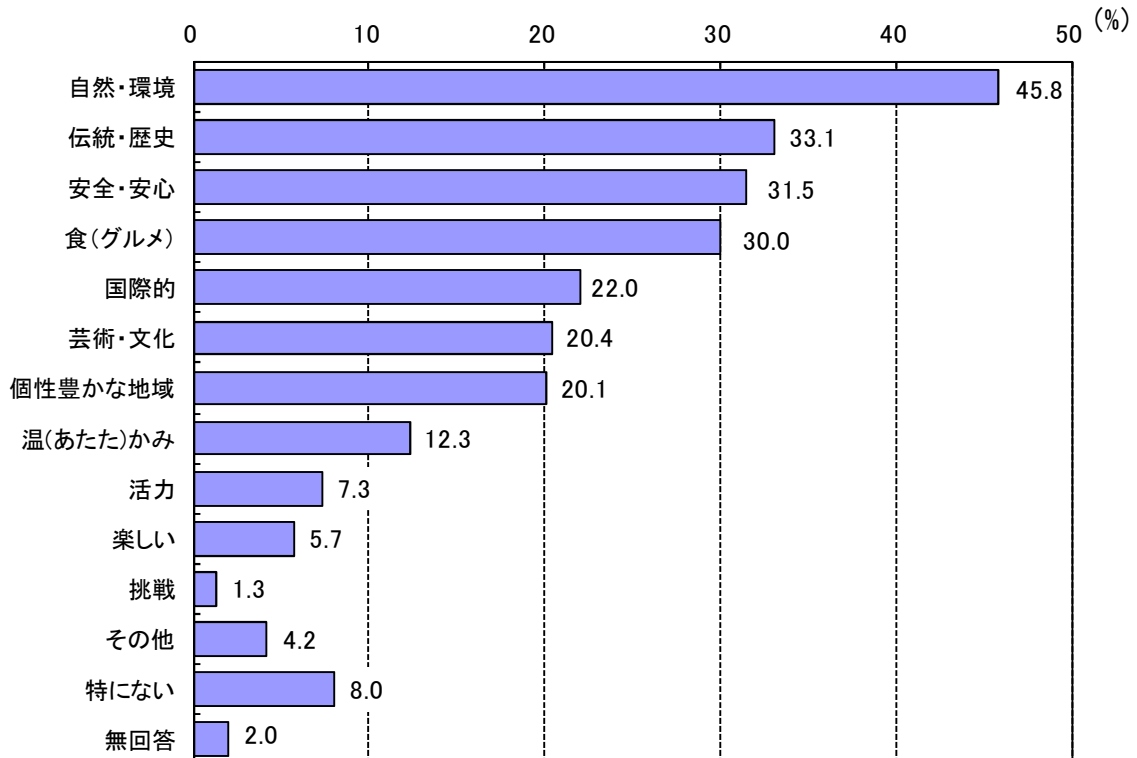
問16

兵庫県の現在のイメージをキーワードで表すと、どれになりますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 伝統・歴史
- 2 温(あたた)かみ
- 3 活力
- 4 挑戦
- 5 安全・安心
- 6 楽しい
- 7 国際的
- 8 芸術・文化
- 9 食(グルメ)
- 10 自然・環境
- 11 個性豊かな地域
- 12 その他
- 13 特にない

【全県】

「自然・環境(45.8%)」が最も多く、「伝統・歴史(33.1%)」、「安全・安心(31.5%)」が続いた。



【地域別】

全県で最も多い「自然・環境」は丹波で最も多く(55.0%)、次いで但馬(52.5%)、阪神北(48.9%)が多い。

区分	自然・環境	伝統・歴史	安全・安心	食(グルメ)	国際的	芸術・文化	個性豊かな地域	温(あたたかみ)	活力	最大値		最小値		無回答	
										楽しい	挑戦	その他	特にない		
全 県	45.8	33.1	31.5	30.0	22.0	20.4	20.1	12.3	7.3	5.7	1.3	4.2	8.0	2.0	
地域別	神 戸	45.9	29.6	27.6	39.1	32.7	21.8	19.0	10.9	6.8	6.1	1.4	4.8	4.4	2.0
	阪神南	41.8	25.4	33.9	23.2	18.2	24.6	18.9	12.1	7.9	6.4	2.1	5.4	10.0	1.1
	阪神北	48.9	31.1	31.8	25.7	16.8	24.6	19.6	9.6	8.9	6.4	0.4	3.6	10.7	1.1
	東播磨	44.4	33.9	32.5	33.2	23.1	18.2	21.3	13.3	8.0	5.9	0.7	4.2	9.4	0.7
	北播磨	46.7	33.0	35.3	26.5	20.6	16.0	19.6	12.4	6.5	2.6	2.3	2.3	9.5	2.6
	中播磨	45.1	51.7	33.2	24.5	12.9	14.7	21.0	14.7	5.9	7.0	1.0	3.1	9.8	3.1
	西播磨	47.5	42.8	34.9	23.0	17.9	15.7	23.3	16.4	7.2	2.2	0.6	3.1	6.9	3.5
	但 馬	52.5	36.5	31.2	22.6	16.3	13.3	22.3	14.0	6.6	2.7	1.0	3.0	8.0	5.3
	丹 波	55.0	36.9	33.2	23.8	15.1	15.1	23.2	15.4	6.7	4.7	2.3	3.0	6.7	4.7
	淡 路	47.1	32.3	27.3	40.1	14.8	17.5	21.2	16.2	5.7	3.0	2.7	3.4	5.7	5.4
地域間の差	13.2	26.3	8.0	17.5	19.8	11.3	4.4	6.8	3.2	4.8	2.3	3.1	6.3	4.7	

【性別】

男性、女性とも全県と同様の傾向にある。

男女間の差は、「食（グルメ）（男性 26.1%、女性 32.7%）」（6.6ポイント差）が最も大きい。

区分		自然・環境	伝統・歴史	安全・安心	食（グルメ）	国際的	芸術・文化	個性豊かな地域	温（あたた）かみ	活力	楽しい	挑戦	その他	特にない	無回答
全 県		45.8	33.1	31.5	30.0	22.0	20.4	20.1	12.3	7.3	5.7	1.3	4.2	8.0	2.0
性別	男 性	47.4	34.8	31.6	26.1	23.4	20.0	21.9	11.8	8.5	6.2	1.5	5.9	7.9	1.3
	女 性	44.4	32.0	31.0	32.7	21.4	21.0	18.9	12.5	6.5	5.2	1.2	3.0	8.2	2.3
性別間の差		3.0	2.8	0.6	6.6	2.0	1.0	3.0	0.7	2.0	1.0	0.3	2.9	0.3	1.0

【年代別】

全県で最も多い「自然・環境」は、60代が最も多い(52.3%)。

区分		自然・環境	伝統・歴史	安全・安心	食（グルメ）	国際的	芸術・文化	個性豊かな地域	温（あたた）かみ	活力	楽しい	挑戦	その他	特にない	無回答
全 県		45.8	33.1	31.5	30.0	22.0	20.4	20.1	12.3	7.3	5.7	1.3	4.2	8.0	2.0
年代別	20代	41.2	28.0	24.0	31.0	23.0	23.4	24.3	14.4	6.7	13.2	1.6	5.9	5.5	1.8
	30代	36.2	33.4	21.7	38.7	24.4	28.8	22.8	13.1	6.7	5.6	1.0	2.4	7.7	1.6
	40代	43.2	30.7	27.4	37.4	20.4	24.6	18.9	9.6	5.3	4.1	1.3	5.6	10.2	0.1
	50代	47.3	33.5	27.7	34.9	23.9	20.4	19.5	12.9	7.5	3.0	0.5	4.9	9.1	0.5
	60代	52.3	34.1	33.8	28.9	19.4	19.5	18.2	9.8	6.2	3.3	0.5	5.0	7.9	1.8
	70代	48.4	37.0	39.9	19.6	26.1	14.9	21.6	14.1	9.6	5.8	2.3	3.5	7.2	2.2
	80歳以上	40.0	30.3	38.4	19.6	18.8	16.0	19.2	15.4	10.1	12.3	3.4	0.8	6.3	7.9
年代間の差		16.1	9.0	18.2	19.1	7.3	13.9	6.1	5.8	4.8	10.2	2.9	5.1	4.7	7.8

【性・年代別】

全県で最も多い「自然・環境」は、女性 30 代以外で最も多い。女性 30 代は「食(グルメ)」が最も多い(40.3%)。

区分		最大値										最小値		(%)	
		自然・環境	伝統・歴史	安全・安心	食(グルメ)	国際的	芸術・文化	個性豊かな地域	温(あたた)かみ	活力	楽しい	挑戦	その他		特にない
全 県		45.8	33.1	31.5	30.0	22.0	20.4	20.1	12.3	7.3	5.7	1.3	4.2	8.0	2.0
男性・年代別	20代	44.2	29.7	25.1	30.3	27.8	29.4	24.2	9.2	9.7	17.7	2.7	4.6	2.4	0.8
	30代	42.5	31.8	20.4	35.8	30.1	28.1	28.1	14.9	8.4	5.6	1.0	2.6	4.9	0.0
	40代	48.4	27.6	27.0	34.6	24.9	21.4	18.7	10.3	7.2	4.6	0.2	10.9	8.7	0.0
	50代	46.1	33.6	28.6	34.1	21.6	17.4	16.0	13.5	7.3	3.2	0.1	5.2	13.8	1.0
	60代	51.6	42.7	36.0	22.1	15.9	19.4	22.6	9.3	7.3	3.8	0.1	6.6	7.6	1.7
	70代	49.0	38.8	37.7	17.1	30.1	14.7	24.0	14.1	10.6	4.4	3.1	6.2	6.6	1.5
	80歳以上	40.2	25.0	36.3	13.4	19.4	19.3	22.4	12.5	10.9	16.9	7.1	0.5	7.2	5.0
男性・年代間の差		11.4	17.7	17.3	22.4	14.2	14.7	12.1	5.7	3.7	14.5	7.0	10.4	11.4	5.0
女性・年代別	20代	38.9	26.6	23.0	31.5	19.1	18.7	24.5	18.5	4.4	9.7	0.7	7.0	7.9	2.5
	30代	32.6	34.3	22.5	40.3	21.2	29.2	19.8	12.2	5.7	5.5	1.0	2.2	9.3	2.4
	40代	40.0	32.7	27.6	39.2	17.7	26.6	18.9	9.2	4.1	3.7	1.9	2.4	11.2	0.2
	50代	48.1	33.5	27.0	35.4	25.4	22.4	21.7	12.5	7.6	2.9	0.7	4.8	6.2	0.2
	60代	52.9	27.0	31.9	34.6	22.3	19.6	14.4	10.2	5.4	3.0	0.9	3.6	8.1	1.9
	70代	47.9	35.6	41.7	21.6	22.9	15.1	19.6	14.1	8.7	7.0	1.5	1.3	7.8	2.6
	80歳以上	39.8	33.5	39.3	23.2	18.6	14.1	17.5	16.9	9.6	9.8	1.3	1.0	5.8	9.4
女性・年代間の差		20.3	9.0	19.2	18.7	7.7	15.1	10.1	9.3	5.5	6.9	1.2	6.0	5.4	9.2

問17 将来のイメージのキーワード

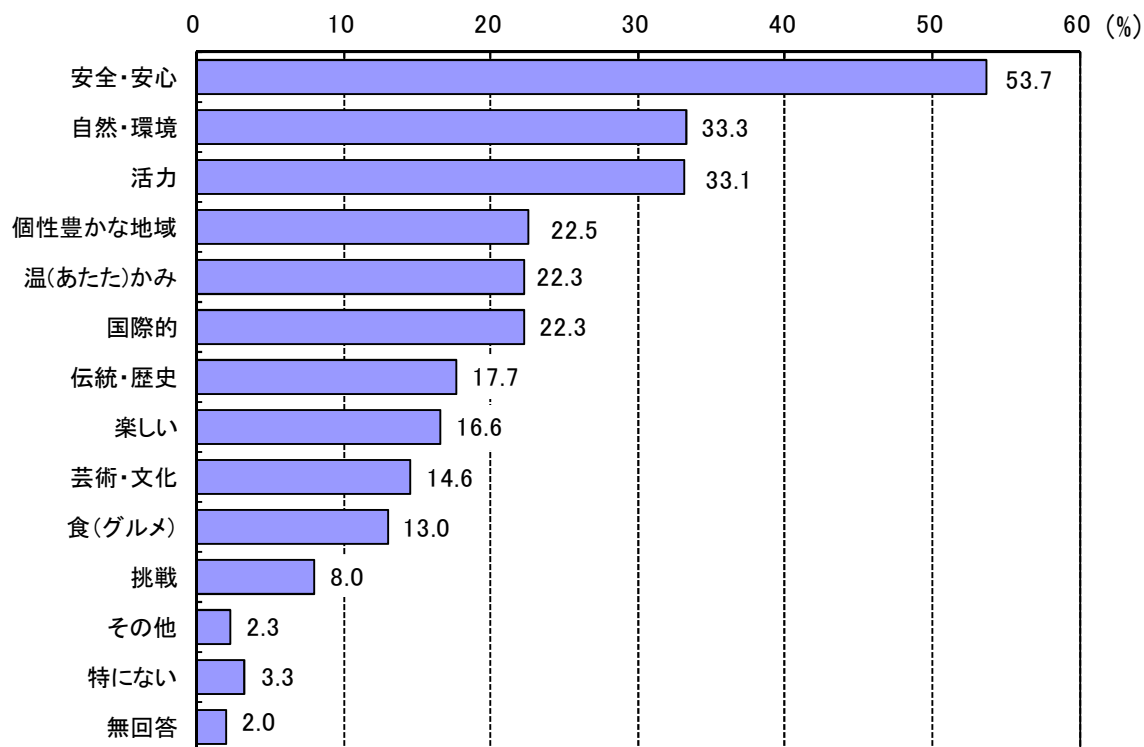
問17

将来、兵庫県になってほしいイメージをキーワードで表すと、どれになりますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 伝統・歴史
- 2 温(あたた)かみ
- 3 活力
- 4 挑戦
- 5 安全・安心
- 6 楽しい
- 7 国際的
- 8 芸術・文化
- 9 食(グルメ)
- 10 自然・環境
- 11 個性豊かな地域
- 12 その他
- 13 特にない

【全県】

「安全・安心 (53.7%)」が最も多く、「自然・環境(33.3%)」、「活力(33.1%)」が続いた。



【地域別】

全県で最も多い「安全・安心」は西播磨で最も多く(56.6%)、次いで神戸(55.1%)、丹波(54.7%)が多い。

区分		最大値											最小値		(%)
		安全・安心	自然・環境	活力	個性豊かな地域	温(あたた)かみ	国際的	伝統・歴史	楽しい	芸術・文化	食(グルメ)	挑戦	その他	特にない	
全 県		53.7	33.3	33.1	22.5	22.3	22.3	17.7	16.6	14.6	13.0	8.0	2.3	3.3	2.0
地域別	神 戸	55.1	36.1	35.4	21.8	17.7	26.5	17.7	15.6	17.7	12.2	9.5	2.7	1.4	2.4
	阪神南	53.9	31.4	27.9	21.8	24.3	21.8	15.0	18.2	15.7	15.0	5.0	2.5	3.9	1.1
	阪神北	53.9	36.1	32.5	20.7	25.4	19.3	16.1	17.9	13.2	12.9	7.1	2.1	4.6	0.7
	東播磨	51.4	31.1	33.6	22.7	22.7	21.7	17.8	15.4	14.0	12.6	9.8	2.4	5.9	0.7
	北播磨	51.6	28.1	35.0	25.5	28.4	21.2	15.0	12.7	13.4	8.8	9.8	2.0	4.6	2.9
	中播磨	54.2	29.7	33.6	22.0	22.7	22.0	26.2	18.5	14.3	15.0	9.1	1.4	1.4	3.5
	西播磨	56.6	32.7	36.2	24.8	25.2	18.9	18.9	14.2	8.5	11.3	6.6	0.9	4.7	3.5
	但 馬	48.2	36.2	34.2	29.6	23.9	16.3	17.3	17.9	9.3	11.0	7.6	2.7	3.7	3.3
	丹 波	54.7	33.6	37.2	26.8	23.5	17.1	17.1	17.8	9.7	13.8	6.4	2.0	3.4	3.0
	淡 路	50.2	35.7	32.7	21.5	19.9	20.5	14.1	15.5	9.1	14.5	6.4	1.3	3.0	5.1
地域間の差		8.4	8.1	9.3	8.9	10.7	10.2	12.1	5.8	9.2	6.2	4.8	1.8	4.5	4.4

【性別】

男性、女性とも全県と同じ傾向にあり、男女間の差はない。

区分		安全・安心	自然・環境	活力	個性豊かな地域	温(あたた)かみ	国際的	伝統・歴史	楽しい	芸術・文化	食(グルメ)	挑戦	その他	特にない	無回答
全 県		53.7	33.3	33.1	22.5	22.3	22.3	17.7	16.6	14.6	13.0	8.0	2.3	3.3	2.0
性別	男 性	51.2	34.5	35.0	25.4	20.1	22.6	20.0	15.9	13.8	11.7	9.4	3.4	3.6	1.5
	女 性	55.4	32.6	31.7	20.5	23.8	22.4	16.2	16.9	15.4	13.7	7.2	1.5	3.2	2.1
性別間の差		4.2	1.9	3.3	4.9	3.7	0.2	3.8	1.0	1.6	2.0	2.2	1.9	0.4	0.6

【年代別】

全ての年代で、全県と同様「安全・安心」が最も多い。

区分		安全・安心	自然・環境	活力	個性豊かな地域	温(あたた)かみ	国際的	伝統・歴史	楽しい	芸術・文化	食(グルメ)	挑戦	その他	特にない	無回答
全 県		53.7	33.3	33.1	22.5	22.3	22.3	17.7	16.6	14.6	13.0	8.0	2.3	3.3	2.0
年代別	20代	48.8	26.0	32.6	14.0	26.7	22.3	11.8	33.4	8.1	23.2	11.9	2.0	5.6	0.4
	30代	49.9	31.9	31.4	17.4	24.8	25.2	14.4	26.6	10.8	22.3	8.9	0.3	4.4	1.2
	40代	53.8	27.3	33.6	18.8	17.9	22.8	13.8	21.8	15.2	16.8	8.9	3.2	3.8	0.8
	50代	54.1	30.7	31.9	26.5	17.1	25.9	18.3	15.1	19.3	11.9	8.5	2.5	2.7	0.2
	60代	54.5	38.7	37.7	24.8	21.3	21.8	15.5	12.2	17.1	7.9	8.5	3.9	3.1	1.5
	70代	54.3	37.9	33.9	27.3	26.9	21.4	25.4	8.1	13.6	10.1	6.4	1.1	3.2	1.6
	80歳以上	57.2	34.5	23.1	19.1	26.4	16.5	23.2	12.0	11.9	6.6	4.3	1.1	1.9	10.4
年代間の差		8.4	12.7	14.6	13.3	9.8	9.4	13.6	25.3	11.2	16.6	7.6	3.6	3.7	10.2

【性・年代別】

男性、女性とも全ての年代で、全県と同様「安全・安心」が最も多い。

区分		最大値											最小値		(%)
		安全・安心	自然・環境	活力	個性豊かな地域	温(あなた)かみ	国際的	伝統・歴史	楽しい	芸術・文化	食(グルメ)	挑戦	その他	特にない	
全 県		53.7	33.3	33.1	22.5	22.3	22.3	17.7	16.6	14.6	13.0	8.0	2.3	3.3	2.0
男性・年代別	20代	40.0	19.3	39.6	20.5	21.8	24.5	13.1	33.0	4.3	28.7	10.0	4.3	8.8	0.8
	30代	51.0	27.5	41.6	16.1	21.9	25.2	14.0	29.9	7.0	21.0	9.5	0.4	5.6	0.0
	40代	52.6	29.3	40.8	23.2	14.2	21.6	16.1	22.7	11.3	13.6	17.2	4.7	2.7	0.0
	50代	54.5	37.1	31.6	31.7	14.4	21.4	22.1	10.0	21.8	12.3	8.6	2.0	2.9	0.5
	60代	52.4	42.0	34.1	24.0	20.4	26.1	18.0	11.1	19.3	6.5	8.8	5.9	3.6	0.5
	70代	49.9	35.2	36.0	33.5	25.3	19.6	29.7	9.4	10.5	9.3	6.2	1.8	2.4	0.7
	80歳以上	52.2	36.3	19.8	17.3	25.5	18.7	19.7	13.4	10.1	2.5	5.4	2.3	2.7	13.7
男性・年代間の差		14.5	22.7	21.8	17.4	11.3	7.4	16.6	23.6	17.5	26.2	11.8	5.5	6.4	13.7
女性・年代別	20代	55.8	31.2	27.1	8.9	30.6	20.6	10.7	33.7	11.1	18.8	13.4	0.2	3.0	0.0
	30代	49.3	34.3	25.7	18.1	26.4	25.2	14.6	24.7	12.9	23.0	8.5	0.2	3.8	1.9
	40代	54.6	26.1	29.3	16.2	20.2	23.6	12.4	21.2	17.6	18.7	3.8	2.2	4.4	1.2
	50代	53.8	26.6	32.2	23.1	18.9	28.8	15.8	18.4	17.6	11.6	8.5	2.8	2.5	0.1
	60代	56.3	36.0	40.7	25.5	22.0	18.3	13.4	13.2	15.3	9.1	8.3	2.3	2.7	2.3
	70代	57.7	40.1	32.2	22.3	28.2	22.9	21.9	7.0	16.2	10.6	6.5	0.5	3.9	2.3
	80歳以上	60.0	33.3	25.1	20.3	26.7	15.4	25.4	11.3	13.0	9.0	3.7	0.5	1.5	8.4
女性・年代間の差		10.7	14.0	15.6	16.6	11.7	13.4	14.7	26.7	6.5	14.0	9.7	2.6	2.9	8.4

問18 期待する兵庫の将来像

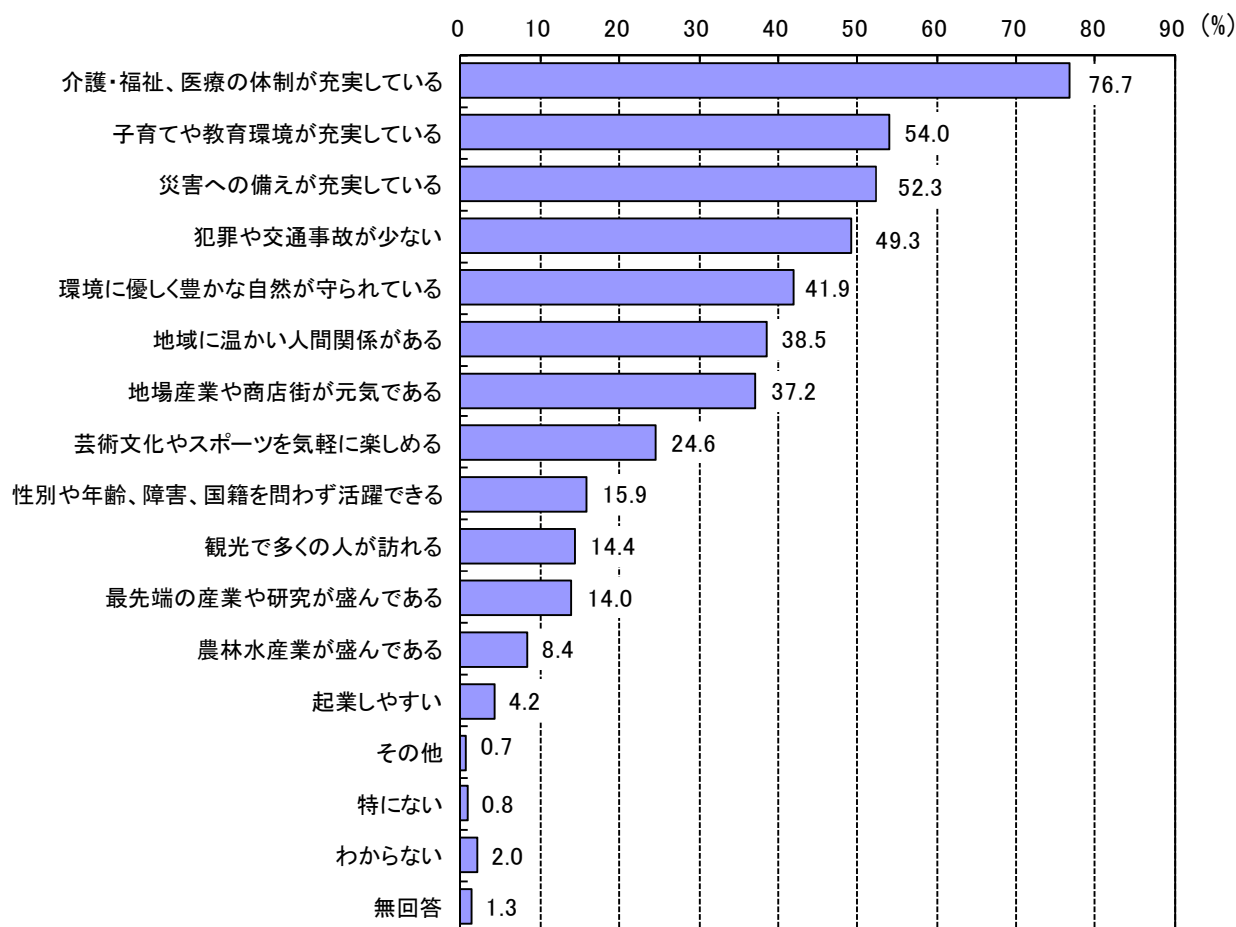
問18

あなたが特に期待する兵庫の将来像はどれですか。次の中からあてはまるものを5つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 子育てや教育環境が充実している | 9 地場産業や商店街が元気である |
| 2 介護・福祉、医療の体制が充実している | 10 農林水産業が盛んである |
| 3 性別や年齢、障害、国籍を問わず活躍できる | 11 環境に優しく豊かな自然が守られている |
| 4 地域に温かい人間関係がある | 12 災害への備えが充実している |
| 5 芸術文化やスポーツを気軽に楽しめる | 13 犯罪や交通事故が少ない |
| 6 観光で多くの人を訪れる | 14 その他 |
| 7 起業しやすい | 15 特にない |
| 8 最先端の産業や研究が盛んである | 16 わからない |

【全県】

「介護・福祉、医療の体制が充実している(76.7%)」が最も多く、次に「子育てや教育環境が充実している(54.0%)」、「災害への備えが充実している(52.3%)」が続いた。



【地域別】

全県で最も多い「介護・福祉、医療の体制が充実している(76.7%)」は、西播磨で最も多く(80.2%)、次いで但馬(79.4%)、丹波(79.2%)が多い。

区分	介護・福祉、医療の体制が充実している	子育てや教育環境が充実している	災害への備えが充実している	犯罪や交通事故が少ない	環境に優しく豊かな自然が守られている	地域に温かい人間関係がある	地場産業や商店街が元気である	芸術文化やスポーツを気軽に楽しめる	性別や年齢、障害、国籍を問わず活躍できる	観光で多くの人が訪れる	最先端の産業や研究が盛んである	農林水産業が盛んである	最大値	最小値	(%)			
													起業しやすい	その他	特になし	わからない	無回答	
全 県	76.7	54.0	52.3	49.3	41.9	38.5	37.2	24.6	15.9	14.4	14.0	8.4	4.2	0.7	0.8	2.0	1.3	
地域別	神 戸	75.2	52.4	53.1	46.6	44.6	35.4	38.4	27.6	18.0	14.3	17.3	7.1	3.4	1.0	1.4	2.0	1.4
	阪神南	74.3	52.5	50.4	54.3	41.4	35.0	35.4	26.1	17.5	11.8	9.6	3.2	5.4	0.4	0.4	3.2	0.7
	阪神北	80.0	56.4	52.9	54.6	47.5	41.4	34.3	27.9	14.3	10.7	12.1	6.8	4.3	0.4	0.7	0.7	1.1
	東播磨	76.9	52.4	59.4	51.4	37.4	39.2	38.1	21.7	16.4	13.3	13.6	10.5	3.1	0.3	0.3	2.4	0.3
	北播磨	78.4	58.8	44.1	43.8	38.6	42.5	36.6	25.2	14.7	13.4	13.7	12.1	5.9	0.7	0.7	1.0	2.3
	中播磨	76.9	58.0	54.2	51.7	39.9	38.1	37.8	21.3	11.9	18.5	16.4	9.4	4.5	0.3	0.3	1.7	2.1
	西播磨	80.2	55.3	51.9	43.4	37.1	47.8	37.4	17.9	15.4	19.5	15.1	11.0	3.8	0.6	1.9	1.3	2.2
	但 馬	79.4	54.8	44.2	36.5	39.9	46.8	45.2	19.6	12.3	22.9	10.0	18.9	4.0	1.7	2.0	2.7	2.0
	丹 波	79.2	53.0	47.3	35.6	43.6	48.7	36.6	17.4	18.1	15.1	13.8	15.4	4.7	1.7	1.3	2.0	1.7
	淡 路	76.8	51.2	42.8	42.8	35.0	37.4	38.0	15.8	9.8	24.2	14.1	23.9	6.7	1.0	0.7	1.3	2.4
地域間の差	5.9	7.6	16.6	19.0	12.5	13.7	10.9	12.1	8.3	13.5	7.7	20.7	3.6	1.4	1.7	2.5	2.1	

【性別】

全県で最も多い「介護・福祉、医療の体制が充実している」は、女性が男性より6.4ポイント多い(男性73.1%、女性79.5%)。

男女間の差は、「最先端の産業や研究が盛んである(男性18.7%、女性10.9%)」(7.8ポイント差)が最も大きい。

区分		介護・福祉、医療の体制が充実している	子育てや教育環境が充実している	災害への備えが充実している	犯罪や交通事故が少ない	環境に優しく豊かな自然が守られている	地域に温かい人間関係がある	地場産業や商店街が元気である	芸術文化やスポーツを気軽に楽しめる	性別や年齢、障害、国籍を問わず活躍できる	観光で多くの人が訪れる	最先端の産業や研究が盛んである	農林水産業が盛んである	起業しやすい	その他	特になし	わからない	無回答
全 県		76.7	54.0	52.3	49.3	41.9	38.5	37.2	24.6	15.9	14.4	14.0	8.4	4.2	0.7	0.8	2.0	1.3
性別	男性	73.1	53.5	49.5	48.3	40.3	37.3	38.4	26.0	14.6	18.2	18.7	10.1	5.5	0.9	1.1	1.9	0.9
	女性	79.5	54.8	54.4	50.0	43.2	39.0	36.3	23.8	16.9	11.7	10.9	7.2	3.3	0.5	0.7	2.1	1.4
性別間の差		6.4	1.3	4.9	1.7	2.9	1.7	2.1	2.2	2.3	6.5	7.8	2.9	2.2	0.4	0.4	0.2	0.5

【年代別】

全県で最も多い「介護・福祉、医療の体制が充実している」は、50代が最も多く(84.3%)、続く「子育てや教育環境が充実している」は30代が最も多い(75.9%)。

区分		介護・福祉、医療の体制が充実している	子育てや教育環境が充実している	災害への備えが充実している	犯罪や交通事故が少ない	環境に優しく豊かな自然が守られている	地域に温かい人間関係がある	地場産業や商店街が元気である	芸術文化やスポーツを気軽に楽しめる	性別や年齢、障害、国籍を問わず活躍できる	観光で多くの人が訪れる	最先端の産業や研究が盛んである	農林水産業が盛んである	起業しやすい	その他	特になし	わからない	無回答
全 県		76.7	54.0	52.3	49.3	41.9	38.5	37.2	24.6	15.9	14.4	14.0	8.4	4.2	0.7	0.8	2.0	1.3
年代別	20代	64.0	62.5	49.0	58.2	37.0	30.5	23.8	32.7	24.4	20.5	10.6	6.4	7.4	1.6	2.6	4.3	0.4
	30代	63.7	75.9	53.4	60.6	45.2	34.0	28.7	19.9	14.9	19.6	16.3	7.4	8.9	0.5	0.3	0.7	1.2
	40代	71.8	60.5	58.7	63.0	40.4	32.6	35.2	20.0	16.6	15.6	16.5	6.1	5.6	0.3	0.4	0.7	0.4
	50代	84.3	50.1	53.0	48.9	46.0	35.2	44.2	28.1	18.6	16.6	13.4	8.7	2.8	0.4	0.1	0.3	0.2
	60代	80.5	53.2	57.0	43.3	44.6	37.4	41.8	28.2	13.8	10.1	14.3	11.0	3.6	1.5	1.2	1.0	1.1
	70代	83.4	45.2	47.4	40.0	41.9	47.6	39.7	23.3	15.1	12.4	15.8	9.6	2.2	0.1	0.5	2.7	0.8
	80歳以上	75.5	39.2	38.8	38.5	31.8	49.5	31.9	21.0	11.9	11.8	7.4	5.3	1.7	0.2	2.3	8.7	5.9
年代間の差		20.6	36.7	19.9	24.5	14.2	19.0	20.4	12.8	12.5	10.4	9.1	5.7	7.2	1.5	2.5	8.4	5.7

【性・年代別】

全県で最も多い「介護・福祉、医療の体制が充実している(76.7%)」は、男性は70代(83.0%)、女性は50代(88.7%)が多い。続いて「子育てや教育環境が充実している(54.0%)」は、男性、女性ともに30代(男性76.4%、女性75.6%)が多い。

区分	最大値																	最小値		無回答	(%)
	介護・福祉、医療の体制が充実している	子育てや教育環境が充実している	災害への備えが充実している	犯罪や交通事故が少ない	環境に優しく豊かな自然が守られている	地域に温かい人間関係がある	地場産業や商店街が元気である	芸術文化やスポーツを気軽に楽しめる	活躍できる性別や年齢、障害、国籍を問わず	観光で多くの人が訪れる	最先端の産業や研究が盛んである	農林水産業が盛んである	起業しやすい	その他	特にない	わからない					
全 県	76.7	54.0	52.3	49.3	41.9	38.5	37.2	24.6	15.9	14.4	14.0	8.4	4.2	0.7	0.8	2.0	1.3				
男性・年代別	20代	58.2	59.2	50.2	47.7	30.7	24.2	27.2	39.8	20.8	34.1	17.3	5.8	8.4	3.4	4.7	5.4	0.8			
	30代	56.7	76.4	50.3	60.9	37.2	27.0	31.6	29.6	15.6	24.0	23.9	10.4	16.2	0.0	0.7	0.0	0.0			
	40代	65.0	63.1	53.2	59.8	43.9	35.4	36.9	19.9	19.1	21.2	24.8	6.6	7.0	0.1	0.2	0.8	0.8			
	50代	77.4	49.4	42.0	54.4	40.5	36.6	42.9	34.7	14.8	19.3	16.9	13.2	3.9	0.7	0.0	0.9	0.4			
	60代	77.7	52.6	53.0	45.1	41.8	39.6	42.5	27.4	11.5	11.7	15.6	10.9	5.0	2.1	1.5	1.3	0.5			
	70代	83.0	45.6	52.5	38.4	42.0	39.0	40.7	19.0	14.3	15.3	19.6	12.3	1.4	0.0	0.6	1.2	0.5			
	80歳以上	74.0	33.8	38.0	34.9	37.0	55.4	32.9	15.6	10.1	15.9	14.0	6.5	2.5	0.0	2.3	8.6	5.8			
男性・年代間の差	26.3	42.6	15.2	26.0	13.2	31.2	15.7	24.2	10.7	22.4	10.8	7.4	14.8	3.4	4.7	8.6	5.8				
女性・年代別	20代	68.5	65.0	48.0	66.5	42.0	35.4	21.0	27.1	27.2	9.7	5.3	7.0	6.6	0.2	1.0	3.5	0.0			
	30代	67.6	75.6	55.2	60.4	49.7	38.0	27.1	14.5	14.5	17.2	12.0	5.8	4.8	0.7	0.2	1.1	1.9			
	40代	75.9	58.9	62.0	65.0	38.3	31.0	34.1	20.1	15.0	12.3	11.5	5.8	4.8	0.4	0.5	0.7	0.2			
	50代	88.7	50.6	60.2	45.4	49.5	34.2	45.0	23.8	21.0	14.9	11.1	5.8	2.1	0.3	0.1	0.0	0.1			
	60代	82.8	53.7	60.4	41.8	46.9	35.6	41.2	28.8	15.8	8.8	13.2	11.2	2.4	1.0	0.9	0.7	1.6			
	70代	83.7	44.9	43.3	41.3	41.9	54.4	38.9	26.6	15.8	10.0	12.7	7.4	2.9	0.2	0.4	3.8	1.0			
	80歳以上	76.7	42.0	39.4	40.6	28.8	46.0	31.3	24.1	12.7	9.6	3.7	4.7	1.3	0.3	2.3	8.6	5.9			
女性・年代間の差	21.1	33.6	22.6	25.9	20.9	23.4	24.0	14.3	14.5	8.4	9.5	6.5	5.3	0.8	2.2	8.6	5.9				

4 毎年調査項目

問19 今の生活全般での満足度

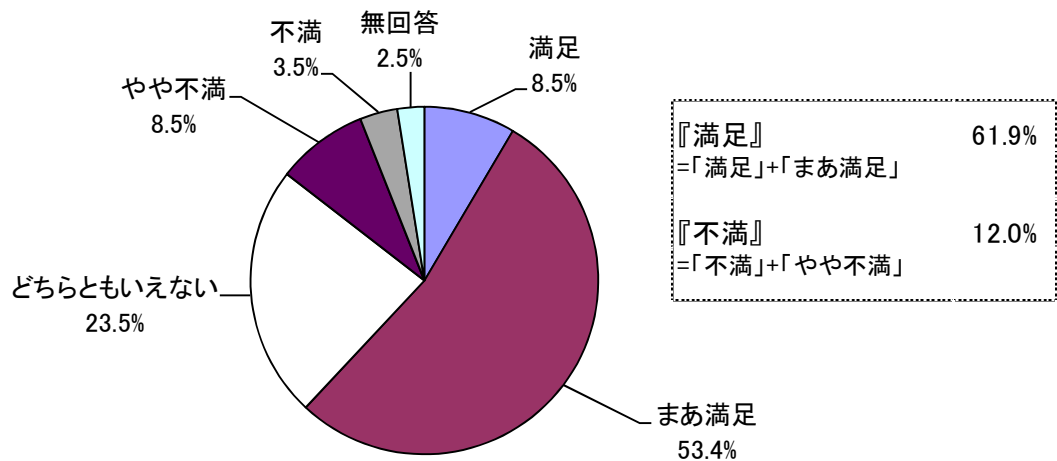
問19

あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | |

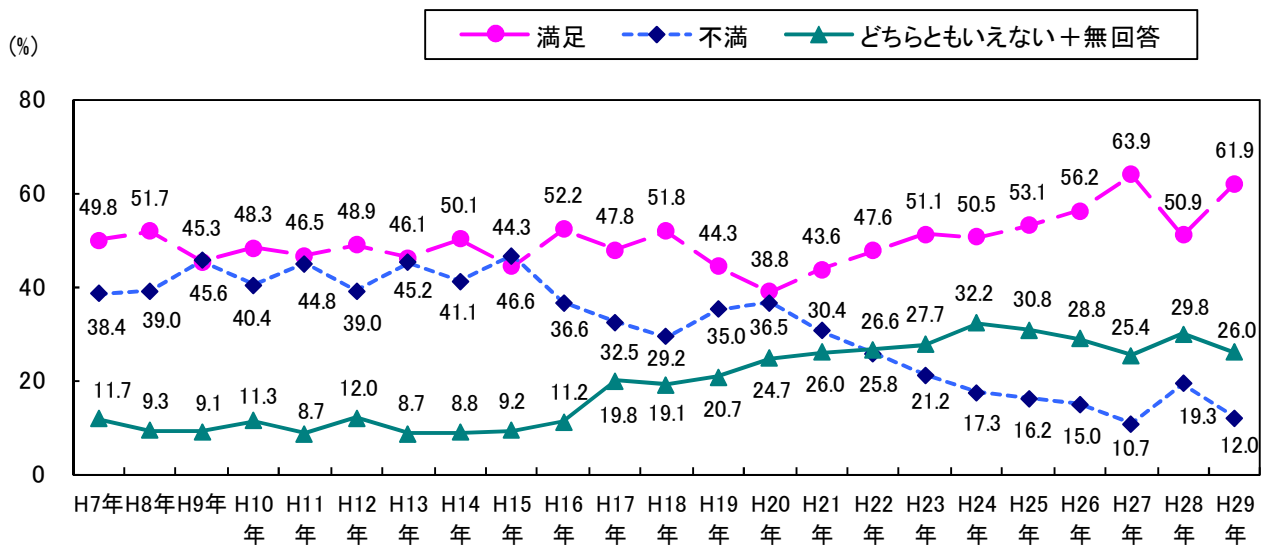
【全県】

「満足(8.5%)」と「まあ満足(53.4%)」を合わせた『満足(61.9%)』が、「不満(3.5%)」と「やや不満(8.5%)」を合わせた『不満(12.0%)』を49.9ポイント上回った。



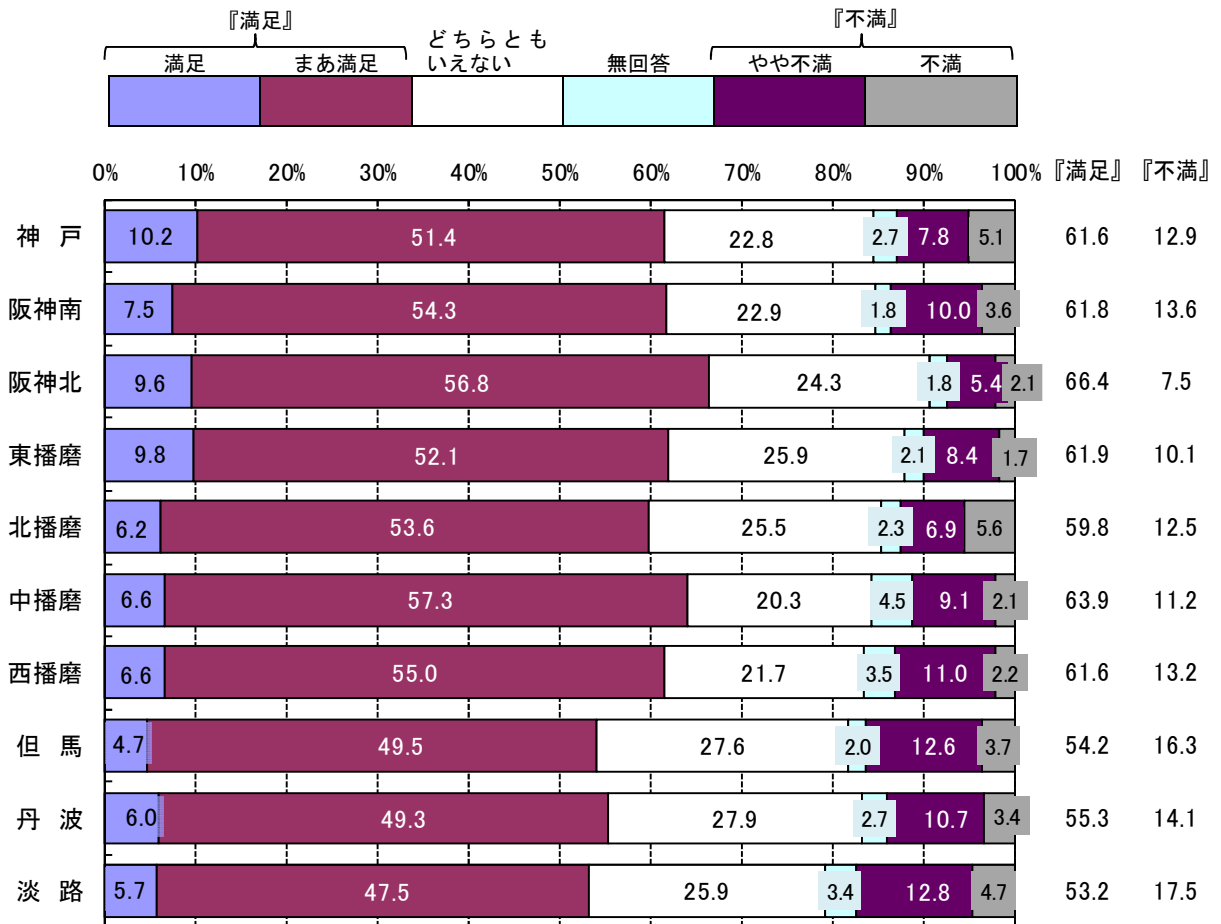
【経年比較】

『満足(61.9%)』は、前年より11.0ポイント増加した。『不満(12.0%)』は、前年より7.3ポイント減少した。



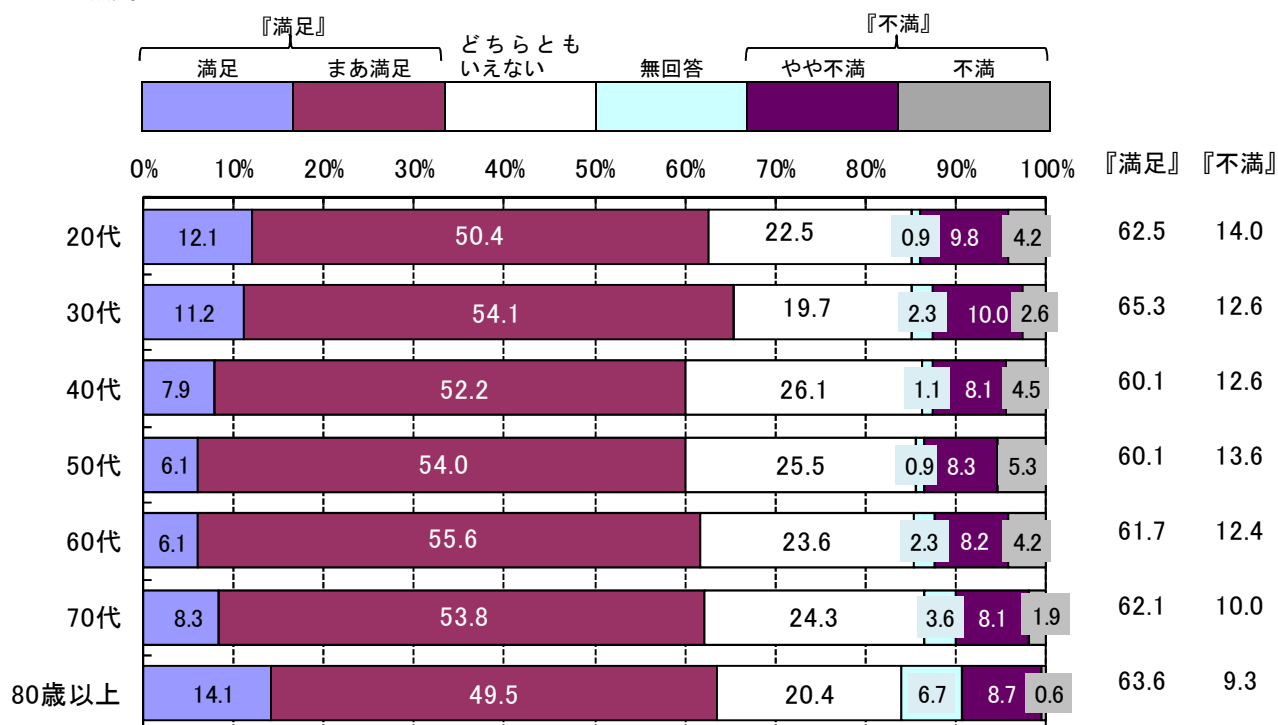
【地域別】

『満足』は阪神北(66.4%)が最も高く、中播磨(63.9%)とともに全県(61.9%)を上回った。



【年代別】

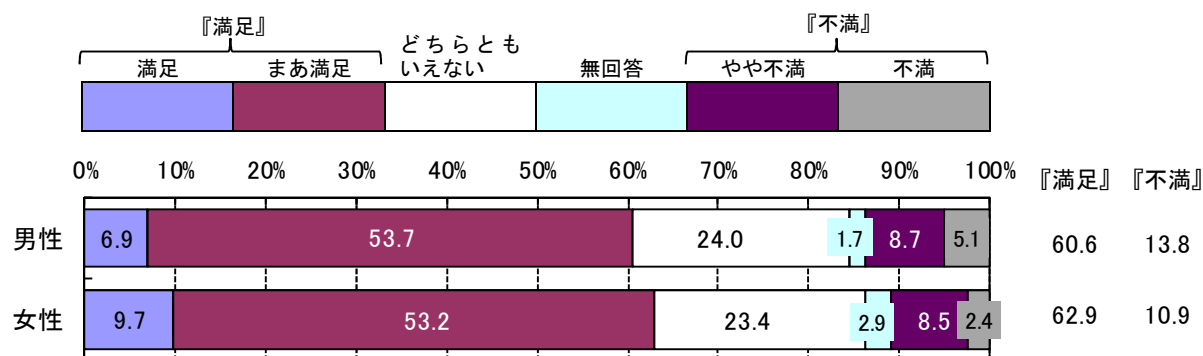
40代の『満足(60.1%)』が前年より最も増加し(13.4ポイント増)、『不満(12.6%)』が最も減少した(10.1ポイント減)。



区分	『満足』		H29-H28	『不満』		H29-H28
	H29	H28		H29	H28	
全県	61.9	50.9	11.0	12.0	19.3	▲7.3
20代	62.5	58.0	4.5	14.0	21.3	▲7.3
30代	65.3	56.1	9.2	12.6	18.4	▲5.8
40代	60.1	46.7	13.4	12.6	22.7	▲10.1
50代	60.1	47.8	12.3	13.6	21.8	▲8.2
60代	61.7	51.3	10.4	12.4	19.9	▲7.5
70代	62.1	49.4	12.7	10.0	17.4	▲7.4
80歳以上	63.6	57.1	6.5	9.3	8.1	1.2

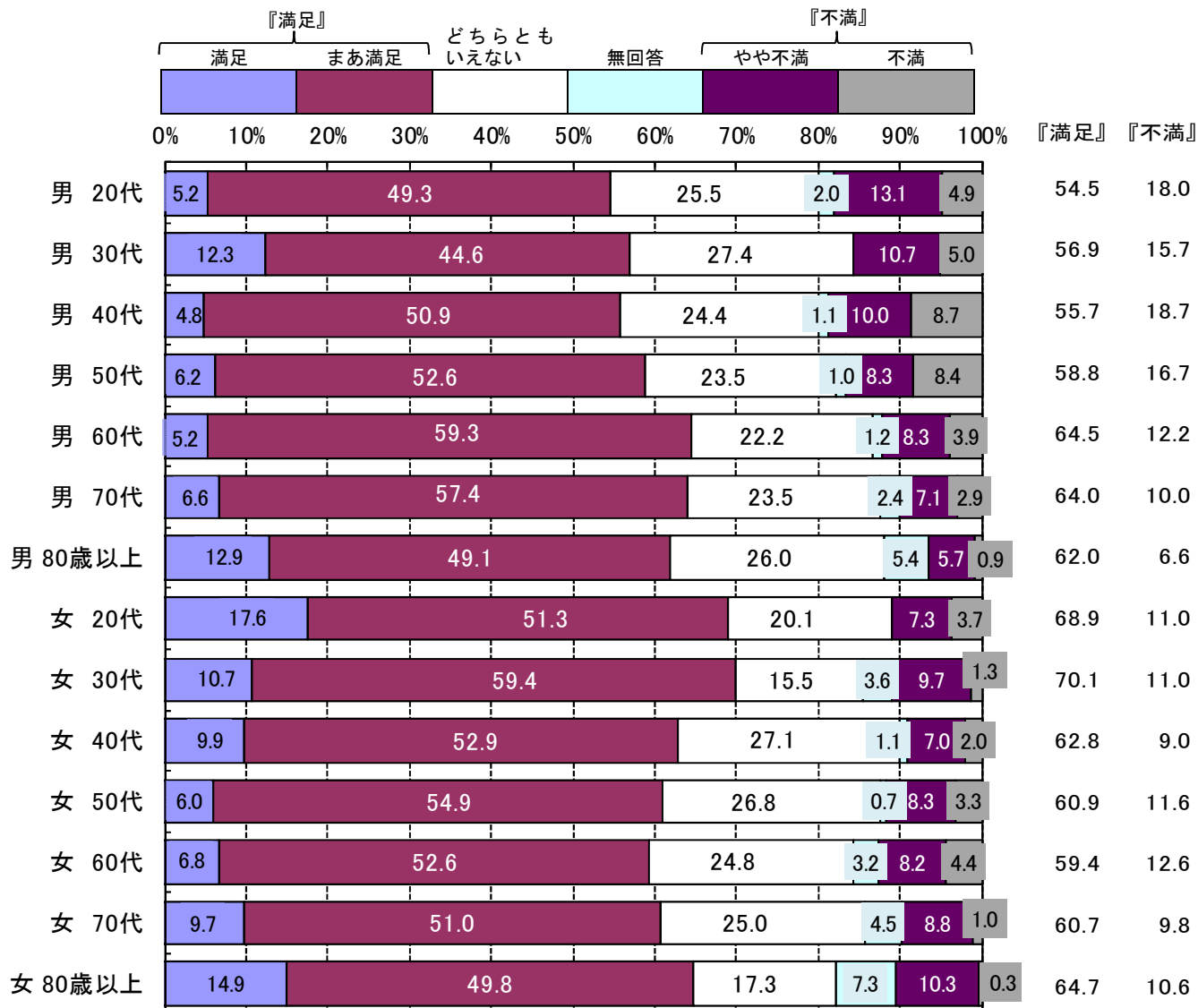
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より2.3ポイント高い。



【性・年代別】

男性、女性ともに、全ての年代で『満足』が『不満』を上回り、最も『満足』が高いのは、男性は60代(64.5%)、女性は30代(70.1%)となった。



問20 今の生活の個別側面での満足度

問20

あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれどの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

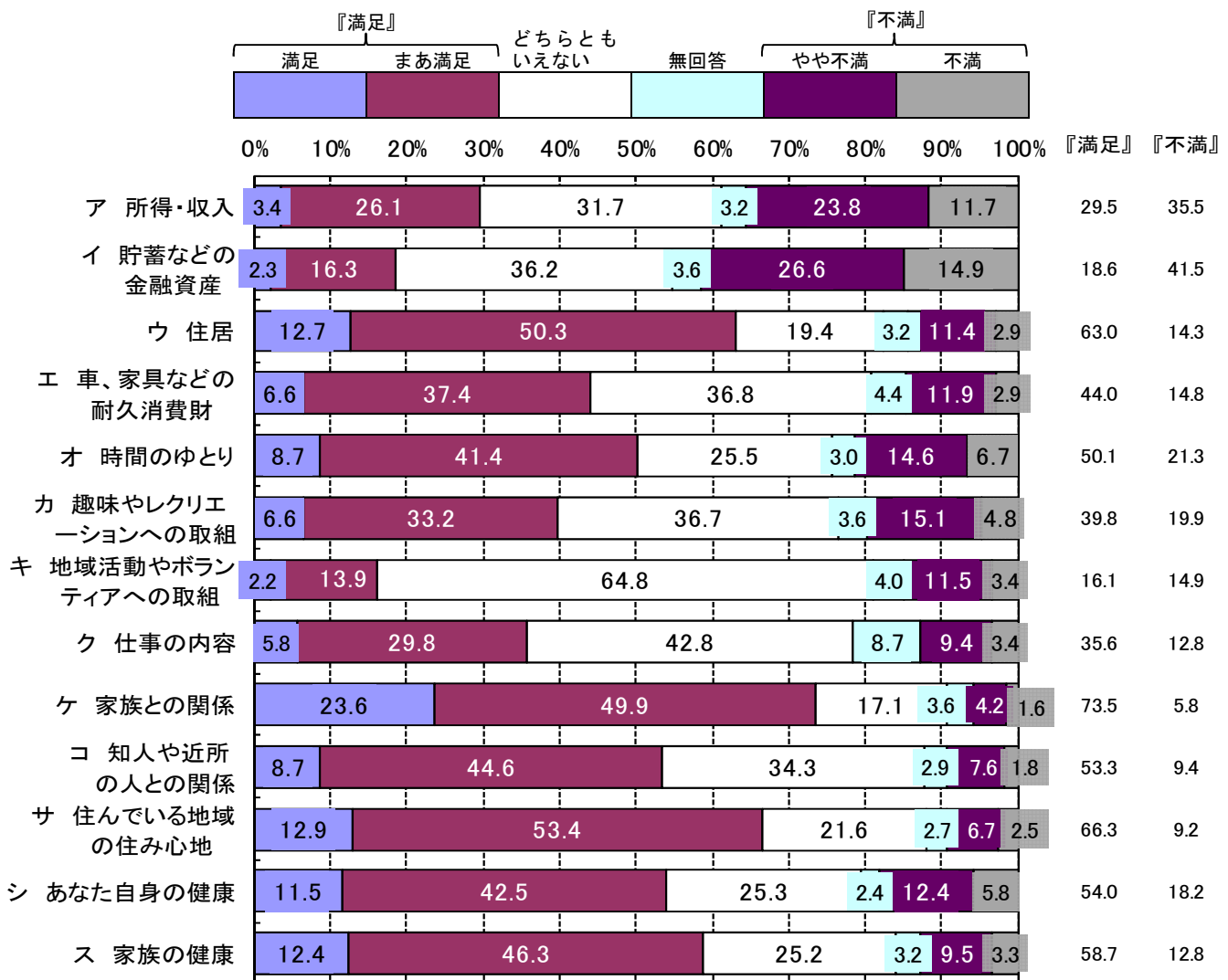
- | | |
|-------------------|----------------|
| ア 所得・収入 | ク 仕事の内容 |
| イ 貯蓄などの金融資産 | ケ 家族との関係 |
| ウ 住居 | コ 知人や近所の人との関係 |
| エ 車、家具などの耐久消費財 | サ 住んでいる地域の住み心地 |
| オ 時間のゆとり | シ あなた自身の健康 |
| カ 趣味やレクリエーションへの取組 | ス 家族の健康 |
| キ 地域活動やボランティアへの取組 | |

1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

【全県】

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は、[ケ 家族との関係(73.5%)]が最も高く、[サ 住んでいる地域の住み心地(66.3%)]、[ウ 住居(63.0%)]、[ス 家族の健康(58.7%)]が続いた。

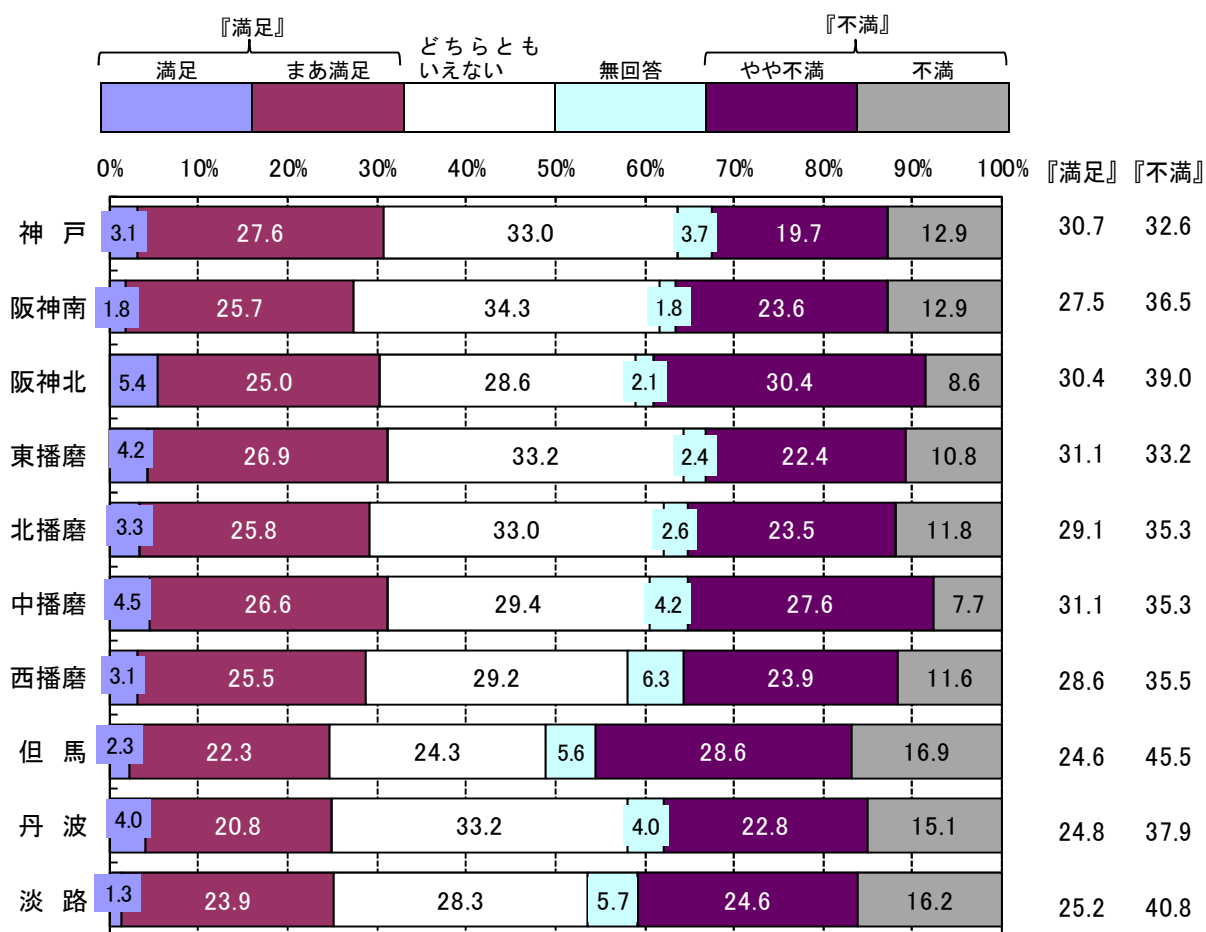
「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は、[イ 貯蓄などの金融資産(41.5%)]、[ア 所得・収入(35.5%)]、が『満足』を上回った。



〔ア 所得・収入〕

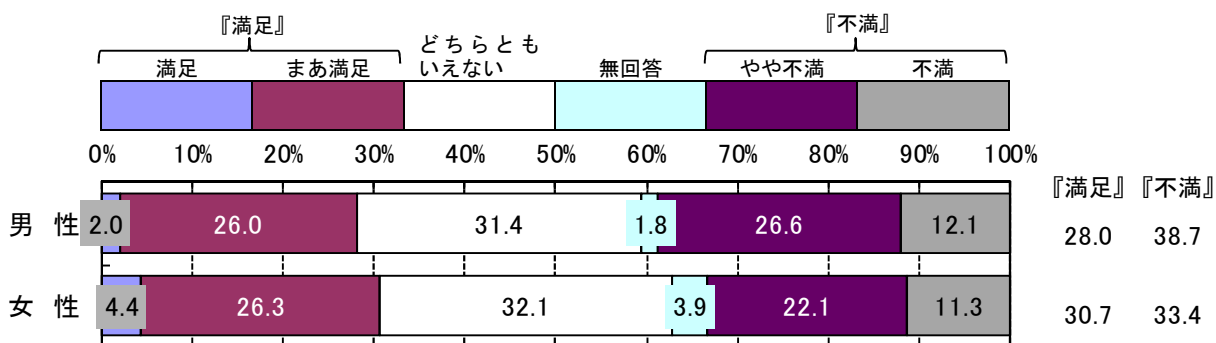
【地域別】

『満足』は東播磨と中播磨が最も高い(31.1%)。



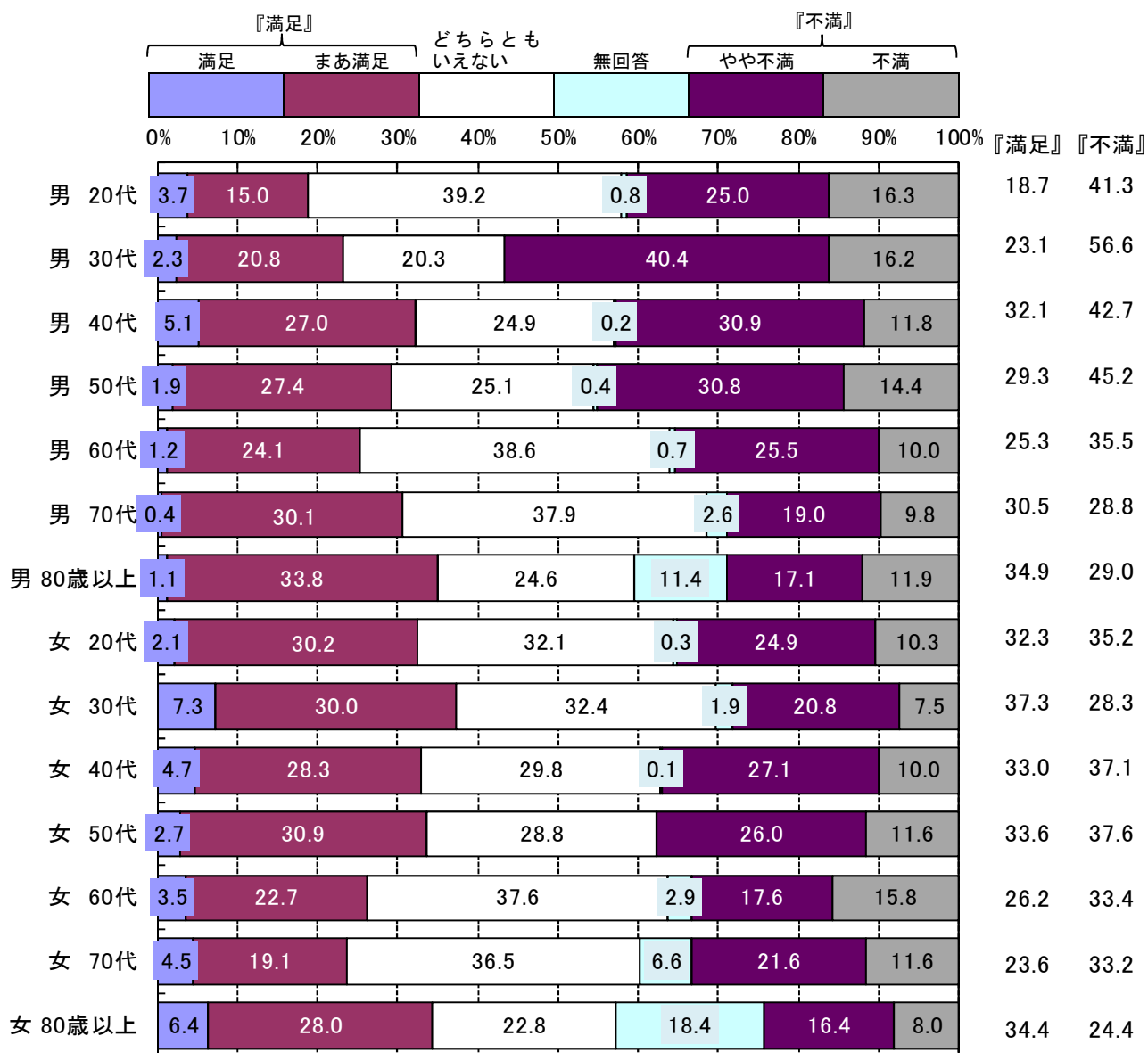
【性別】

『満足』は女性の方が男性より2.7ポイント高い。



【性・年代別】

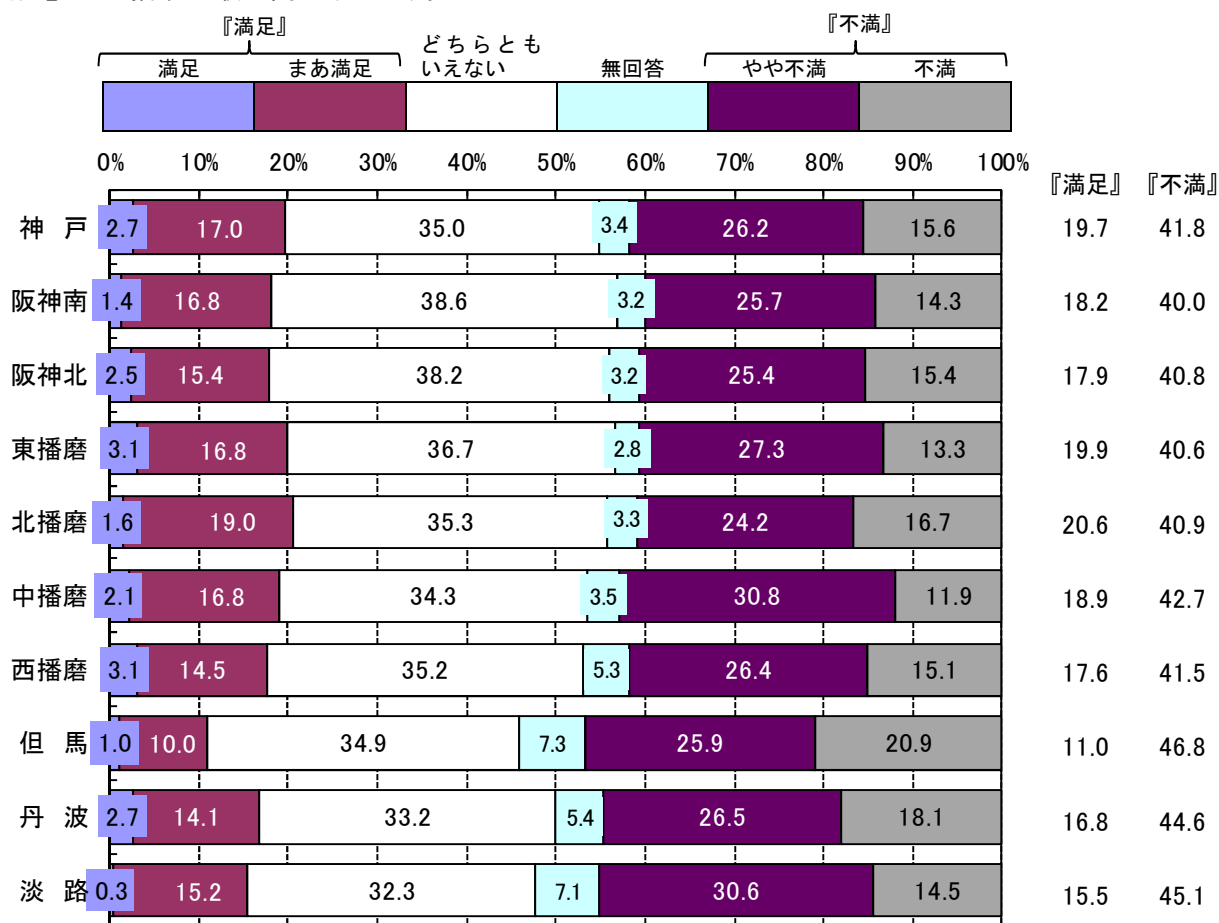
『満足』は、男性は80歳以上が最も高く(34.9%)、女性は30代が最も高い(37.3%)。



〔イ 貯蓄などの金融資産〕

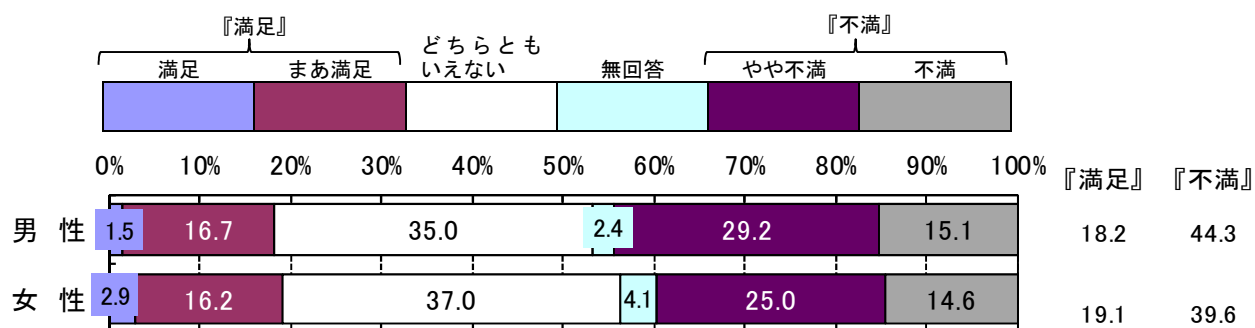
【地域別】

『満足』は北播磨が最も高い(20.6%)。



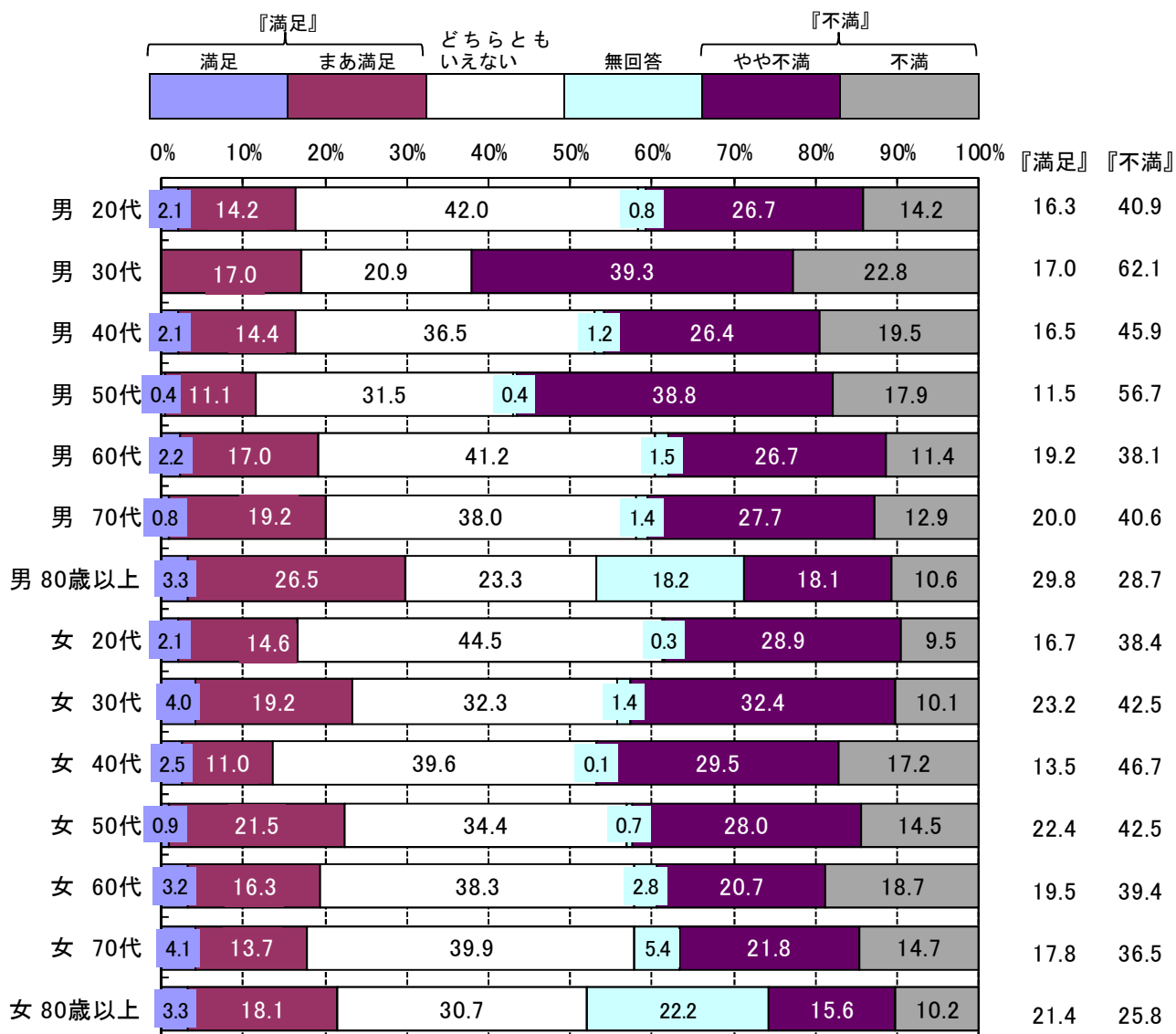
【性別】

『不満』は女性の方が男性より4.7ポイント高い。



【性・年代別】

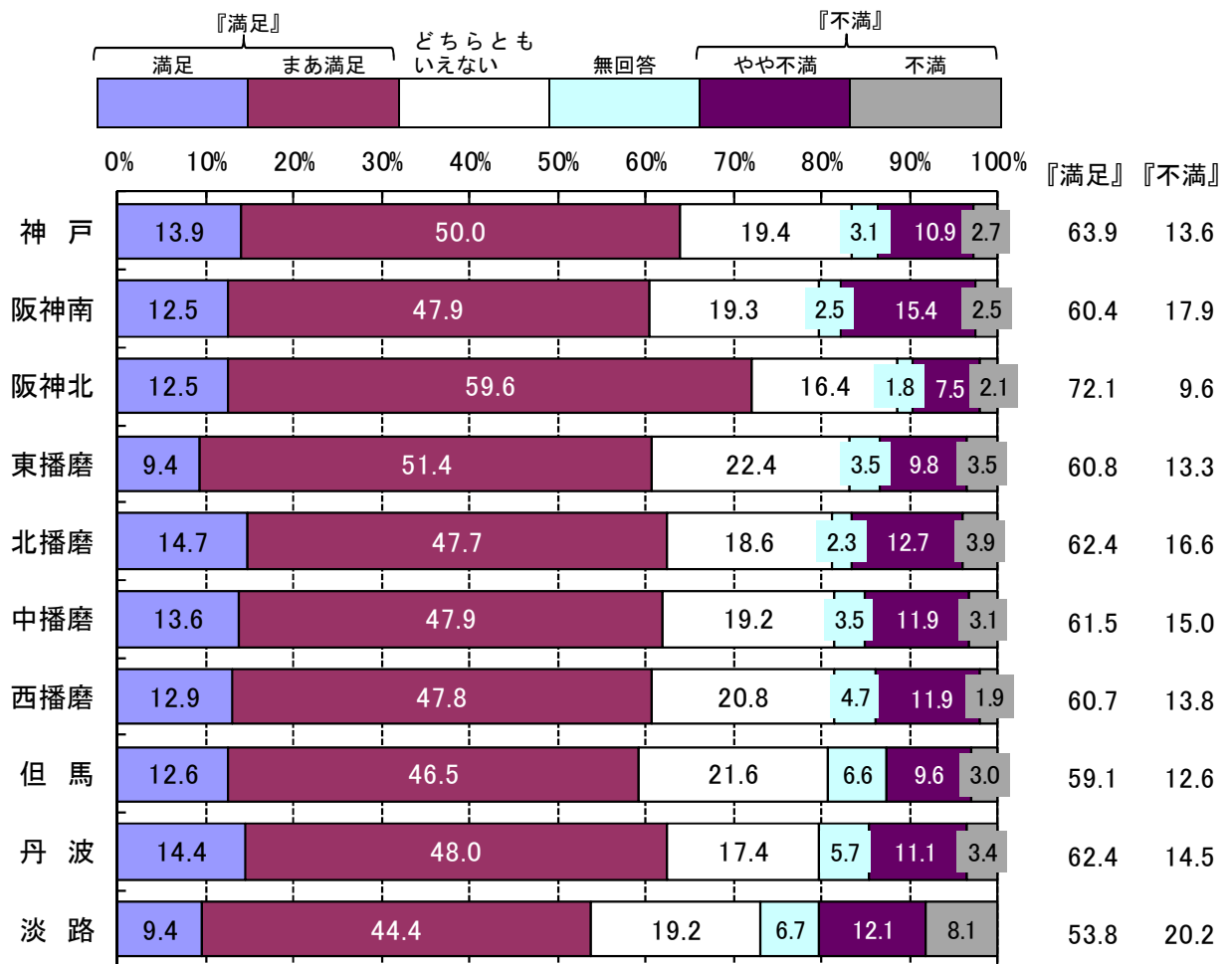
『満足』は男性は80歳以上が最も高く(29.8%)、女性は30代が最も高い(23.2%)。



〔ウ 住居〕

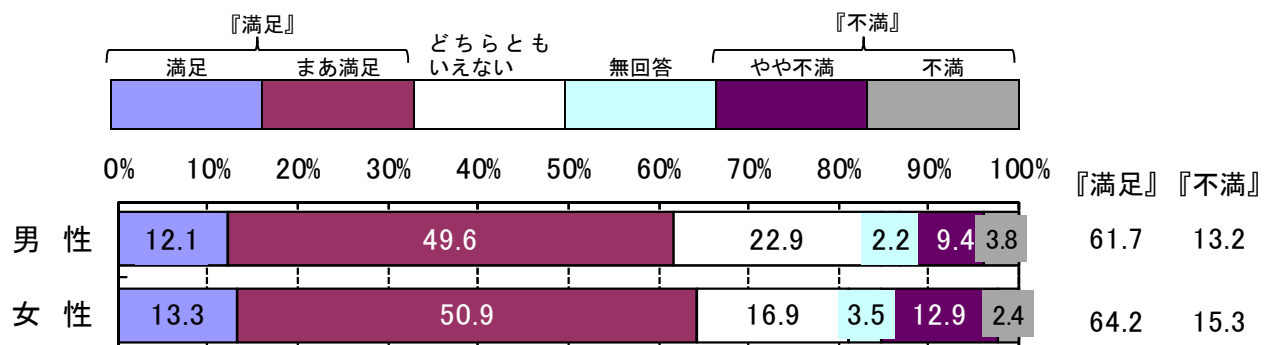
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い(72.1%)。



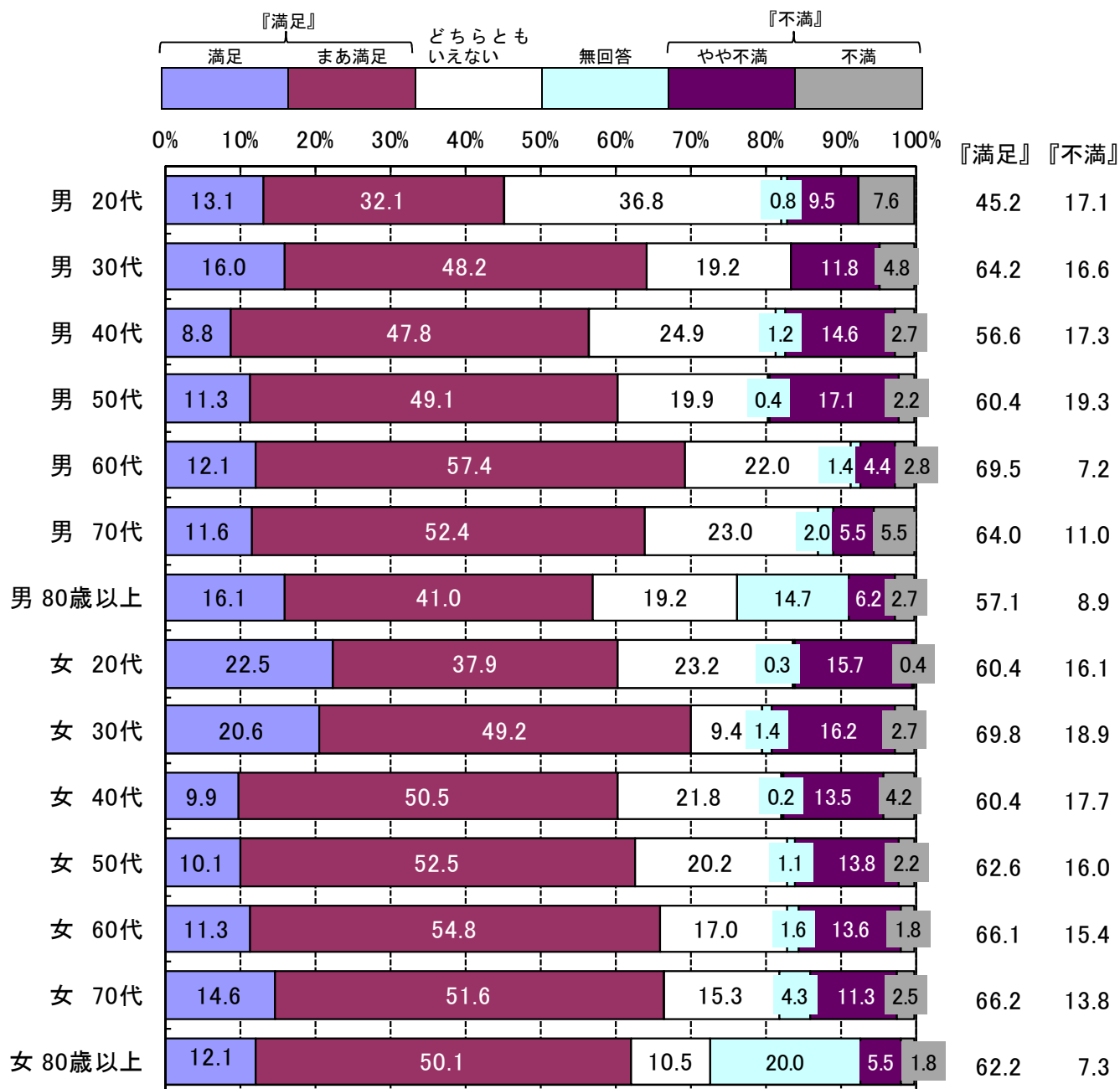
【性別】

『満足』は女性の方が男性より2.5ポイント高い。



【性・年代別】

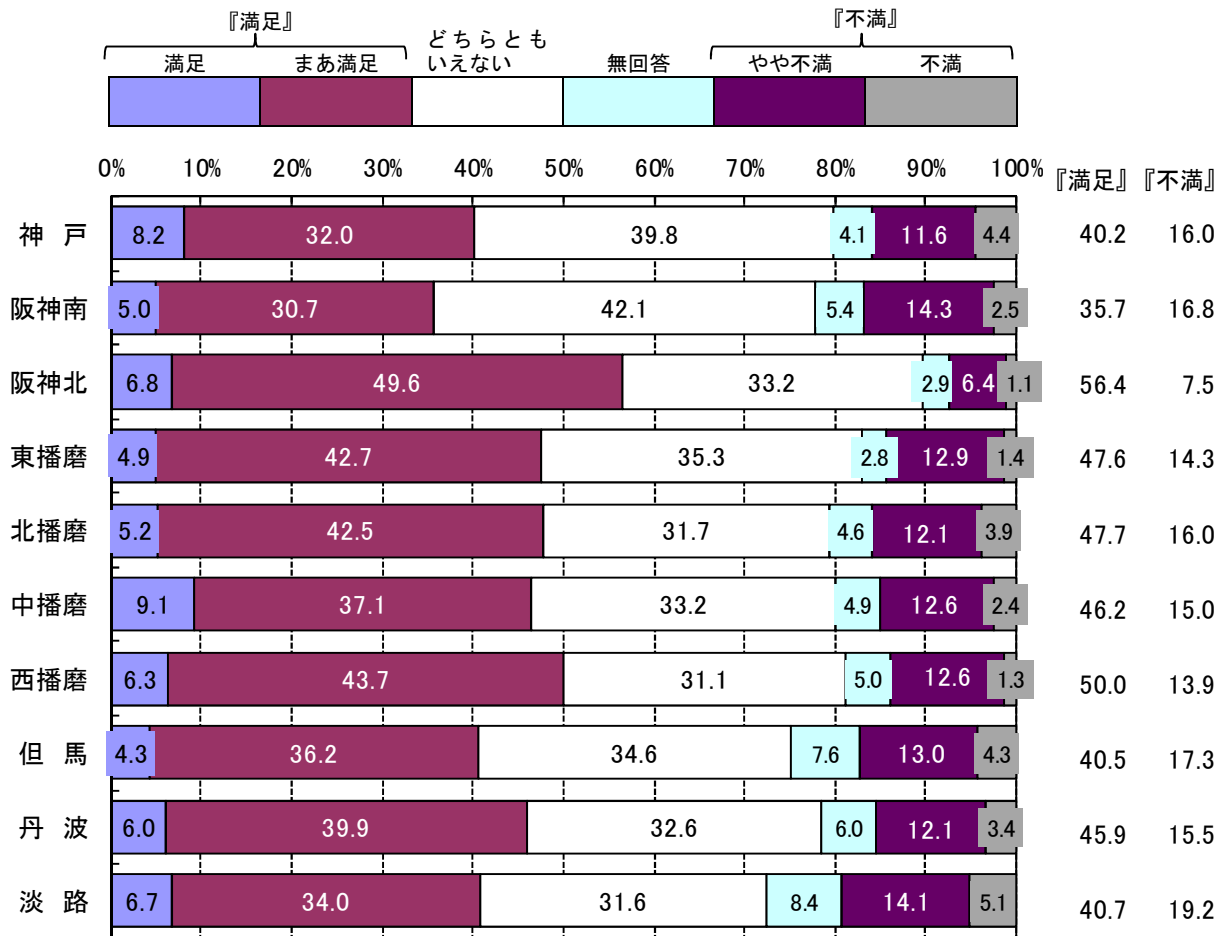
『満足』は、男性は60代が最も高く(69.5%)、女性は30代が最も高い(69.8%)。



【エ 車、家具などの耐久消費財】

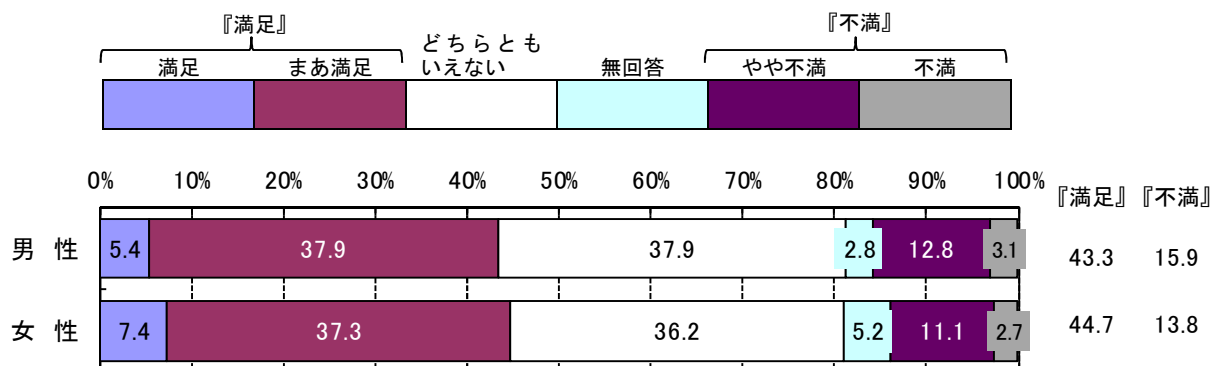
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い(56.4%)。



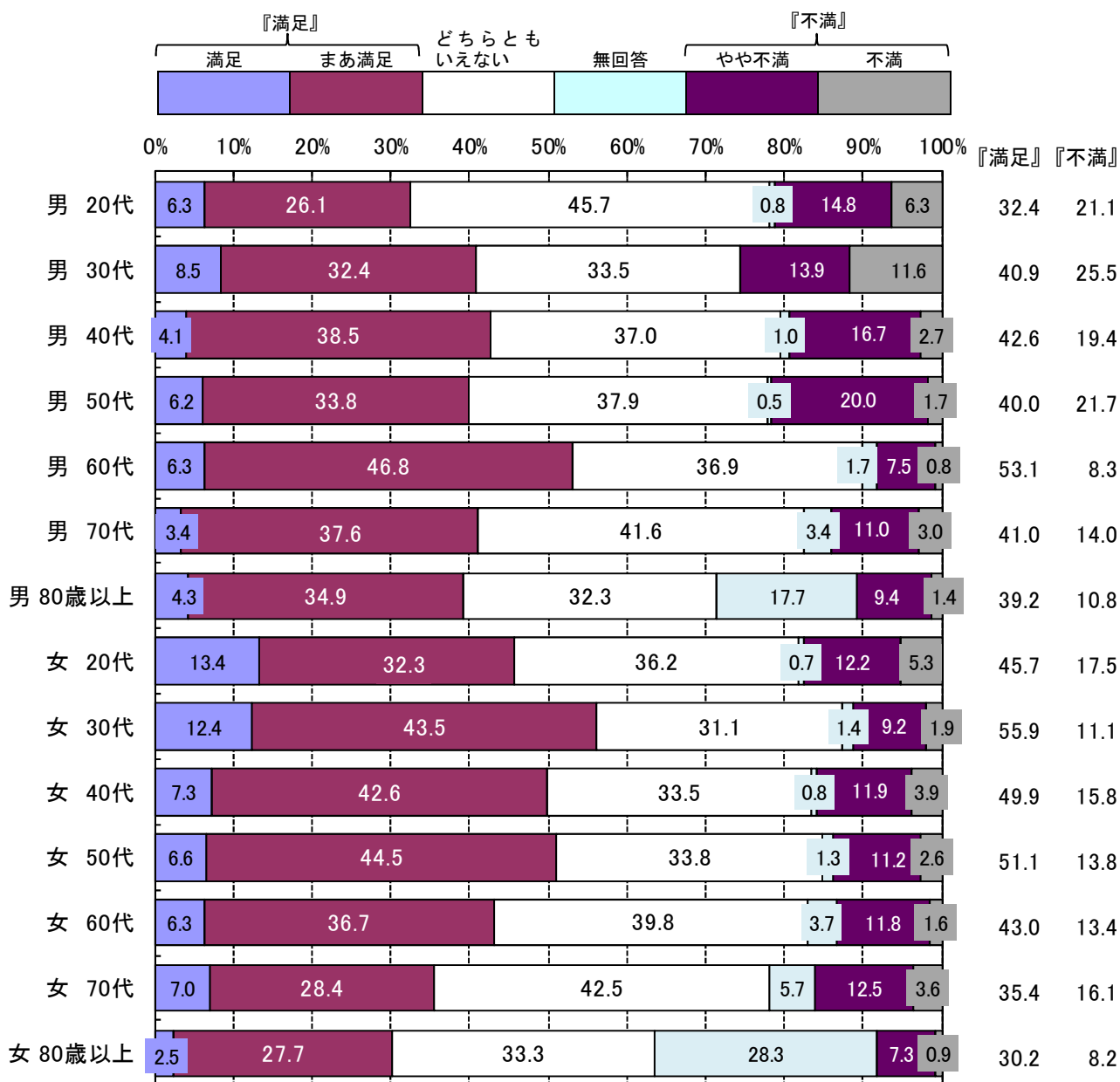
【性別】

『不満』は男性の方が女性より2.1ポイント高い。



【性・年代別】

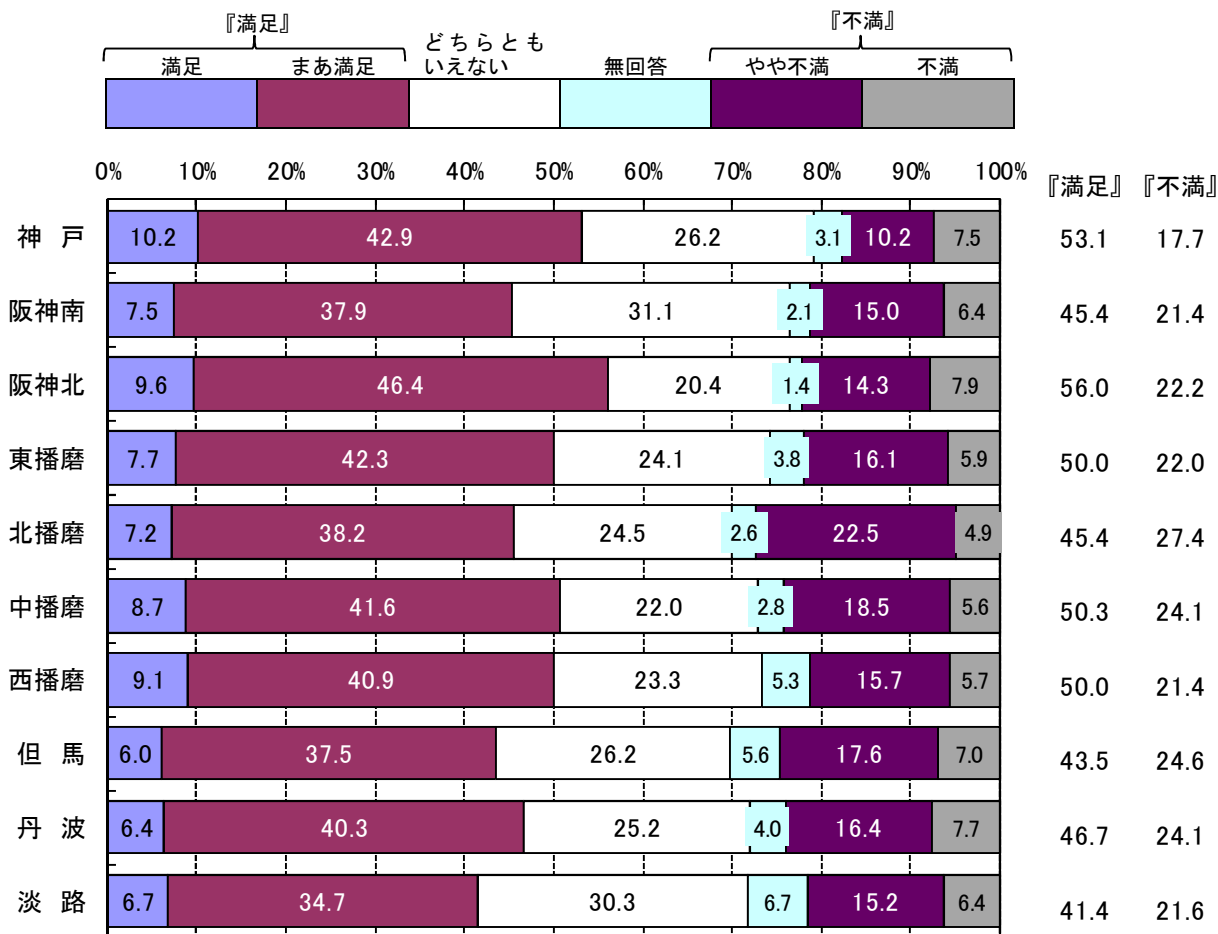
『満足』は、男性は60代が最も高く(53.1%)、女性は30代が最も高い(55.9%)。



〔オ 時間のゆとり〕

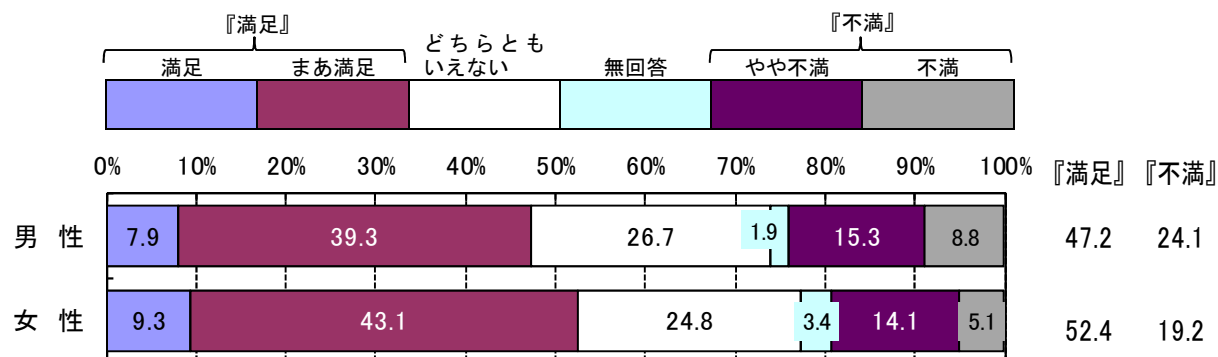
【地域別】

『満足』は阪神北が最も多い(56.0%)。



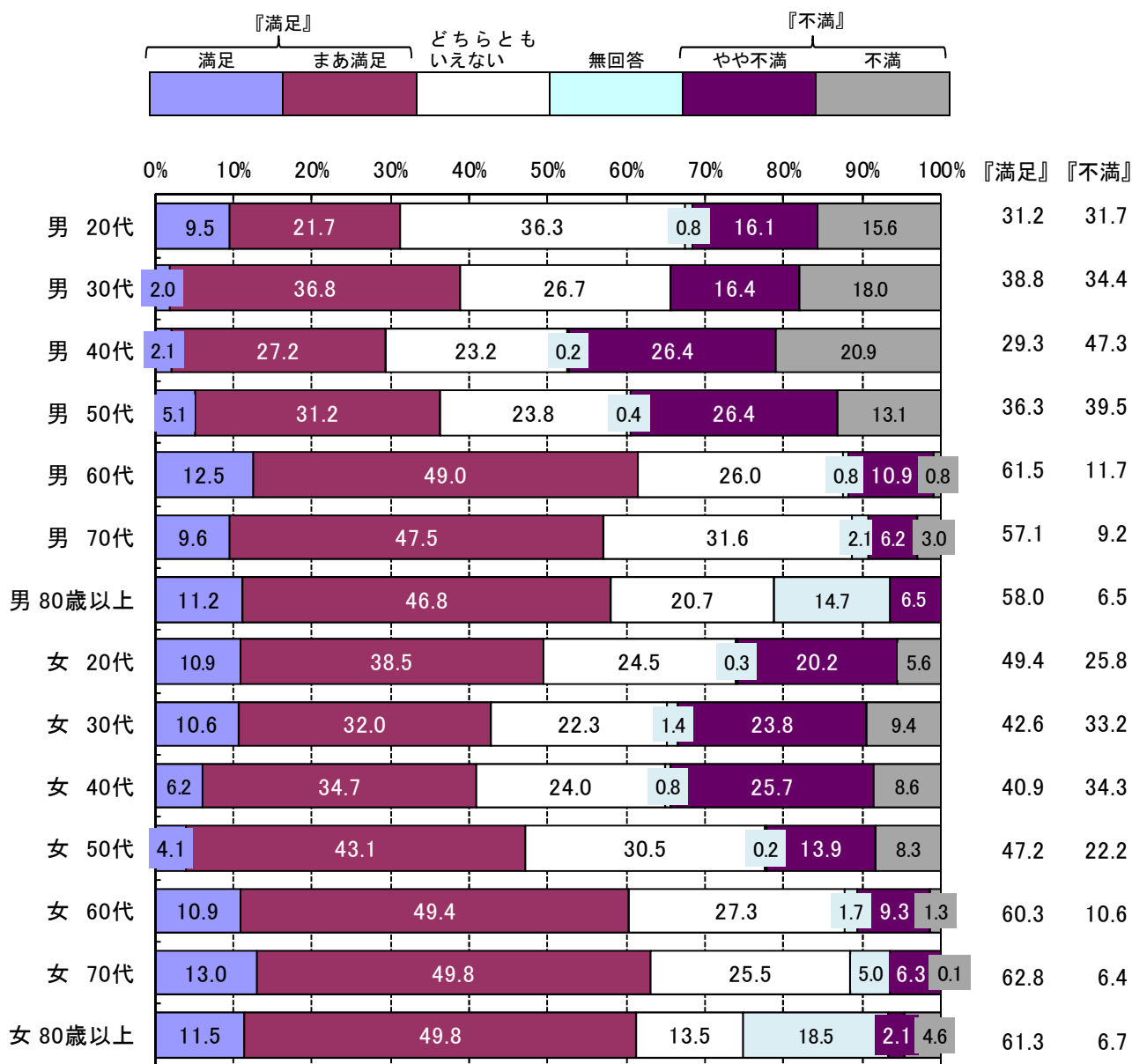
【性別】

『満足』は女性の方が男性より5.2ポイント高い。



【性・年代別】

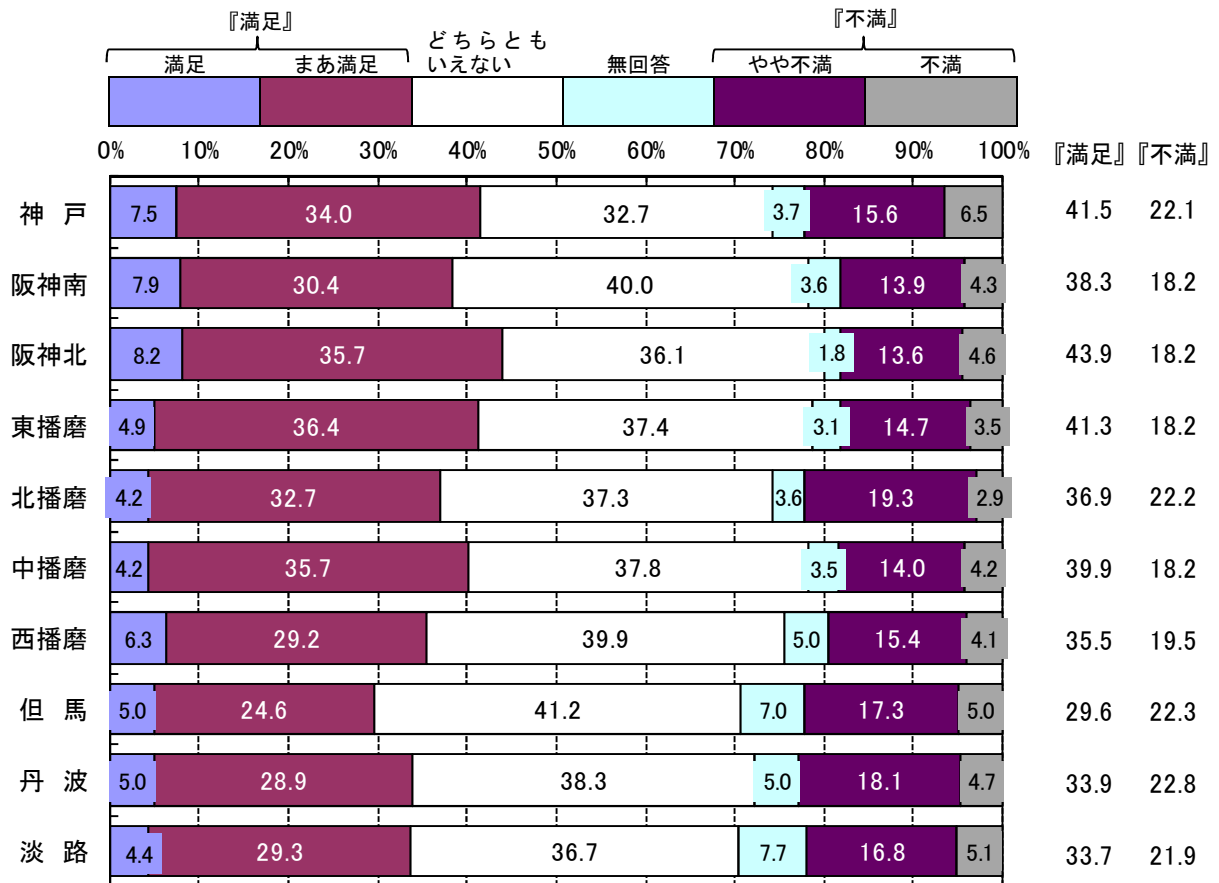
『満足』は、男性は60代が最も高く(61.5%)、女性は70代が最も高い(62.8%)。



〔カ 趣味やレクリエーションへの取組〕

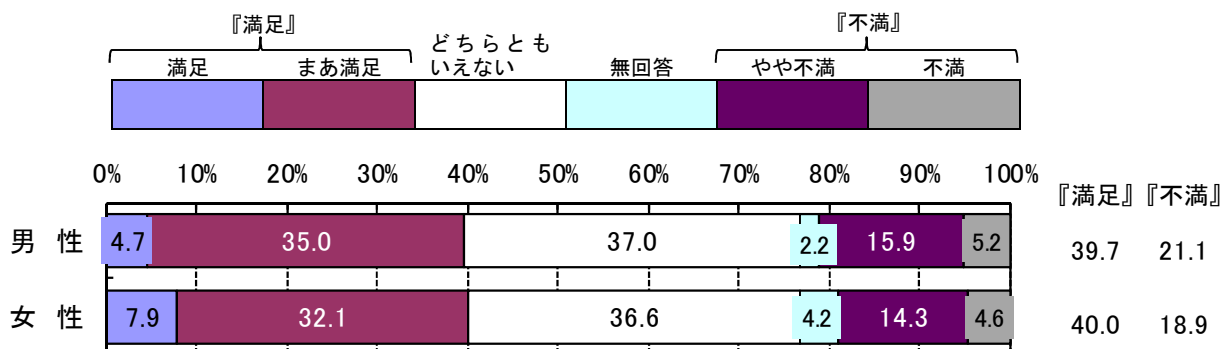
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い(43.9%)。



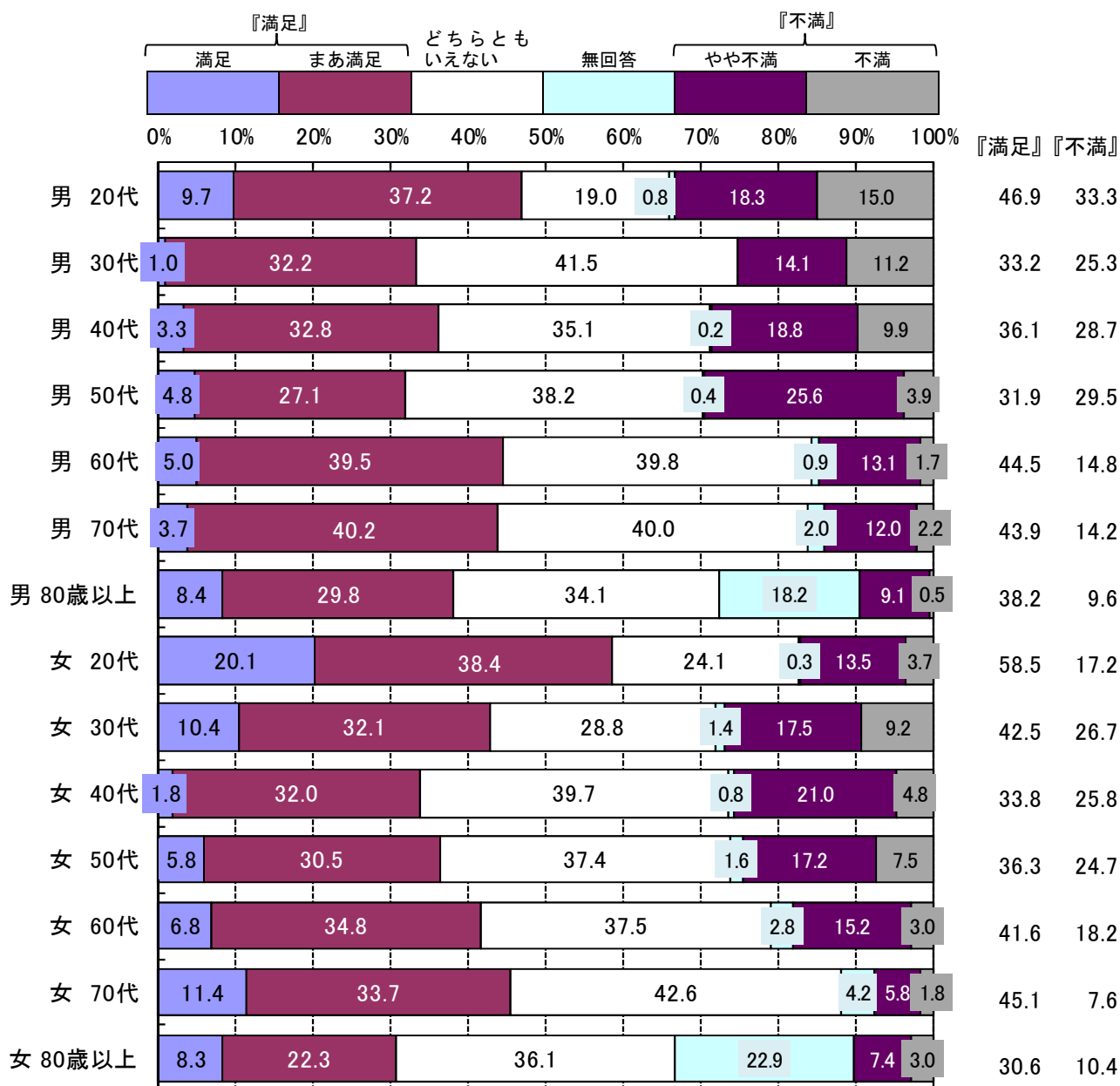
【性別】

『不満』は男性の方が女性より2.2ポイント高い。



【性・年代別】

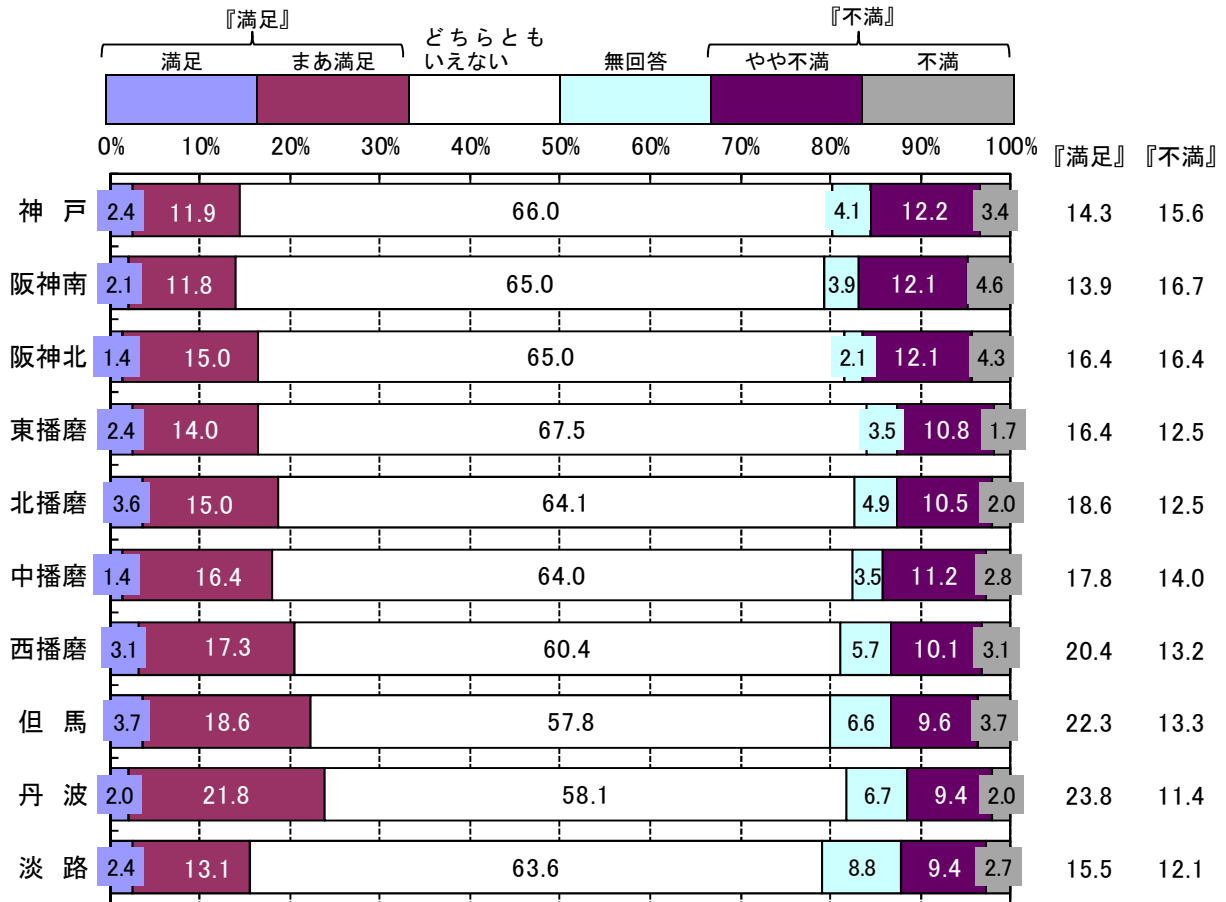
『満足』は、男性は20代が最も高く(46.9%)、女性は20代が最も高い(58.5%)。



〔キ 地域活動やボランティアへの取組〕

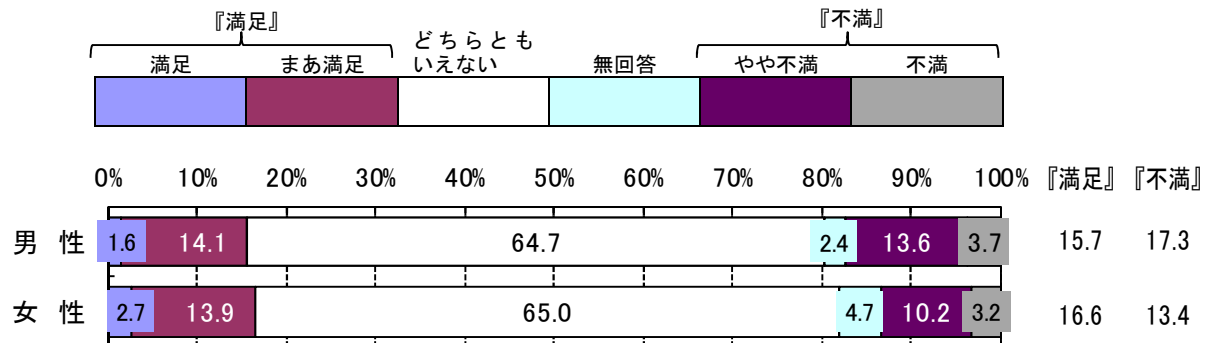
【地域別】

『満足』は丹波が最も高い(23.8%)。



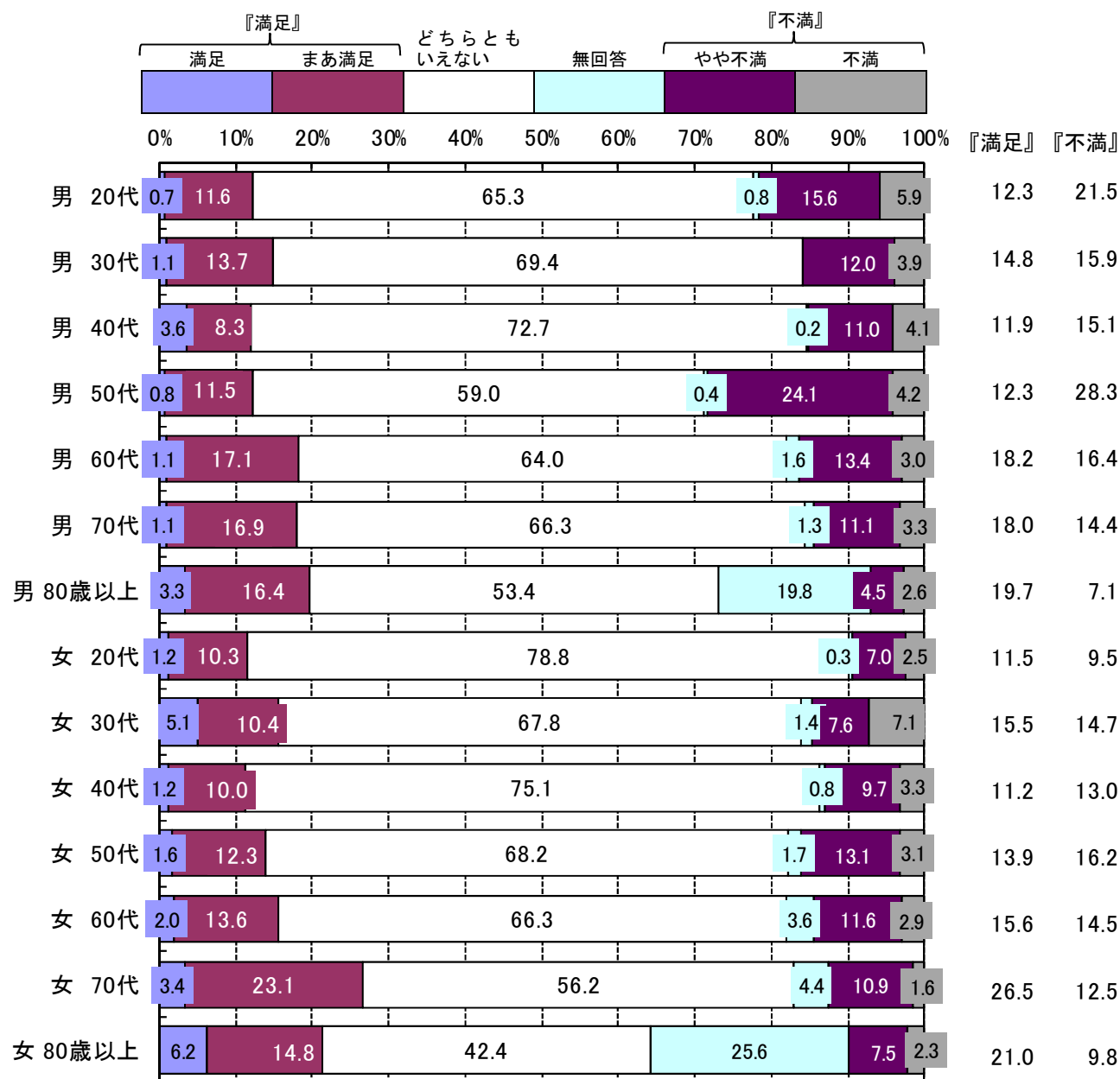
【性別】

『不満』は男性の方が女性より3.9ポイント高い。



【性・年代別】

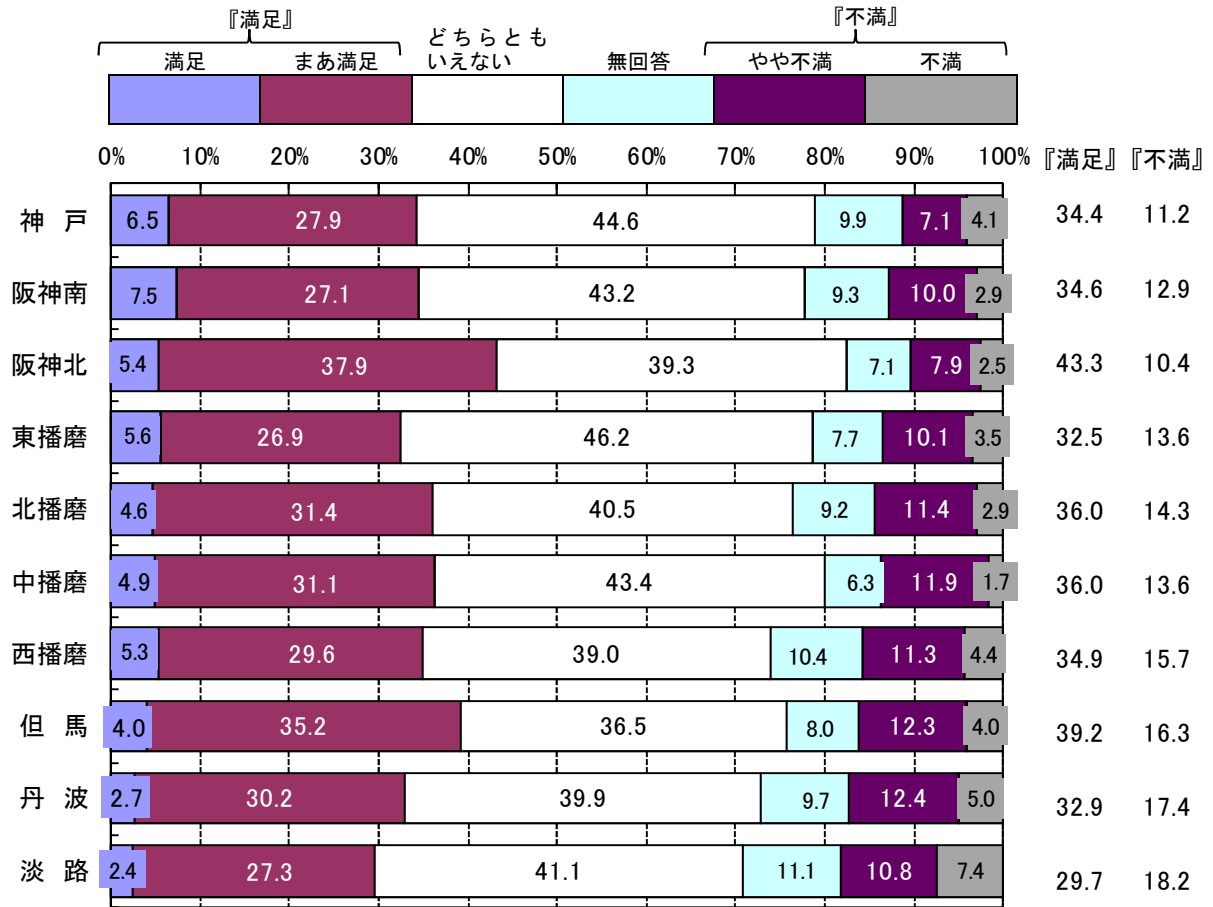
『満足』は、男性は80歳以上が最も高く(19.7%)、女性は70代が最も高い(26.5%)。



〔ク 仕事の内容〕

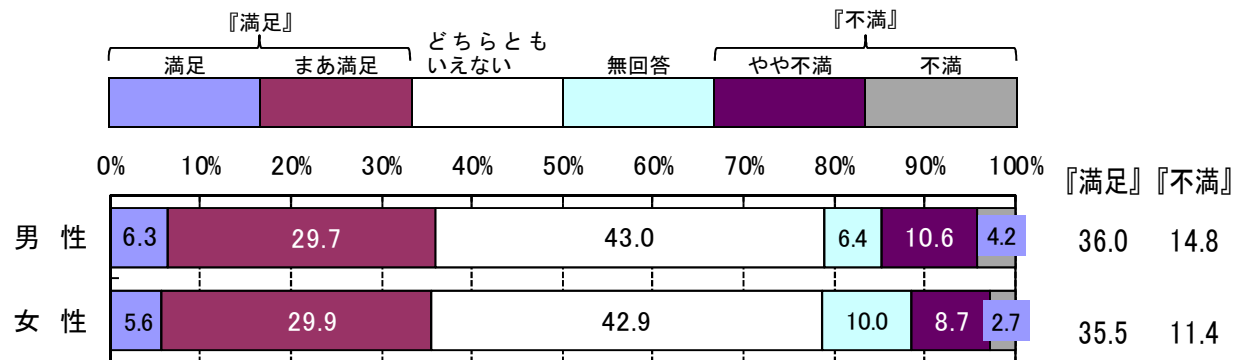
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い(43.3%)。



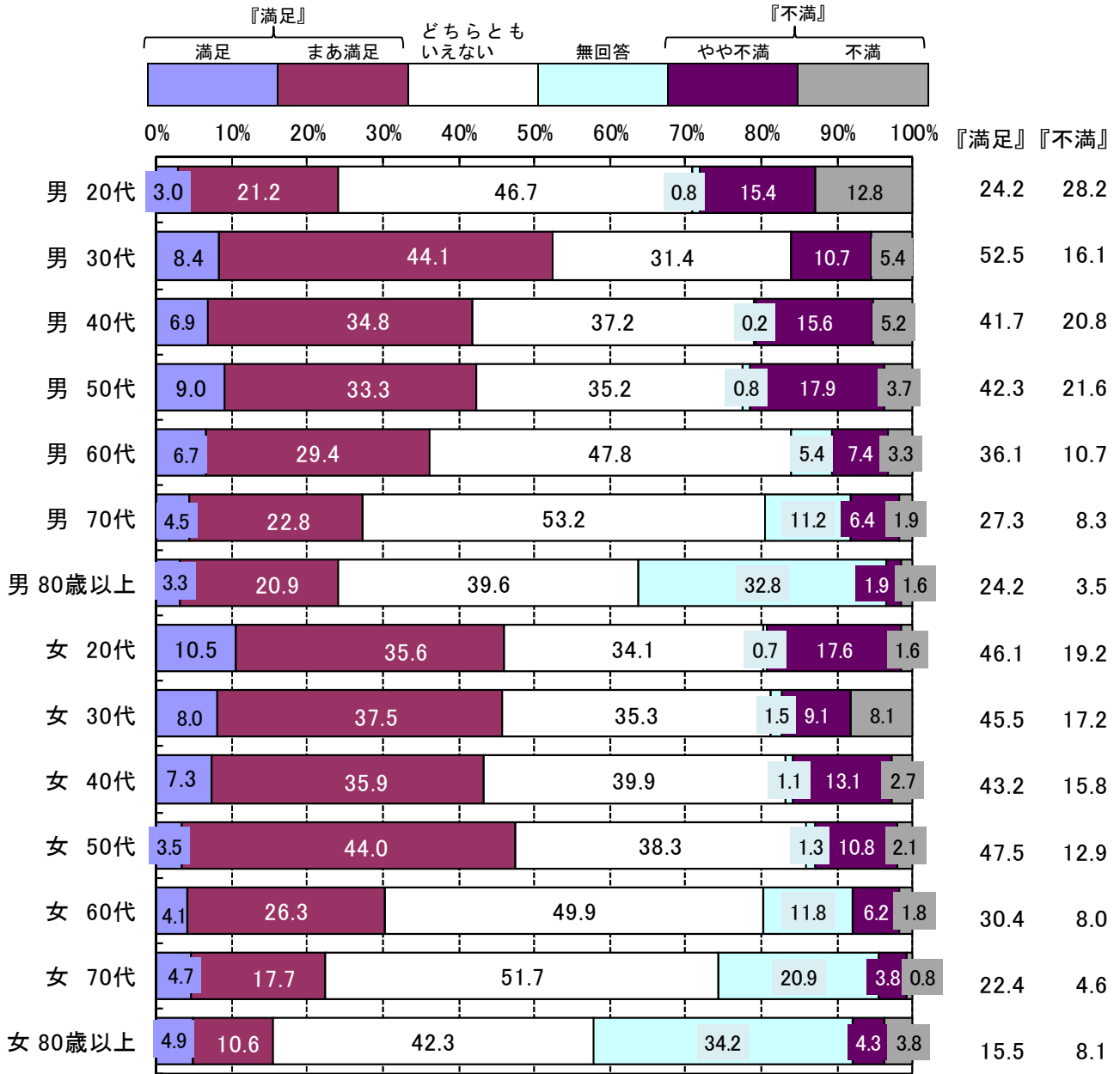
【性別】

『不満』は男性の方が女性より3.4ポイント高い。



【性・年代別】

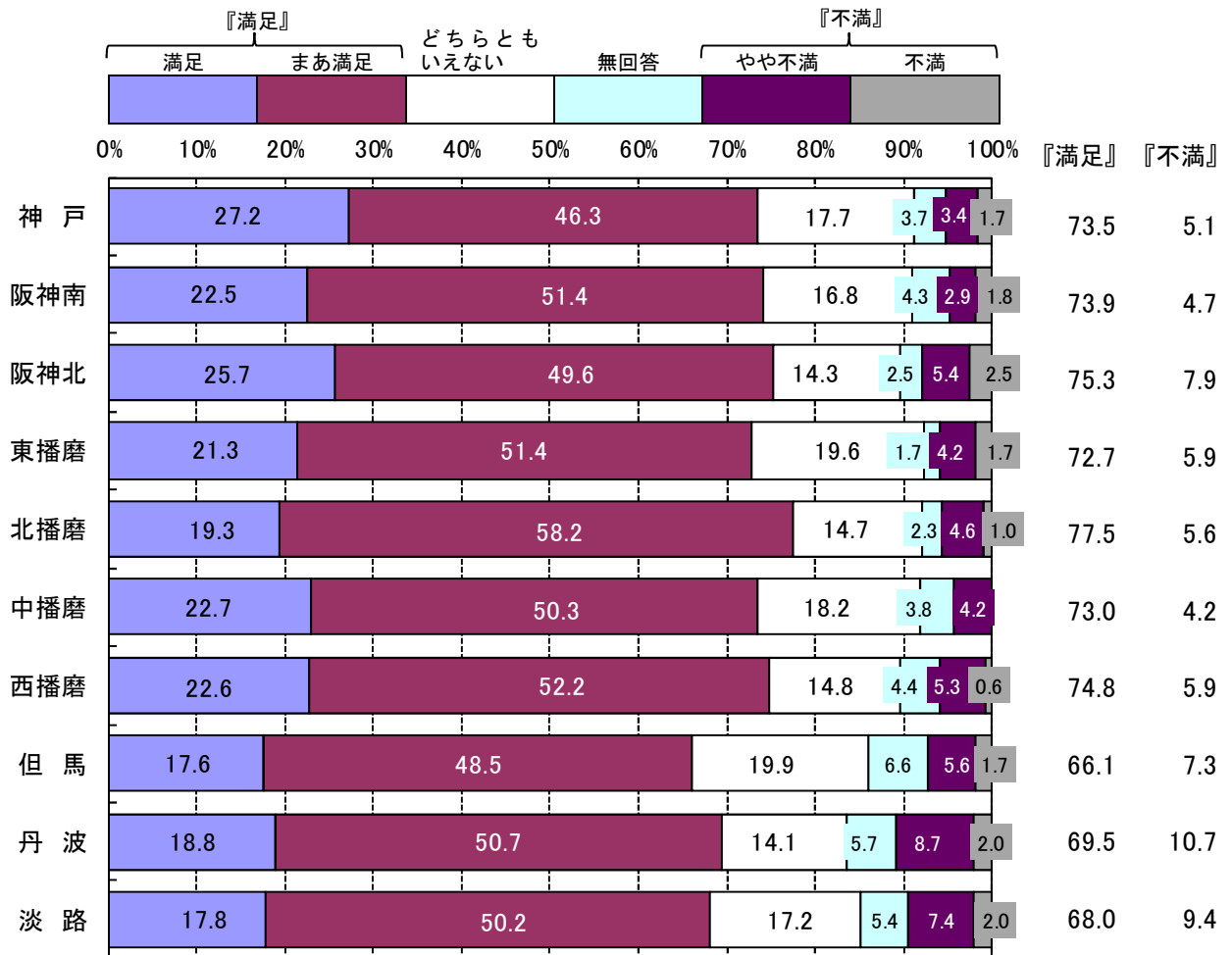
『満足』は、男性は30代が最も高く(52.5%)、女性は50代が最も高い(47.5%)。



〔ケ 家族との関係〕

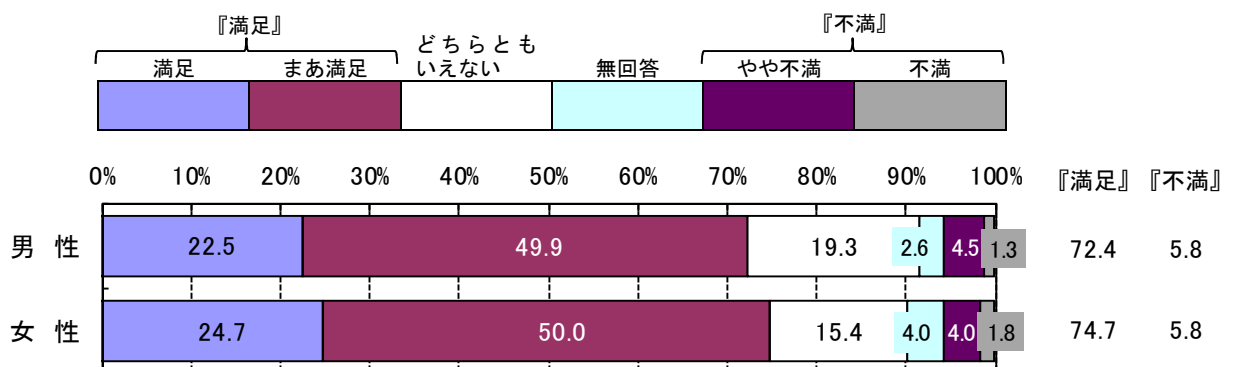
【地域別】

『満足』は北播磨が最も高い(77.5%)。



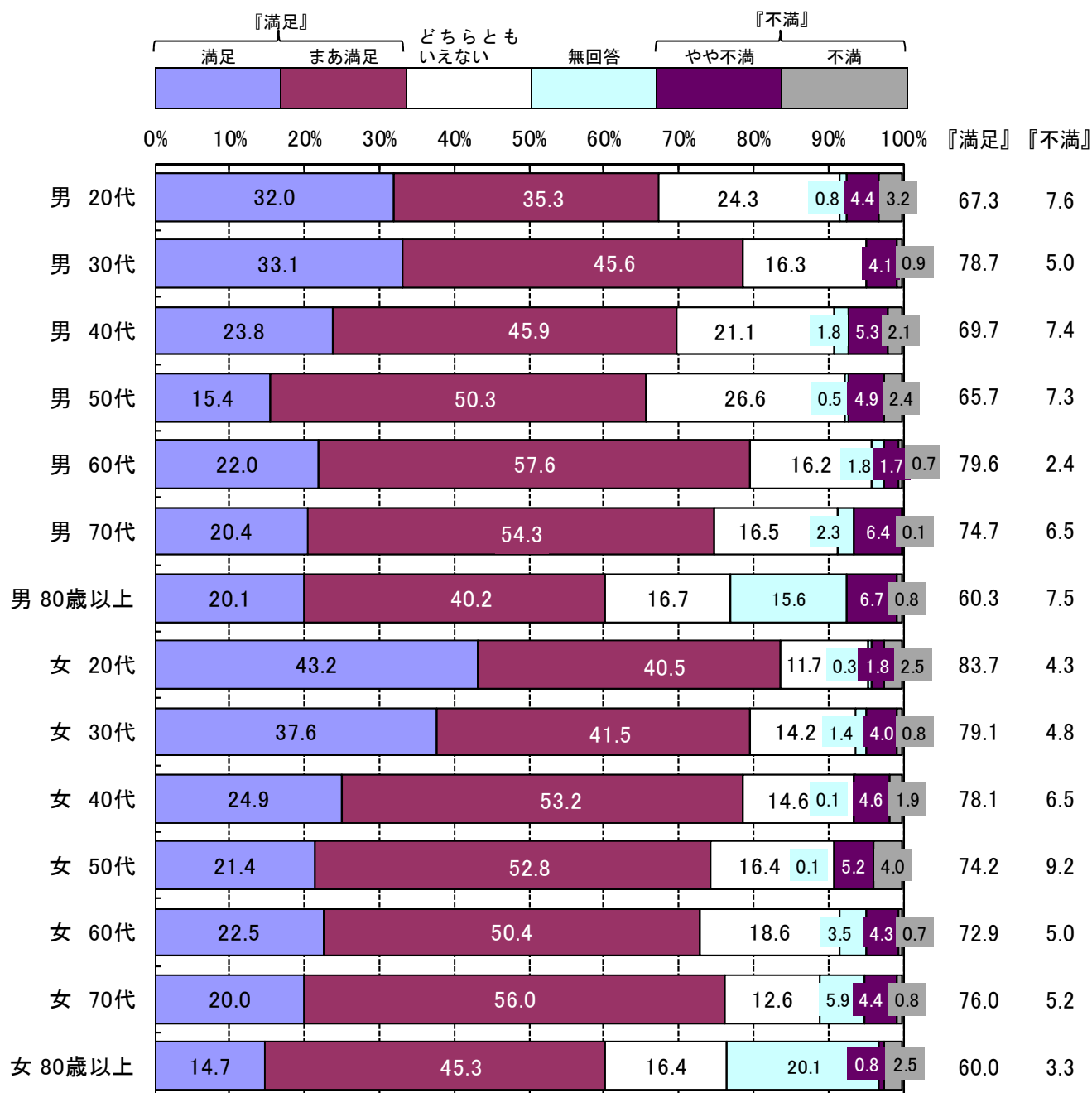
【性別】

『満足』は女性の方が男性より2.3ポイント高い。



【性・年代別】

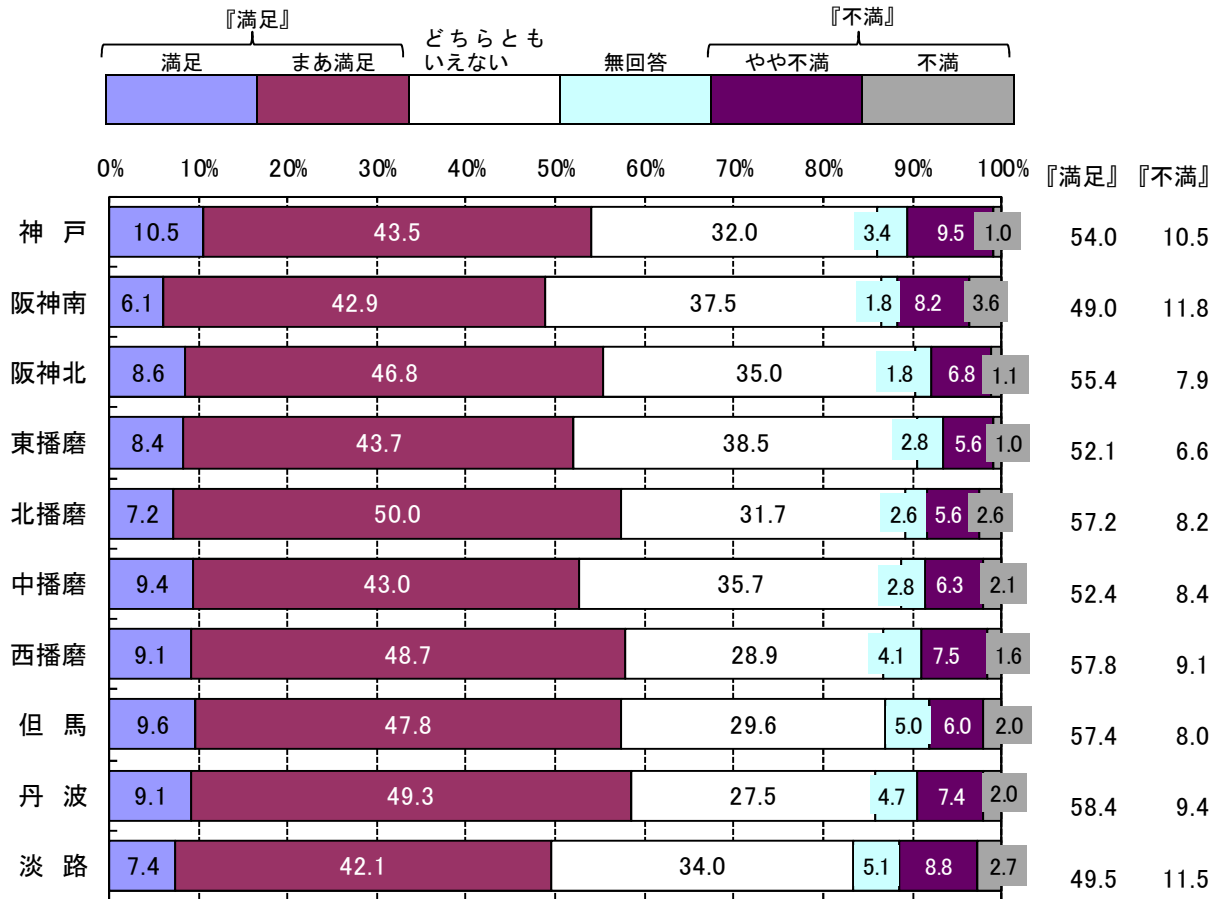
『満足』は、男性は60代が最も高く(79.6%)、女性は20代が最も高い(83.7%)。



〔コ 知人や近所の人との関係〕

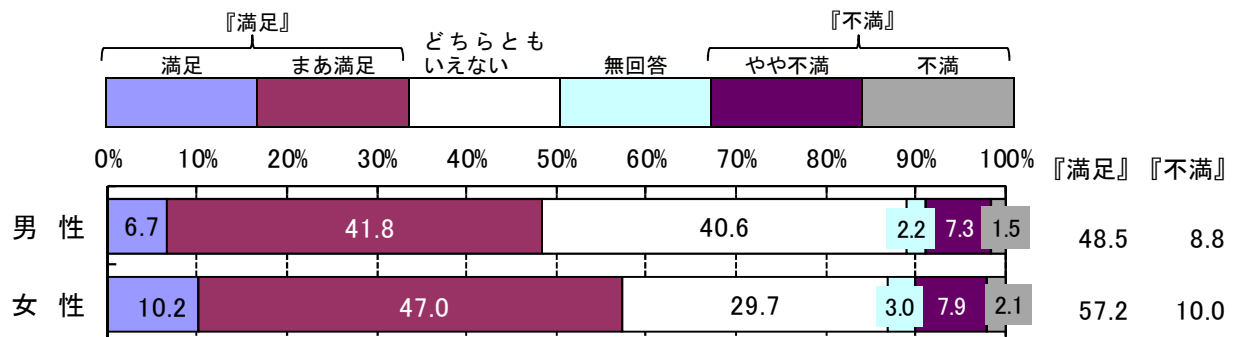
【地域別】

『満足』は丹波が最も高い(58.4%)。



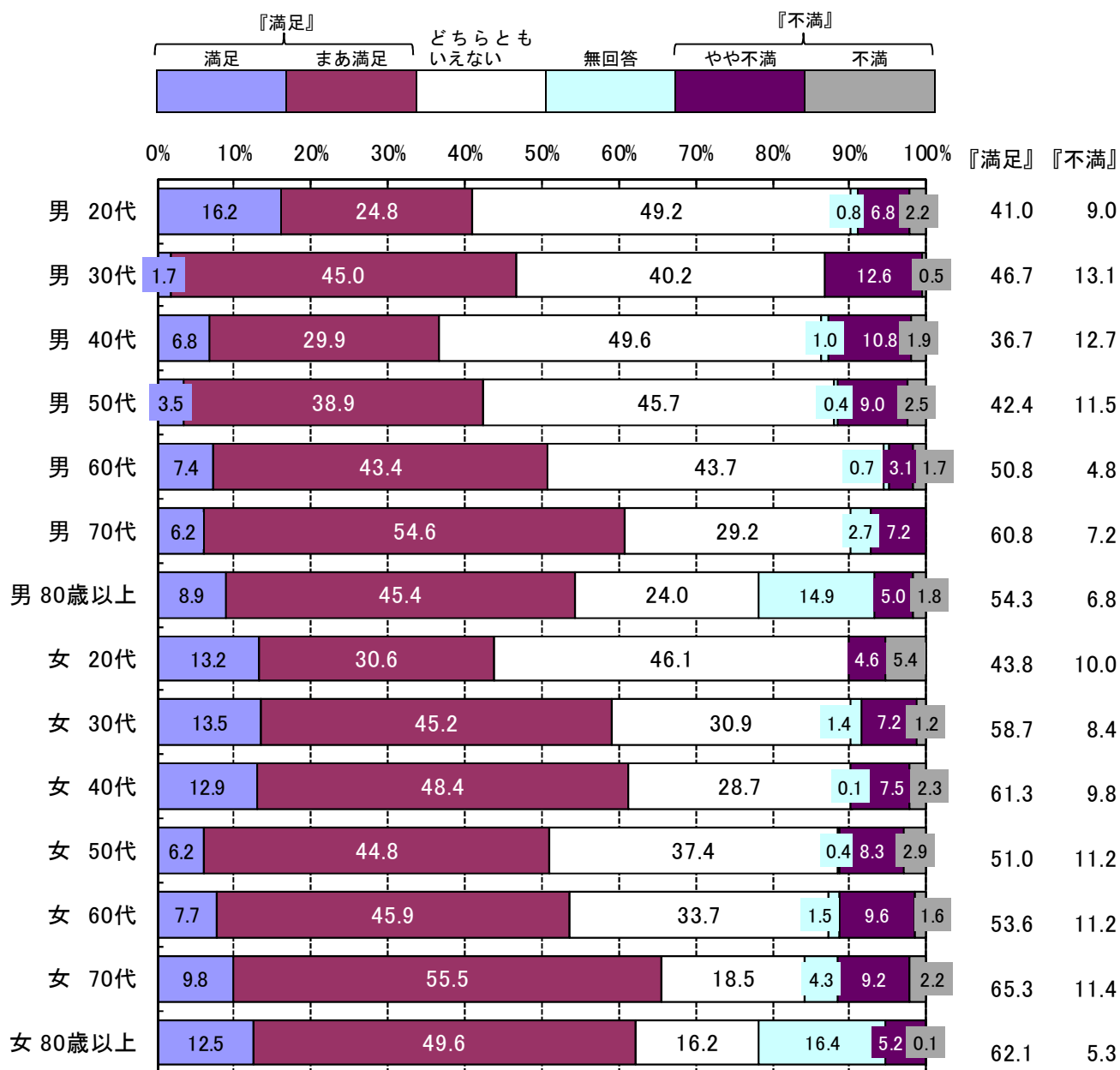
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より8.7ポイント高い。



【性・年代別】

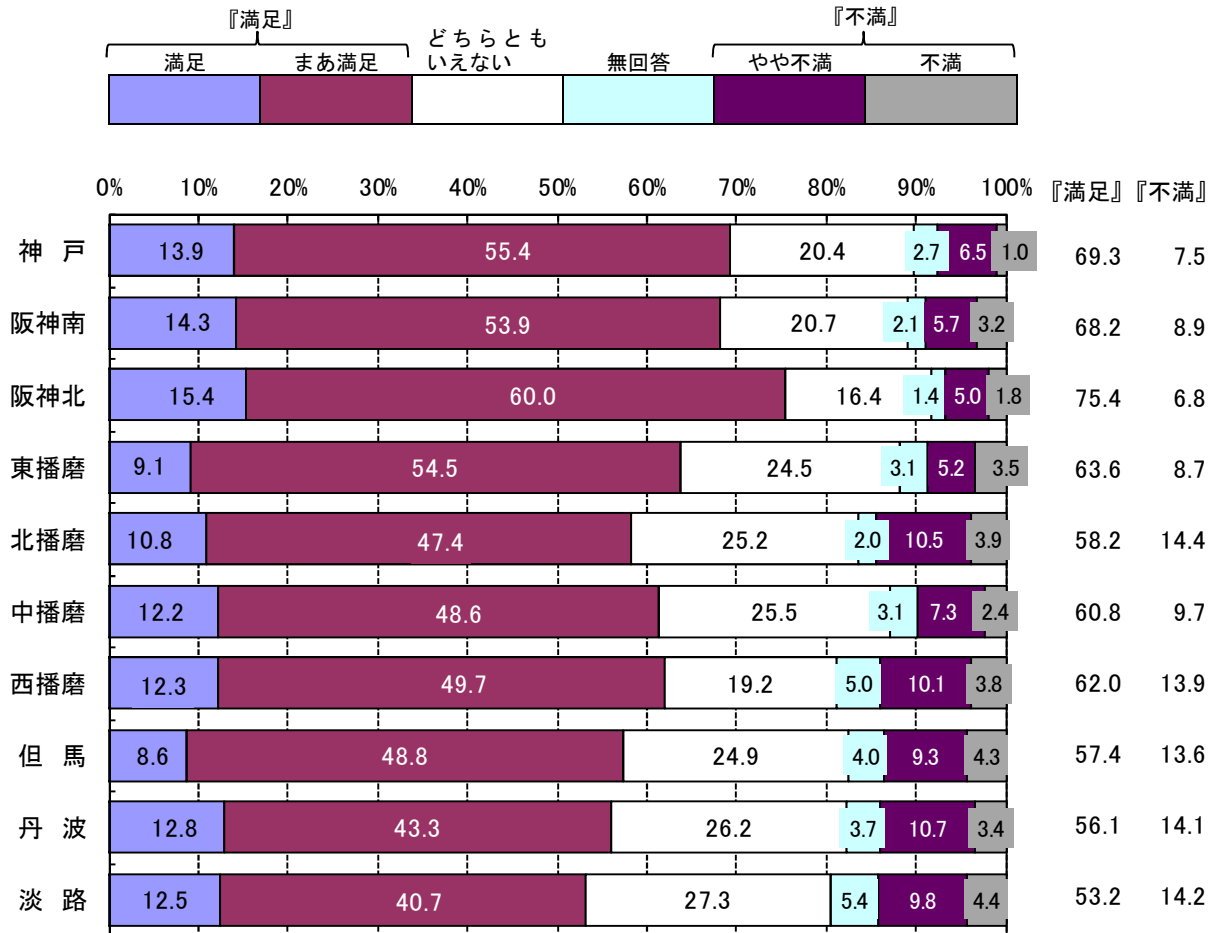
『満足』は、男性は70代が最も高く(60.8%)、女性も70代が最も高い(65.3%)。



〔サ 住んでいる地域の住み心地〕

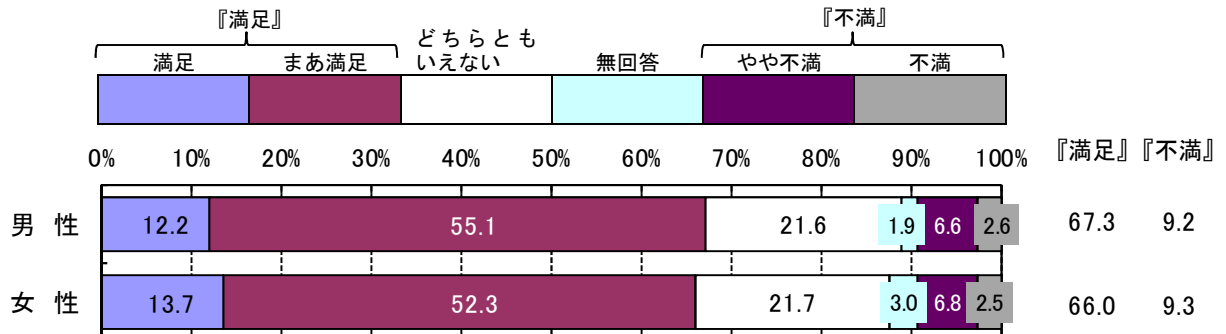
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い(75.4%)。



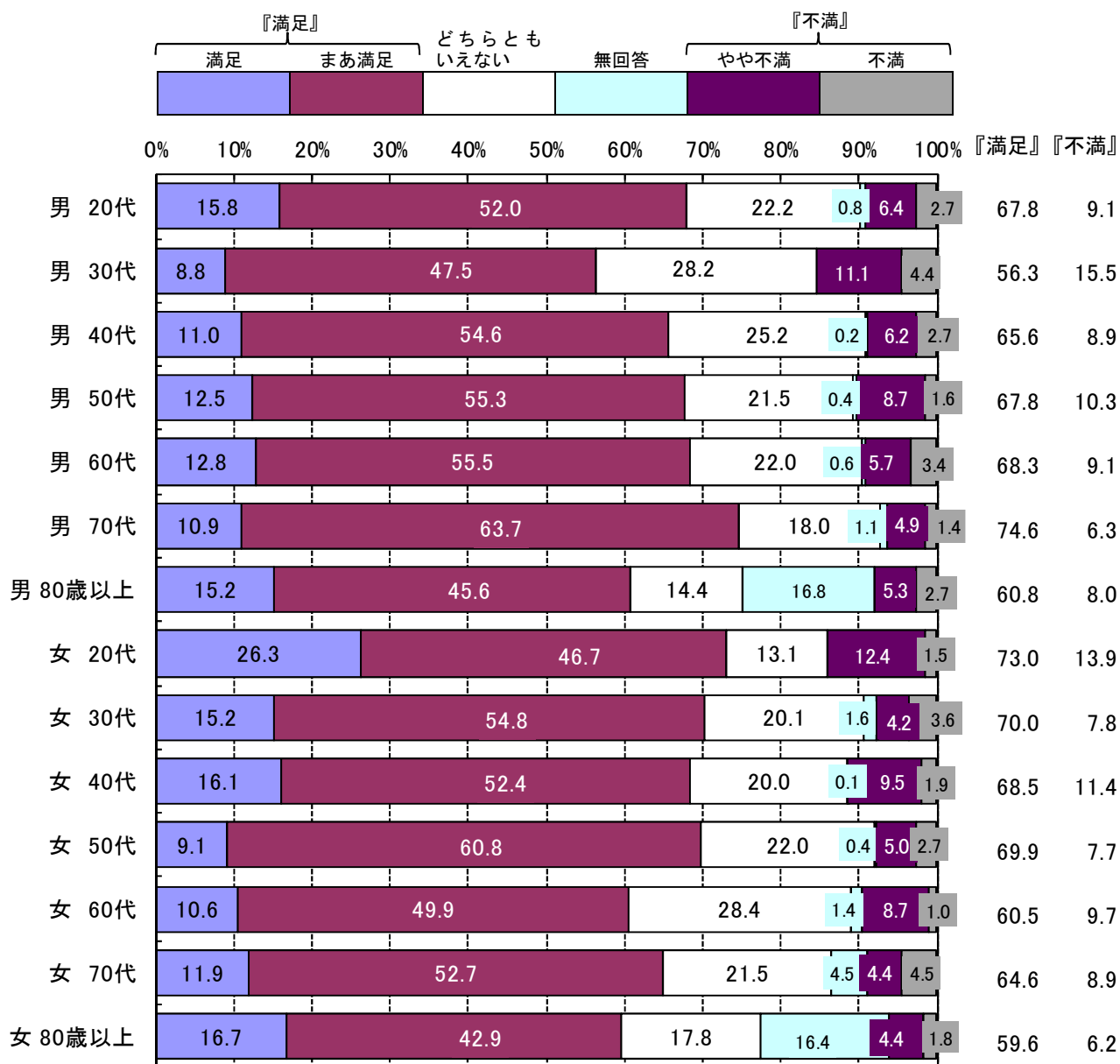
【性別】

『満足』は、男性の方が女性より1.3ポイント高い。



【性・年代別】

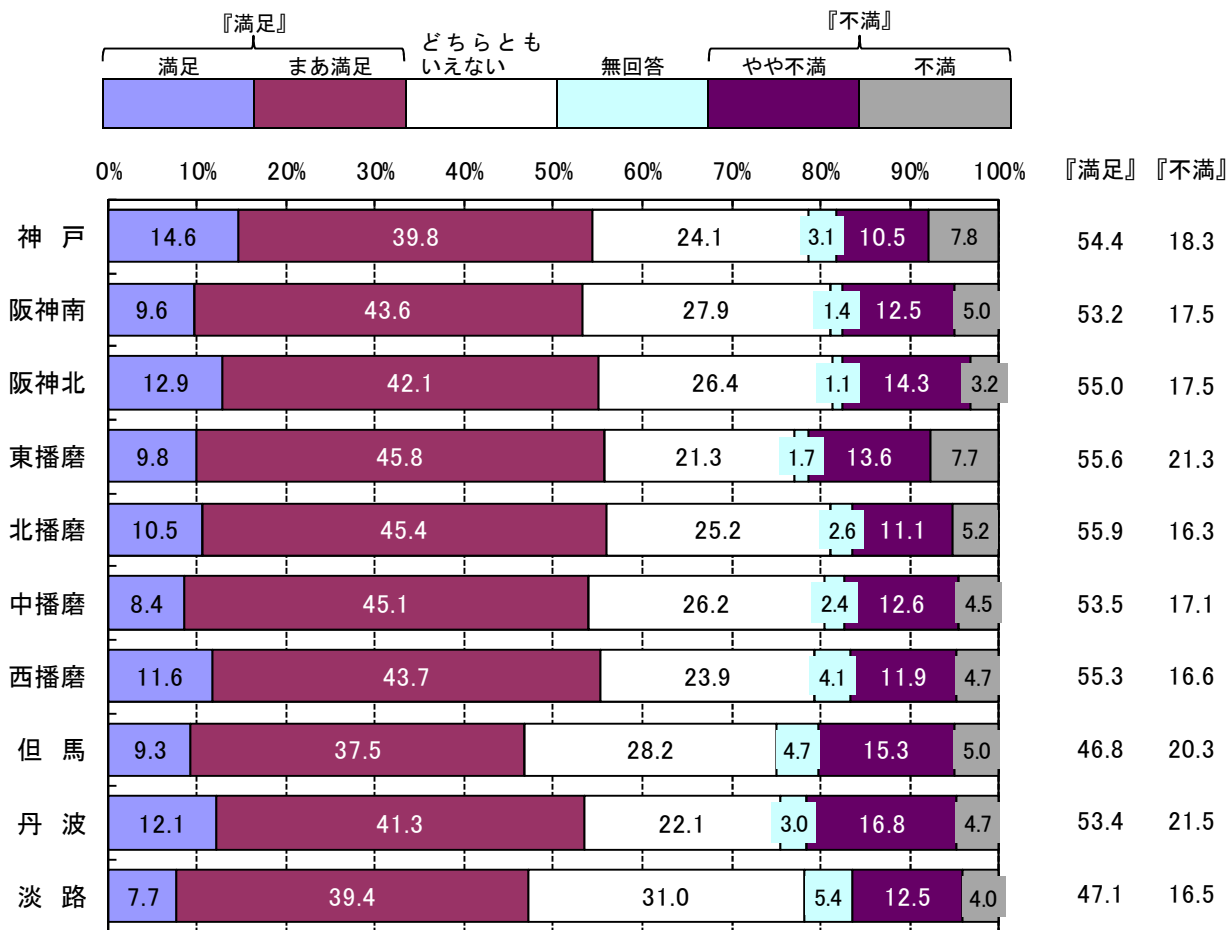
『満足』は、男性は70代が最も高く(74.6%)、女性は20代が最も高い(73.0%)。



〔シ あなた自身の健康〕

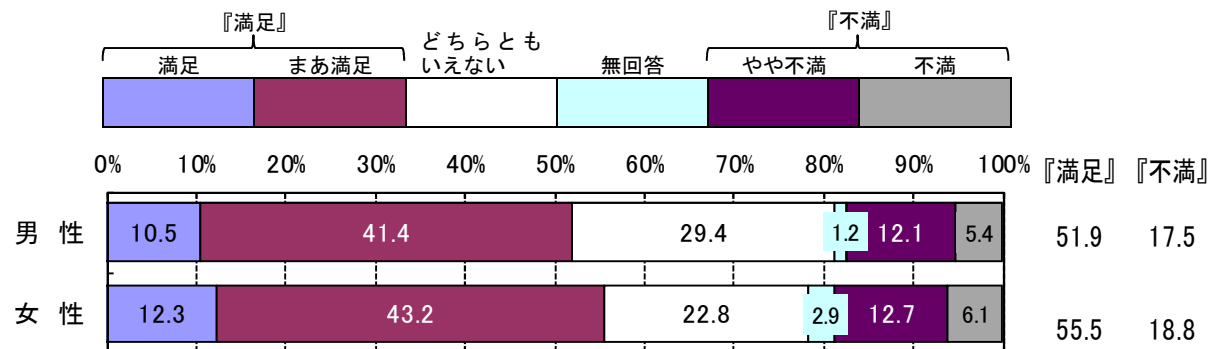
【地域別】

『満足』は北播磨が最も高い(55.9%)。



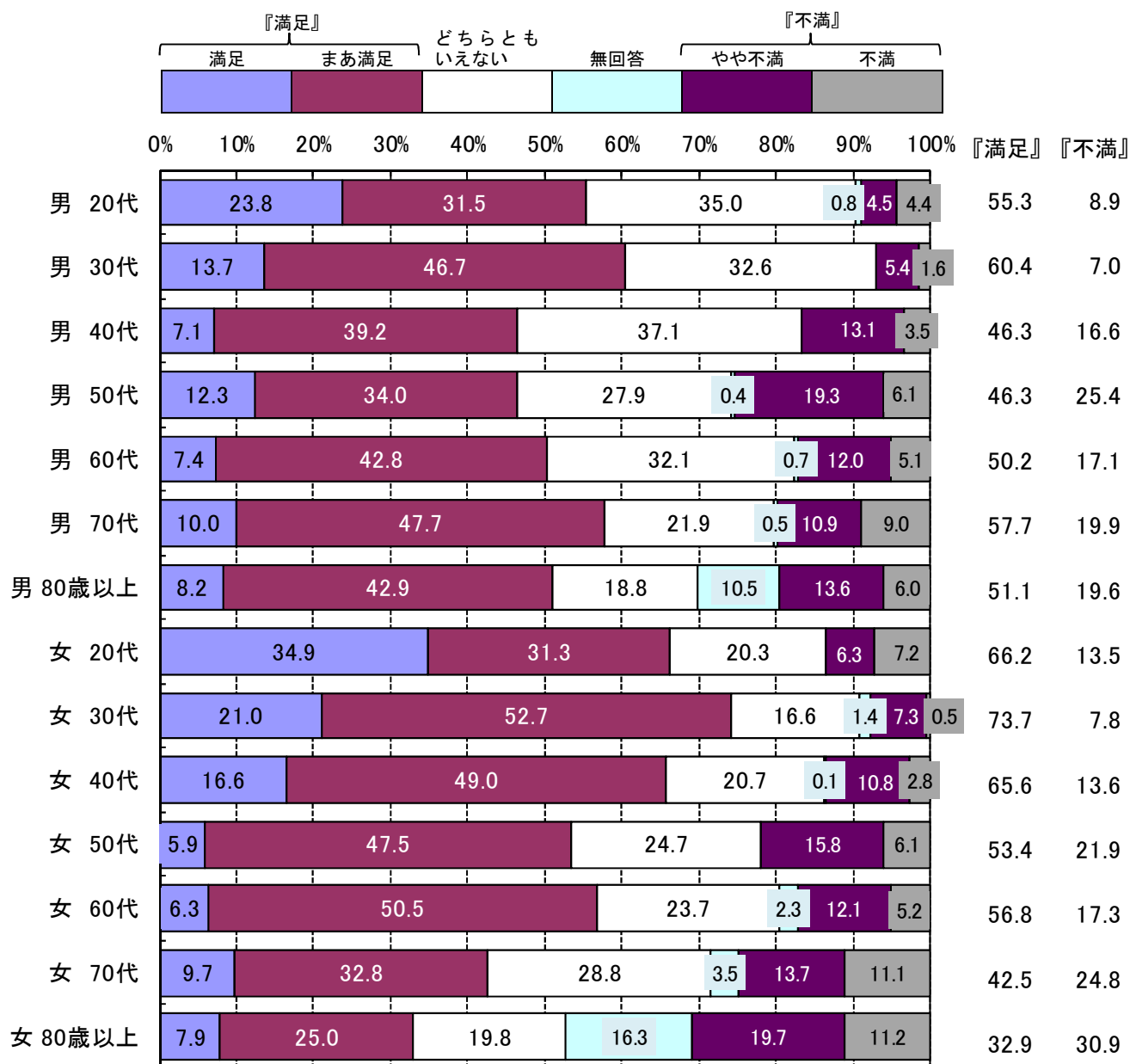
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より3.6ポイント高い。



【性・年代別】

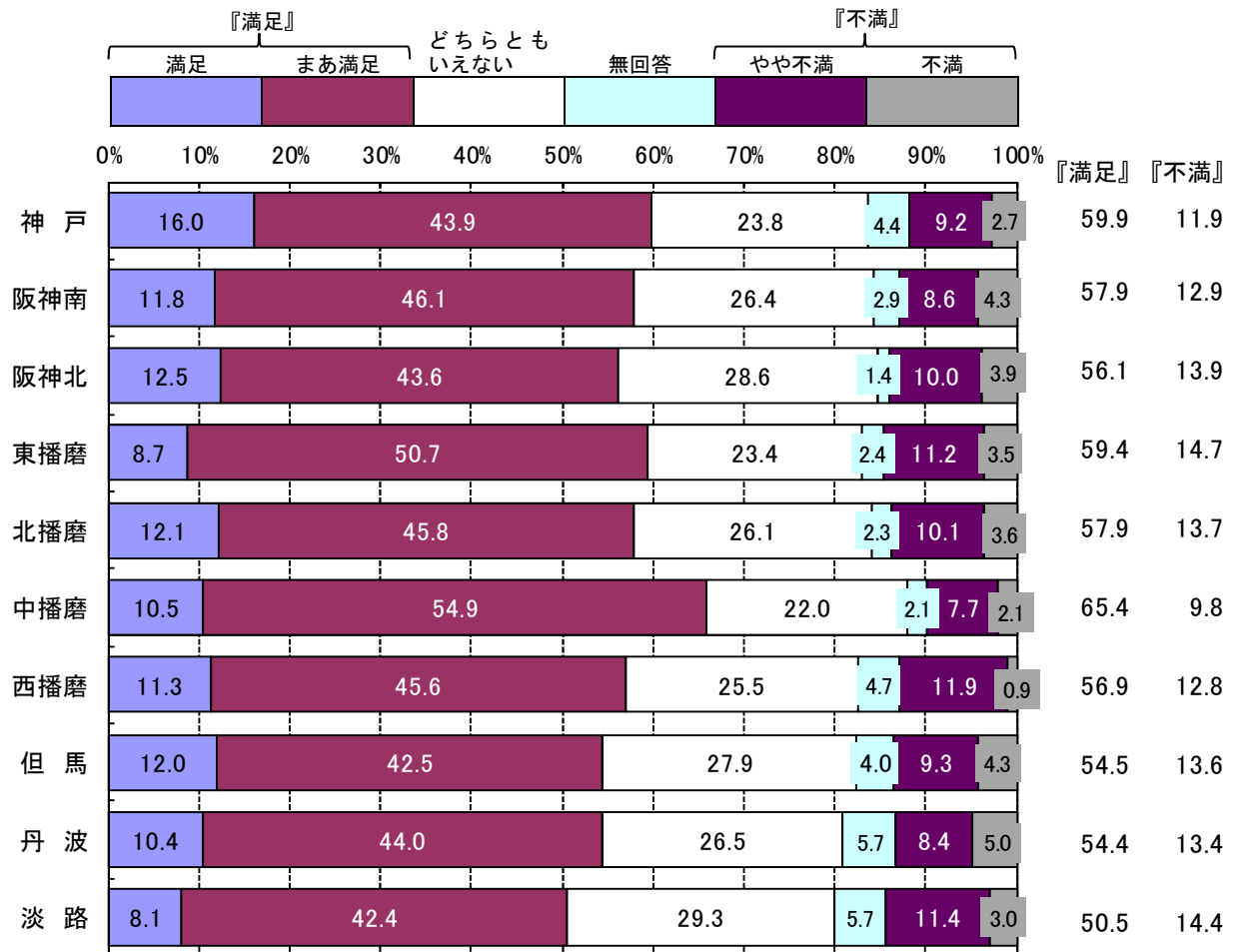
『満足』は、男性は30代が最も高く(60.4%)、女性も30代が最も高い(73.7%)。



〔ス 家族の健康〕

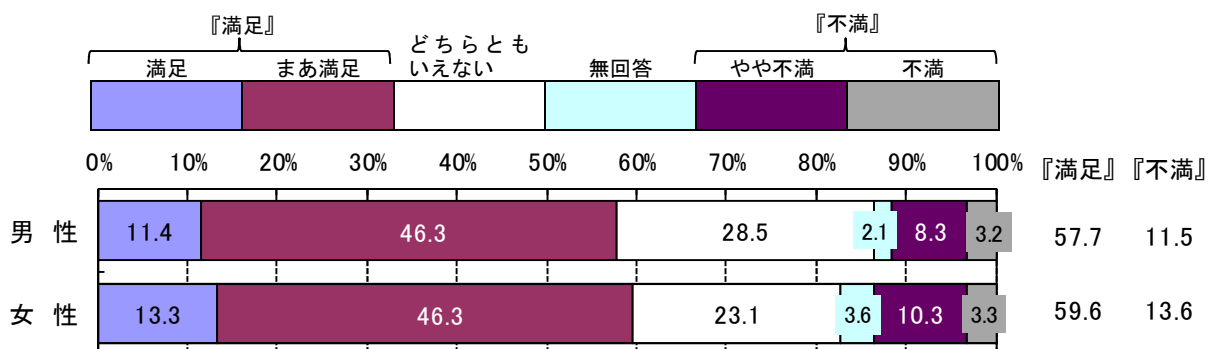
【地域別】

『満足』は中播磨が最も高い(65.4%)。



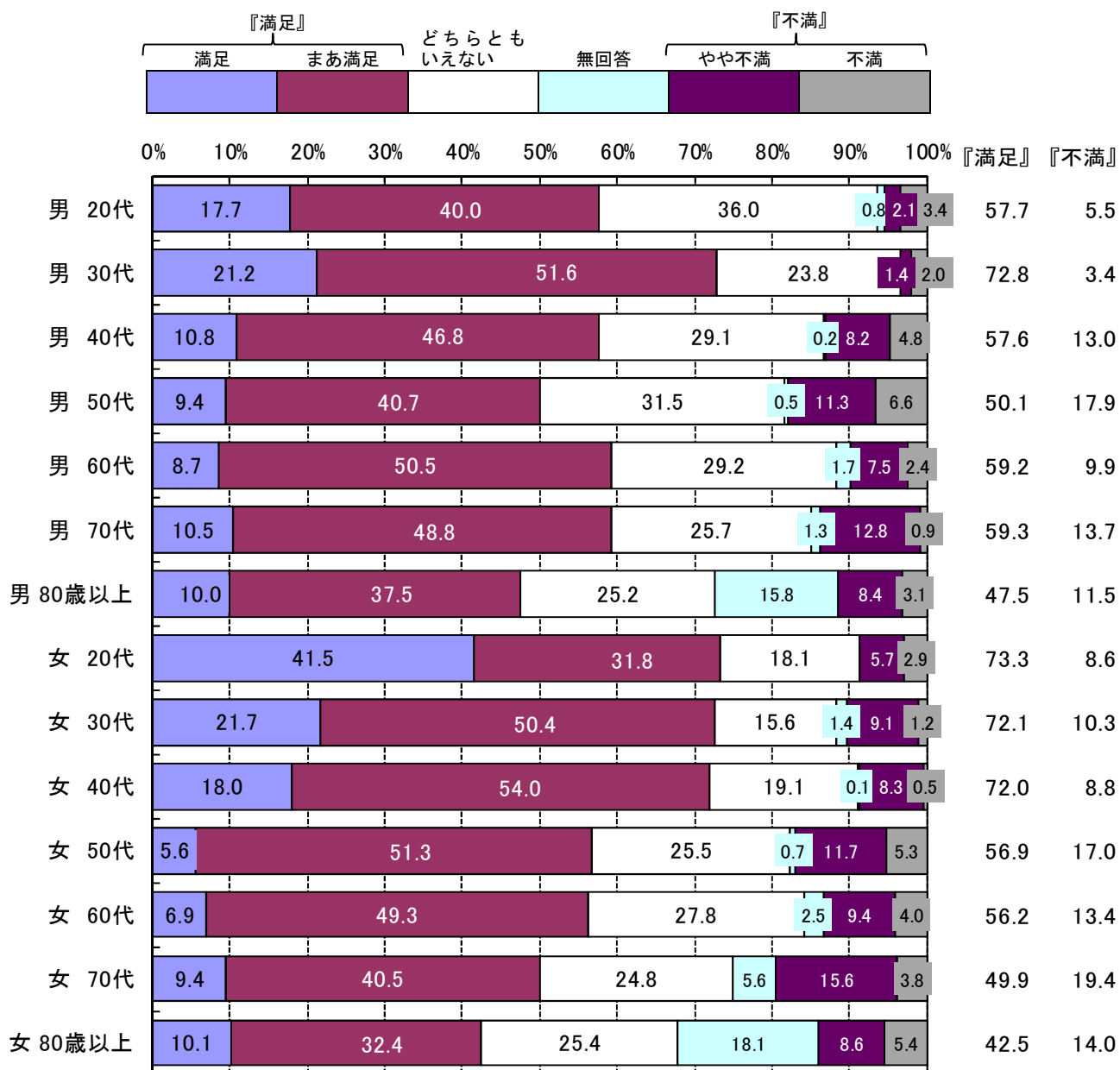
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より1.9ポイント高い。



【性・年代別】

『満足』は、男性は30代が最も高く(72.8%)、女性は20代が最も高い(73.3%)。



問 2 1 去年と比べた生活の向上感

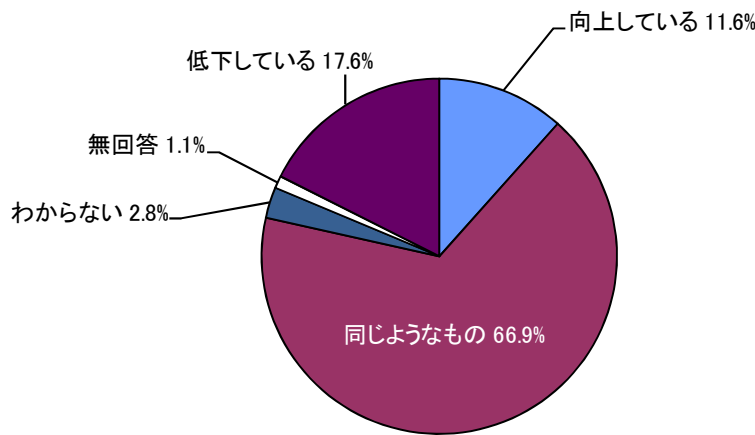
問 2 1

あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 向上している
- 2 同じようなもの
- 3 低下している
- 4 わからない

【全県】

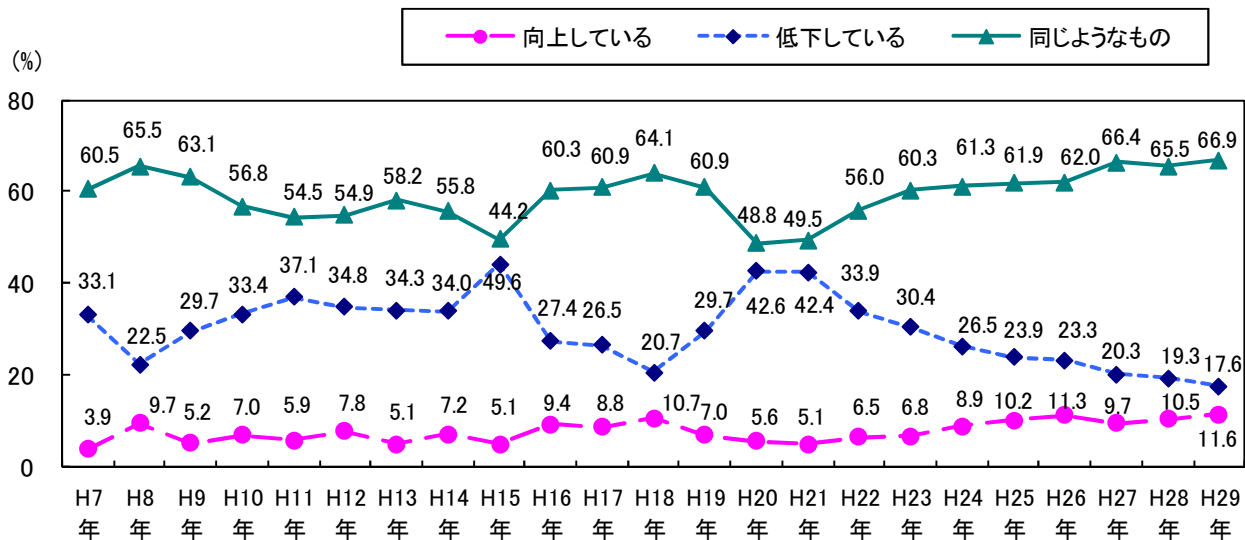
「同じようなもの（66.9%）」が最も高く、次いで「低下している（17.6%）」、「向上している（11.6%）」となった。



【経年比較】

「向上している（11.6%）」は1.4ポイント増加した。

「低下している（17.6%）」はH21年以降、減少傾向にある。



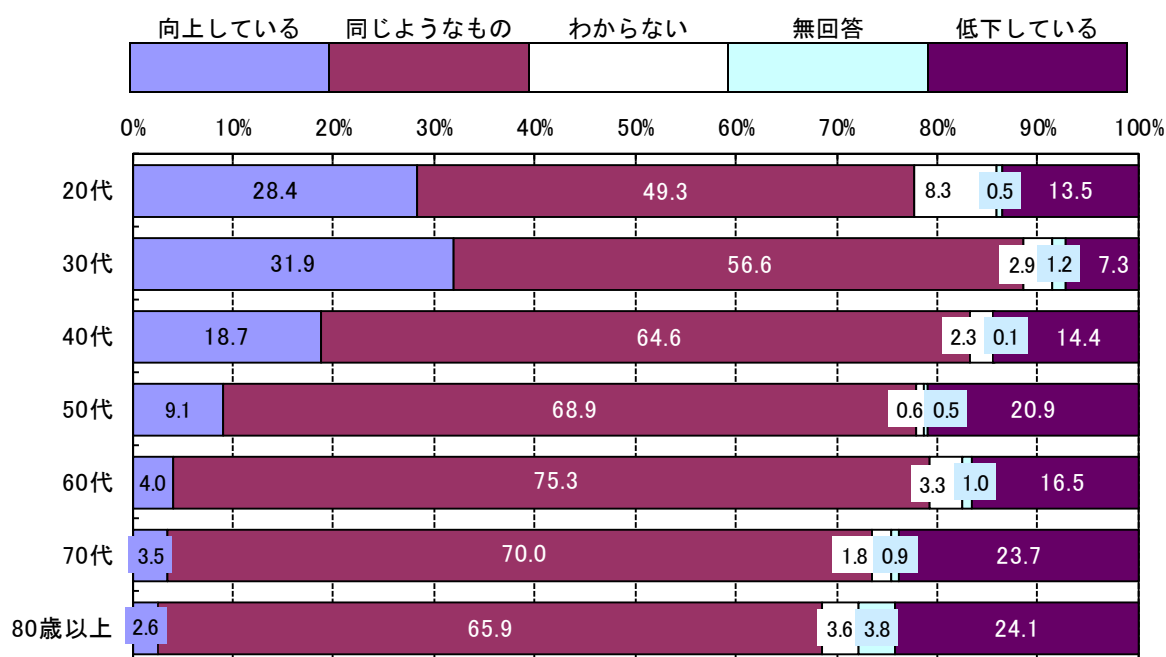
【地域別】

「向上している」は阪神北(14.3%)が最も高く、神戸(13.6%)も全県(11.6%)を超えている。



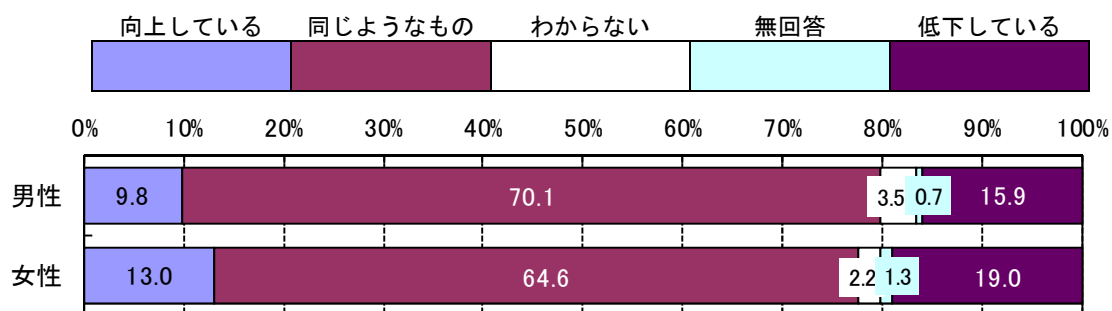
【年代別】

「向上している」は30代が最も高い(31.9%)。



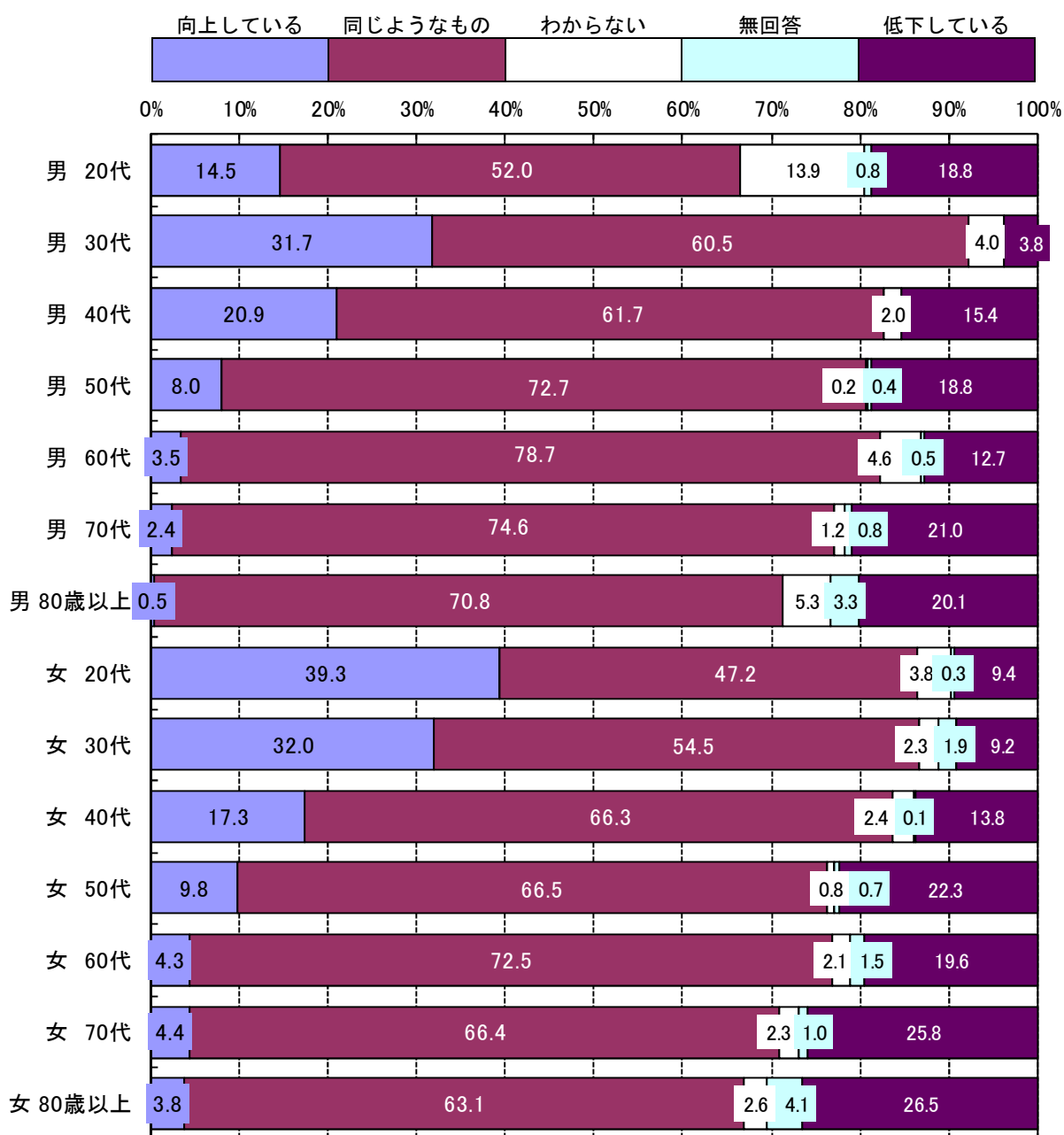
【性別】

「向上している」は、女性の方が男性より3.2ポイント高い。



【性・年代別】

「向上している」は、男性は30代が最も高く(31.7%)、女性は20代が最も高い(39.3%)。



問 2 2 大地震発生の可能性

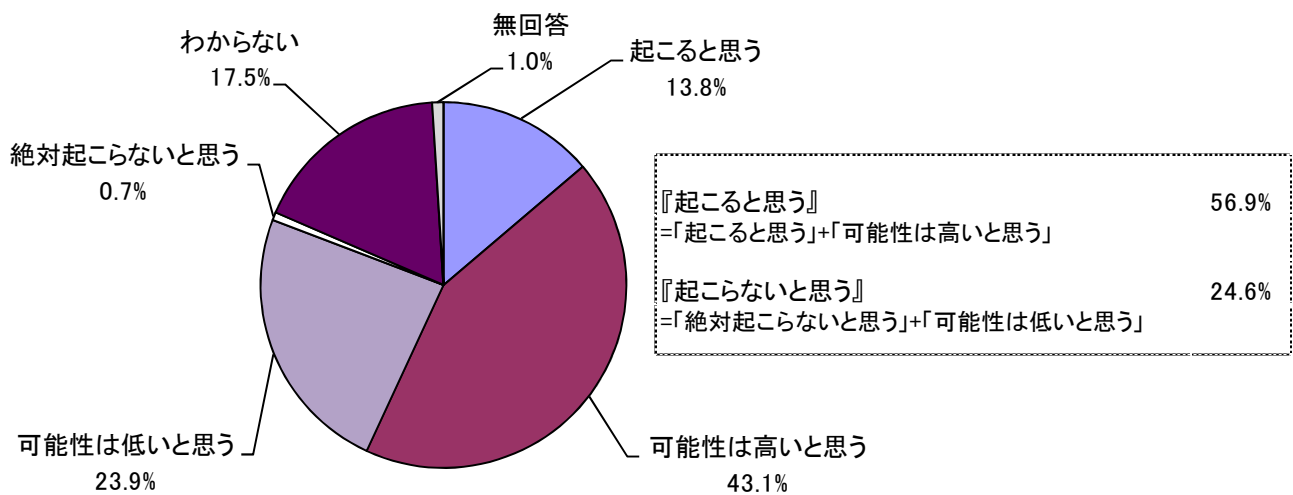
問 2 2

あなたの住んでいる地域で、今後 10 年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 起こると思う | 2 可能性は高いと思う |
| 3 可能性は低いと思う | 4 絶対起こらないと思う |
| 5 わからない | |

【全県】

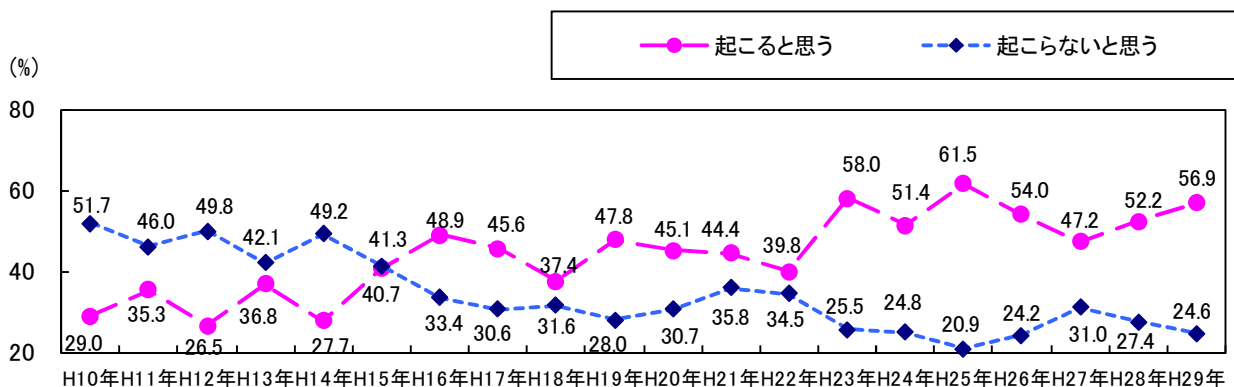
「起こると思う (13.8%)」、「可能性は高いと思う (43.1%)」を合わせた『起こると思う』は 56.9%で、「絶対起こらないと思う (0.7%)」、「可能性は低いと思う (23.9%)」を合わせた『起こらないと思う』は 24.6%となった。



【経年比較】

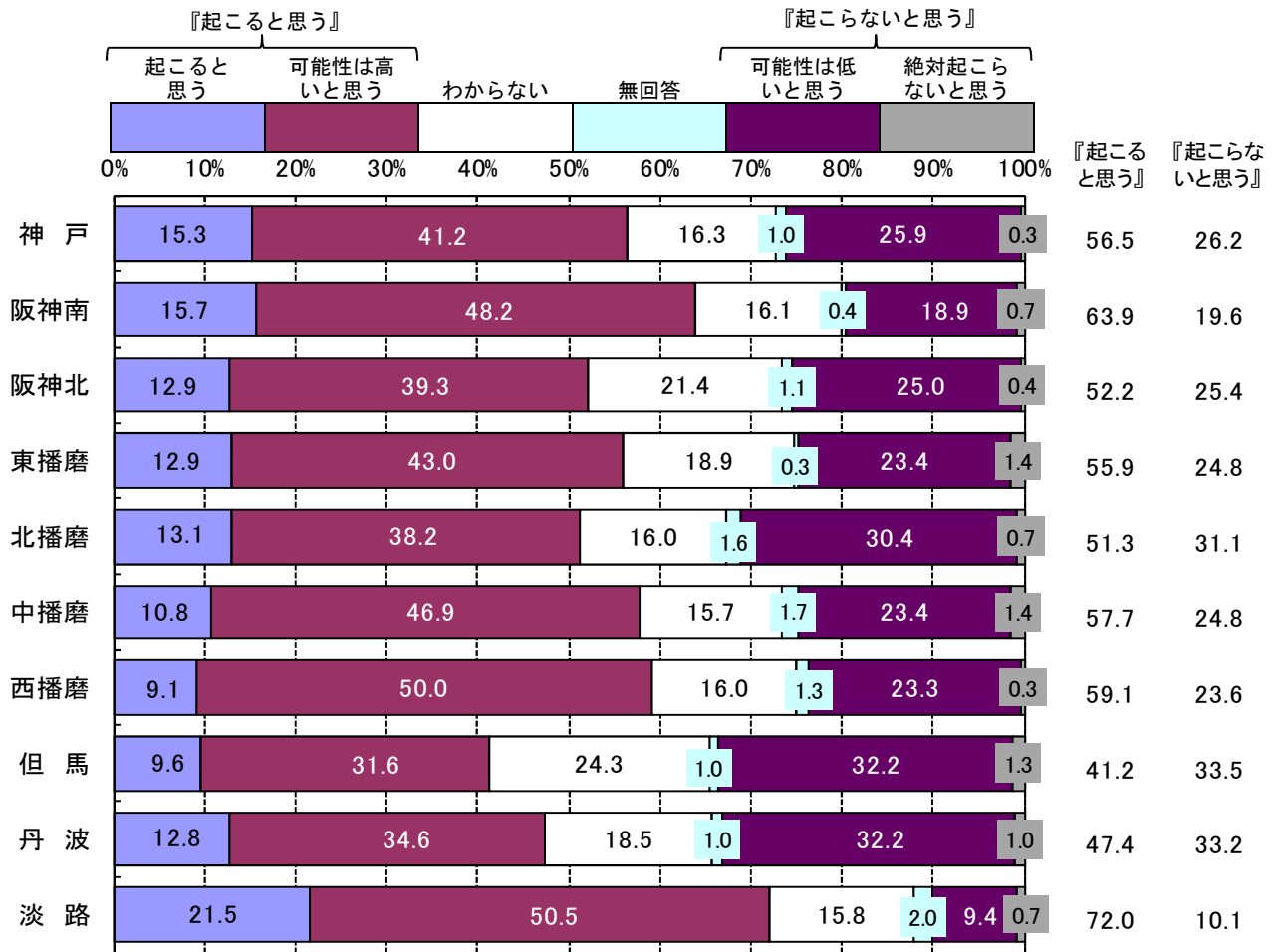
『起こると思う (56.9%)』は、前年より 4.7 ポイント増加した。

一方、『起こらないと思う (24.6%)』は、前年より 2.8 ポイント減少した。



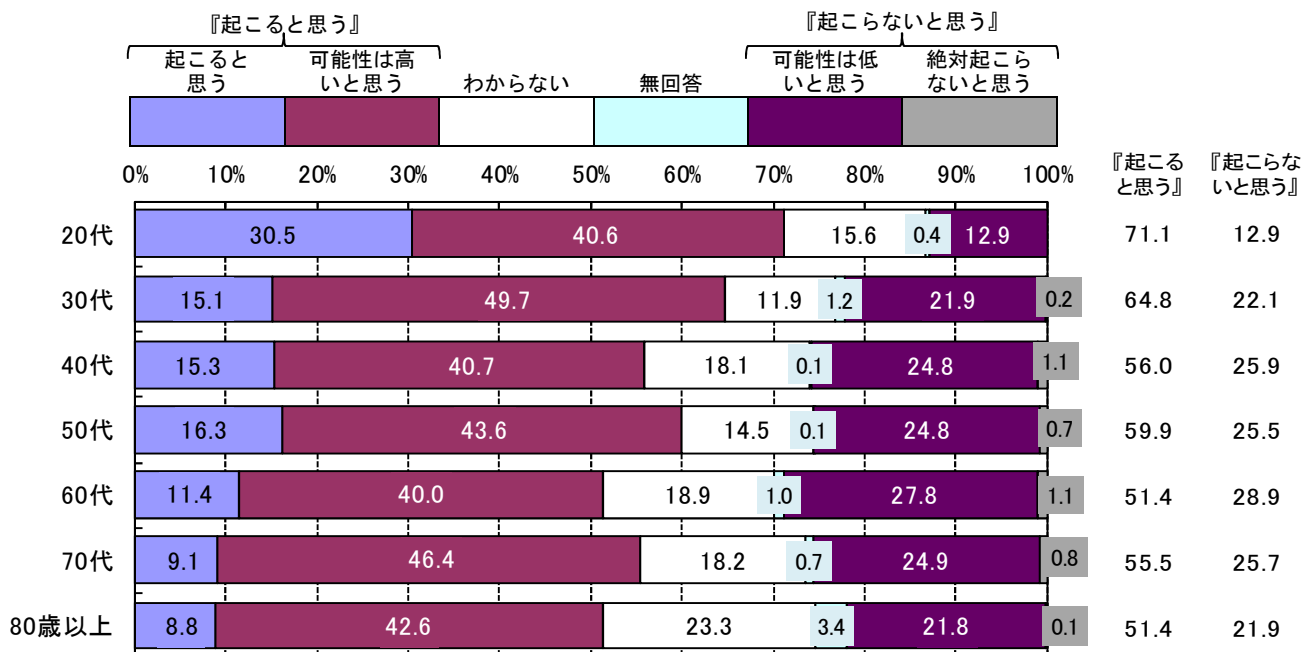
【地域別】

『起こると思う』は、淡路(72.0%)が最も高く、次いで阪神南(63.9%)、西播磨(59.1%)、中播磨(57.7%)が高い。



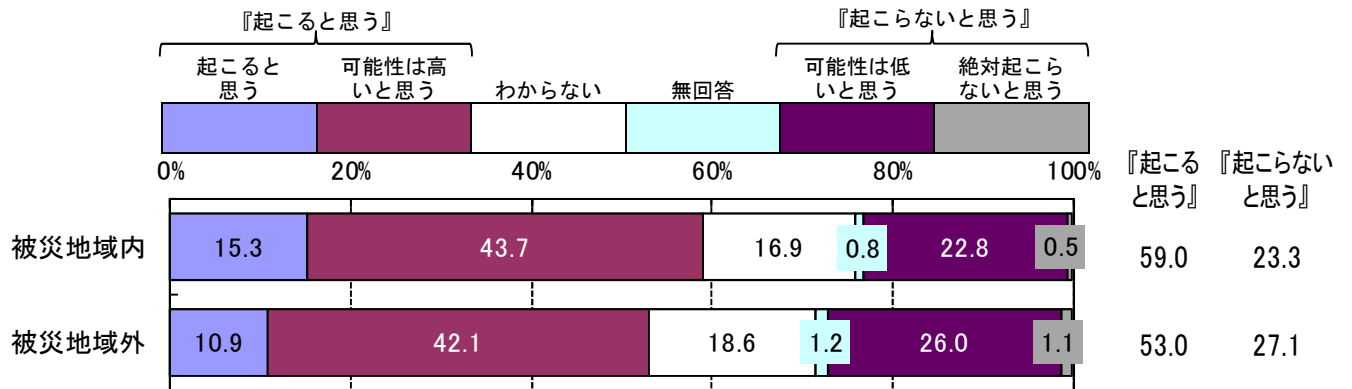
【年代別】

『起こると思う』は20代が最も高い(71.1%)。



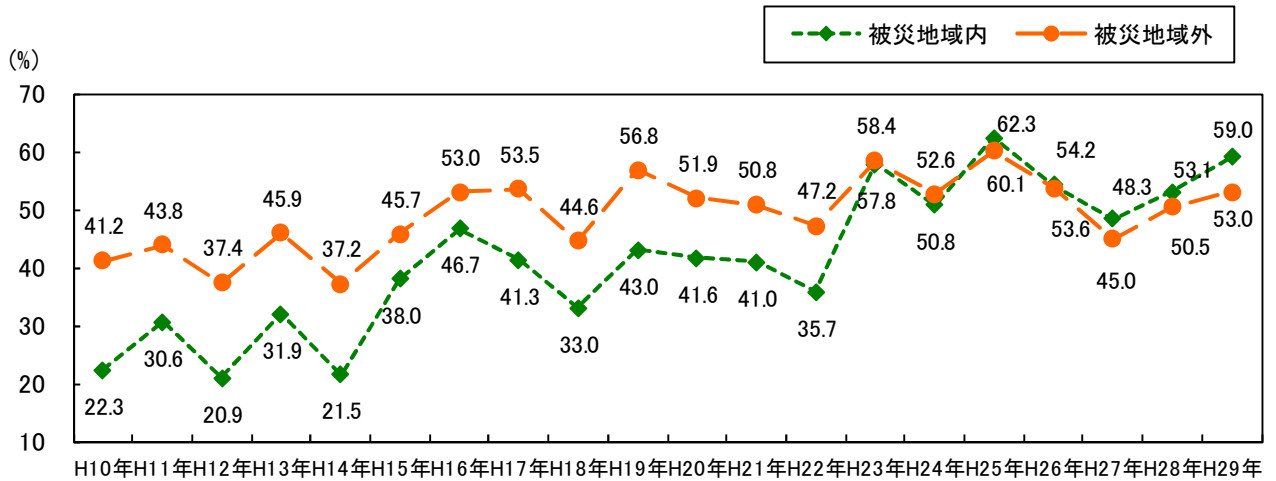
【被災地域内外別】

『起こると思う』は、被災地域外よりも被災地域内の方が6.0ポイント高くなっている。



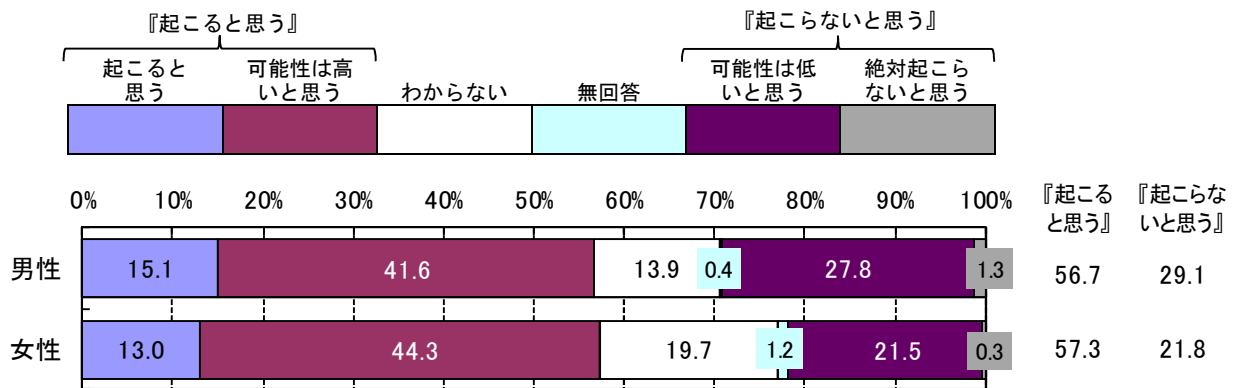
【被災地域内外別『起こると思う』(経年比較)】

被災地域内は、前年より5.9ポイント増加した。被災地域外は2.5ポイント増加した。



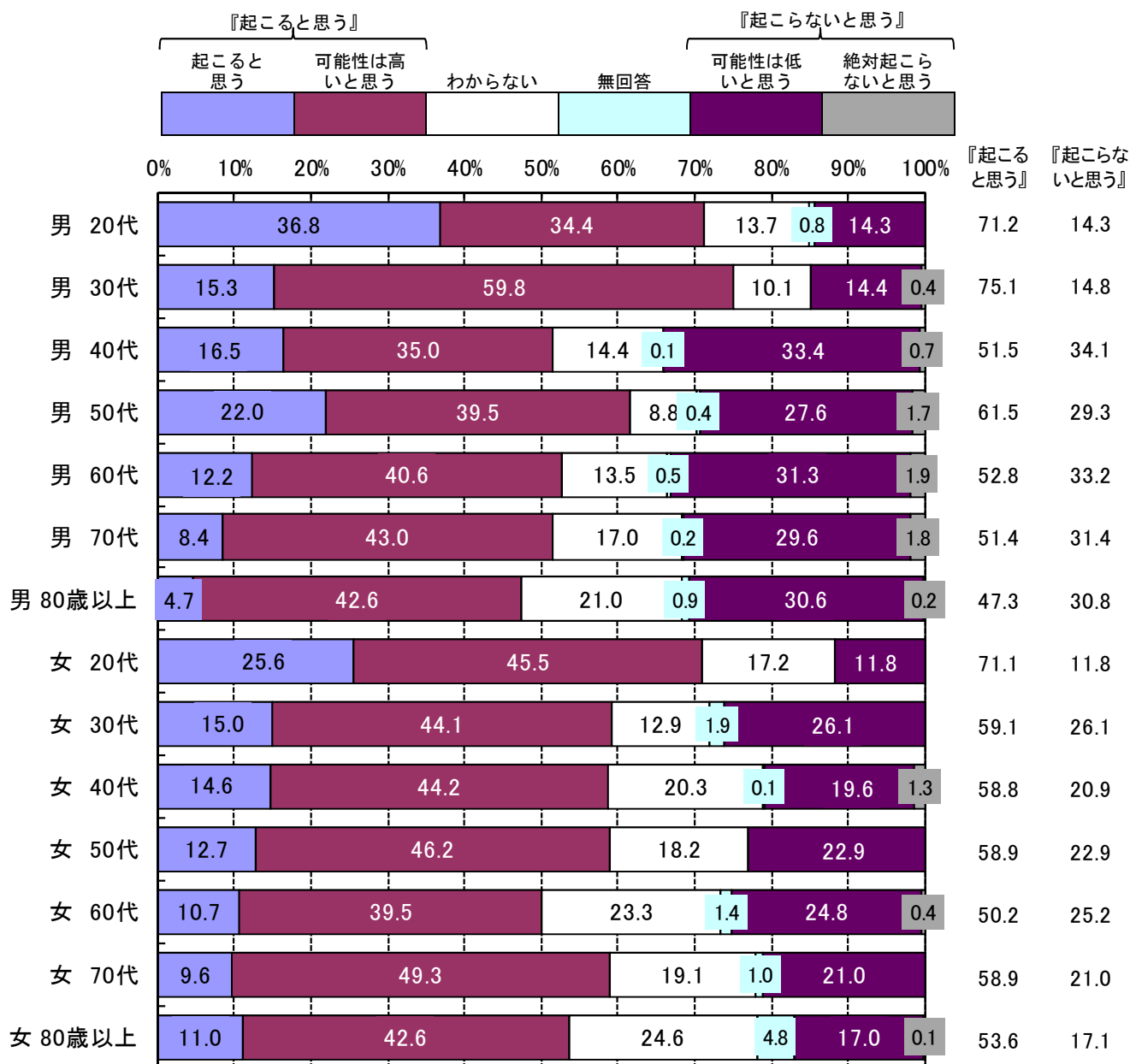
【性別】

『起こらないと思う』は男性の方が女性より7.3ポイント高い。



【性・年代別】

『起こると思う』は、男性は30代が最も高く(75.1%)、女性は20代が最も高い(71.1%)。



問 2 3 地域活動への参加状況

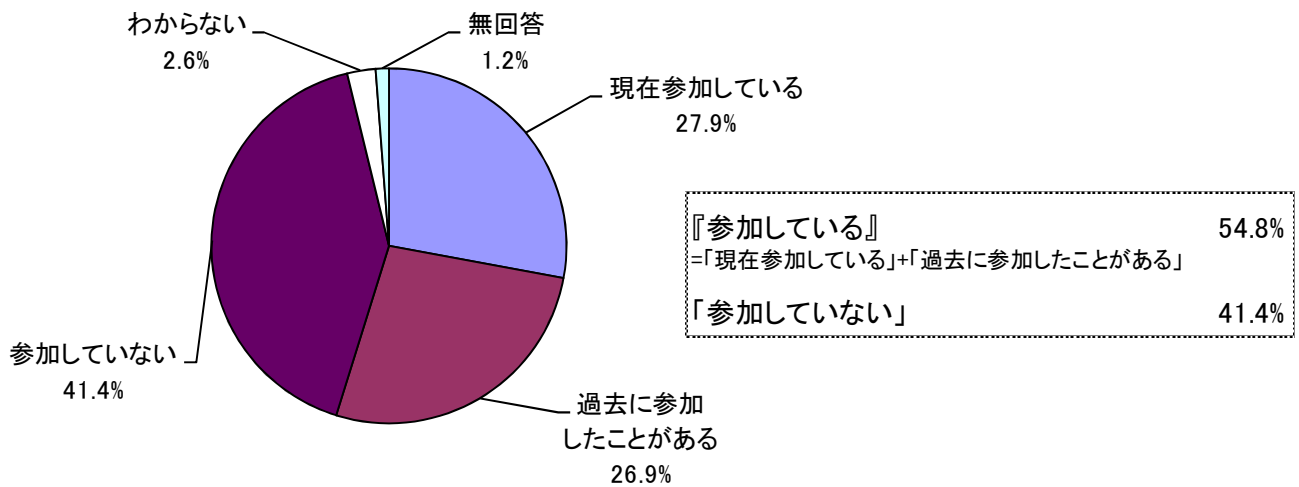
問 2 3

あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 現在参加している
- 2 過去に参加したことがある
- 3 参加していない
- 4 わからない

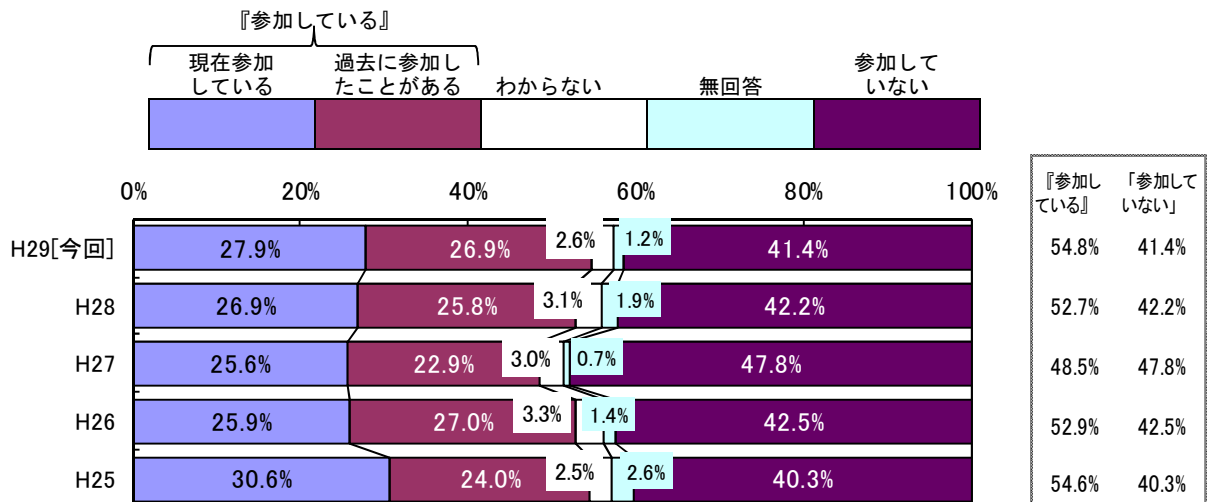
【全県】

「現在参加している(27.9%)」と「過去に参加したことがある(26.9%)」を合わせた『参加している』が54.8%となった。



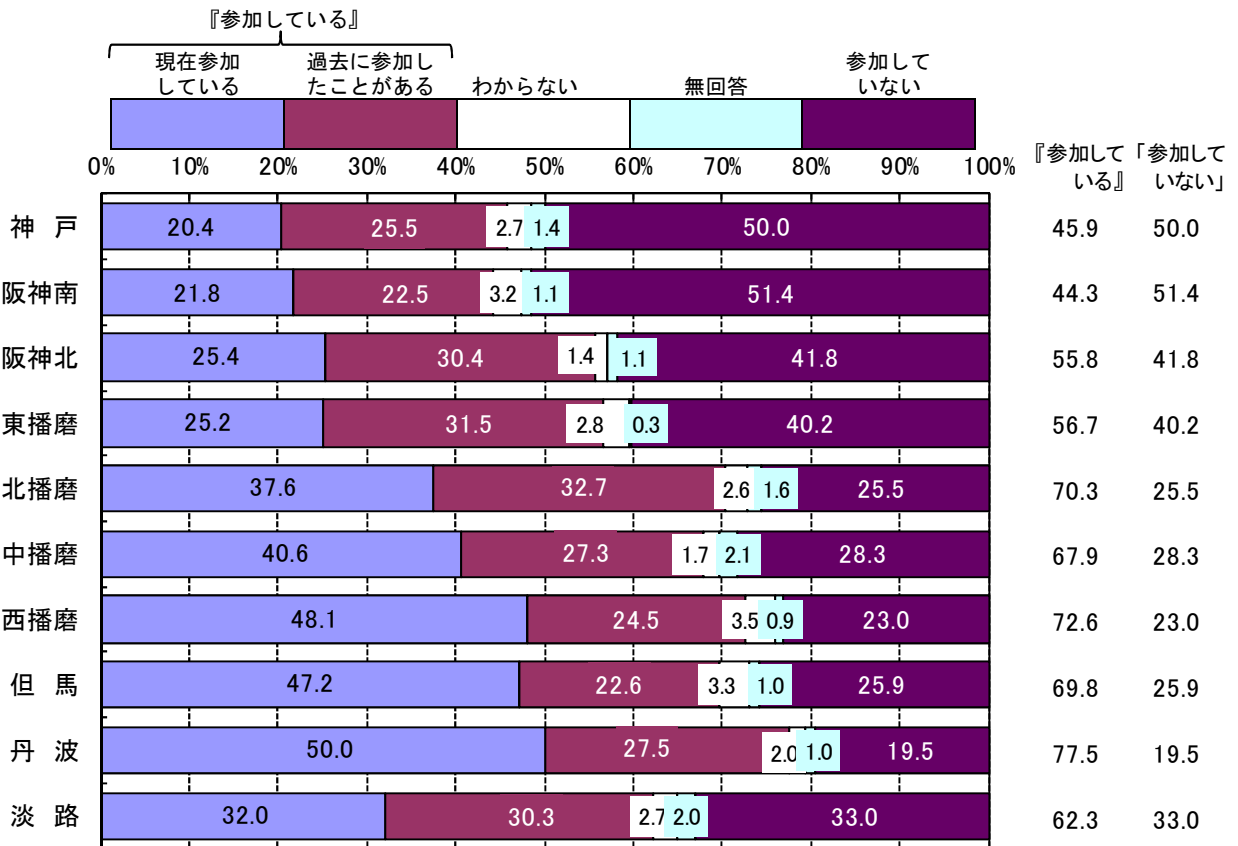
【経年比較】

『参加している(54.8%)』は前年より2.1ポイント増加し、「参加していない(41.4%)」は0.8ポイント減少した。



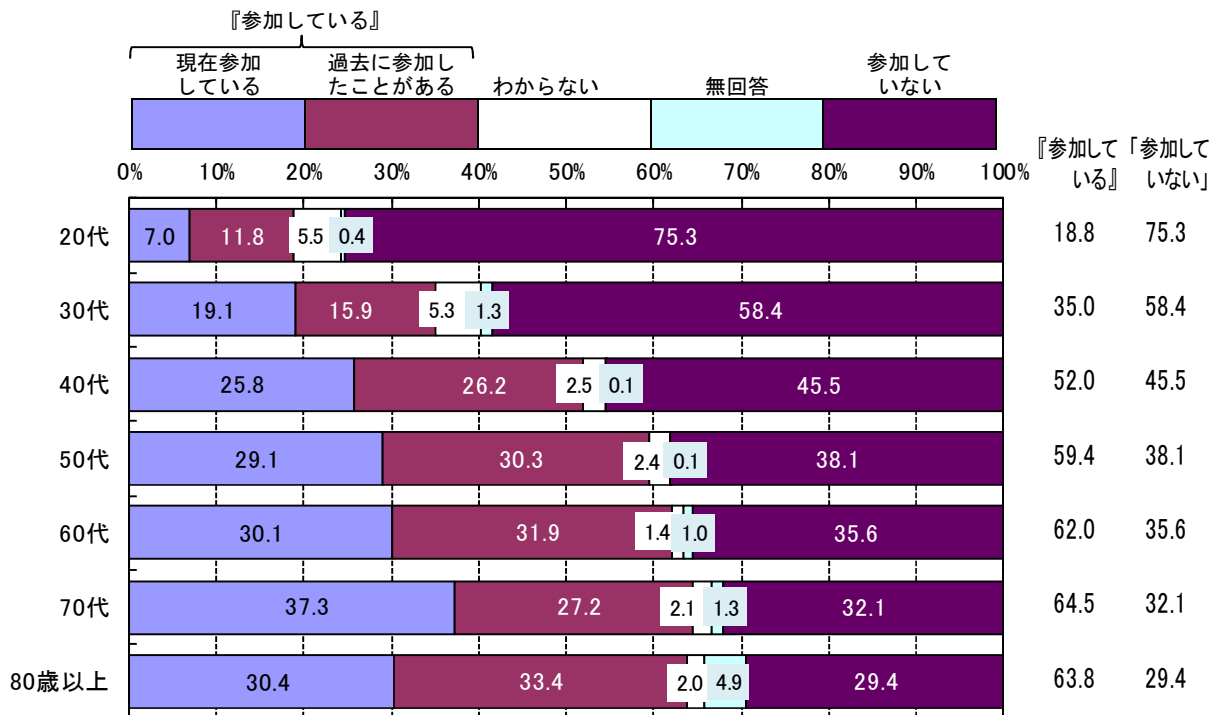
【地域別】

『参加している』は丹波が最も高く(77.5%)、神戸(45.9%)と阪神南(44.3%)以外は全県(54.8%)を超えた。



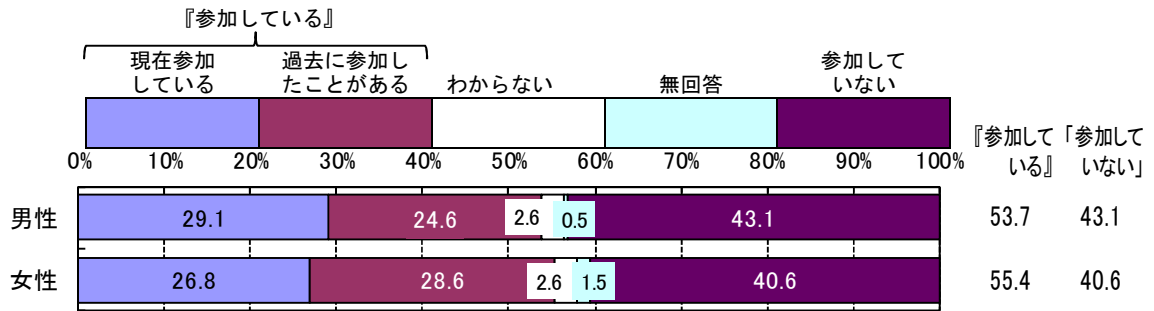
【年代別】

『参加している』は70代が最も高い(64.5%)。



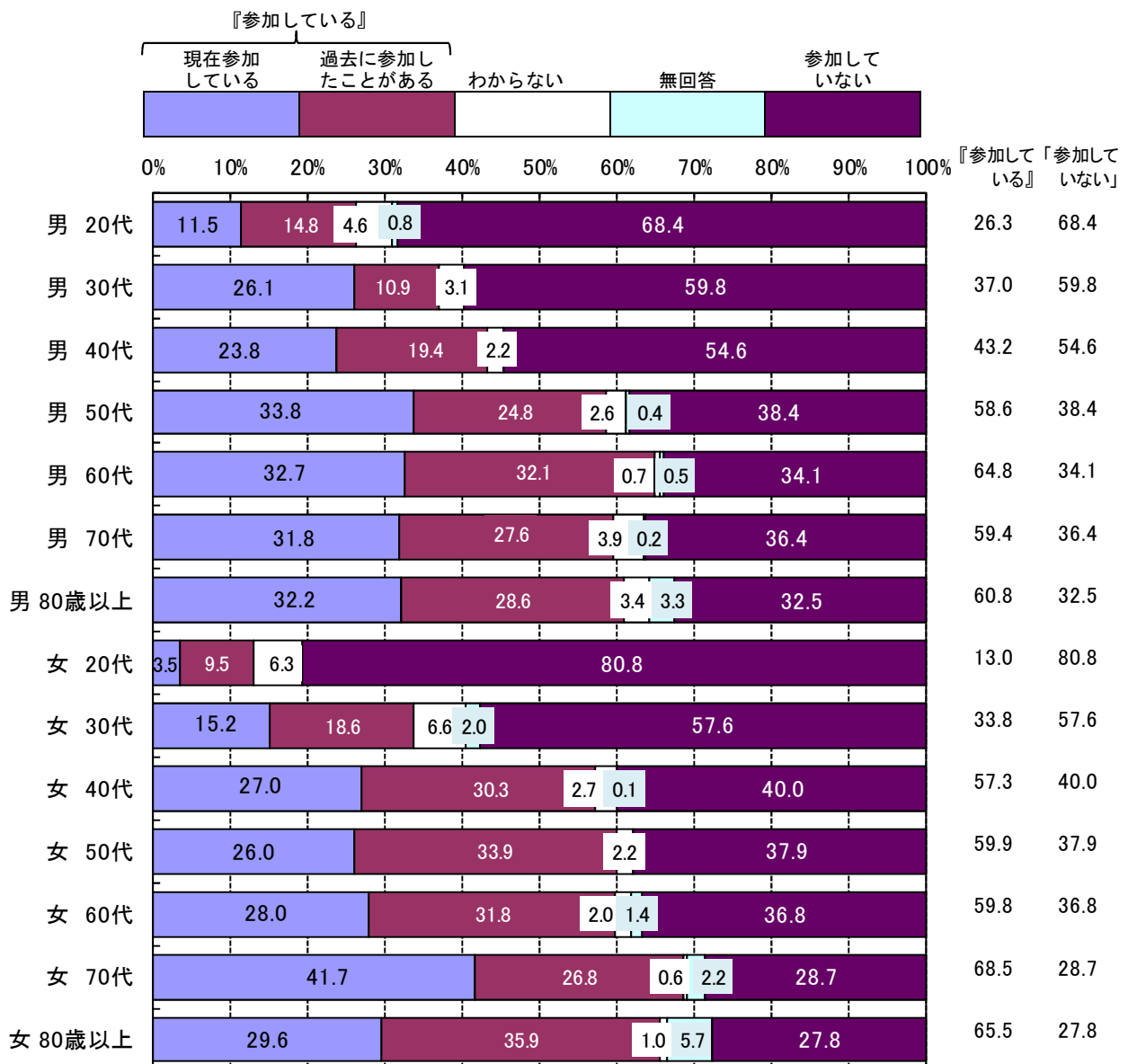
【性別】

『参加していない』は、男性の方が女性より2.5ポイント高い。



【性・年代別】

『参加している』は、男性では60代(64.8%)、女性では70代(68.5%)が最も高い。



問24 県政への関心

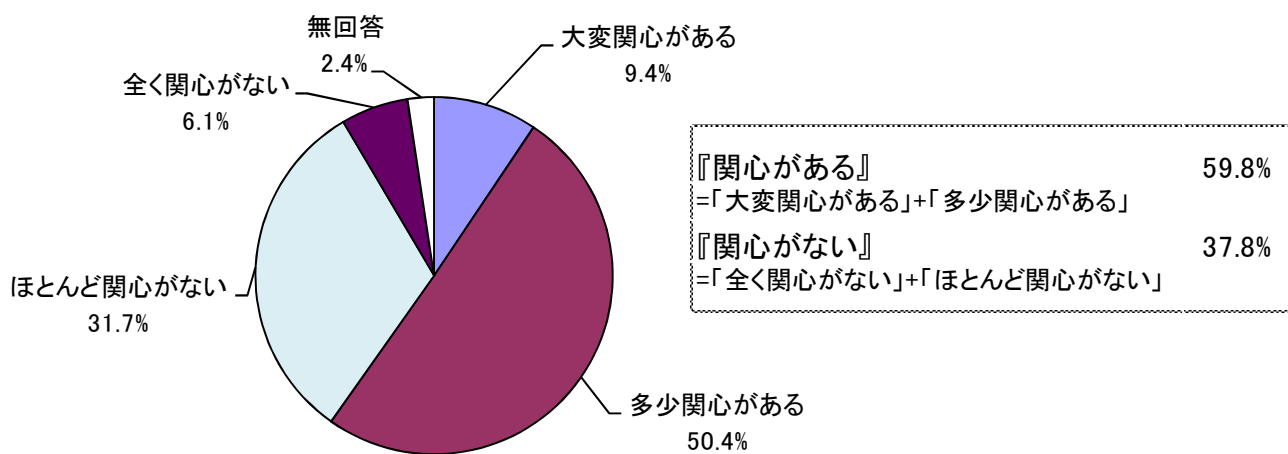
問24

あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 大変関心がある | 2 多少関心がある |
| 3 ほとんど関心がない | 4 全く関心がない |

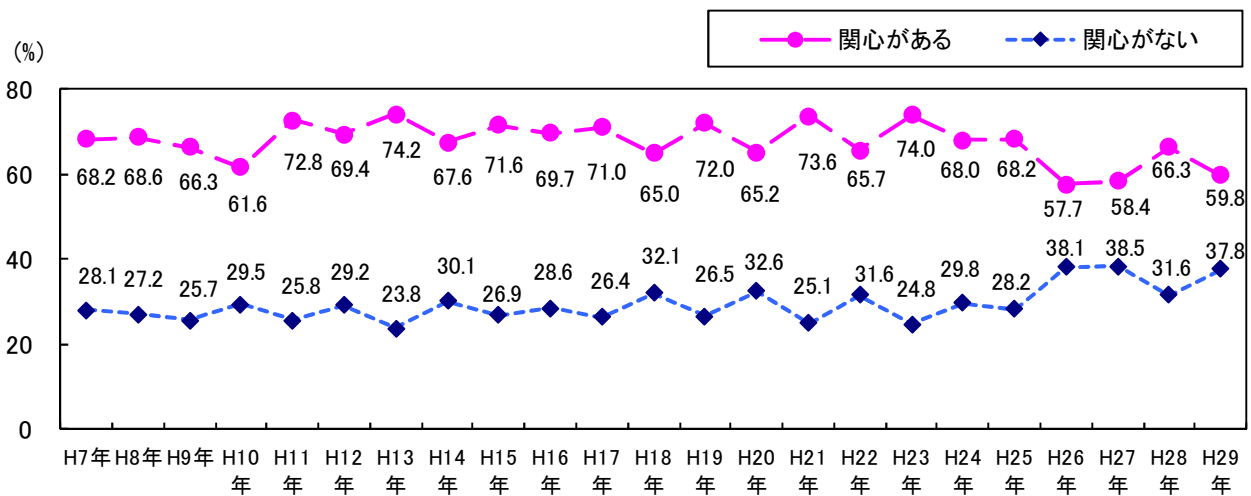
【全県】

「大変関心がある(9.4%)」と「多少関心がある(50.4%)」を合わせた『関心がある』が59.8%で、「全く関心がない(6.1%)」と「ほとんど関心がない(31.7%)」を合わせた『関心がない』が37.8%となった。



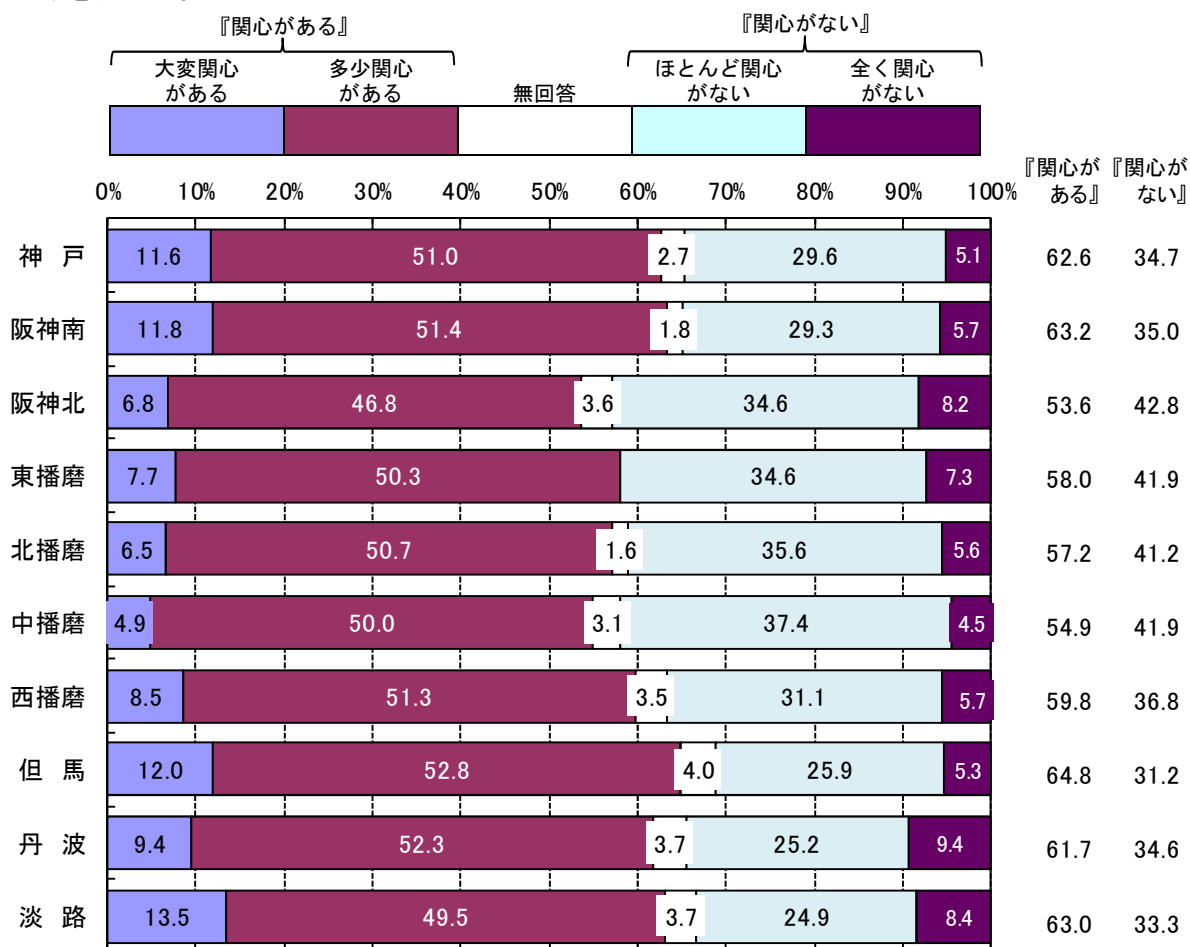
【経年比較】

『関心がある(59.8%)』は前年より6.5ポイント減少した。また、『関心がない(37.8%)』は前年より6.2ポイント増加した



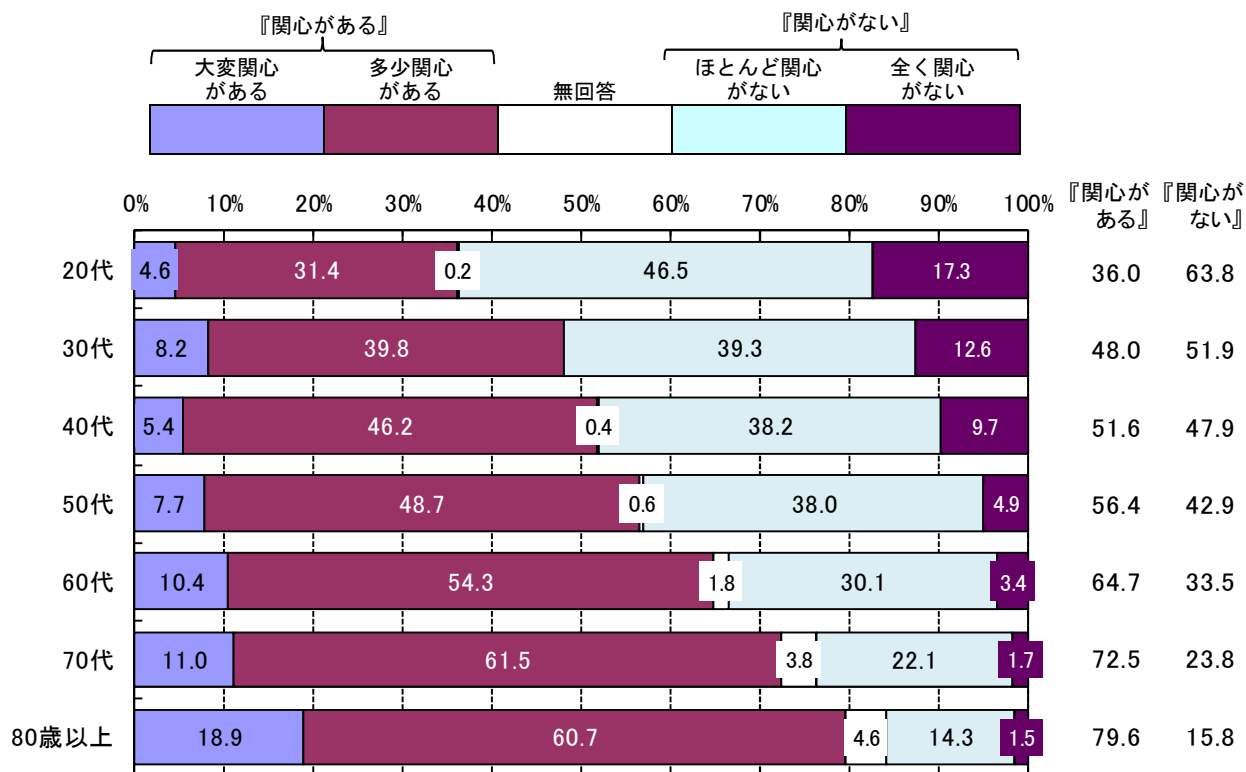
【地域別】

『関心がある』は、但馬(64.8%)が最も高く、神戸(62.6%)、阪神南(63.2%)、丹波(61.7%)、淡路(63.0%)は全県(59.8%)を超えた。



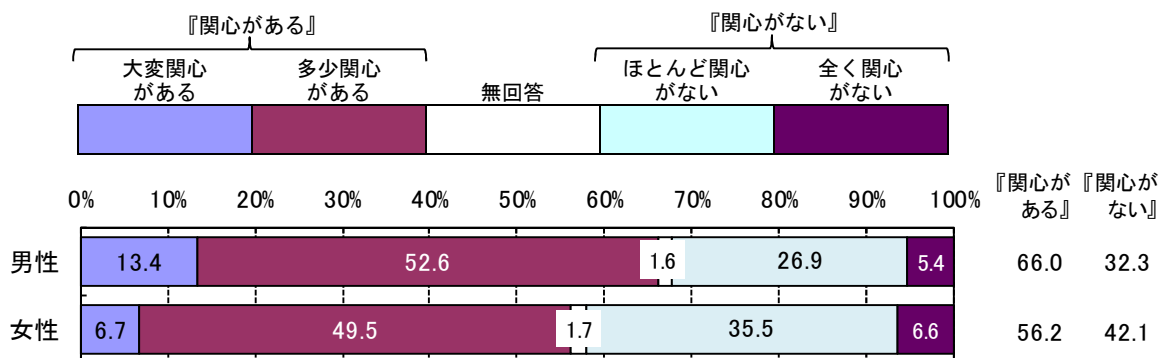
【年代別】

『関心がある』は80歳以上が最も高い(79.6%)。



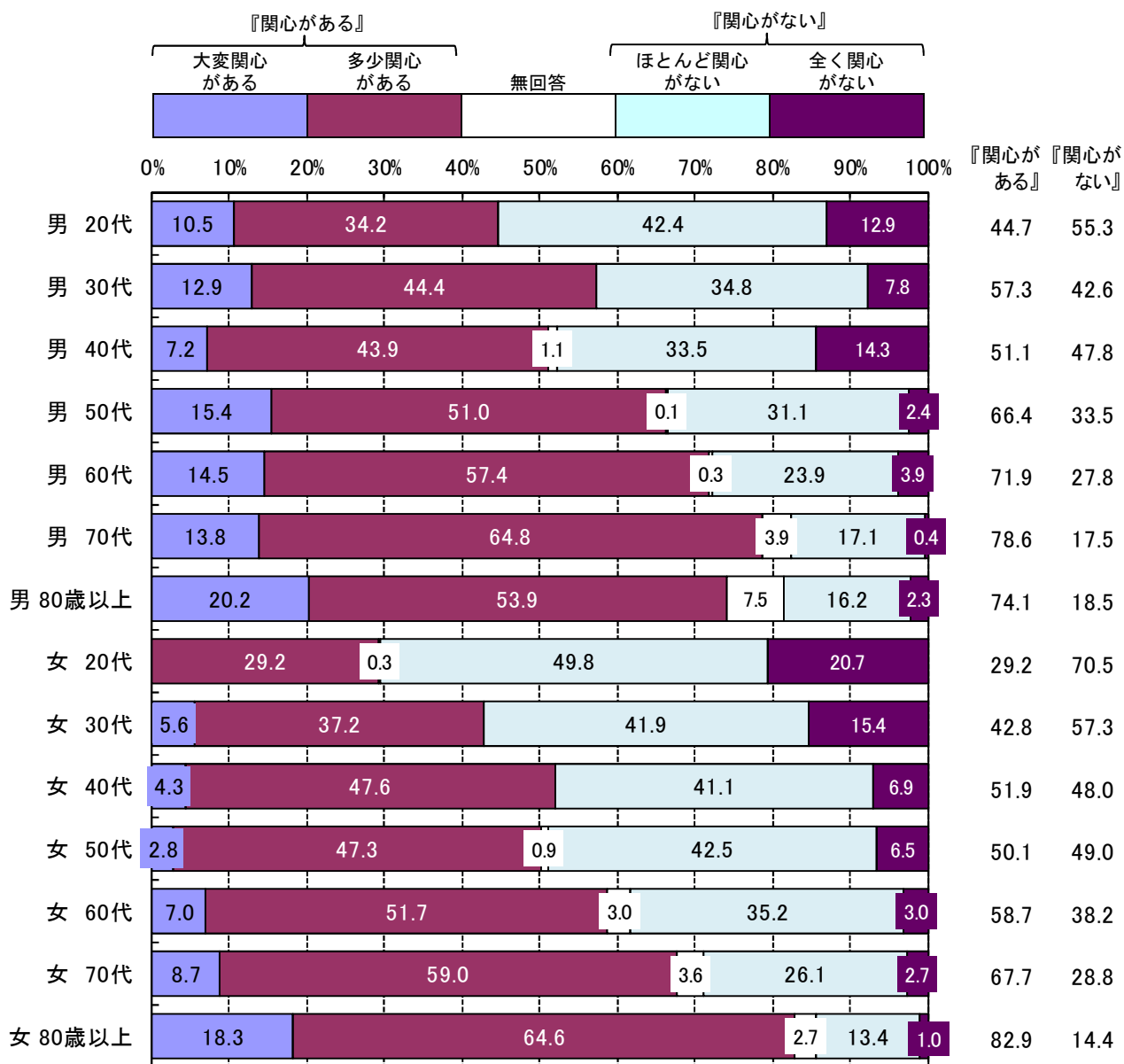
【性別】

『関心がある』は男性の方が女性より9.8ポイント高い。



【性・年代別】

『関心がある』は、男性は70代が最も高く(78.6%)、女性は80歳以上が最も高い(82.9%)。



問 2 5 県政への評価

問 2 5

県の行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- ア 国際的な交流や協力
- イ 県政の広報・広聴活動
- ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力
- エ 防災対策の充実
- オ 生涯学習活動への支援
- カ 芸術文化の振興
- キ 環境の保全と創造
- ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実
- コ 県内中小企業の育成
- サ 雇用の安定と職業能力の開発
- シ 観光の振興
- ス 農林水産業の活性化対策
- セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- ソ 良質な住宅の供給
- タ 学校教育の充実
- チ 交通安全・防犯対策
- ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策

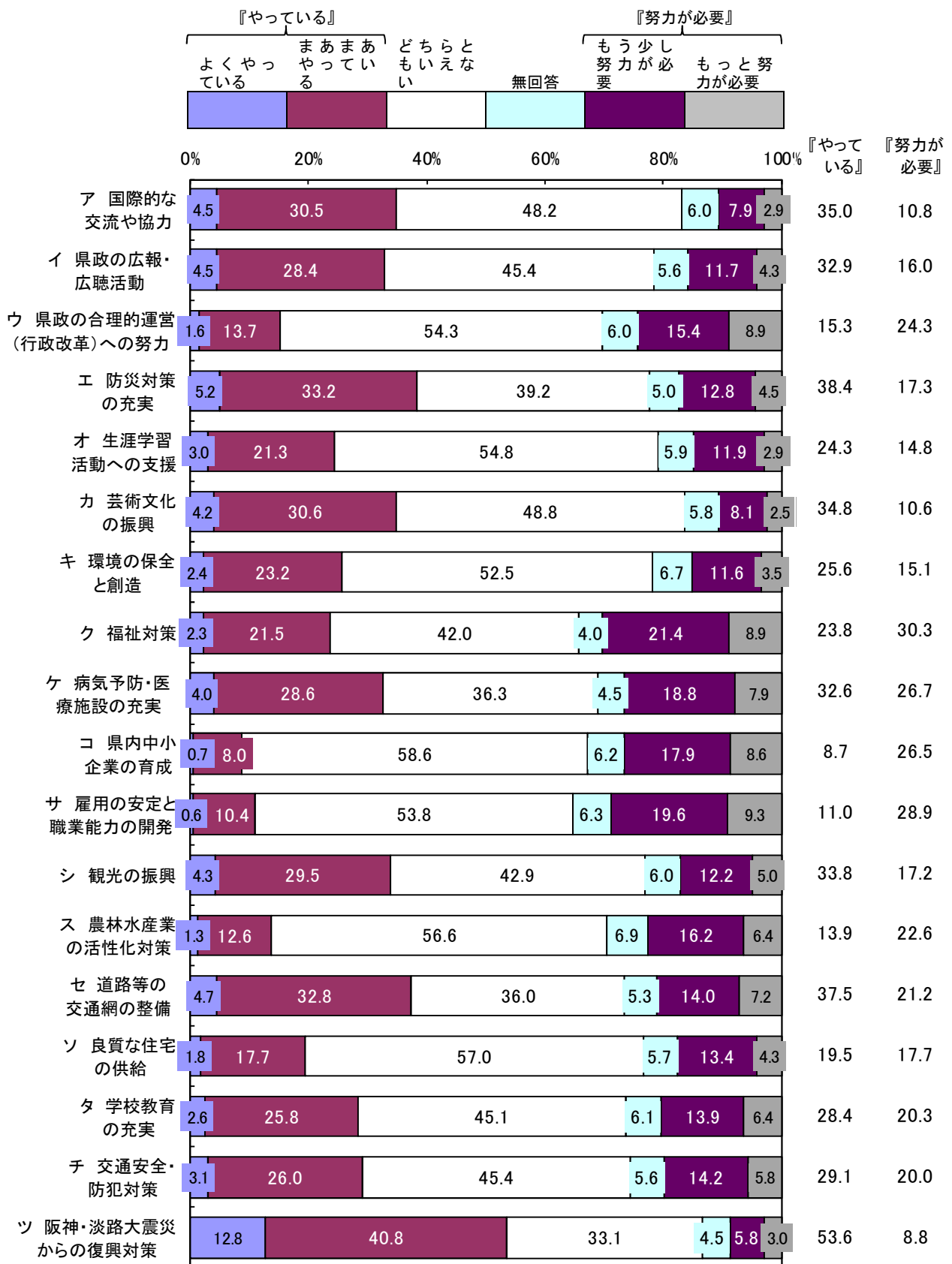
- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 よくやっている | 2 まあまあやっている | 3 どちらともいえない |
| 4 もう少し努力が必要 | 5 もっと努力が必要 | |

【全 県】

「よくやっている」と「まあまあやっている」を合わせた『やっている』は〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策(53.6%)〕が最も多く、〔エ 防災対策の充実(38.4%)〕、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備(37.5%)〕、〔ア 国際的な交流や協力(35.0%)〕、〔カ 芸術文化の振興(34.8%)〕と続いている。

「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」を合わせた『努力が必要』は、〔ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策(30.3%)〕が最も多く、〔サ 雇用の安定と職業能力の開発(28.9%)〕、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実(26.7%)〕、〔コ 県内中小企業の育成(26.5%)〕〔ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力(24.3%)〕と続いている。

18項目中、13項目で『やっている』が『努力が必要』を上回った。



【前年度比較】

『やっている』は、〔ア 国際的な交流や協力 (5.3ポイント増)〕、〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策 (4.2ポイント増)〕、〔シ 観光の振興 (3.9ポイント増)〕など、12項目で増加した。

一方、『努力が必要』は〔イ 県政の広報・広聴活動 (0.4ポイント増)〕、〔ス 農林水産業の活性化対策 (0.1ポイント増)〕、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備 (0.1ポイント増)〕の3項目で増加した。

◎県政への評価【前年度比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ア 国際的な交流や協力	5.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	4.2
シ 観光の振興	3.9
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	2.9
ケ 病予防や医療施設の充実	2.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.1
キ 環境の保全と創造	1.6
タ 学校教育の充実	1.3
ソ 良質な住宅の供給	0.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.6
カ 芸術文化の振興	0.5
コ 県内中小企業の育成	0.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.0
オ 生涯学習活動への支援	-0.1
チ 交通安全・防犯対策	-0.2
ス 農林水産業の活性化対策	-0.3
イ 県政の広報・広聴活動	-1.7
エ 防災対策の充実	-2.3

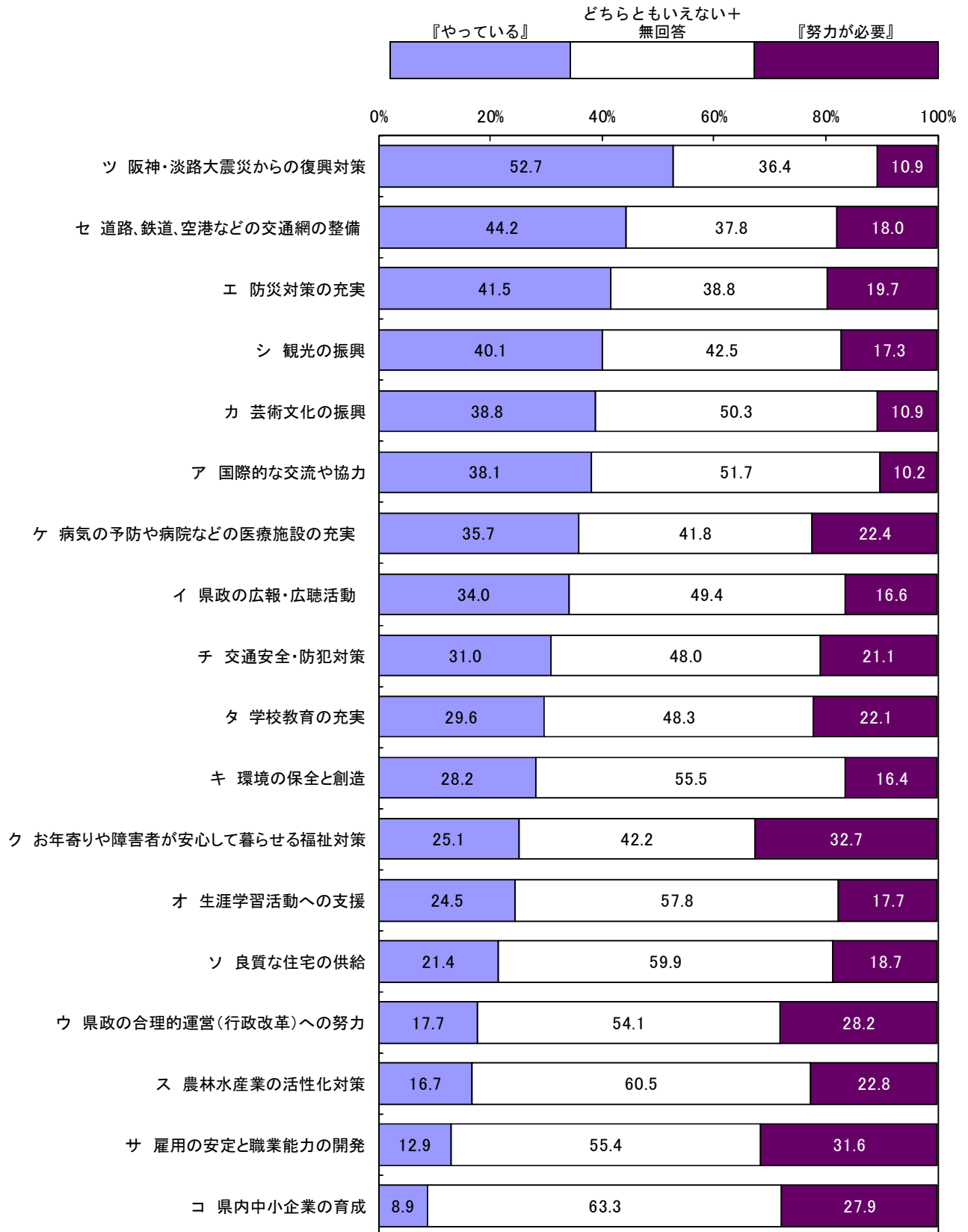
◎県政への評価【前年度比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

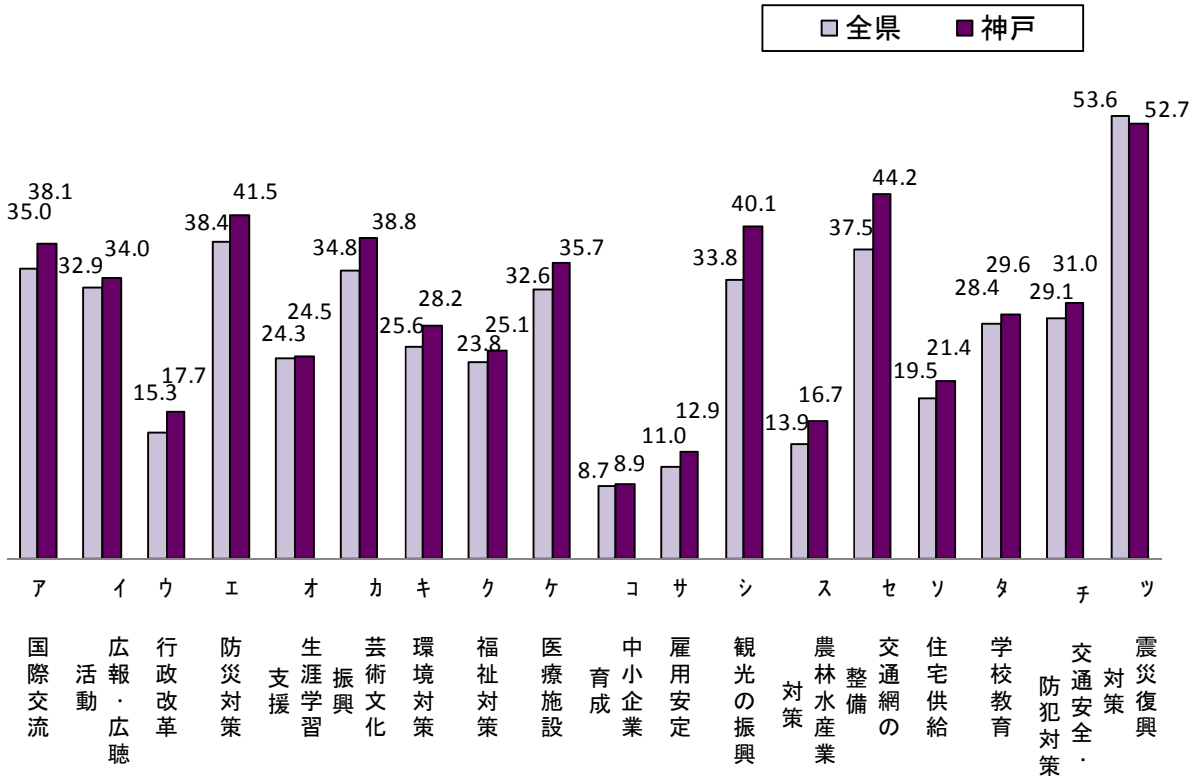
『努力が必要』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	0.4
ス 農林水産業の活性化対策	0.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.2
ア 国際的な交流や協力	-0.4
ソ 良質な住宅の供給	-1.2
エ 防災対策の充実	-1.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.7
タ 学校教育の充実	-2.0
コ 県内中小企業の育成	-2.3
オ 生涯学習活動への支援	-2.3
キ 環境の保全と創造	-2.7
カ 芸術文化の振興	-2.8
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	-4.1
チ 交通安全・防犯対策	-4.2
ケ 病予防や医療施設の充実	-4.8
シ 観光の振興	-5.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-5.9

《神戸地域》

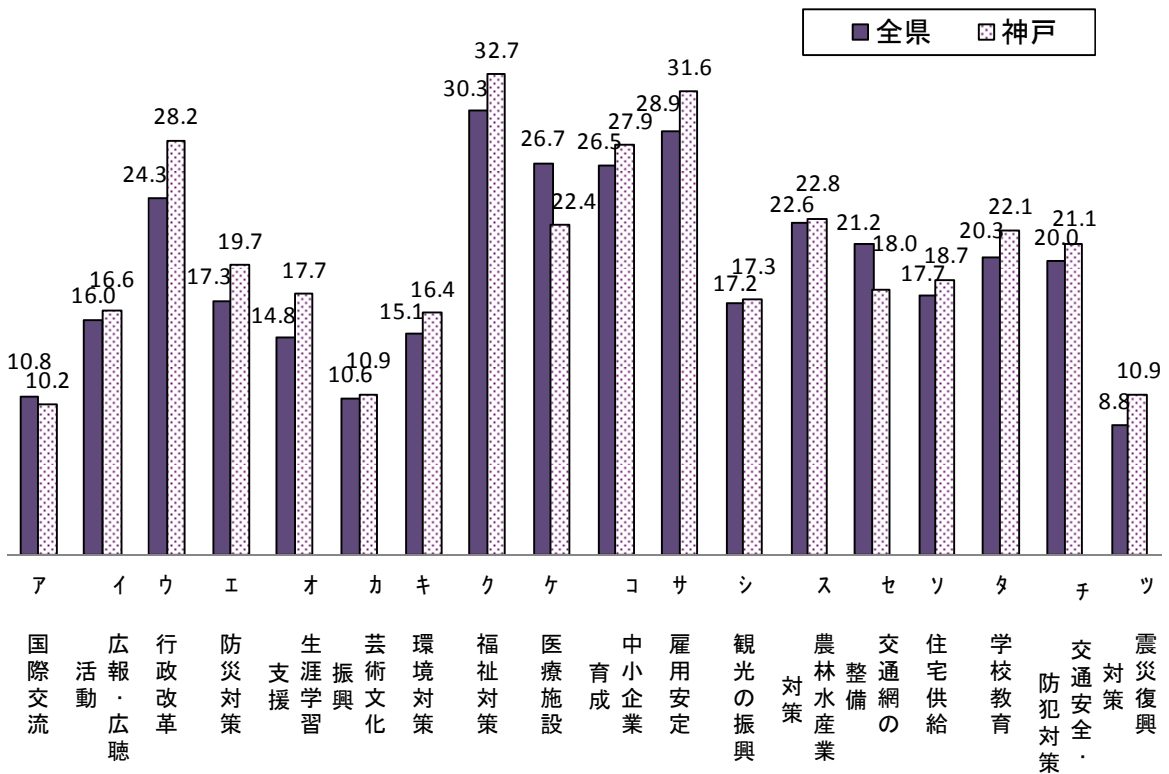
[ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策] [セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備]などで評価が高い。



『やっている』【全県と神戸】



『努力が必要』【全県と神戸】



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.7
シ 観光の振興	6.3
カ 芸術文化の振興	4.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.1
ア 国際的な交流や協力	3.1
エ 防災対策の充実	3.1
ス 農林水産業の活性化対策	2.8
キ 環境の保全と創造	2.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.9
ソ 良質な住宅の供給	1.9
チ 交通安全・防犯対策	1.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.3
タ 学校教育の充実	1.2
イ 県政の広報・広聴活動	1.1
オ 生涯学習活動への支援	0.2
コ 県内中小企業の育成	0.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.9
オ 生涯学習活動への支援	2.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.4
エ 防災対策の充実	2.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.1
タ 学校教育の充実	1.8
コ 県内中小企業の育成	1.4
キ 環境の保全と創造	1.3
チ 交通安全・防犯対策	1.1
ソ 良質な住宅の供給	1.0
イ 県政の広報・広聴活動	0.6
カ 芸術文化の振興	0.3
ス 農林水産業の活性化対策	0.2
シ 観光の振興	0.1
ア 国際的な交流や協力	-0.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.3

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
シ 観光の振興	6.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	5.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	5.1
ア 国際的な交流や協力	3.7
キ 環境の保全と創造	3.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.9
オ 生涯学習活動への支援	1.8
チ 交通安全・防犯対策	0.2
ソ 良質な住宅の供給	-0.1
コ 県内中小企業の育成	-0.9
カ 芸術文化の振興	-1.9
タ 学校教育の充実	-2.0
ス 農林水産業の活性化対策	-2.1
エ 防災対策の充実	-3.4
イ 県政の広報・広聴活動	-3.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

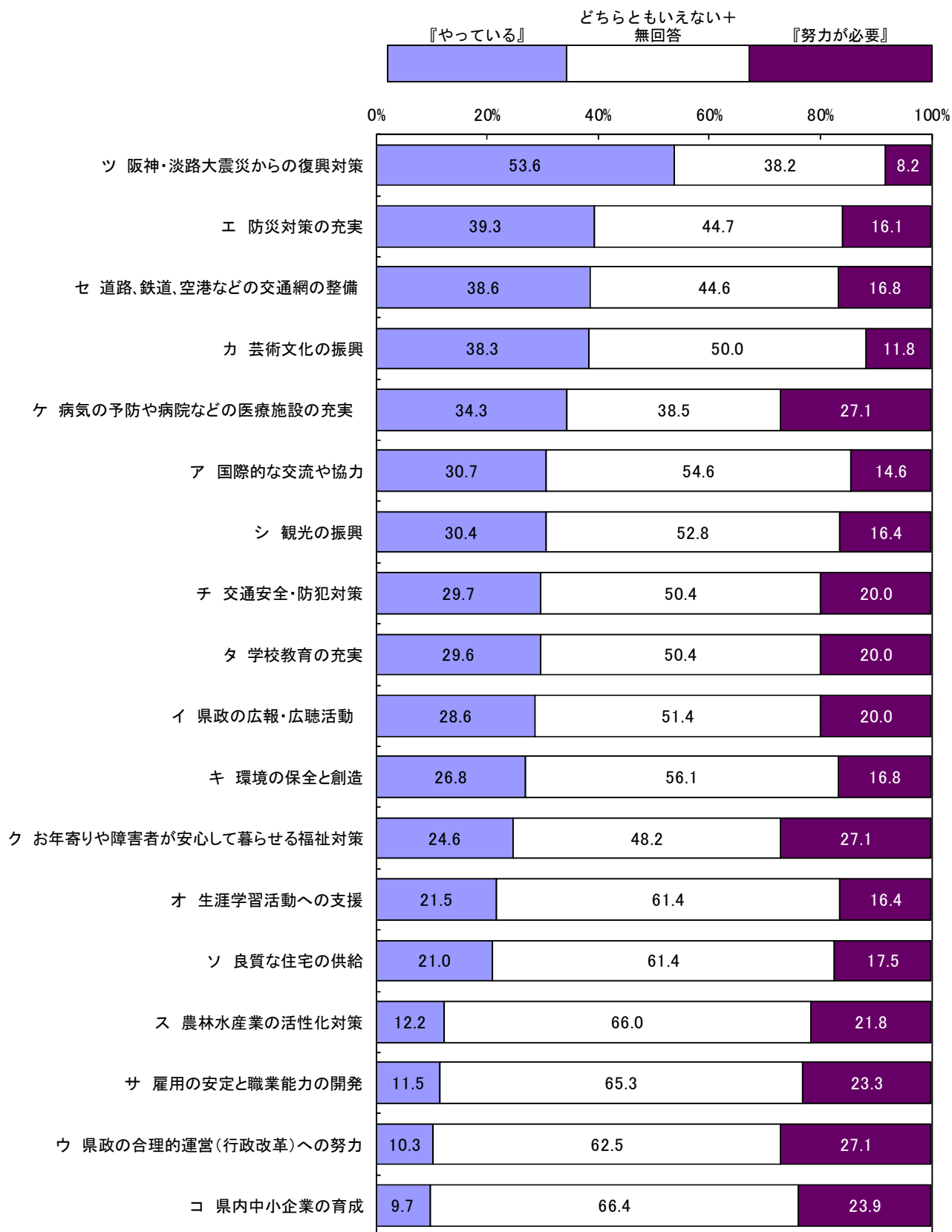
『努力が必要』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	2.1
タ 学校教育の充実	1.7
エ 防災対策の充実	1.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.8
ス 農林水産業の活性化対策	0.5
チ 交通安全・防犯対策	0.4
コ 県内中小企業の育成	0.2
ア 国際的な交流や協力	0.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.4
ソ 良質な住宅の供給	-2.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.0
キ 環境の保全と創造	-2.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.9
オ 生涯学習活動への支援	-3.4
カ 芸術文化の振興	-5.9
シ 観光の振興	-6.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-6.9

全県との比較では、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等の評価が高く、〔ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力〕等で努力が求められている。

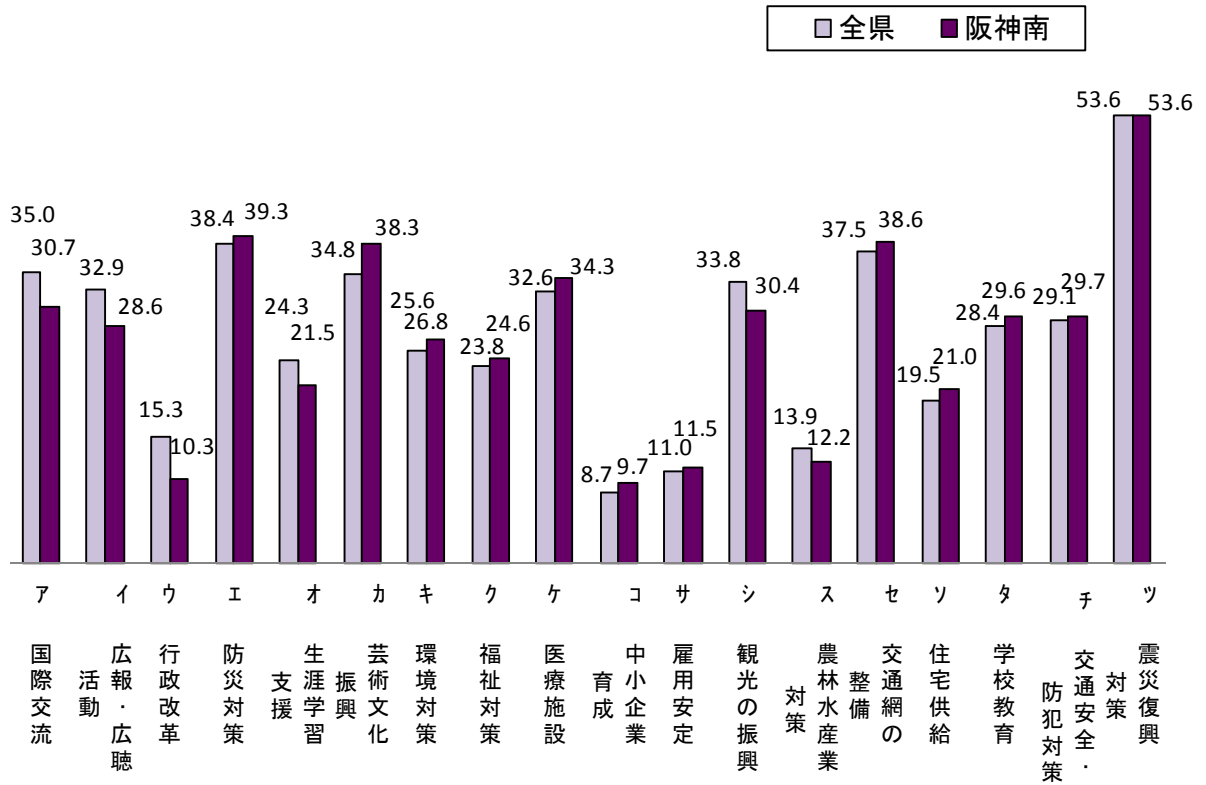
前年との比較では、〔シ 観光の振興〕等の評価が高く、〔イ 県政の広報・広聴活動〕等で努力が求められている。

《阪神南地域》

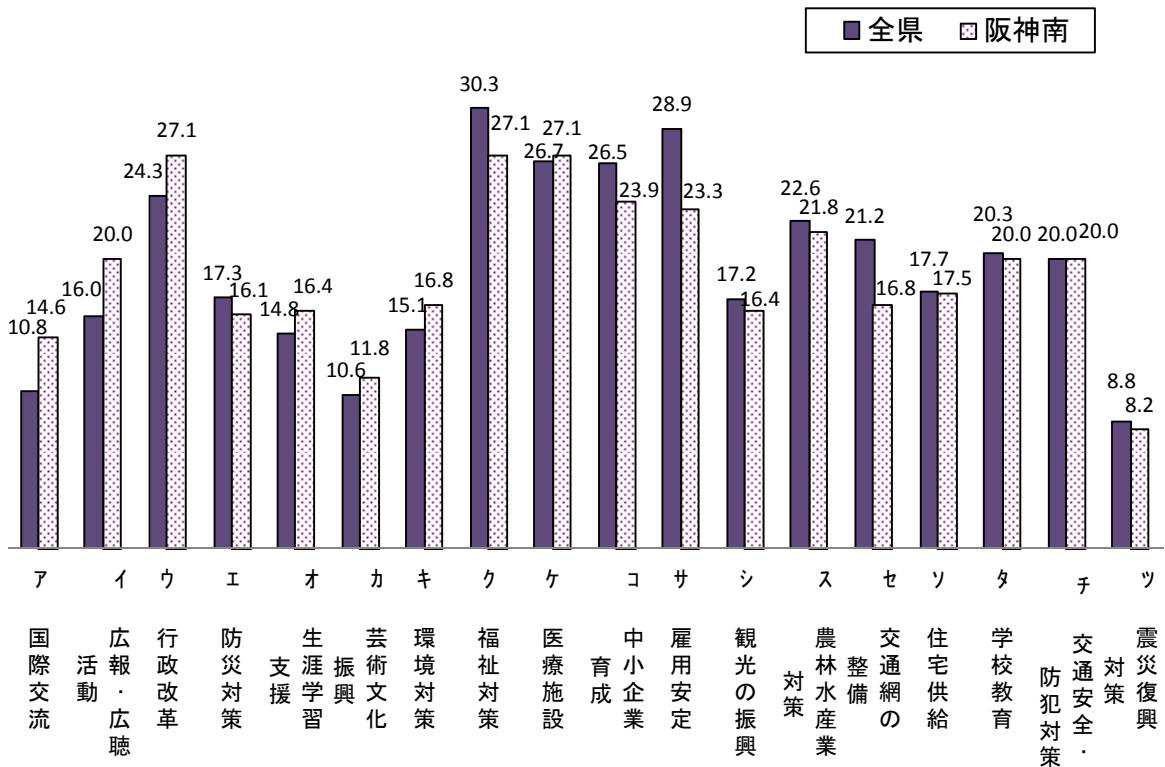
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と阪神南】



『努力が必要』【全県と阪神南】



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
カ 芸術文化の振興	3.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.7
ソ 良質な住宅の供給	1.5
キ 環境の保全と創造	1.2
タ 学校教育の充実	1.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.1
コ 県内中小企業の育成	1.0
エ 防災対策の充実	0.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.8
チ 交通安全・防犯対策	0.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.0
ス 農林水産業の活性化対策	-1.7
オ 生涯学習活動への支援	-2.8
シ 観光の振興	-3.4
ア 国際的な交流や協力	-4.3
イ 県政の広報・広聴活動	-4.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-5.0

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
イ 県政の広報・広聴活動	4.0
ア 国際的な交流や協力	3.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.8
キ 環境の保全と創造	1.7
オ 生涯学習活動への支援	1.6
カ 芸術文化の振興	1.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.4
チ 交通安全・防犯対策	0.0
ソ 良質な住宅の供給	-0.2
タ 学校教育の充実	-0.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.6
シ 観光の振興	-0.8
ス 農林水産業の活性化対策	-0.8
エ 防災対策の充実	-1.2
コ 県内中小企業の育成	-2.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-5.6

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	9.6
シ 観光の振興	9.0
タ 学校教育の充実	7.4
ア 国際的な交流や協力	5.8
コ 県内中小企業の育成	5.7
エ 防災対策の充実	4.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.4
ス 農林水産業の活性化対策	2.7
チ 交通安全・防犯対策	2.4
カ 芸術文化の振興	2.4
ソ 良質な住宅の供給	2.4
キ 環境の保全と創造	1.5
オ 生涯学習活動への支援	0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.4
イ 県政の広報・広聴活動	-3.4

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

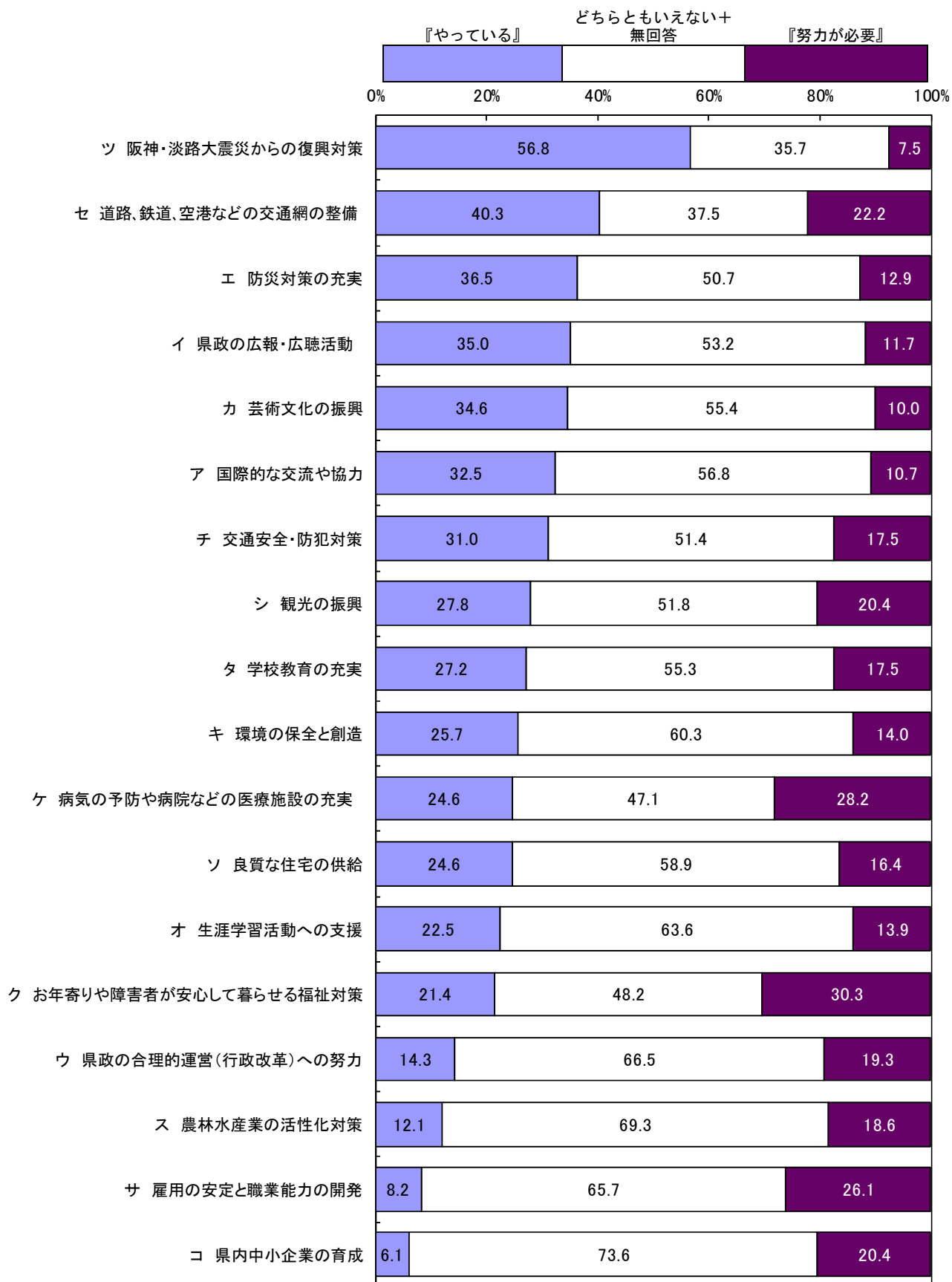
『努力が必要』	増減
ア 国際的な交流や協力	4.7
ス 農林水産業の活性化対策	3.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.2
カ 芸術文化の振興	0.7
イ 県政の広報・広聴活動	0.3
オ 生涯学習活動への支援	-0.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.6
コ 県内中小企業の育成	-0.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.0
ソ 良質な住宅の供給	-1.1
キ 環境の保全と創造	-1.8
エ 防災対策の充実	-5.6
シ 観光の振興	-5.7
タ 学校教育の充実	-6.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-8.8
チ 交通安全・防犯対策	-9.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-11.8

全県との比較では、〔カ 芸術文化の振興〕等の評価が高く、〔イ 県政の広報・広聴活動〕等で努力が求められている。

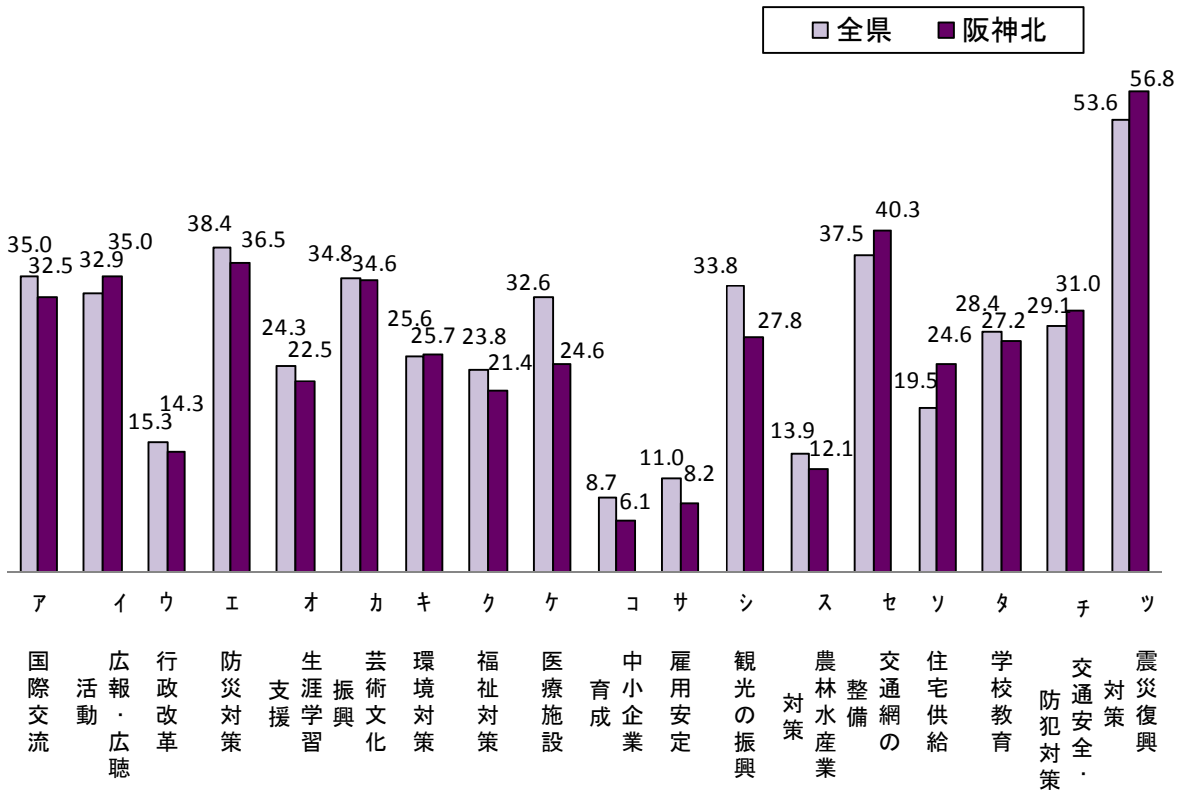
前年との比較では、〔ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕等の評価が高く、〔ア 国際的な交流や協力〕等で努力が求められている。

《阪神北地域》

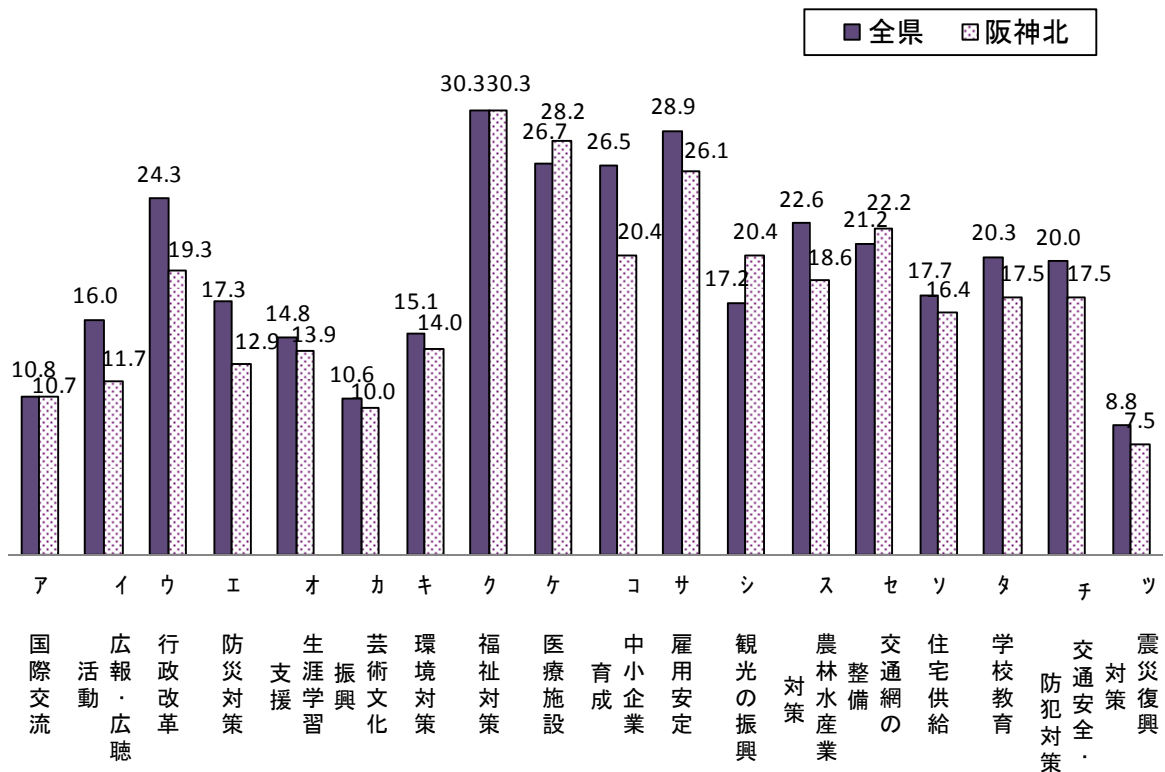
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と阪神北】



『努力が必要』【全県と阪神北】



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ソ 良質な住宅の供給	5.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.8
イ 県政の広報・広聴活動	2.1
チ 交通安全・防犯対策	1.9
キ 環境の保全と創造	0.1
カ 芸術文化の振興	-0.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.0
タ 学校教育の充実	-1.2
オ 生涯学習活動への支援	-1.8
ス 農林水産業の活性化対策	-1.8
エ 防災対策の充実	-1.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.4
ア 国際的な交流や協力	-2.5
コ 県内中小企業の育成	-2.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.8
シ 観光の振興	-6.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-8.0

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
シ 観光の振興	3.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.0
ア 国際的な交流や協力	-0.1
カ 芸術文化の振興	-0.6
オ 生涯学習活動への支援	-0.9
キ 環境の保全と創造	-1.1
ソ 良質な住宅の供給	-1.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.3
チ 交通安全・防犯対策	-2.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.8
タ 学校教育の充実	-2.8
ス 農林水産業の活性化対策	-4.0
イ 県政の広報・広聴活動	-4.3
エ 防災対策の充実	-4.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-5.0
コ 県内中小企業の育成	-6.1

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
シ 観光の振興	2.8
ア 国際的な交流や協力	2.5
ソ 良質な住宅の供給	1.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.8
チ 交通安全・防犯対策	0.2
ス 農林水産業の活性化対策	-0.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.1
タ 学校教育の充実	-1.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.1
キ 環境の保全と創造	-2.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.8
イ 県政の広報・広聴活動	-2.9
カ 芸術文化の振興	-2.9
エ 防災対策の充実	-3.0
オ 生涯学習活動への支援	-4.1
コ 県内中小企業の育成	-4.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

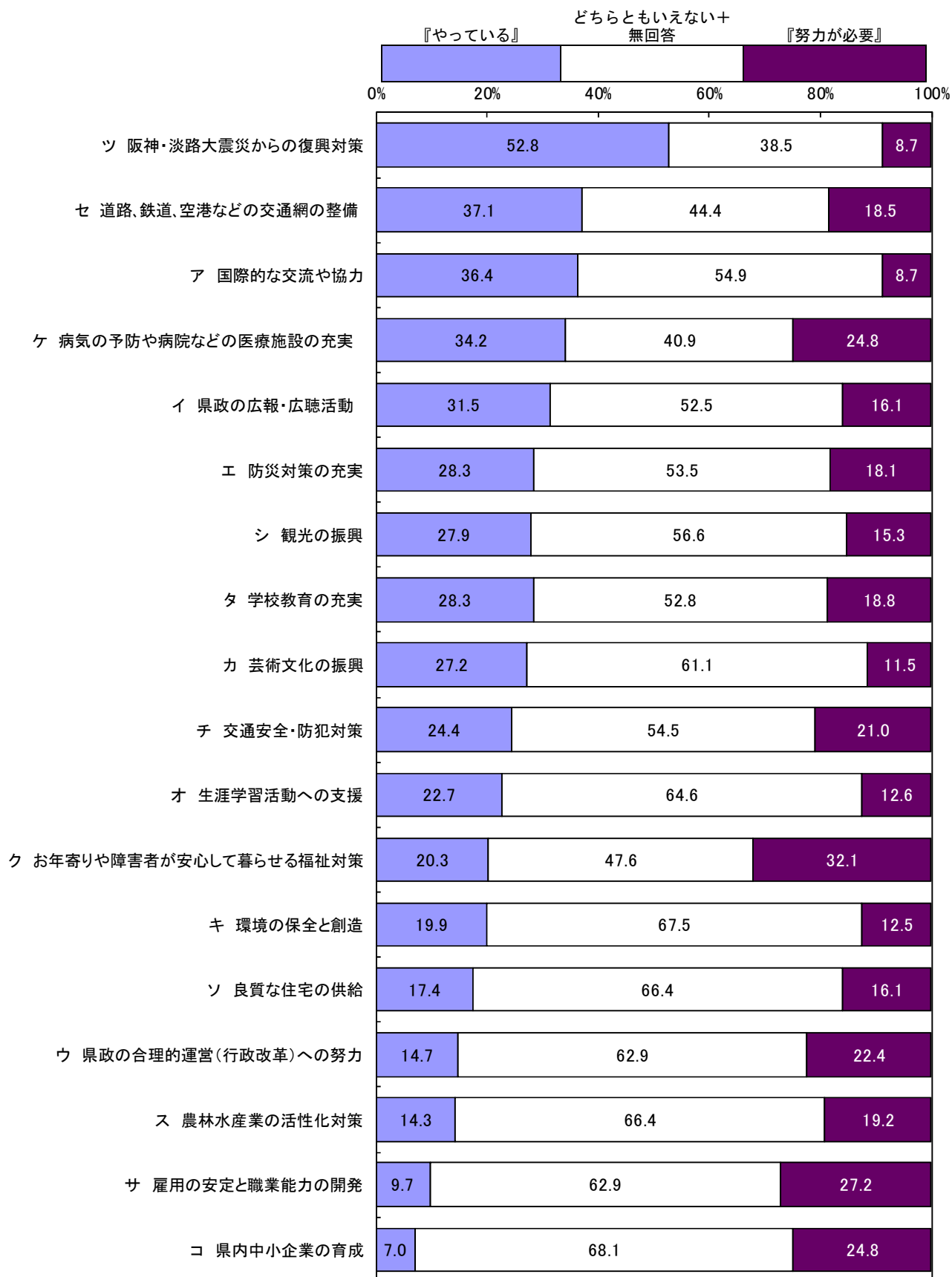
『努力が必要』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.1
ソ 良質な住宅の供給	0.8
オ 生涯学習活動への支援	-0.6
タ 学校教育の充実	-0.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.7
キ 環境の保全と創造	-2.4
カ 芸術文化の振興	-2.5
ス 農林水産業の活性化対策	-2.9
ア 国際的な交流や協力	-3.0
エ 防災対策の充実	-3.5
イ 県政の広報・広聴活動	-3.9
コ 県内中小企業の育成	-4.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.0
チ 交通安全・防犯対策	-5.2
シ 観光の振興	-5.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-6.3

全県との比較では、〔ソ 良質な住宅の供給〕等の評価が高く、〔シ 観光の振興〕等で努力が求められている。

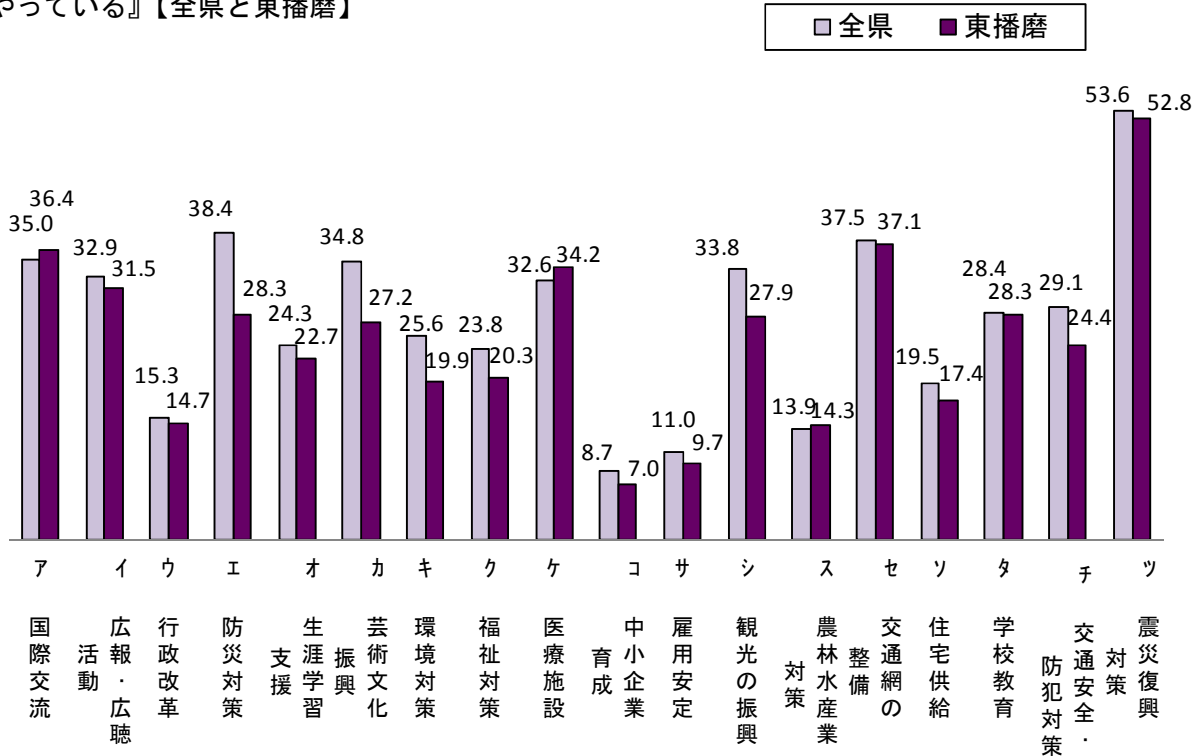
前年との比較では、〔シ 観光の振興〕等の評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

《東播磨地域》

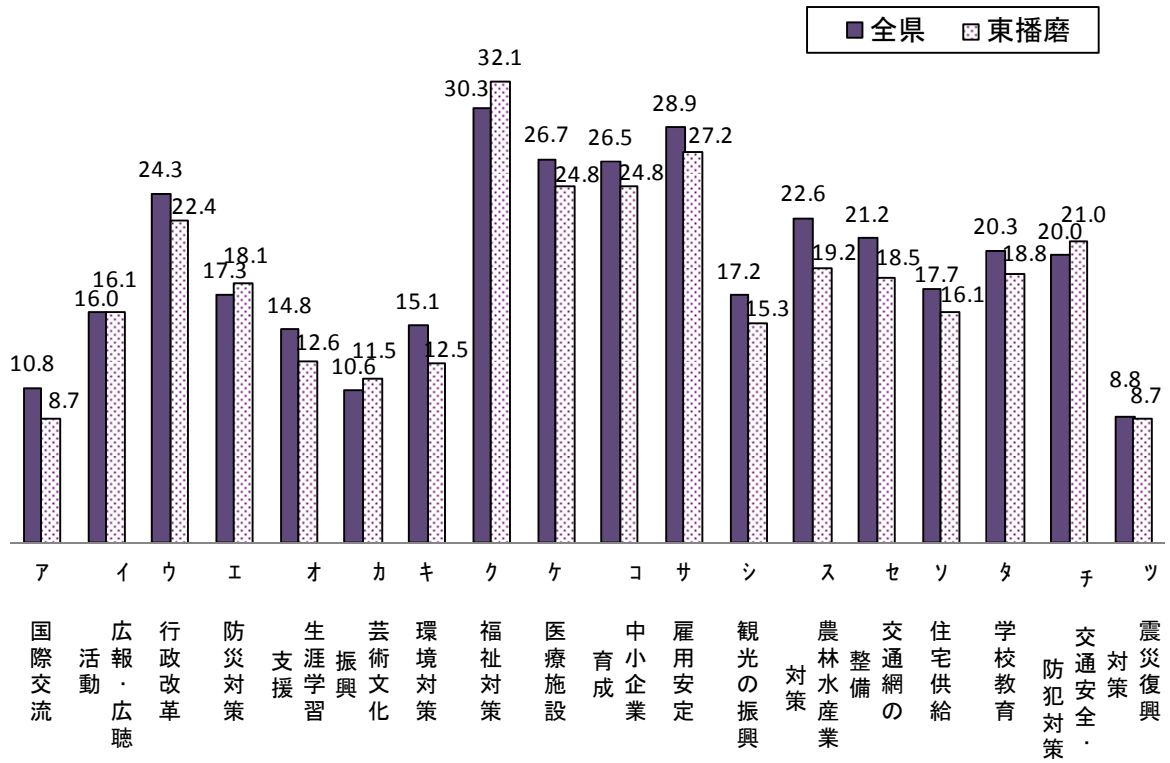
[ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策] [セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備]などで評価が高い。



『やっている』【全県と東播磨】



『努力が必要』【全県と東播磨】



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.6
ア 国際的な交流や協力	1.4
ス 農林水産業の活性化対策	0.4
タ 学校教育の充実	-0.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.3
イ 県政の広報・広聴活動	-1.4
オ 生涯学習活動への支援	-1.6
コ 県内中小企業の育成	-1.7
ソ 良質な住宅の供給	-2.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.5
チ 交通安全・防犯対策	-4.7
キ 環境の保全と創造	-5.7
シ 観光の振興	-5.9
カ 芸術文化の振興	-7.6
エ 防災対策の充実	-10.1

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.8
チ 交通安全・防犯対策	1.0
カ 芸術文化の振興	0.9
エ 防災対策の充実	0.8
イ 県政の広報・広聴活動	0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.1
タ 学校教育の充実	-1.5
ソ 良質な住宅の供給	-1.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.7
コ 県内中小企業の育成	-1.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.9
シ 観光の振興	-1.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.9
ア 国際的な交流や協力	-2.1
オ 生涯学習活動への支援	-2.2
キ 環境の保全と創造	-2.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.7
ス 農林水産業の活性化対策	-3.4

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ア 国際的な交流や協力	11.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	8.0
タ 学校教育の充実	7.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.7
イ 県政の広報・広聴活動	3.0
キ 環境の保全と創造	2.8
カ 芸術文化の振興	1.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.5
ス 農林水産業の活性化対策	1.3
オ 生涯学習活動への支援	0.8
ソ 良質な住宅の供給	0.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.2
シ 観光の振興	-0.6
コ 県内中小企業の育成	-0.8
チ 交通安全・防犯対策	-1.2
エ 防災対策の充実	-8.7

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

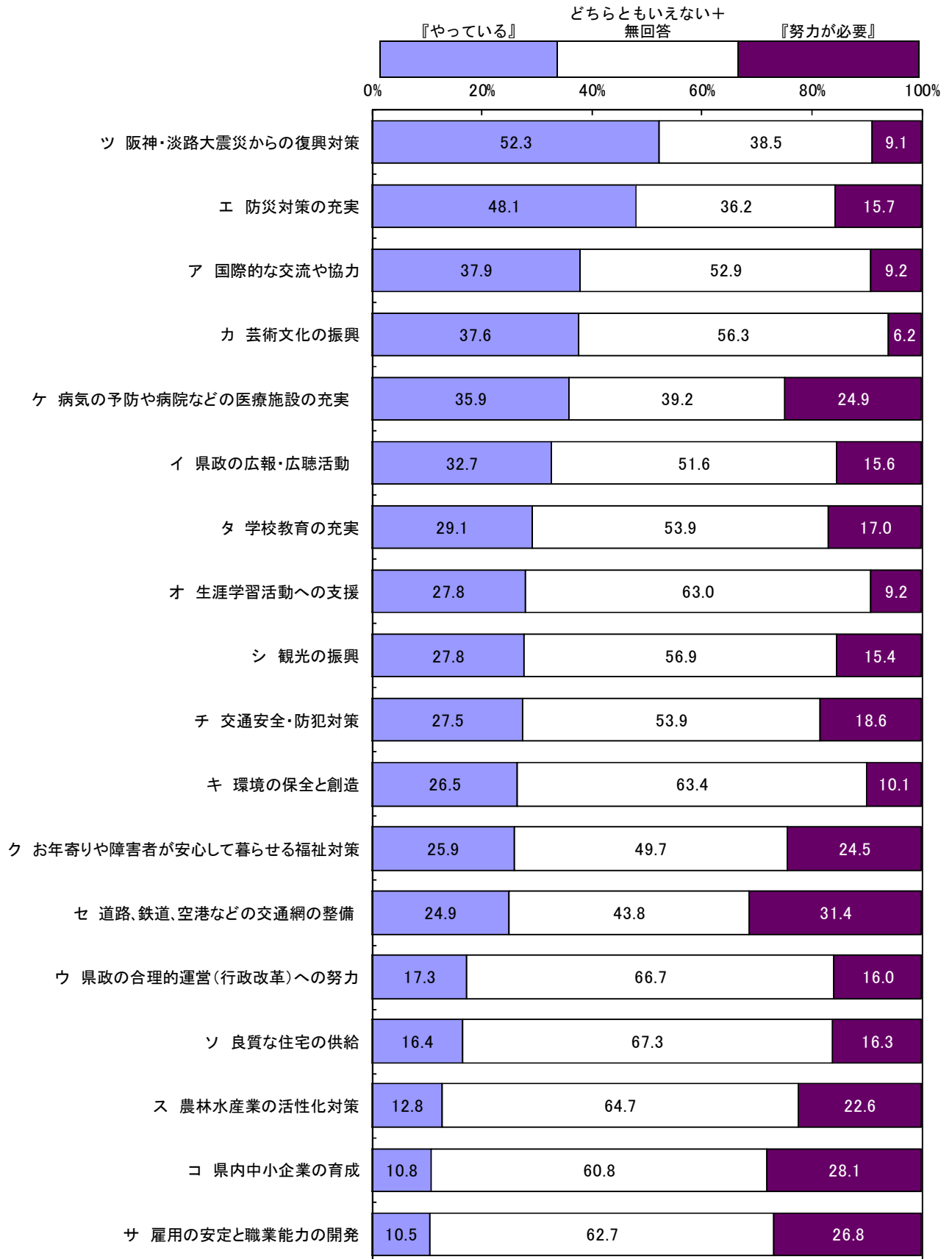
『努力が必要』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	1.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.5
エ 防災対策の充実	-1.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.3
ス 農林水産業の活性化対策	-1.9
ソ 良質な住宅の供給	-2.1
ア 国際的な交流や協力	-2.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.8
カ 芸術文化の振興	-2.9
コ 県内中小企業の育成	-3.3
タ 学校教育の充実	-3.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.7
キ 環境の保全と創造	-4.9
チ 交通安全・防犯対策	-4.9
オ 生涯学習活動への支援	-5.2
シ 観光の振興	-6.2

全県との比較では、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等の評価が高く、〔ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕等で努力が求められている。

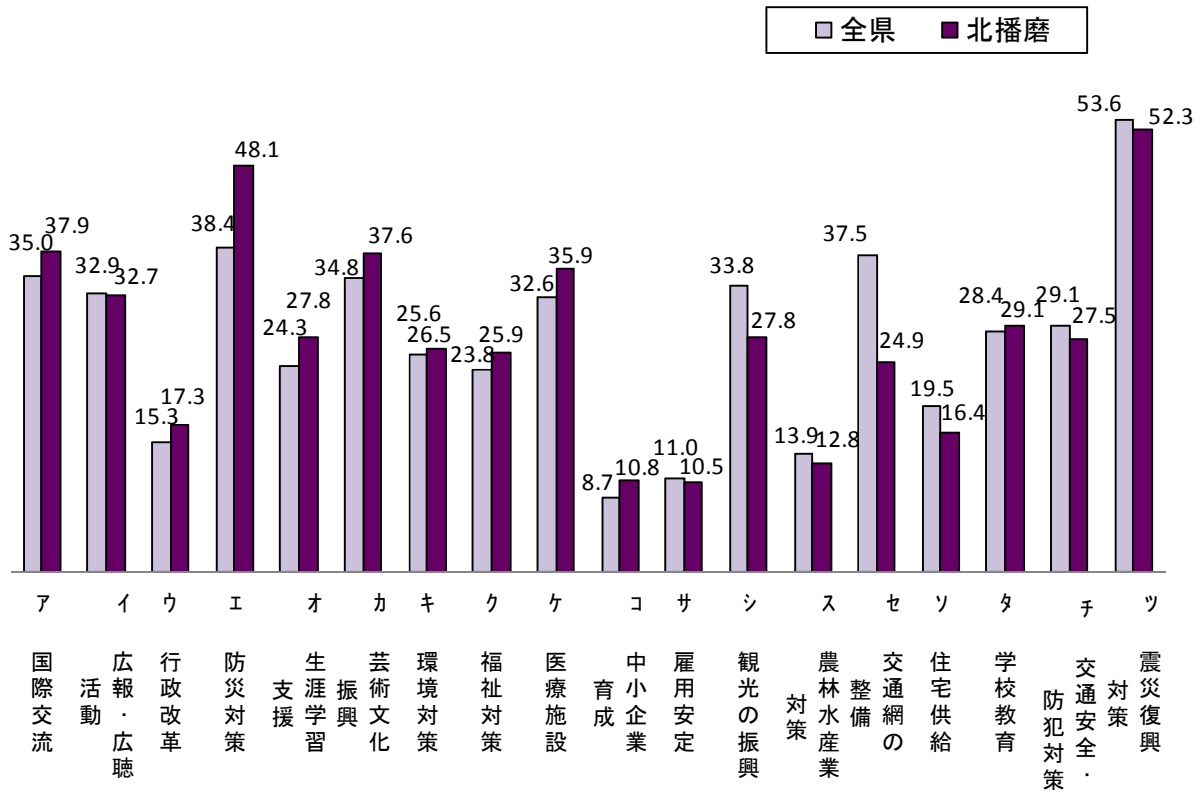
前年との比較では、〔ア 国際的な交流や協力〕等の評価が高く、〔イ 県政の広報・広聴活動〕等で努力が求められている。

《北播磨地域》

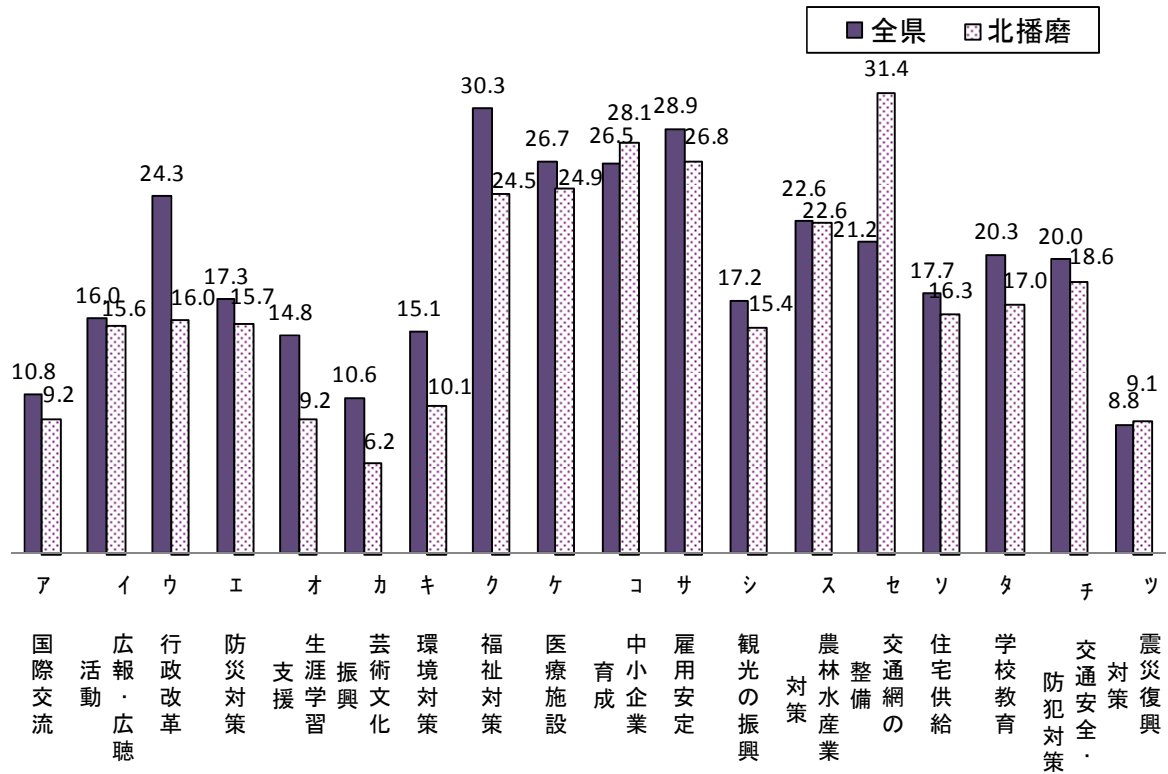
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と北播磨】



『努力が必要』【全県と北播磨】



※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
エ 防災対策の充実	9.7
オ 生涯学習活動への支援	3.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.3
ア 国際的な交流や協力	2.9
カ 芸術文化の振興	2.8
コ 県内中小企業の育成	2.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.0
キ 環境の保全と創造	0.9
タ 学校教育の充実	0.7
イ 県政の広報・広聴活動	-0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.5
ス 農林水産業の活性化対策	-1.1
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.3
チ 交通安全・防犯対策	-1.6
シ 良質な住宅の供給	-3.1
セ 観光の振興	-6.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-12.6

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	10.2
コ 県内中小企業の育成	1.6
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.3
ス 農林水産業の活性化対策	0.0
イ 県政の広報・広聴活動	-0.4
ソ 良質な住宅の供給	-1.4
チ 交通安全・防犯対策	-1.4
ア 国際的な交流や協力	-1.6
エ 防災対策の充実	-1.6
シ 観光の振興	-1.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.1
タ 学校教育の充実	-3.3
カ 芸術文化の振興	-4.4
キ 環境の保全と創造	-5.0
オ 生涯学習活動への支援	-5.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-5.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-8.3

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ア 国際的な交流や協力	8.3
カ 芸術文化の振興	7.0
キ 環境の保全と創造	4.7
エ 防災対策の充実	4.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.8
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.7
ス 農林水産業の活性化対策	3.7
コ 県内中小企業の育成	3.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.4
ソ 良質な住宅の供給	2.3
タ 学校教育の充実	2.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.7
オ 生涯学習活動への支援	1.6
シ 観光の振興	0.2
チ 交通安全・防犯対策	-0.3
イ 県政の広報・広聴活動	-1.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.6

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

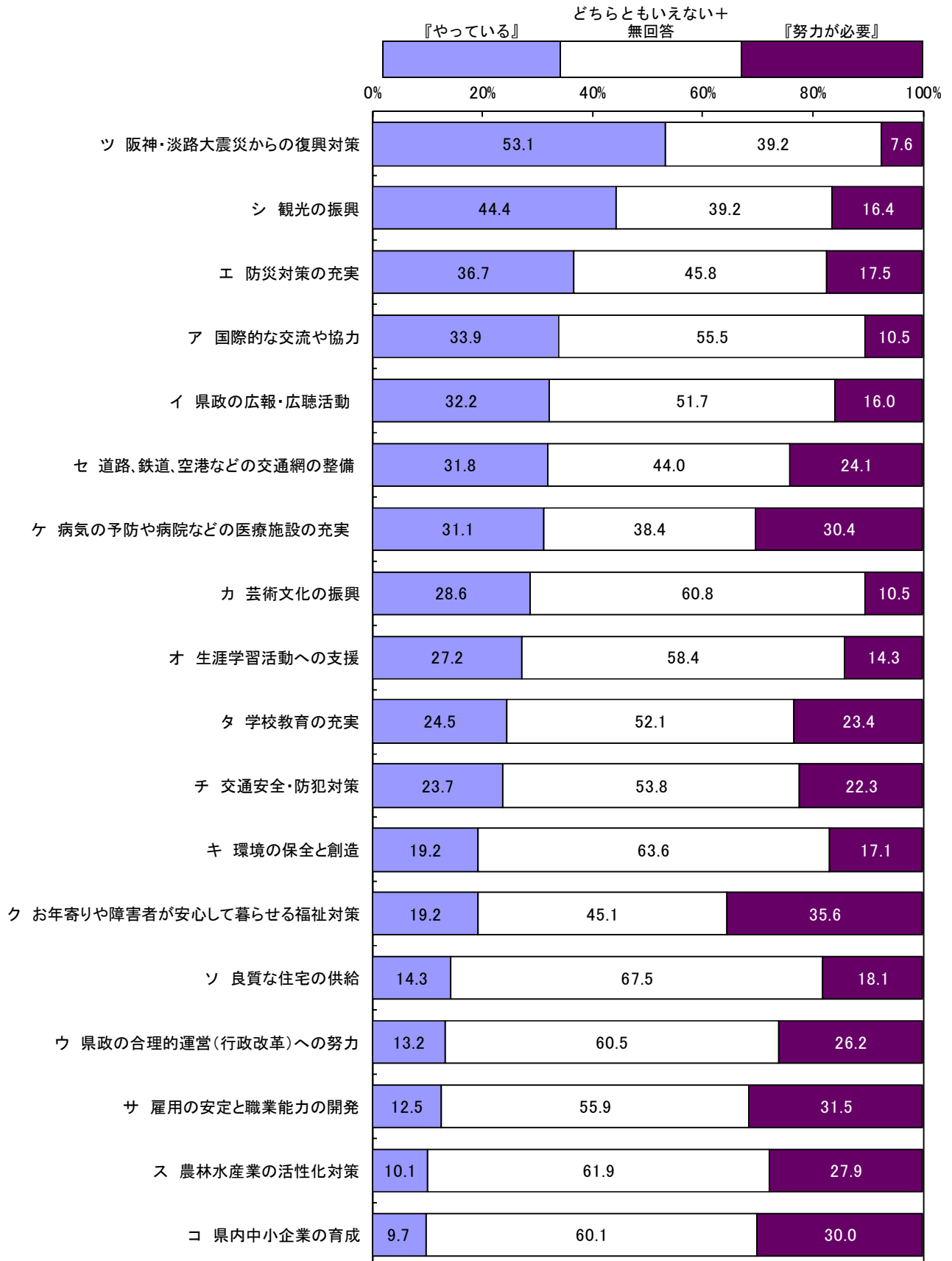
『努力が必要』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.3
イ 県政の広報・広聴活動	1.2
エ 防災対策の充実	-0.4
ア 国際的な交流や協力	-1.6
ソ 良質な住宅の供給	-2.1
オ 生涯学習活動への支援	-2.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.0
カ 芸術文化の振興	-3.5
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.5
チ 交通安全・防犯対策	-5.5
タ 学校教育の充実	-5.8
キ 環境の保全と創造	-6.0
ス 農林水産業の活性化対策	-6.2
シ 観光の振興	-8.4
コ 県内中小企業の育成	-8.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-10.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-11.1

全県との比較では、〔エ 防災対策の充実〕等の評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

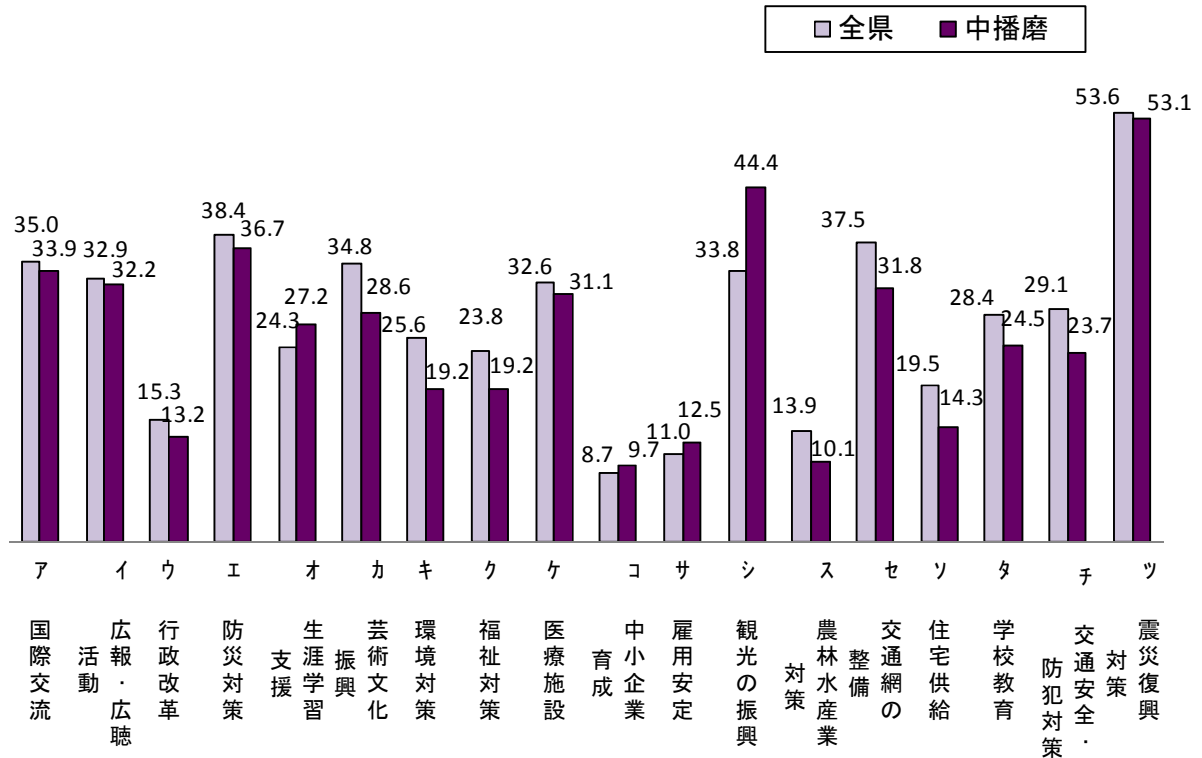
前年との比較では、〔ア 国際的な交流や協力〕等の評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

《中播磨地域》

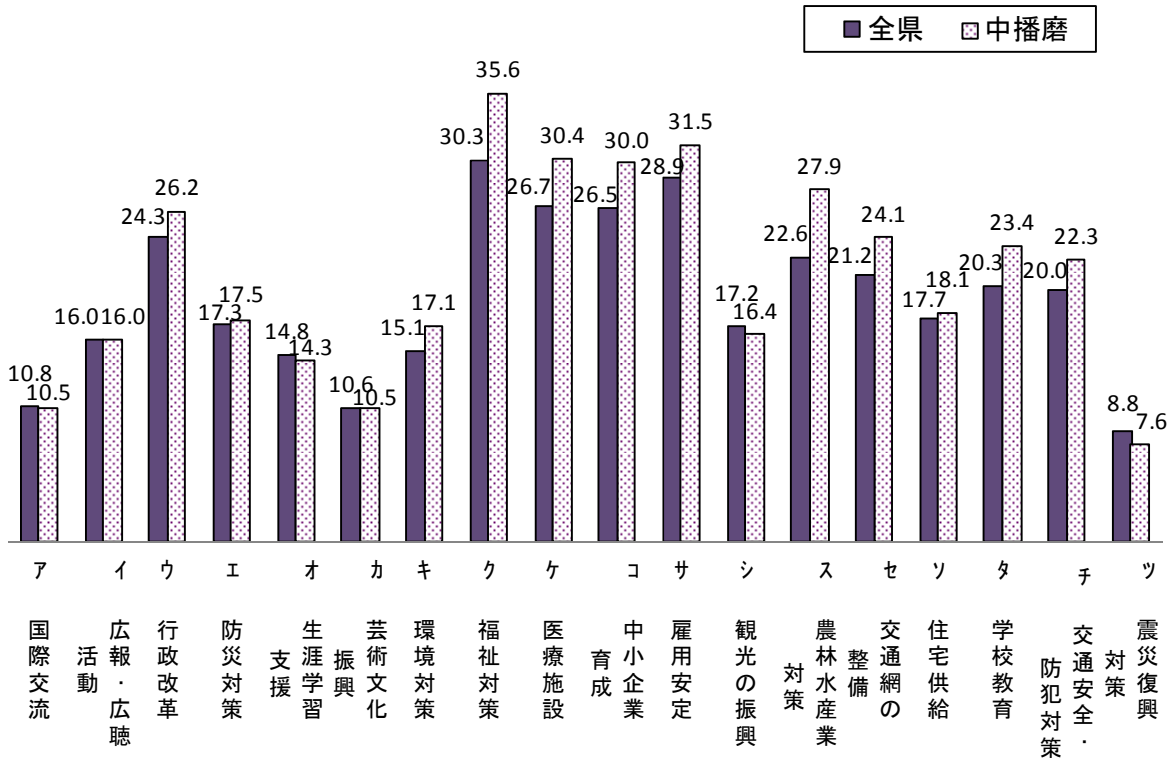
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔シ 観光の振興〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と中播磨】



『努力が必要』【全県と中播磨】



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
シ 観光の振興	10.6
オ 生涯学習活動への支援	2.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.5
コ 県内中小企業の育成	1.0
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.5
イ 県政の広報・広聴活動	-0.7
ア 国際的な交流や協力	-1.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.5
エ 防災対策の充実	-1.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.1
ス 農林水産業の活性化対策	-3.8
タ 学校教育の充実	-3.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.6
ソ 良質な住宅の供給	-5.2
チ 交通安全・防犯対策	-5.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-5.7
カ 芸術文化の振興	-6.2
キ 環境の保全と創造	-6.4

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	5.3
ス 農林水産業の活性化対策	5.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.7
コ 県内中小企業の育成	3.5
タ 学校教育の充実	3.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.6
チ 交通安全・防犯対策	2.3
キ 環境の保全と創造	2.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.9
ソ 良質な住宅の供給	0.4
エ 防災対策の充実	0.2
イ 県政の広報・広聴活動	0.0
カ 芸術文化の振興	-0.1
ア 国際的な交流や協力	-0.3
オ 生涯学習活動への支援	-0.5
シ 観光の振興	-0.8
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.2

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	6.3
ア 国際的な交流や協力	5.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.7
シ 観光の振興	1.7
イ 県政の広報・広聴活動	1.4
コ 県内中小企業の育成	0.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.3
カ 芸術文化の振興	0.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.1
ソ 良質な住宅の供給	-1.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.4
エ 防災対策の充実	-2.6
オ 生涯学習活動への支援	-3.3
タ 学校教育の充実	-3.7
ス 農林水産業の活性化対策	-3.8
チ 交通安全・防犯対策	-4.5
キ 環境の保全と創造	-5.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

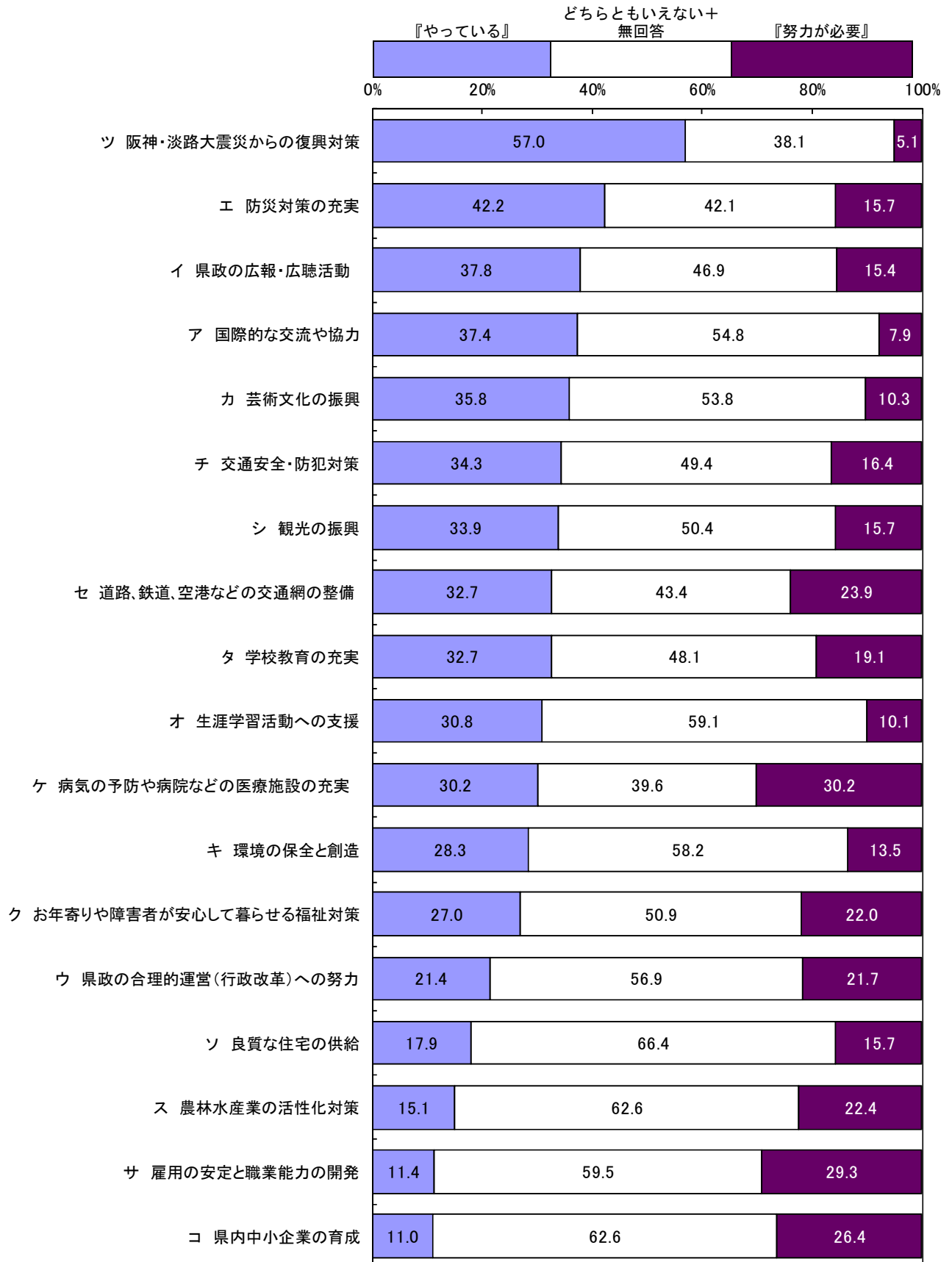
『努力が必要』	増減
ス 農林水産業の活性化対策	4.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.7
イ 県政の広報・広聴活動	-0.6
キ 環境の保全と創造	-0.9
オ 生涯学習活動への支援	-1.3
タ 学校教育の充実	-1.4
シ 観光の振興	-1.5
チ 交通安全・防犯対策	-1.7
エ 防災対策の充実	-2.2
カ 芸術文化の振興	-2.4
ソ 良質な住宅の供給	-2.6
コ 県内中小企業の育成	-3.2
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.6
ア 国際的な交流や協力	-5.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-7.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-8.8

全県との比較では、〔シ 観光の振興〕等の評価が高く、〔ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕等で努力が求められている。

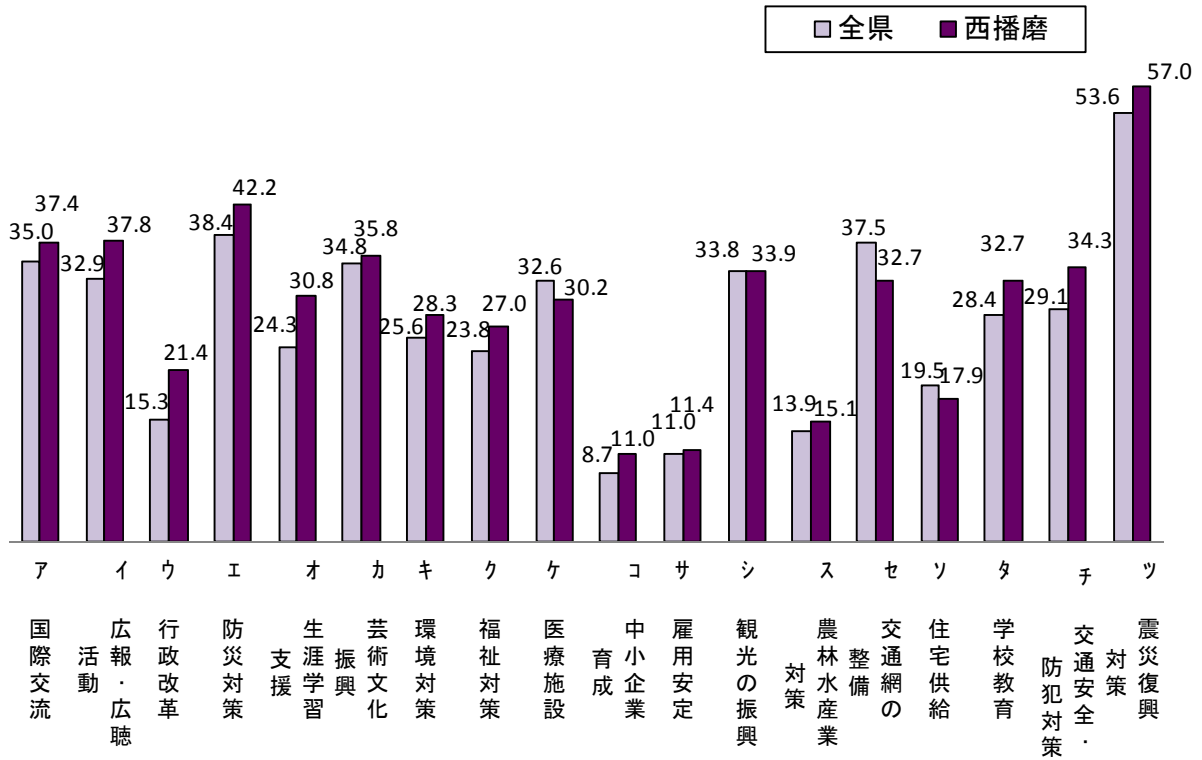
前年との比較では、〔ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕等の評価が高く、〔ス 農林水産業の活性化対策〕等で努力が求められている。

《西播磨地域》

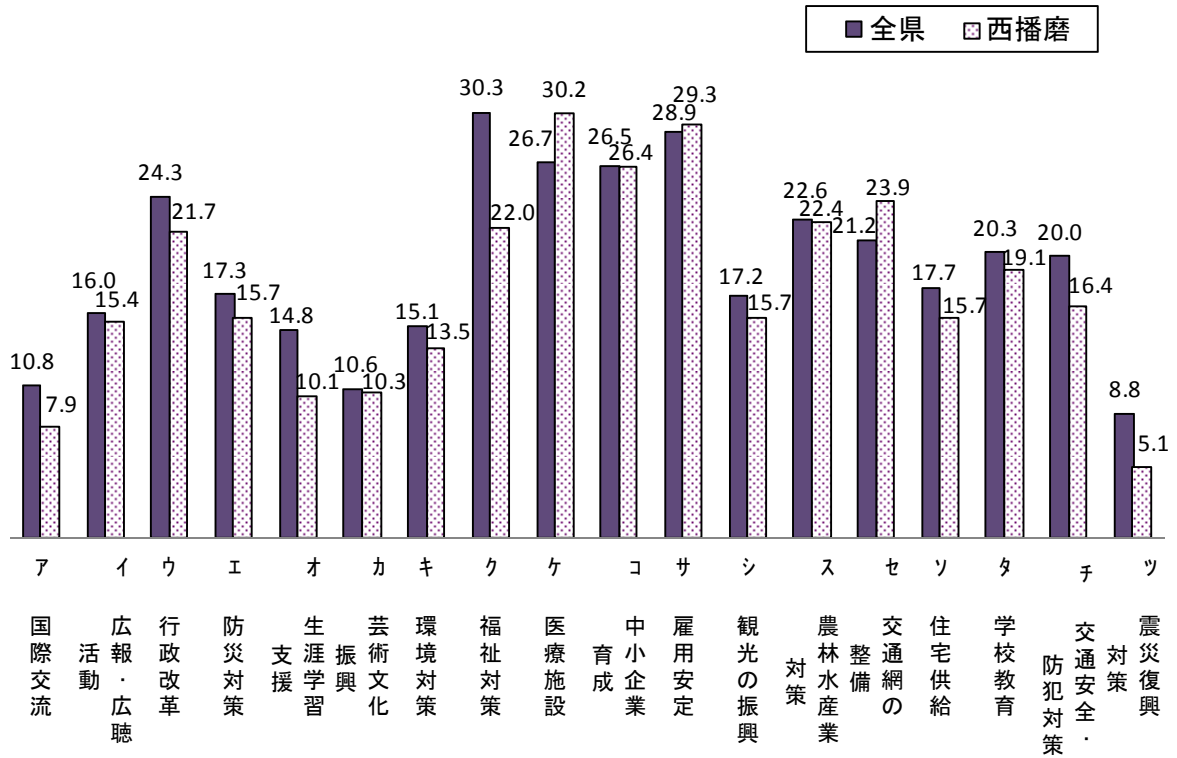
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と西播磨】



『努力が必要』【全県と西播磨】



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	6.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	6.1
チ 交通安全・防犯対策	5.2
イ 県政の広報・広聴活動	4.9
タ 学校教育の充実	4.3
エ 防災対策の充実	3.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.2
キ 環境の保全と創造	2.7
ア 国際的な交流や協力	2.4
コ 県内中小企業の育成	2.3
ス 農林水産業の活性化対策	1.2
カ 芸術文化の振興	1.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.4
シ 観光の振興	0.1
ソ 良質な住宅の供給	-1.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.8

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.4
コ 県内中小企業の育成	-0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.2
カ 芸術文化の振興	-0.3
イ 県政の広報・広聴活動	-0.6
タ 学校教育の充実	-1.2
シ 観光の振興	-1.5
キ 環境の保全と創造	-1.6
エ 防災対策の充実	-1.6
ソ 良質な住宅の供給	-2.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.6
ア 国際的な交流や協力	-2.9
チ 交通安全・防犯対策	-3.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.7
オ 生涯学習活動への支援	-4.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-8.3

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	14.5
ア 国際的な交流や協力	13.1
カ 芸術文化の振興	10.5
シ 観光の振興	10.3
キ 環境の保全と創造	9.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	6.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	5.4
イ 県政の広報・広聴活動	5.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	5.1
タ 学校教育の充実	5.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.0
オ 生涯学習活動への支援	3.8
ソ 良質な住宅の供給	3.7
チ 交通安全・防犯対策	3.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.1
エ 防災対策の充実	2.7
コ 県内中小企業の育成	1.9
ス 農林水産業の活性化対策	1.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

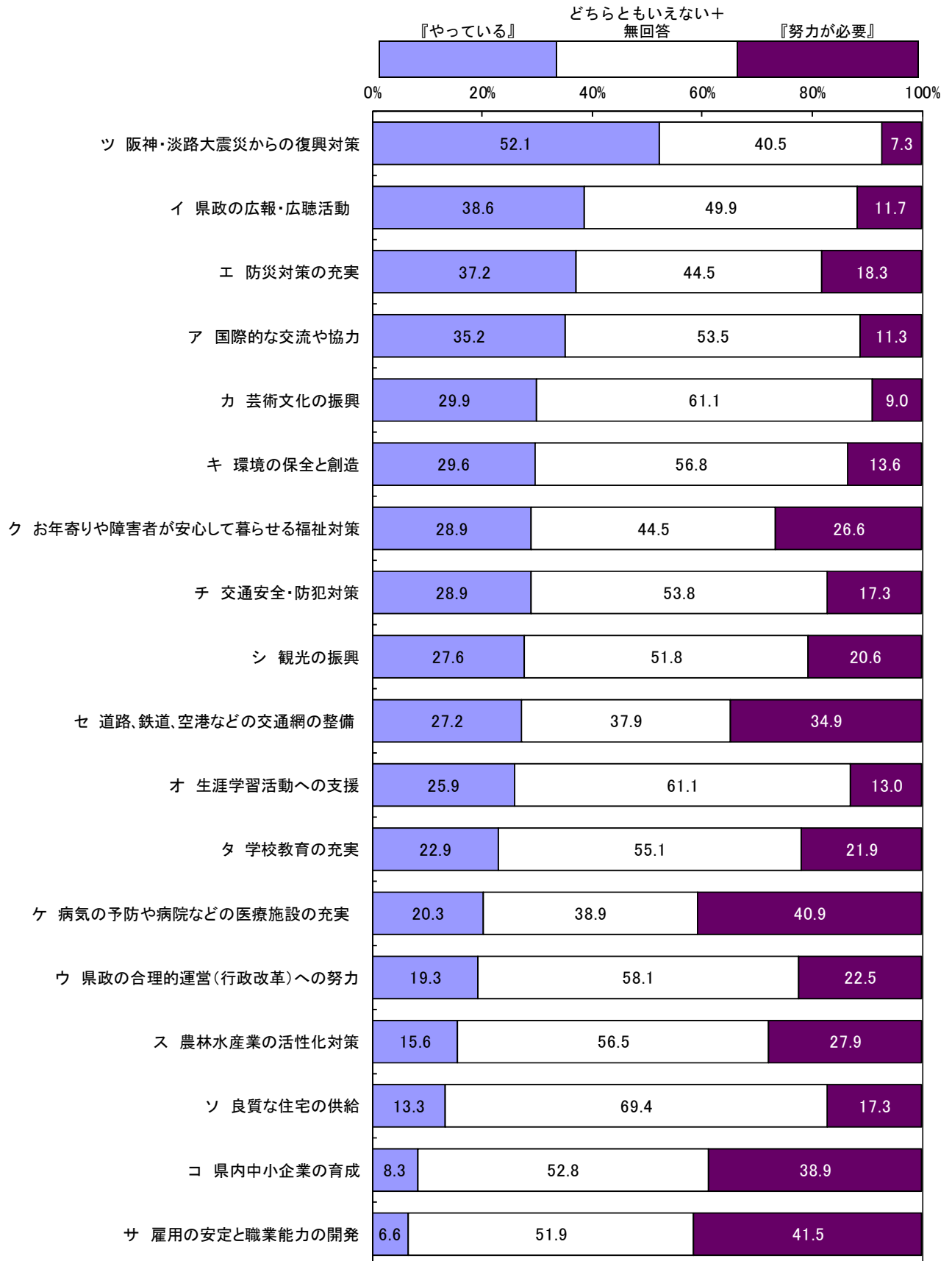
『努力が必要』	増減
ソ 良質な住宅の供給	0.8
イ 県政の広報・広聴活動	0.2
カ 芸術文化の振興	-0.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.6
タ 学校教育の充実	-0.9
キ 環境の保全と創造	-2.7
ア 国際的な交流や協力	-2.9
エ 防災対策の充実	-2.9
オ 生涯学習活動への支援	-3.8
ス 農林水産業の活性化対策	-4.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.5
チ 交通安全・防犯対策	-6.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-7.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-8.2
コ 県内中小企業の育成	-9.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-9.4
シ 観光の振興	-10.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-11.5

全県との比較では、〔オ 生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

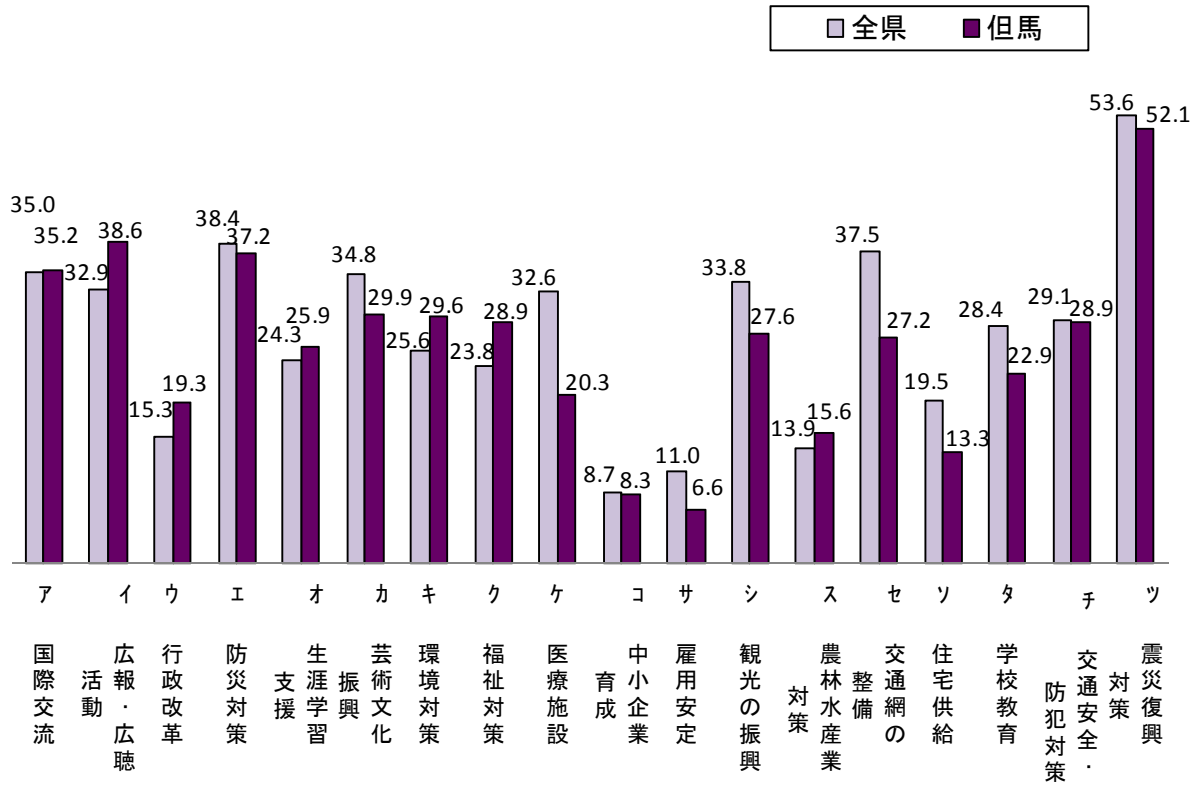
前年との比較では、〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕等の評価が高く、〔ソ 良質な住宅の供給〕等で努力が求められている。

《但馬地域》

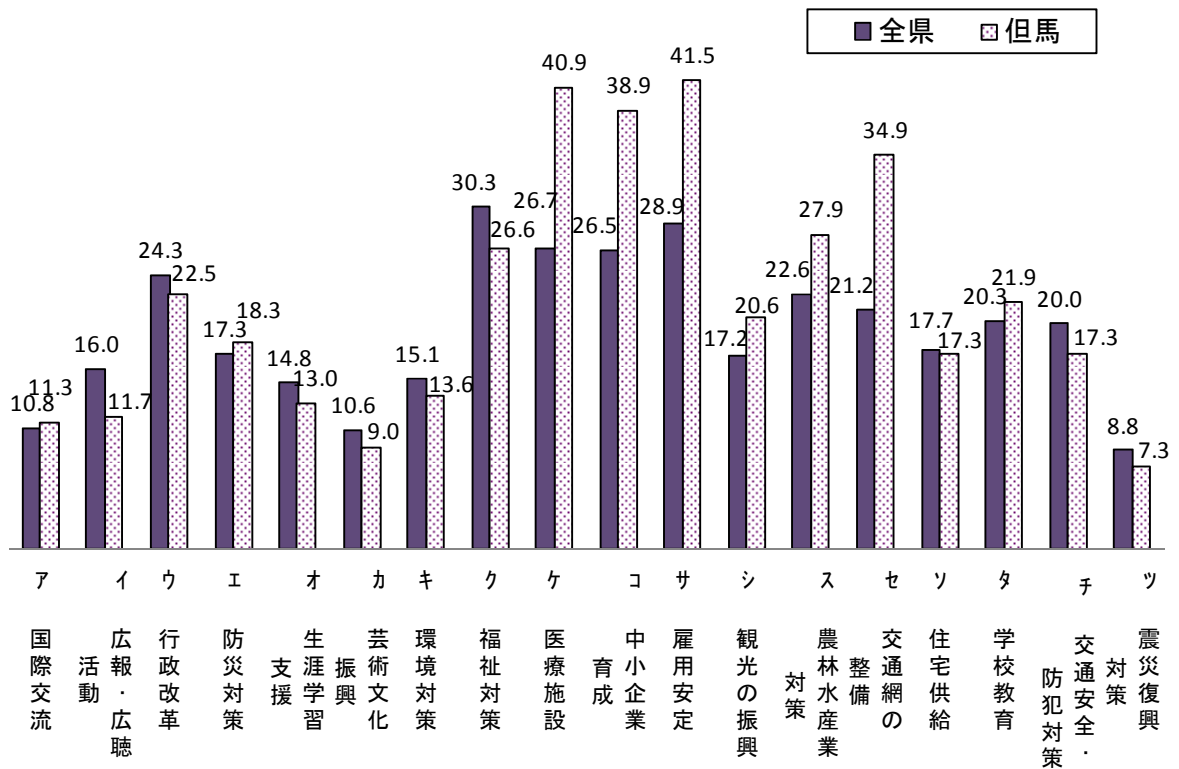
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔イ 県政の広報・広聴活動〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と但馬】



『努力が必要』【全県と但馬】



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
イ 県政の広報・広聴活動	5.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	5.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	4.0
キ 環境の保全と創造	4.0
ス 農林水産業の活性化対策	1.7
オ 生涯学習活動への支援	1.6
ア 国際的な交流や協力	0.2
チ 交通安全・防犯対策	-0.2
コ 県内中小企業の育成	-0.4
エ 防災対策の充実	-1.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-4.4
カ 芸術文化の振興	-4.9
タ 学校教育の充実	-5.5
シ 観光の振興	-6.2
ソ 良質な住宅の供給	-6.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-10.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-12.3

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	14.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	13.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	12.6
コ 県内中小企業の育成	12.4
ス 農林水産業の活性化対策	5.3
シ 観光の振興	3.4
タ 学校教育の充実	1.6
エ 防災対策の充実	1.0
ア 国際的な交流や協力	0.5
ソ 良質な住宅の供給	-0.4
キ 環境の保全と創造	-1.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.5
カ 芸術文化の振興	-1.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.8
オ 生涯学習活動への支援	-1.8
チ 交通安全・防犯対策	-2.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.7
イ 県政の広報・広聴活動	-4.3

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.9
キ 環境の保全と創造	3.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.7
ソ 良質な住宅の供給	0.5
カ 芸術文化の振興	-0.4
オ 生涯学習活動への支援	-1.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.1
コ 県内中小企業の育成	-1.3
ア 国際的な交流や協力	-1.5
ス 農林水産業の活性化対策	-2.0
イ 県政の広報・広聴活動	-2.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.4
シ 観光の振興	-6.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-6.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-7.3
チ 交通安全・防犯対策	-7.9
タ 学校教育の充実	-8.8
エ 防災対策の充実	-17.1

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

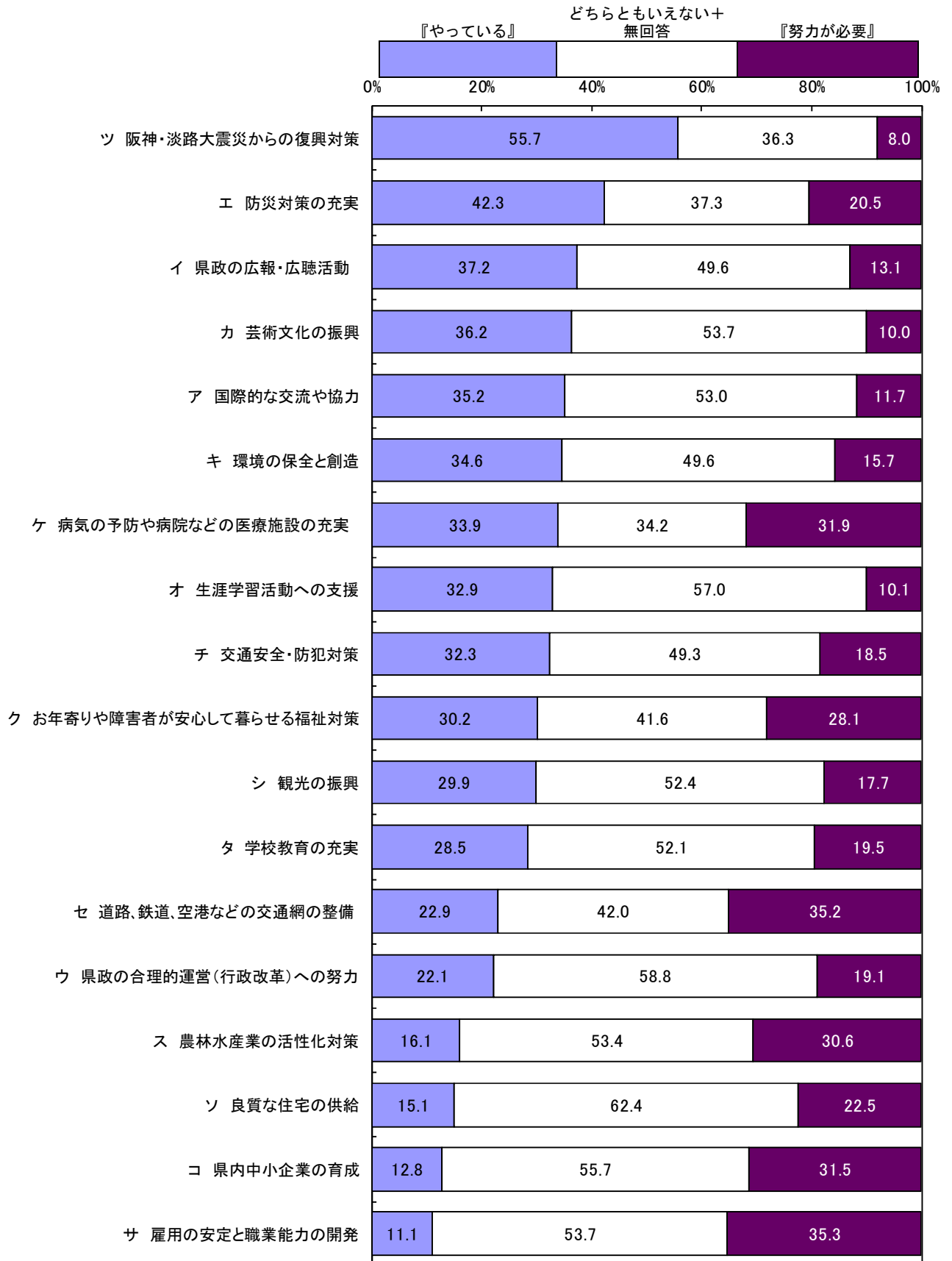
『努力が必要』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.1
エ 防災対策の充実	3.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.4
ア 国際的な交流や協力	0.5
タ 学校教育の充実	-0.2
イ 県政の広報・広聴活動	-0.8
コ 県内中小企業の育成	-1.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.4
オ 生涯学習活動への支援	-1.7
キ 環境の保全と創造	-2.0
カ 芸術文化の振興	-3.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-4.2
ソ 良質な住宅の供給	-5.1
ス 農林水産業の活性化対策	-5.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-6.9
チ 交通安全・防犯対策	-7.0
シ 観光の振興	-9.1

全県との比較では、〔イ 県政の広報・広聴活動〕等の評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

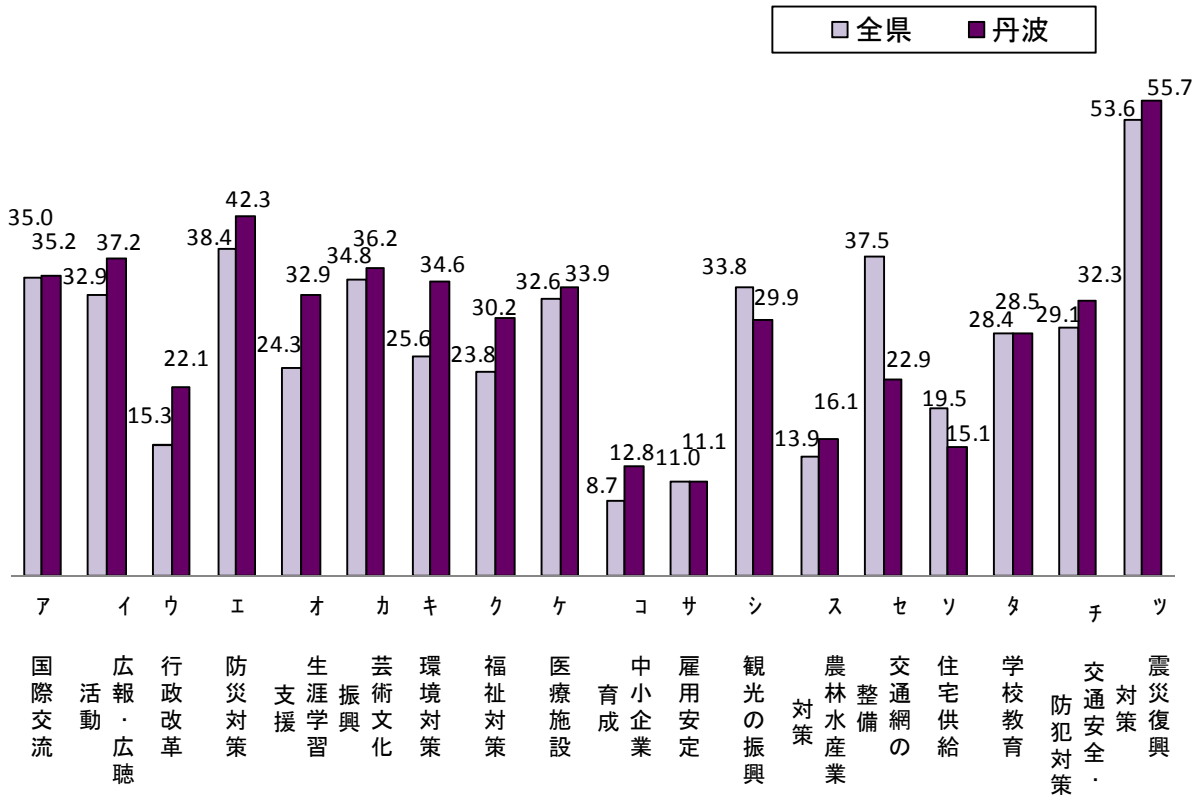
前年との比較では、〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕等の評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

《丹波地域》

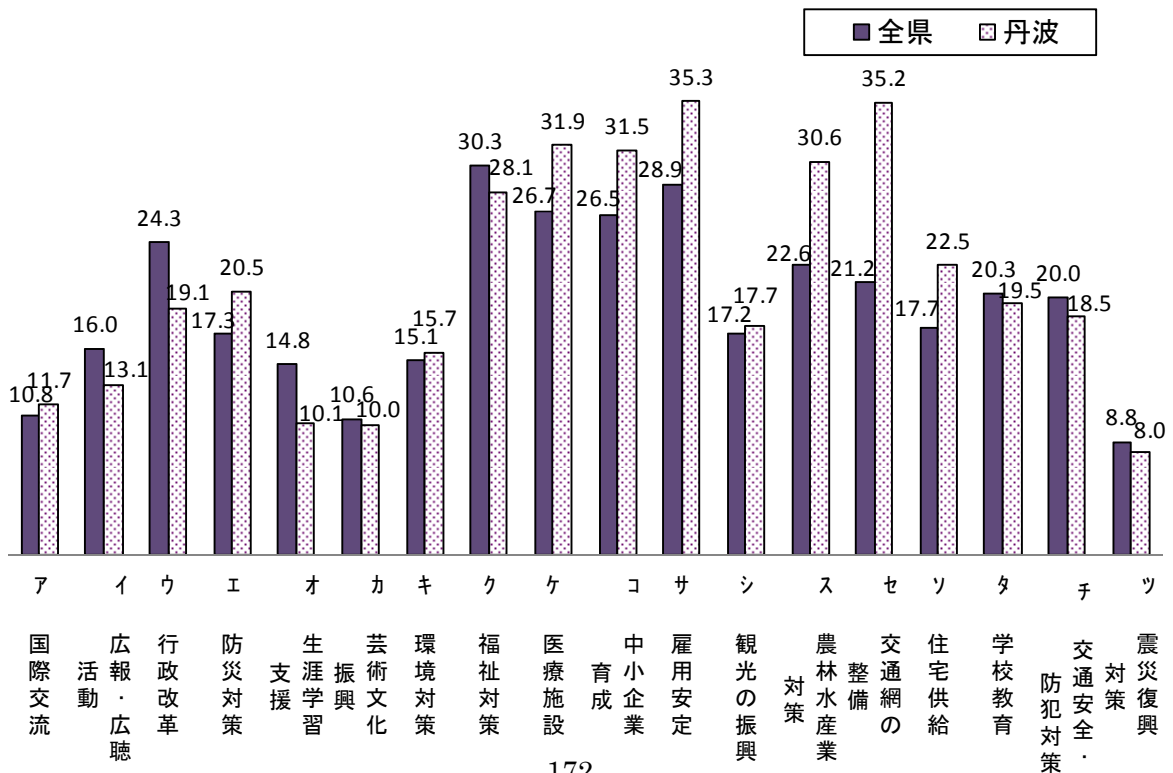
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と丹波】



『努力が必要』【全県と丹波】



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
キ 環境の保全と創造	9.0
オ 生涯学習活動への支援	8.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	6.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	6.4
イ 県政の広報・広聴活動	4.3
コ 県内中小企業の育成	4.1
エ 防災対策の充実	3.9
チ 交通安全・防犯対策	3.2
ス 農林水産業の活性化対策	2.2
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.1
カ 芸術文化の振興	1.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.3
ア 国際的な交流や協力	0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.1
タ 学校教育の充実	0.1
シ 観光の振興	-3.9
ソ 良質な住宅の供給	-4.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-14.6

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	14.0
ス 農林水産業の活性化対策	8.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	6.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	5.2
コ 県内中小企業の育成	5.0
ソ 良質な住宅の供給	4.8
エ 防災対策の充実	3.2
ア 国際的な交流や協力	0.9
キ 環境の保全と創造	0.6
シ 観光の振興	0.5
カ 芸術文化の振興	-0.6
タ 学校教育の充実	-0.8
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.8
チ 交通安全・防犯対策	-1.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.2
イ 県政の広報・広聴活動	-2.9
オ 生涯学習活動への支援	-4.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-5.2

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	6.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.6
キ 環境の保全と創造	2.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.1
コ 県内中小企業の育成	0.0
カ 芸術文化の振興	-0.7
ス 農林水産業の活性化対策	-0.8
チ 交通安全・防犯対策	-0.8
タ 学校教育の充実	-1.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.7
ソ 良質な住宅の供給	-2.8
シ 観光の振興	-3.5
ア 国際的な交流や協力	-4.1
エ 防災対策の充実	-4.6
オ 生涯学習活動への支援	-5.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.4
イ 県政の広報・広聴活動	-9.4

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

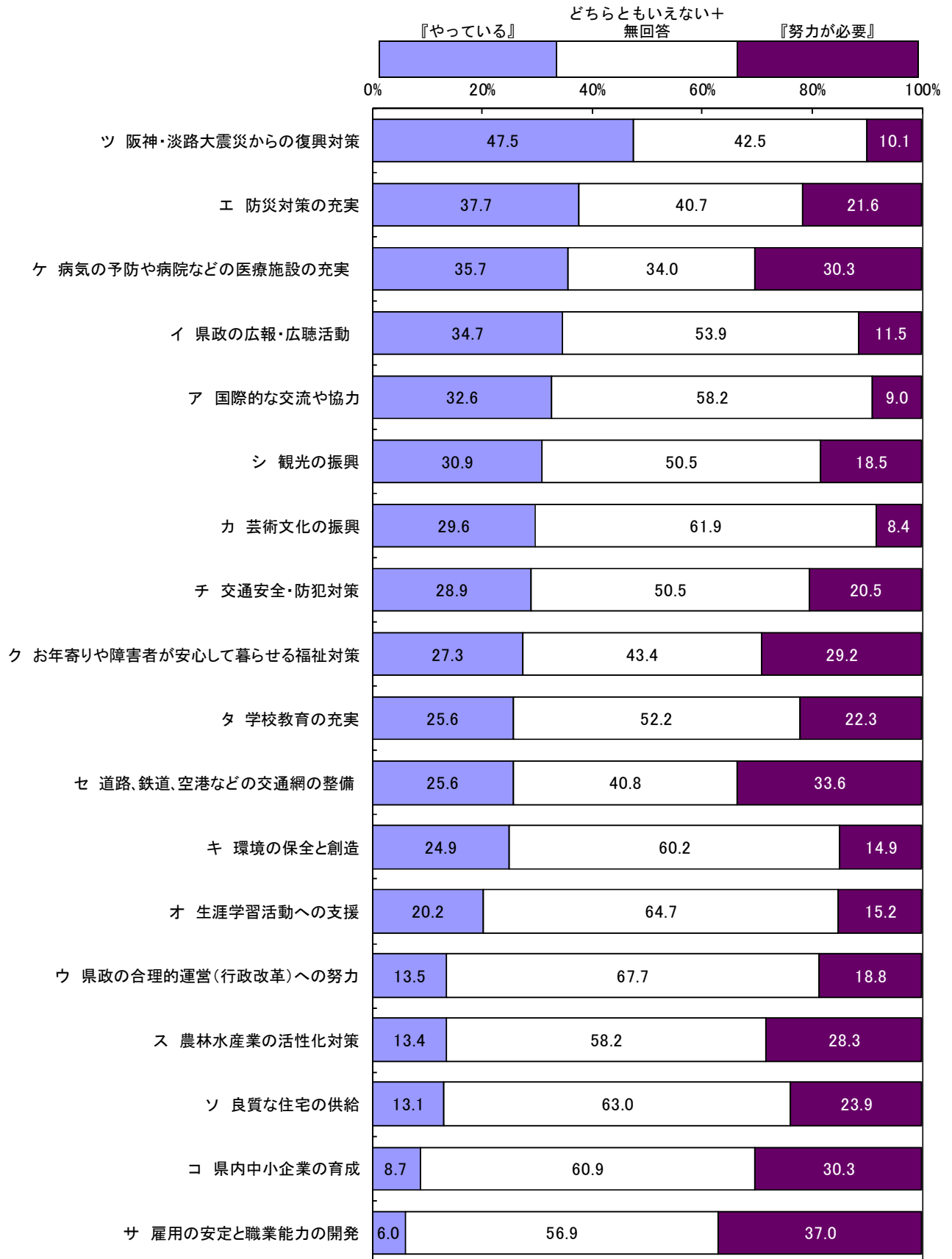
『努力が必要』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.9
エ 防災対策の充実	5.3
イ 県政の広報・広聴活動	4.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.3
ア 国際的な交流や協力	4.1
ソ 良質な住宅の供給	3.5
カ 芸術文化の振興	3.1
キ 環境の保全と創造	2.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.2
ス 農林水産業の活性化対策	2.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.9
コ 県内中小企業の育成	0.8
タ 学校教育の充実	0.2
シ 観光の振興	-0.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.5
チ 交通安全・防犯対策	-0.5
オ 生涯学習活動への支援	-1.7
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.1

全県との比較では、〔キ 環境の保全と創造〕等の評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

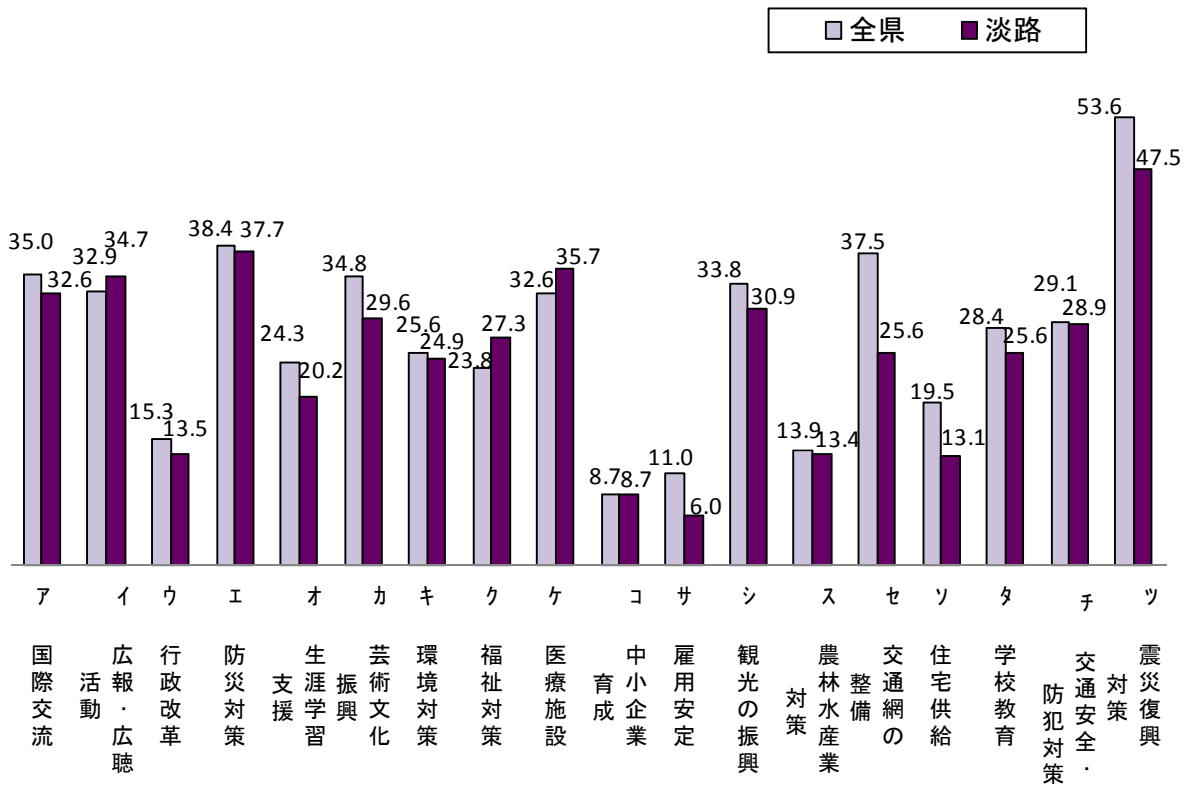
前年との比較では、〔ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕等の評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

《淡路地域》

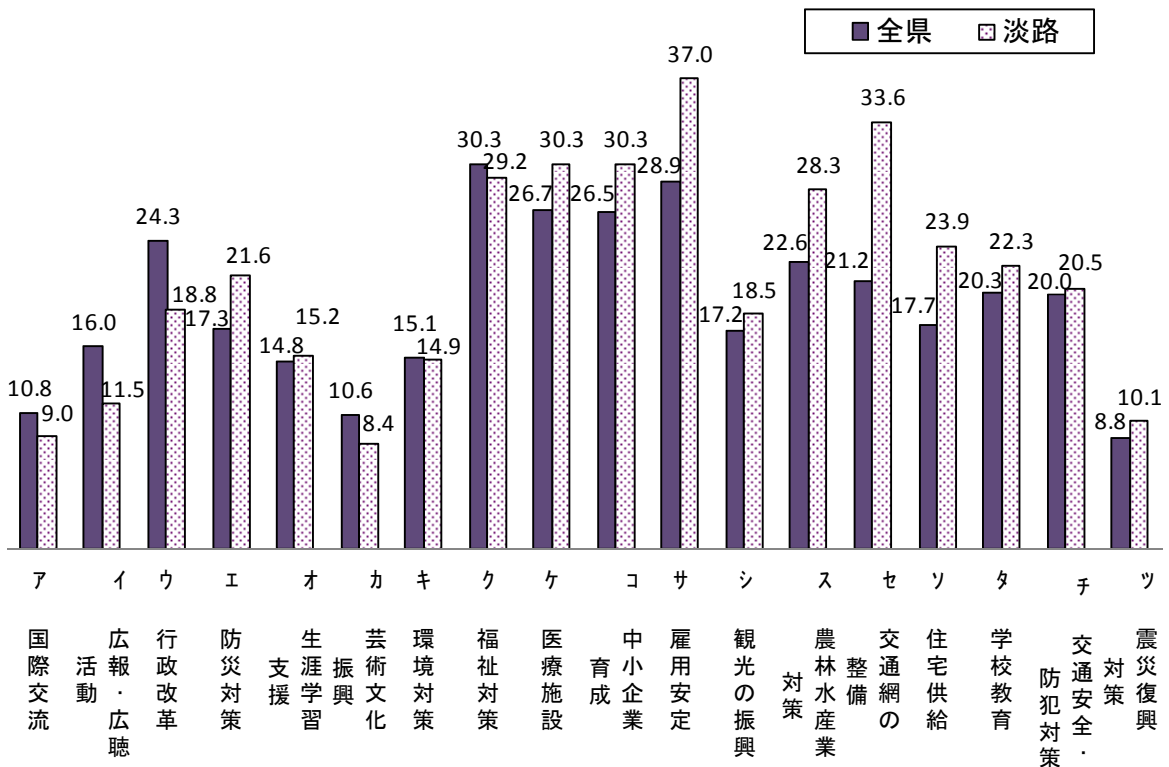
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と淡路】



『努力が必要』【全県と淡路】



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.1
イ 県政の広報・広聴活動	1.8
コ 県内中小企業の育成	0.0
チ 交通安全・防犯対策	-0.2
ス 農林水産業の活性化対策	-0.5
キ 環境の保全と創造	-0.7
エ 防災対策の充実	-0.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.8
ア 国際的な交流や協力	-2.4
タ 学校教育の充実	-2.8
シ 観光の振興	-2.9
オ 生涯学習活動への支援	-4.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-5.0
カ 芸術文化の振興	-5.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-6.1
ソ 良質な住宅の供給	-6.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-11.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	12.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	8.1
ソ 良質な住宅の供給	6.2
ス 農林水産業の活性化対策	5.7
エ 防災対策の充実	4.3
コ 県内中小企業の育成	3.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.6
タ 学校教育の充実	2.0
シ 観光の振興	1.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.3
チ 交通安全・防犯対策	0.5
オ 生涯学習活動への支援	0.4
キ 環境の保全と創造	-0.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.1
ア 国際的な交流や協力	-1.8
カ 芸術文化の振興	-2.2
イ 県政の広報・広聴活動	-4.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-5.5

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.5
ア 国際的な交流や協力	0.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.0
ソ 良質な住宅の供給	-0.3
キ 環境の保全と創造	-1.0
チ 交通安全・防犯対策	-1.5
カ 芸術文化の振興	-2.2
オ 生涯学習活動への支援	-2.4
タ 学校教育の充実	-2.6
コ 県内中小企業の育成	-2.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-4.4
イ 県政の広報・広聴活動	-4.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-5.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-5.1
エ 防災対策の充実	-6.0
シ 観光の振興	-7.3
ス 農林水産業の活性化対策	-7.7

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.0
ソ 良質な住宅の供給	2.8
エ 防災対策の充実	0.9
ス 農林水産業の活性化対策	0.5
イ 県政の広報・広聴活動	0.0
ア 国際的な交流や協力	-1.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.1
シ 観光の振興	-2.2
オ 生涯学習活動への支援	-2.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.3
コ 県内中小企業の育成	-3.4
カ 芸術文化の振興	-3.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.2
キ 環境の保全と創造	-4.3
タ 学校教育の充実	-5.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-6.4
チ 交通安全・防犯対策	-6.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-7.8

全県との比較では、〔ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕等の評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等の評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

問26 県民局・県民センターの認知度

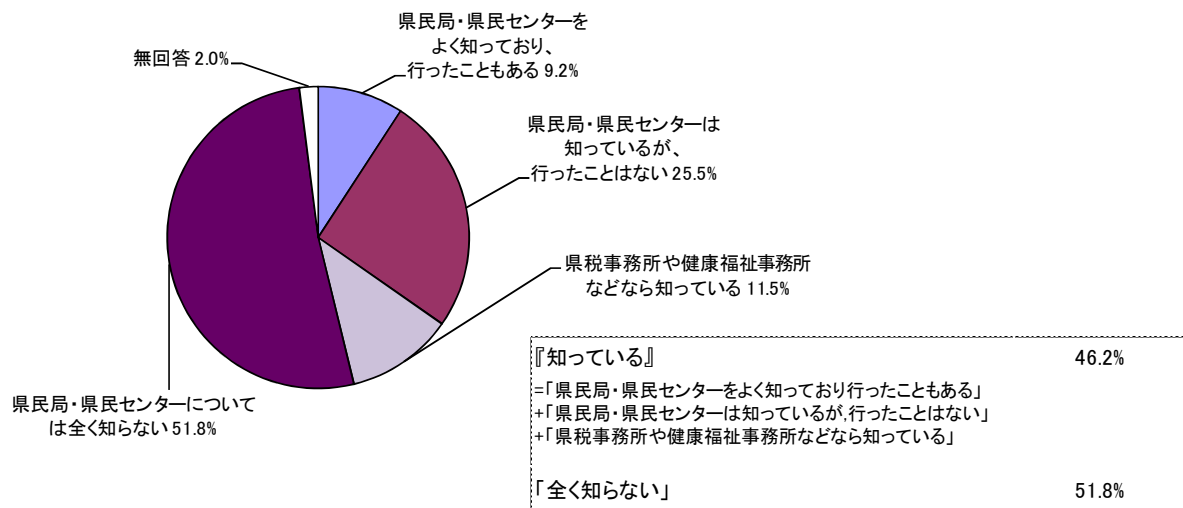
問26

あなたがお住まいの地域の県民局・県民センターについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない
- 3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている
- 4 県民局・県民センターについては全く知らない

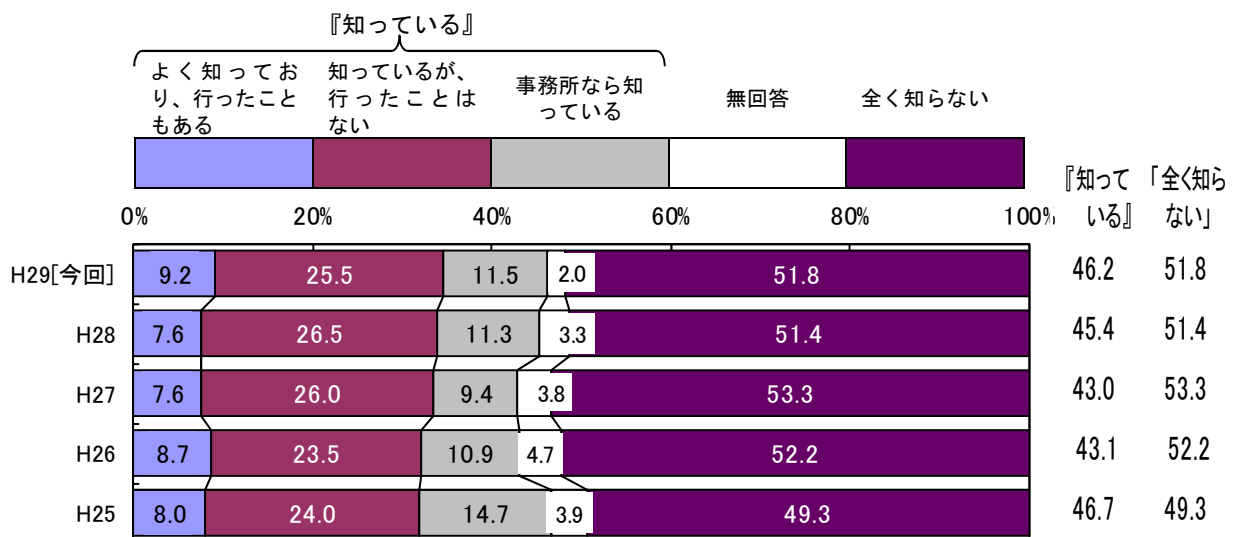
【全県】

「よく知っており、行ったこともある(9.2%)」、「知っているが行ったことはない(25.5%)」、「事務所なら知っている(11.5%)」を合わせた『知っている』は46.2%となった。



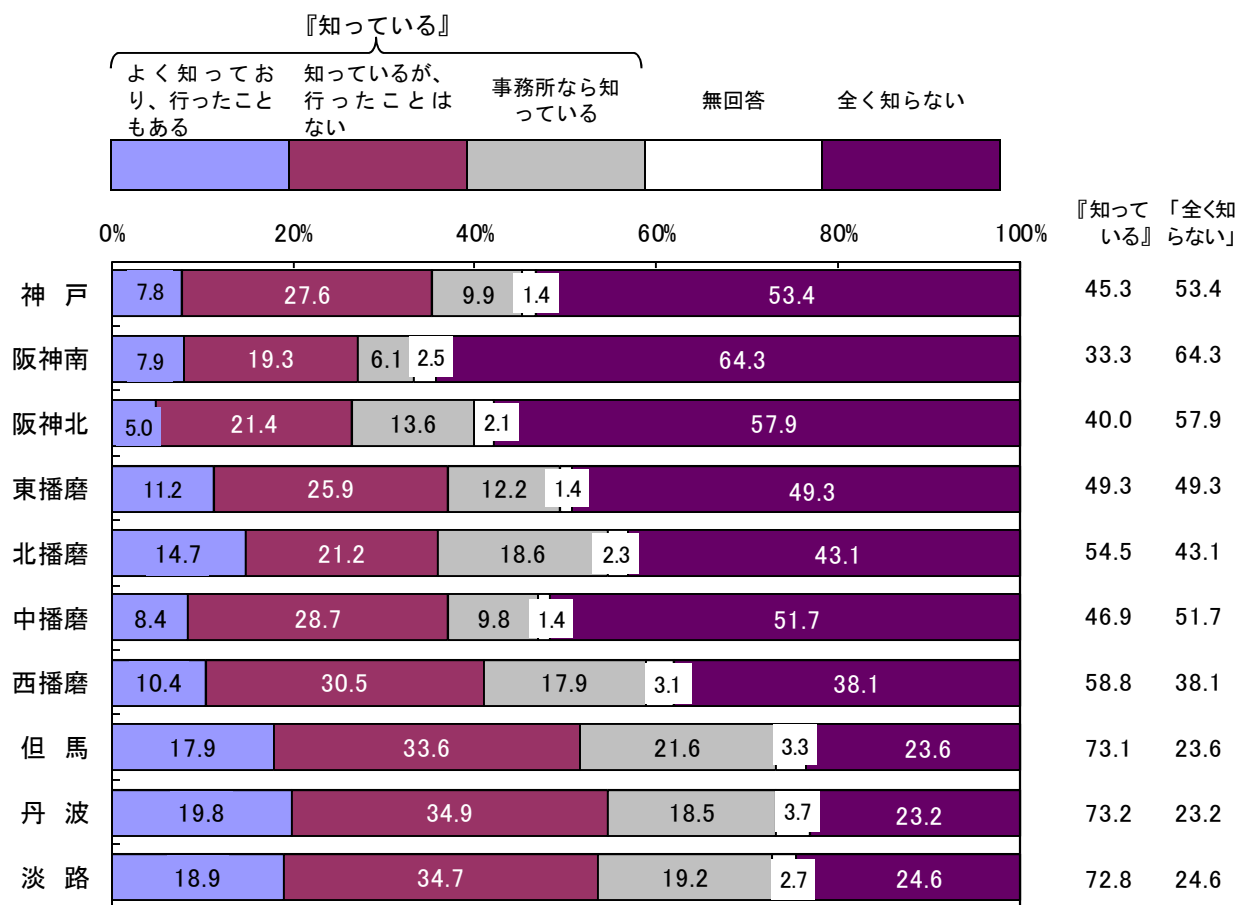
【経年比較】

『知っている(46.2%)』は前年より0.8ポイント増加した。



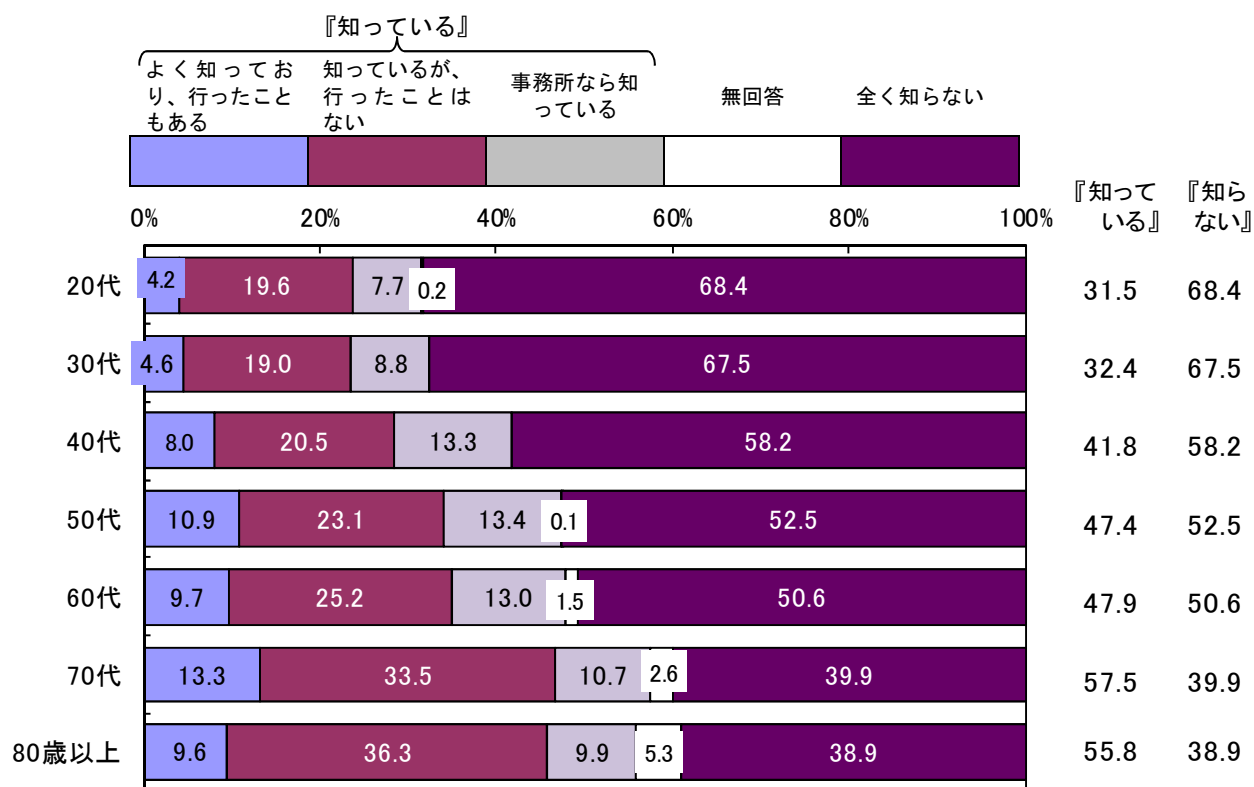
【地域別】

『知っている』は、丹波(73.2%)、但馬(73.1%)、淡路(72.8%)が高い。



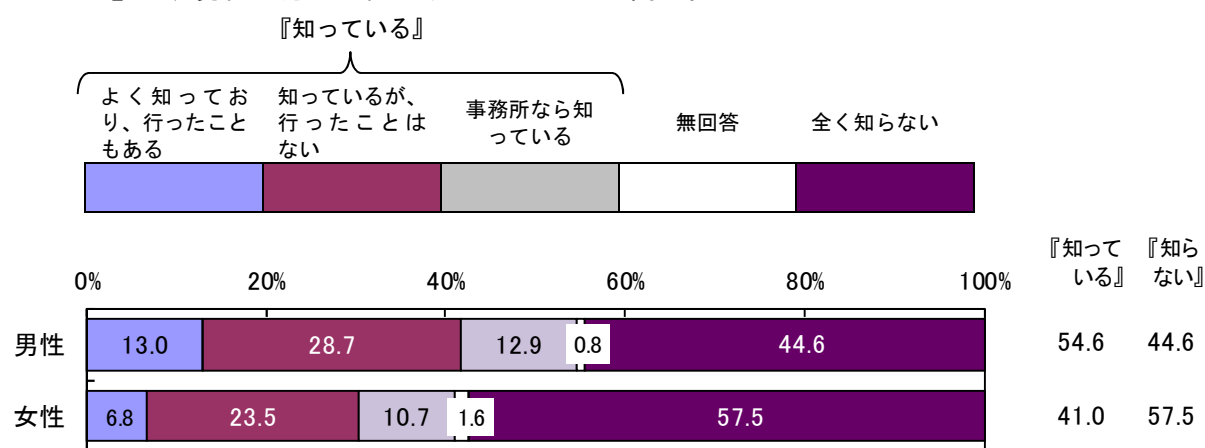
【年代別】

『知っている』は70代が最も高い(57.5%)。



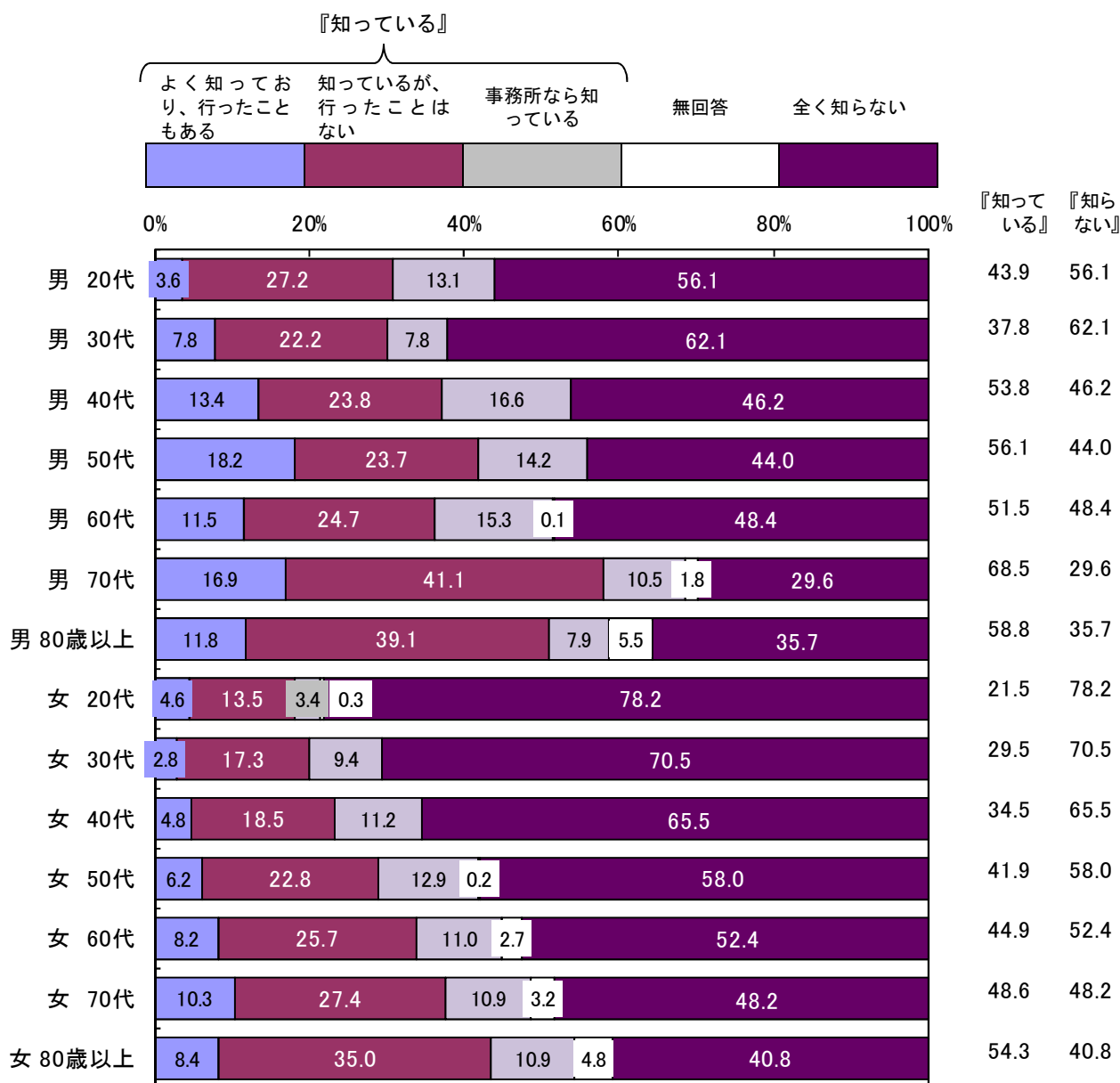
【性別】

『知っている』は、男性の方が女性より13.6ポイント高い。



【性・年代別】

『知っている』は、男性は70代が最も高く(68.5%)、女性は80歳以上が最も高い(54.3%)。





2030年の兵庫の姿

平成29年度県民意識調査

平成30年に県政150年を迎えるにあたり、これからの兵庫づくりについて県民の皆さんとともに考え、「兵庫2030年の展望（仮称）」として取りまとめる予定にしています。そこで今回、期待する兵庫の将来像についてのご意見などを伺いたいと考えています。

回答者として、多くの県民の皆さんの中から、あなたを選ばせていただきました。お忙しい中誠に恐縮ですが、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。



平成29年9月
兵庫県知事 井戸 敏三

※ 回答ご記入についてお願い

- ご回答は、必ず**あて名の方が**ご記入くださいますようお願いいたします。なお、調査票は、両面刷りになっておりますので、お開きいただき1から4ページまでの全てに回答をお願いします。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、恐縮ですが、**9月25日（月）まで**にご返送くださいますようお願いいたします。
- この調査は**無記名**でお願いしておりますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。
- 調査結果は、来年2月をめどに、県ホームページなどで公表するとともに、県政の貴重な資料として活用させていただきます。
- ご不明な点がありましたら、下記にお問い合わせください。また、点字の調査票を用意いたしますので、必要な場合は下記までご連絡ください。

◆ 兵庫県企画県民部 広聴室広聴相談班 TEL078(362)3021

問1 あなたは、お住まいの地域の生活環境についてどう感じていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 満足
- 2 まあ満足
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 不満

問2 あなたは、お住まいの地域における次の面について、どう感じていますか。次のア～サのそれぞれの項目について、1つ選んで番号に○をつけてください。

	満 足	ま あ 満 足	ど ち ら と も い え な い	や や 不 満	不 満
--	--------	------------------	---	------------------	--------

ア 子育て・教育環境	1	2	3	4	5
イ 介護・福祉、医療体制	1	2	3	4	5
ウ 人と人とのつながり	1	2	3	4	5
エ 雇用、働く環境	1	2	3	4	5
オ 商店・商業施設（買い物環境）	1	2	3	4	5
カ 公共交通、道路整備	1	2	3	4	5
キ 娯楽・レジャー施設、公園	1	2	3	4	5
ク 文化・芸術活動、地域のイベント	1	2	3	4	5
ケ 大気や水などの環境	1	2	3	4	5
コ 災害への備え	1	2	3	4	5
サ 犯罪・交通事故	1	2	3	4	5

問3 今後の生活において、物の豊かさ心の豊かさに関して、次のような2つの考え方のうち、あなたの考え方に近いものはどちらですか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 1 心の豊かさよりも物の豊かさを優先する
- 2 物の豊かさよりも心の豊かさを優先する
- 3 どちらともいえない
- 4 わからない

問4 あなたが、日常生活において充実感を感じるのは、主にどのような時ですか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 仕事をしている時
- 2 勉強をしている時
- 3 趣味やスポーツを楽しんでいる時
- 4 ひとりで休養している時
- 5 家族団らんの時
- 6 友人や知人と過ごしている時
- 7 ボランティアや地域活動をしている時
- 8 その他（ ）
- 9 わからない

問5 理想的な仕事と家庭（家事・育児・介護など）のバランスはどのようなものだと思いますか。あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 仕事を優先する
- 2 どちらかといえば仕事を優先する
- 3 仕事も家庭も同じくらい大切にす
- 4 どちらかといえば家庭を優先する
- 5 家庭を優先する
- 6 その他（ ）
- 7 わからない

調査票を開いて **問6** へ

兵庫県マスコット はばタン



問15 環境の保全と生活の便利さ・快適さのどちらを優先するかについて、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 環境の保全を優先したい
- 2 どちらかといえば環境の保全を優先したい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば便利で快適な生活を優先したい
- 5 便利で快適な生活を優先したい

問16 兵庫県の現在のイメージをキーワードで表すと、どれになりますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------------------|----------|
| 1 伝統・歴史 | 2 ^{あなた} 温かみ | 3 活力 |
| 4 挑戦 | 5 安全・安心 | 6 楽しい |
| 7 国際的 | 8 芸術・文化 | 9 食（グルメ） |
| 10 自然・環境 | 11 個性豊かな地域 | |
| 12 その他 | （ 具体的にお書きください ） | |
| 13 特にない | | |

問17 将来、兵庫県になってほしいイメージをキーワードで表すと、どれになりますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------------------|----------|
| 1 伝統・歴史 | 2 ^{あなた} 温かみ | 3 活力 |
| 4 挑戦 | 5 安全・安心 | 6 楽しい |
| 7 国際的 | 8 芸術・文化 | 9 食（グルメ） |
| 10 自然・環境 | 11 個性豊かな地域 | |
| 12 その他 | （ 具体的にお書きください ） | |
| 13 特にない | | |

問18 あなたが特に期待する兵庫の将来像はどれですか。次の中からあてはまるものを5つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 子育てや教育環境が充実している
- 2 介護・福祉、医療の体制が充実している
- 3 性別や年齢、障害、国籍を問わず活躍できる
- 4 地域に温かい人間関係がある
- 5 芸術文化やスポーツを気軽に楽しめる
- 6 観光で多くの人が訪れる
- 7 起業しやすい
- 8 最先端の産業や研究が盛んである
- 9 地場産業や商店街が元気である
- 10 農林水産業が盛んである
- 11 環境に優しく豊かな自然が守られている
- 12 災害への備えが充実している
- 13 犯罪や交通事故が少ない
- 14 その他（ ）
- 15 特にない
- 16 わからない

◆「生活全般や県政」に関することについてお聞きます。

問19 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | |

問20 あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
ア 所得・収入	1	2	3	4	5
イ 貯蓄などの金融資産	1	2	3	4	5
ウ 住居	1	2	3	4	5
エ 車、家具などの耐久消費財	1	2	3	4	5
オ 時間のゆとり	1	2	3	4	5
カ 趣味やレクリエーションへの取組	1	2	3	4	5
キ 地域活動やボランティアへの取組	1	2	3	4	5
ク 仕事の内容	1	2	3	4	5
ケ 家族との関係	1	2	3	4	5
コ 知人や近所の人との関係	1	2	3	4	5
サ 住んでいる地域の住み心地	1	2	3	4	5
シ あなた自身の健康	1	2	3	4	5
ス 家族の健康	1	2	3	4	5

問21 あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 向上している | 2 同じようなもの |
| 3 低下している | 4 わからない |

問22 あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 起こると思う | 2 可能性は高いと思う |
| 3 可能性は低いと思う | 4 絶対起こらないと思う |
| 5 わからない | |

問23 あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|------------|----------------|
| 1 現在参加している | 2 過去に参加したことがある |
| 3 参加していない | 4 わからない |

4 ページの問24へ

兵庫県マスコット はばタン



問24 あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大変関心がある 2 多少関心がある
3 ほとんど関心がない 4 全く関心がない

問25 県の行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

	よくやっている	まあまあやっている	どちらともいえない	もう少し努力が必要	もっと努力が必要
--	---------	-----------	-----------	-----------	----------

ア 国際的な交流や協力	1	2	3	4	5
イ 県政の広報・広聴活動	1	2	3	4	5
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	1	2	3	4	5
エ 防災対策の充実	1	2	3	4	5
オ 生涯学習活動への支援	1	2	3	4	5
カ 芸術文化の振興	1	2	3	4	5
キ 環境の保全と創造	1	2	3	4	5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1	2	3	4	5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1	2	3	4	5
コ 県内中小企業の育成	1	2	3	4	5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1	2	3	4	5
シ 観光の振興	1	2	3	4	5
ス 農林水産業の活性化対策	1	2	3	4	5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1	2	3	4	5
ソ 良質な住宅の供給	1	2	3	4	5
タ 学校教育の充実	1	2	3	4	5
チ 交通安全・防犯対策	1	2	3	4	5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1	2	3	4	5

問26 あなたがお住まいの地域の県民局・県民センターについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある
2 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない
3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている
4 県民局・県民センターについては全く知らない

★ 最後に、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身や家族構成等についてお聞かせください。下記のことについて、あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性

F 2 あなたの年代は

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50代
5 60代 6 70代 7 80歳以上

F 3 あなたの職業は

- 1 自営業（農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む）
2 会社・団体などの正規社員（職員）
3 会社・団体などの役員
4 契約社員や派遣社員など
5 短時間勤務のパートタイマーやアルバイト
6 専業主婦（主夫）
7 学生
8 無職（専業主婦（主夫）・学生を除く）

F 4 あなたが現在お住まいのところの郵便番号は

（ご不明の場合、当調査票をお届けした封筒に記載の郵便番号をご覧ください）

□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

F 5 あなたの同居のご家族の構成は

- 1 1人世帯
2 夫婦だけ（1世代）
3 自分（たち）と子ども、または親と自分（たち）（2世代）
4 親と子と孫（3世代）
5 その他（ ）

F 6 あなたは現在、お住まいのところに通算、何年お住まいですか。

- 1 1年未満 2 1～3年未満
3 3～5年未満 4 5～10年未満
5 10～15年未満 6 15～20年未満
7 20年以上

F 7 あなたがインターネットを利用する環境についておたずねします。

- 1 主にパソコンを使っている
2 主にスマートフォンを使っている
3 持っていない

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒でご返送ください。



兵庫県マスコット はばタン